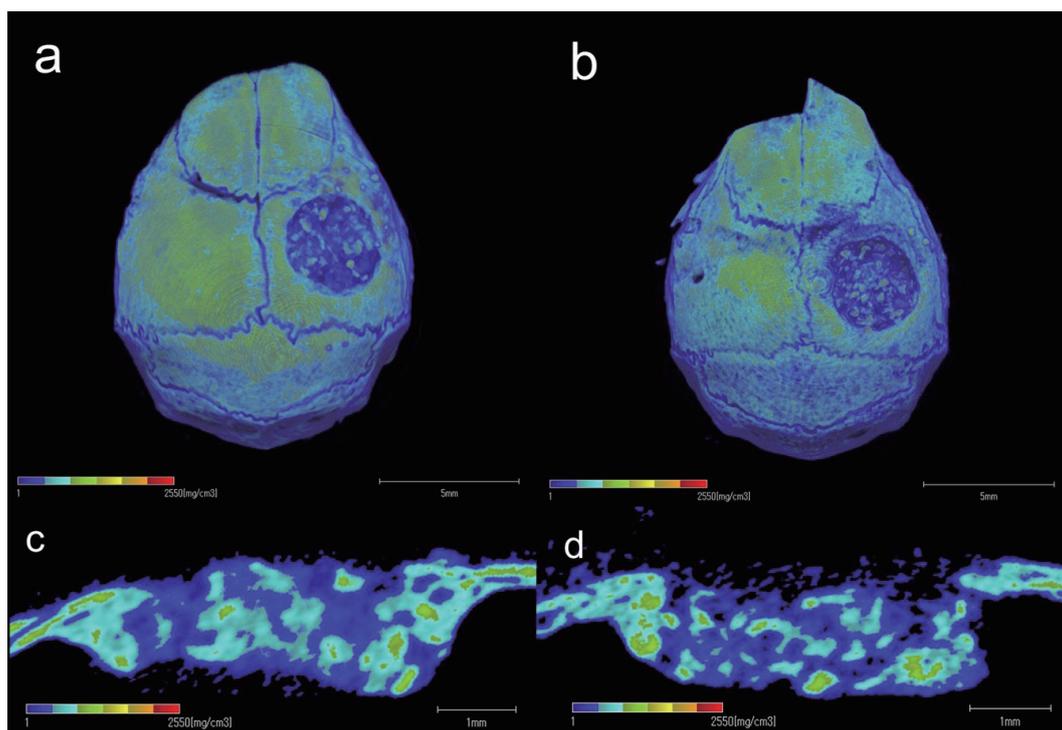


業績集

<https://kdulib.net/>

2023.4—2024.3



学校法人 神奈川歯科大学

2023年度の「業績集」編纂にあたって

この業績集は、学校法人神奈川歯科大学における2023年(令和5年)4月1日から2024年(令和6年)3月31日までの以下の項目について収録しました。

1 所属員名簿

所属する教授、准教授、講師、助教、助手、大学院生、特別研究員、医員、研究生、名誉教授、客員教授、特任教授、特任准教授、特任講師、臨床教授、非常勤講師、客員研究員、臨床専攻生名等を掲載しました。

2 2023年度の活動内容

教育、研究、臨床、社会活動などを掲載しました。

3 研究業績

著書、原著論文、総説、症例報告、プロシーディング、まとめ論文、テーシス、解説、翻訳成書、翻訳論文、随筆、その他で、別刷(コピー)等が提出されたものです。

4 その他の業績・活動

学会発表：特別講演、シンポジウム講演、一般発表(国際学会、国内学会)、講演会・セミナーなど。

業務報告：文部科学省、厚生労働省、受託研究等の研究報告書、特許出願・取得など。

活動：社会活動、座談会、報道・記事、学会記、治療指針、問題集の解説、グラビア、テレビ・ラジオ出演などに類するもの。

◆ 分類等の最終判断は業績編纂委員会で決定させていただきました。

学校法人 神奈川歯科大学業績編纂委員会

—表紙図—

マイクロCTによる撮影(a~d)

(原田隆史, 安部貴大, 古村浩子, 西田朋世, 田中香衣, 白石晃平, 浅輪幸世, 星和人, 古村眞 :

マウス歯髄幹細胞を用いた骨再生技術開発のための基礎的研究。

神奈川歯学, 58(2), 90-98, 2023. より転載)

神奈川歯科大学

教育企画部	加藤 浩一	4
教養・教育学系		
総合歯学教育学講座	教養教育学分野	板宮 朋基 11
	歯学教育学分野	菅谷 彰 15
基礎歯科学系		
解剖学講座	解剖学分野	天野カオリ 17
病理・組織形態学講座	分子口腔組織発生学分野	槻木 恵一 18
	環境病理学分野	槻木 恵一 20
生体機能学講座	口腔生理学分野	高橋 聡子 24
	歯科薬理学分野	高橋 俊介 25
分子生物学講座	口腔細菌学分野	浜田 信城 27
	口腔生化学分野	半田 慶介 29
社会歯科学系		
社会歯科学講座	口腔衛生学分野	山本 龍生 32
	災害歯科学分野	李 昌一 37
法医学講座	法医学分野	長谷川 巖 39
	歯科法医学分野	山田 良広 42
臨床科学系		
医科学講座	画像診断学分野	池上 匡 46
	糖尿病・内分泌内科学分野	青木 一孝 47
	高血圧症・腎臓内科学分野	橋本 達夫 48
	総合内科学分野	栗橋 健夫 49
	眼科学分野	市邊 義章 51
	薬剤学分野	山崎 勇輝 55
	臨床検査学分野	岩宮万里子 57
歯科保存学講座	保存修復学分野	向井 義晴 58
	歯内療法学分野	石井 信之 62
	歯周病学分野	小牧 基浩 67
歯科補綴学講座	クラウンブリッジ補綴学分野	木本 克彦 71
	有床義歯補綴学分野	井野 智 76
口腔外科学講座	口腔外科学分野	小林 優 78
	高度先進口腔外科学分野	西久保周一 82
歯科矯正学講座	歯科矯正学分野	山口徹太郎 84
歯科インプラント学講座	顎・口腔インプラント学分野	河奈 裕正 89
小児歯科学講座	小児歯科学分野	木本 茂成 92
画像診断学講座	画像診断学分野	櫻井 孝 96
麻酔科学講座	歯科麻酔学分野	讃岐 拓郎 98
	高度先進麻酔科学分野	有坂 博史 102
全身管理歯科学講座	高齢者歯科学分野	森本 佳成 103
	障害者歯科学分野	小松 知子 105

総合歯科学講座	高度先進成人歯科学分野	大石ゆかり	112
歯科診療支援学講座	病理診断学分野	窪田 展久	114
	クリニカル・バイオマテリアル学分野	二瓶智太郎	115
	歯科技工学分野	清宮 一秀	118
	歯科メンテナンス学分野	辻上 博美	121
	高度先進歯科メンテナンス学分野	山川 理代	123
臨床先端医学系			
	認知症医科学分野	眞鍋 雄太	125
	口腔再建学分野	児玉 利朗	128
その他			130

短期大学部

歯科衛生学科	角田 晃	134
看護学科	棚橋 泰之	138
索引		142

(略号)			
K	Kanagawa Dental University (神奈川歯科大学)		
J	Junior College (短期大学部)		
B&C	Book & Chapter (著書)	:	T Thesis (テーシス)
OP	Original Paper (原著論文)	:	Ex Exposition (解説)
R	Review (総説)	:	TB Translation / Book (翻訳成書)
CR	Case Report (症例報告)	:	TA Translation / Article (翻訳論文)
P	Proceeding (プロシーディング)	:	Es Essay (随筆)
CW	Collected Work (まとめ論文)	:	O Others (その他)

神奈川歯科大学

教育企画部

代表者：加藤浩一

1 | 教員・大学院生・他

教 授：加藤浩一，星憲幸，猿田樹理，香西雄介
准 教 授：沢井奈津子，淵田慎也，青山典生(2023年12月から)

2 | 2023年度の活動内容

教育：教育企画部は本学における教育に係る戦略的な意思決定を行うため、講座とは別に、特別な任務を行う組織として2021年4月4日に新編された。構成員の主配置は本組織であるが、それぞれが副配置として臨床、研究、教育分野で活動している。組織全体としては、①全学年の新カリキュラムを策定、②2024年度版履修ガイド1～4年生版 改訂、③2024年度版履修ガイド5年生版 新編、④2024年度版履修ガイド6年生版 新編を作成した。新たな取り組みとしては、2024年度の1～3年生のStageVにおいて成績優秀者に向けたインセンティブとして「自己探求学」を策定した。また、歯学×獣医学、歯学×薬学の新しい分野に強い関心を持ち、新たな活躍の場の創生に挑戦するための「3年次編入制度」を導入した。

歯学部における個人の活動は以下のとおりである。

1年生の災害歯科学及びチーム医療概論の講義を分担した。加えてカリキュラムツリーの各コースを統括した。(加藤)

歯学部では、1年生の歯科医療体験・見学演習とチーム医療概論の科目担当責任者、3年生のクラウンブリッジ補綴学分野の講義、6年生の総合歯科学IIのクラウンブリッジ補綴学とインプラント学の講義を担当した。大学院としては、大学院生の指導を行い学位取得に携わり、学位審査の主査・副査を担当した。また、講義を担当し学術発表演習の評価者と学位取得の論文と共通科目の補綴学について担当した。(星)

病理学・口腔病理学の基本的概念の系統的理解と応用力の養成を主眼とした教育を行った。1年生において第IIステージでは、神奈川歯科大学固有科目系(KPS)キャリアデザインおよびチーム医療概論のユニット担当者として分担した。2年生において第IIIステージでは、科目担当責任者として生命科学口腔病態系(LOM)発生学、ユニット担当者として一般病理学・同実習、第IVステージでは唾液腺学を担当した。3年生において第Iステージでは、科目担当責任者として歯科咬合医療系(ORD)歯科病理学・同実習を行い、生命科学口腔病態系(LOM)唾液腺学・同実習を行った。第Vステージにおいては2年生、3年生で振り返り学修IIおよびIIIを担当した。また、4年生総合歯科学(組織・発生学)および6年生臨床実習II(組織学)をユニット担当者として分担した。その他、6年生クラス担任を務めた。(猿田)

臨床座学(放射線)、臨床実習II(放射線)すべてを担当した。また、1年生のキャリアと現代教養のモジュール責任者を務めた。(香西)

歯学部1年生の「臨床医科歯科概論」の科目担当責任者を務めた。歯学部1年生の「チーム医療概論」、「歯科医療体験・見学実習(メディカルコンソーシアム見学)」、歯学部4年生の「口腔外科学」、「総合歯科学I」、5年生の「臨床実習」の講義・演習を担当した。口腔外科学においては実習担当責任者として2023度より実習を立ち上げた。また、5年生の日々の臨床実習において

指導医を務めると同時に、臨床実習委員会委員長として臨床実習のとりまとめを行った。5年生や臨床実習指導医からの聞き取り調査をもとに2024年度臨床実習の変更案をまとめた。客観的臨床能力試験(OSCE)では外部評価者、内部評価者をつとめた。臨床実習修了時臨床能力試験実施委員会委員長として、臨床実地試験(CPX)と一斉技能試験(CSX)を実行した。歯科医師臨床研修指導歯科医として研修医の指導を行った。大学院生の研究評価者および学位論文副査をつとめた。(沢井)

コース責任者として社会と歯科医療系(SSD)を担当し、科目担当責任者として第1学年の「医療経営学」と第6学年の「総合歯科学II」を担当した。加えて、第3学年の「社会歯科学」、第4学年の「医療安全」・「医療コミュニケーション」・「総合歯科学I」を分担した。また、大学院の授業科目として1年次の「医学統計演習(Advanced Course)」を分担した。その他、卒前教育委員会の委員長、臨床実習委員会の副委員長(座学担当責任者)、最終試験委員会の副委員長、公募問題作成・プール問題ブラッシュアップ委員会の副委員長等、国家試験対応を中心に教育関連の各種委員会や共用試験に参画した。(淵田)

研究：臨床研究、基礎研究、並びに社会科学研究を中心に勢力的に実施した。

産学連携としては、新規歯科材料の開発と歯科応用についての研究を行った。また、学外との連携による研究としては、インプラント体表面の改質、認知症と唾液の関連性、口腔カンジダ症と唾液との関連性、補綴治療と唾液との関連性を研究しており、学会発表や論文発表、論文を作成した。義歯裏層による影響の検討を8大学連携にて研究を行っている(科研費Cによる)。(星)

臨床：デジタル歯科臨床科でデジタル技術を用いた歯科補綴治療を行い、後進育成にも携わった。(星)

社会活動：日本補綴歯科学会の副委員長として学会運営に尽力した。日本義歯ケア学会では、理事として認定精度・認定検討委員、情報発信ワーキンググループ委員として業務を担当した。日本口腔診断学会では、理事として「新口腔診断学」の教科書作成委員として業務を担当した。日本デジタル歯科学会では、医療保険検討委員会の委員として業務を担当した。(星)

その他：共用試験実施評価機構の業務・文部科学省の業務を行った。(星)

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/001 星憲幸：PART 2.6.4. 軟質リライン義歯のメンテナンス. pp.112-113. 村田比呂司監著：患者説明にも自信がつく 今はどうする・こう考える 義歯のケア. クインテッセンス出版, 東京, 2024.

【原著論文】

K23/OP/001 Tamiya J, Sakaguchi W, Nakagawa K, Yamamoto T, Saruta J, Kubota N, Kawata A, Hasegawa I, Hamada N, Tsukinoki K : Detection of SARS-CoV-2 and Its Related Factors on the Mucosal Epithelium of the Tongue. *Acta Histochemica et Cytochemica*, 56(2), 29-37, 2023.

K23/OP/002 Kubo D, Itamiya T, Kawanishi N, Hoshi N, Kimoto K : The Use of a 3D Image Comparison Program for Dental Identification. *Applied Sciences*, 13, 7517, 2023. doi: 10.3390/app13137517

K23/OP/003 Kitajima H, Hirota M, Osawa K, Iwai T, Mitsudo K, Saruta J, Ogawa T : The Effects of a Biomimetic Hybrid Meso- and Nano-Scale Surface Topography on Blood and Protein Recruitment in a Computational Fluid Dynamics Implant Model. *Biomimetics*, 8, 376, 2023. doi: 10.3390/biomimetics8040376

K23/OP/004 Ishizaka T, Horiuchi K, Kondo S, Isaji M, Nakagawa T, Inoue M, Rikitake H, Taguchi E,

Susa M, Yoda M, Ono T, Kozai Y, Chiba K : Eribulin mesylate induces bone mass loss by promoting osteoclastic bone resorption in mice. *Bone Reports*, 18, 101693, 2023. doi: 10.1016/j.bonr.2023.101693

- K23/OP/005 Ichigaya N, Kawanishi N, Adachi T, Sugimoto M, Kimoto K, Hoshi N : Effects of Denture Treatment on Salivary Metabolites: A Pilot Study. *International Journal of Molecular Sciences*, 24, 13959, 2023. doi: 10.3390/ijms241813959
- K23/OP/006 Kitajima H, Hirota M, Iwai T, Mitsudo K, Saruta J, Ogawa T : Synergistic Enhancement of Protein Recruitment and Retention via Implant Surface Microtopography and Superhydrophilicity in a Computational Fluid Dynamics Model. *International Journal of Molecular Sciences*, 24, 15618, 2023. doi: 10.3390/ijms242115618
- K23/OP/007 Monai N, Kuwabara A, Kawanishi N, Ozawa R, Adachi T, Tsunoi S, Inoue M, Saita M, Hayakawa T, Hoshi N, Kimoto K : Effect of UV Photofunctionalization of HA/TiO₂ Coated Implants Prepared by Dual-Target Sputtering on Bone-Implant Integration. *Journal of Hard Tissue Biology*, 32(2), 99-104, 2023.
- K23/OP/008 Kurogi T, Murata H, Yamaguchi E, Kawai Y, Suzuki A, Koide Y, Kimoto S, Kondo H, Nomura T, Tsuboi A, Hong G, Ito Y, Minakuchi S, Ohwada G, Sato Y, Suzuki T, Kimoto K, Hoshi N, Saita M, Yoneyama Y, Sato Y, Morokuma M, Okazaki J, Maeda T, Nakai K, Ichikawa T, Nagao K, Fujimoto K, Nishimura M, Nishi Y, Murakami M, Hosoi T, Hamada T : Effects of denture adhesives on denture retention and occlusal forces in complete denture wearers: A multicenter, randomized controlled trial. *Journal of Prosthodontic Research*, 67(4), 548-555, 2023.
- K23/OP/009 Kitajima H, Hirota M, Osawa K, Iwai T, Saruta J, Mitsudo K, Ogawa T : Optimization of blood and protein flow around superhydrophilic implant surfaces by promoting contact hemodynamics. *Journal of Prosthodontic Research*, 67(4), 568-582, 2023.
- K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K : Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. *Medicina*, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789
- K23/OP/011 Kimoto S, Kawai Y, Suzuki A, Koide Y, Kondo H, Nomura T, Tsuboi A, Ito Y, Hong G, Minakuchi S, Ohwada G, Sato Y, Suzuki T, Kimoto K, Saita M, Hoshi N, Yoneyama Y, Sato Y, Morokuma M, Okazaki J, Maeda T, Nakai K, Ichikawa T, Nagao K, Fujimoto K, Kurogi T, Murata H, Okazaki H, Nishimura M, Nishi Y, Murakami M, Hosoi T, Hamada T : Effect of denture adhesives on masticatory performance: Multicenter randomized controlled trial. *Journal of Prosthodontic Research*, 68(1), 132-138, 2024.
- K23/OP/012 Kitami R, Izumi M, Taniguchi M, Kozai Y, Sakurai T : Phantom study for CT artifacts of dental titanium implants and zirconia upper structures: the effects of occlusal plane angle setting and SEMAR algorithm. *Oral Radiology*, 40, 251-258, 2024.
- K23/OP/013 Irie K, Mochida Y, Altanbagana NU, Fuchida S, Yamamoto T : Relationship between risk of oral frailty and awareness of oral frailty among community-dwelling adults: a cross-sectional study. *Scientific Reports*, 14, 433, 2024. doi: 10.1038/s41598-023-50818-6

K23/OP/014 入江浩一郎, 持田悠貴, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 瀧田慎也, 東哲司, 岩井浩明, 米永崇利, 笹井保之, 友藤孝明, 山本龍生: 現在歯数28歯以上と28歯未満の成人集団における歯の喪失に関連する要因の違い—5年間のコホート研究—. 口腔衛生学会雑誌, 73, 279-286, 2023.

【症例報告】

K23/CR/001 Itai S, Yoshimura Sawai N, Kozai Y, Ikoma T, Kosai A, Yakeishi M, Kubota N, Abe T: Asymptomatic intraosseous leiomyoma in mandible: A case report and review of literature. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 35, 539-544, 2023.

【解説】

K23/Ex/001 木本克彦, 永田紘大, 川西範繁, 星憲幸, 河奈裕正: 3Dプリンターの歯科治療への応用と将来展望. 歯界展望, 142(4), 662-669, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 瀧田慎也: 口腔疾患アンケート調査票の作り方と統計解析—よくある悩みに、まずは基本から—. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.

〔シンポジウム講演〕

- 猿田樹理: 唾液検査の現状と課題、そして将来展望(シンポジウム「国民皆歯科健診と唾液検査」). 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.

〔一般発表・国際学会〕

- Yamamoto Y, Takahashi T, Morozumi T, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Saita M, Tsukinoki K: Effect of α - and β -starch in Rice on cecal Short-Chain Fatty Acid Concentration and Salivary Immunoglobulin A Levels in Rats. 16th International Scientific Conference on Probiotics, Prebiotics, Gut Microbiota and Health, Bratislava, Slovakia, 2023.6.20-22.

〔一般発表・国内学会〕

- 中野亜希人, 板宮朋基, 藤崎みのり, 鈴木美南子, 井上允, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 裸眼立体視と三次元位置計測を用いたブラッシング指導支援システムの開発. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 本間優太, 清宮一秀, 中静利文, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 歯科用CADにおけるクラウン内面データの作成方法の違いがCAD/CAM冠の適合精度に与える影響. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 久保大二郎, 板宮朋基, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 画像比較プログラムにより算出された片側歯列断面画像の一致度を利用した歯科身元確認における同定法の検討. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 富田凜太郎, 板宮朋基, 中野亜希人, 星憲幸, 服部慎太郎, 木本克彦: 裸眼立体視環境における歯牙モデルのリアルタイム切削・変形の実現. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 齊田牧子, 槻木恵一:

米の α でんぷんと β でんぷんの含有比率の違いがラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響. 第77回日本栄養・食糧学会大会, 札幌, 2023.5.12-14.

- 恒石美登里, 山本龍生, 入江浩一郎, 瀧田慎也, 持田悠貴, 古田美智子, 山本秀樹, 小玉剛, 佐藤保: 某職域における口腔疾患に起因する仕事への支障の実態と関連する要因: 横断研究. 第72回日本口腔衛生学会学術大会, 大阪, 2023.5.19-21.
- 持田悠貴, 山本龍生, 入江浩一郎, 瀧田慎也, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 相田潤, 竹内研時, 藤田美枝子, 近藤克則: オーラルフレイルの地域差と地域差に関連する要因: 横断研究. 第72回日本口腔衛生学会学術大会, 大阪, 2023.5.19-21.
- 角井早紀, 熊坂知就, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: 酸性プライマーの耐水硬化について. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 川西範繁, 市ヶ谷成美, 足立拓也, 星憲幸, 木本克彦: 義歯治療による唾液代謝プロファイルへの影響. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 星憲幸, 木本克彦: 口腔カンジダ症における唾液の関連性—唾液量と唾液代謝プロファイル—. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 井上允, 眞鍋雄太, 本間優太, 富田凜太郎, 星憲幸, 木本克彦: 神経変性認知症患者における口腔環境と脳血流との関連性. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 田村宗明, 高橋徹, 根岸紘生, 土橋英恵, 市川愛弓, 下仲敦, 横尾岳大, 唐舒宜, 牧野聖也, 狩野宏, 北條研一, 槻木恵一: ヨーグルト摂取が口腔内常在菌に交叉する唾液中IgAレベルに与える影響. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 杉山貴志, 両角俊哉, 瀧田慎也, 青山典生, 平田貴久, 小牧基浩: 歯周基本治療による糖尿病マーカーおよび唾液機能の変化. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 入江浩一郎, 瀧田慎也, 東哲司, 友藤孝明, 山本龍生: 特定の腸内細菌が口腔領域の免疫に与える影響について. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 足立拓也, 川西範繁, 谷口紀江, 瀧田慎也, 星憲幸: 口腔カンジダ症における唾液の関連性—唾液量と唾液代謝プロファイル—. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 上田晴香, 青山典生, 瀧田慎也, 持田悠貴, 三辺正人, 山本龍生: 日本版の歯周炎症表面積(PISA)計算式の開発と従来版との比較. 神奈川歯科大学学会第172回例会, オンライン開催, 2023.10.12.
- 持田悠貴, 瀧田慎也, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 入江浩一郎, 山本龍生: 某職域における集団及び個別の歯科健診への参加と歯科への受診回数と医療費との関係. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

- 入江浩一郎, 持田悠貴, 澁田慎也, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 山本龍生: 神奈川県
の成人におけるオーラルフレイルの認知度と認知度に関連する要因の検討. 神奈川歯科大学学
会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 清水智子, 東雅啓, 窪田展久, 河田亮, 槻
木恵一: 米粉摂取がラット腸内細菌叢と唾液IgAレベルに与える影響. 第2回日本唾液ケア研
究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.
- 久保大二郎, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 全顎的治療により咬合干渉と咀嚼障害を改善した
症例. 令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2024.1.7.
- 富田凜太郎, 板宮朋基, 中野亜希人, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 裸眼立体視環境における支
台歯形成シミュレーションの開発. 令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜,
2024.1.7.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 山谷勝彦, 星憲幸, 木本克彦: AIを使用した歯冠補綴装置の設計と歯
科技工士のこれからの在りかた. 令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜,
2024.1.7.
- 大道紳太郎, 香西雄介, 迫田貴熙, 佐藤イテヒョン, 谷口紀江, 泉雅浩, 櫻井孝: 磁性アタッ
メント義歯の磁石に対してMRIの静磁場が及ぼす影響—設置位置及び時間との関係—. 日本
歯科放射線学会第237回関東地方会, 横浜, 2024.2.3.

[座長]

- 星憲幸: 高精度裸眼立体視ディスプレイの歯科医学教育への応用～驚きのリアリティと教育
効果～. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 星憲幸, 近藤尚知: 歯科衛生士が学ぶ敵口腔内スキャナーをはじめとする急速に進歩するデ
ジタルデンティストリーの実際. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会
—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.

[講演会・セミナー等]

- 星憲幸: デジタル技術を応用した歯科治療に必要な最新機器と材料. 第9回日本国際歯
科大会2023, 横浜, 2023.10.1. / インプラント治療における基礎研究と臨床研究の一考. 鶴
見大学歯学部附属病院インプラントセンター研修セミナー, 横浜, 2024.1.17. / 今だからこ
そ知っておきたい口腔内スキャナー入門. GC Webセミナー, Web, 2024.2.21.
- 猿田樹理: 唾液による健康効果の最前線～実はすごい“唾液”のチカラ～. 2023年度(令和5年
度) 神奈川歯科大学同窓会千葉県支部定時総会記念講演, 千葉, 2023.5.28. / Study on the
systemic effect of salivary gland producing physiologically active substances -Let's
consider creating new health from salivary glands-. SALIVARY GLAND, THE
IMPORTANCE OF SALIVARY GLAND AND THEIR RELATIONSHIP TO PREVENTIVE
MEDICINE, Faculty of Odonto-Stomatology, University of Medicine and Pharmacy at Ho
Chi Minh City (UMP), Vietnam, 2024.3.2.
- 香西雄介: 日常診療に役立つ画像診断と画像検査の医療安全. 長崎市歯科医師会学術講演会,
長崎, 2023.5.25.
- 沢井奈津子: 臨床実習について. 新任教員研修会, オンデマンド配信, 2023.5.14- / 口腔外
科手術、歯科外来における抗菌薬の適正使用について. 第68回公益社団法人口腔外科学会総
会・学術大会ミニレクチャー, オンデマンド配信, 2023.11.10-12.25. / Respiratory tract

infection prevention and control in Japanese dentistry in the age of living with COVID-19. HIDECC2023(The 2nd HO CHI MINH City International Dental Exhibition and Congress)招待講演, JICA 草の根技術協力事業, ホーチミン, ベトナム, 2023.11.22. / 歯科診療に於ける日々の感染対策の注意事項-2023年ICTラウンド報告抜粋-. 2023年度第2回神奈川歯科大学附属病院院内感染対策講習会, オンデマンド配信, 2024.2-3月.

- 淵田慎也：歯科医師臨床研修制度について. 第28回神奈川歯科大学附属病院歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, 横須賀, 2023.11.11. / データでみる静岡・榛原の歯科保健事業-歯科医師会・自治体・保険者のエビデンスに基づく政策立案に向けて-. 榛原歯科医師会定例会, 牧之原, 2023.11.18.
- 木本克彦, 星憲幸, 川西範繁, 中静利文, 藤崎みのり：誰でも導入可能なデジタル歯科治療の実践法 口腔内スキャナーを活用したデジタルワークフロー. 神奈川歯科大学同窓会学術講演, 横浜, 2024.2.18.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 木本克彦(代表), 西村正宏(分担), 河相安彦(分担), 木本統(分担), 佐藤佑介(分担), 星憲幸(分担), 村田比呂司(分担), 米山喜一(分担), 武部純(分担), 市川哲雄(分担)：下顎無歯顎に応用する軟質リライン材の臨床効果-多施設ランダム化比較試験-. 基盤研究(C), 20K10062, 2020～2023年度.
- 淵田慎也(代表), 伊藤奏(分担)：口腔保健における根拠に基づく政策立案(EBPM)推進に向けた人材育成の基盤的研究. 基盤研究(C), 20K10302, 2020～2023年度.
- 河田亮(代表), 猿田樹理(分担), 杉本昌弘(分担)：COVID-19の味覚障害発生機序の解明：ACE2-BDNF連関からのアプローチ. 基盤研究(C), 21K09847, 2021～2023年度.
- 猿田樹理(代表), 槻木恵一(分担), 杉本昌弘(分担), 山本利春(分担), 坂口和歌子(分担)：BDNFを介した唾液腺-脳ネットワークによる精神障害の病態発症メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K09935, 2022～2024年度.
- 沢井奈津子(代表), 安部貴大(分担), 小澤重幸(分担), 岩淵博史(分担)：頭頸部がんグルコース飢餓時のオートファジーによるエネルギー補填メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K10135, 2022～2024年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 星憲幸：認知機能検査のための唾液検査法の確立. 神奈川歯科大学大学院プロジェクト研究, No.1, 2023年度.

〔原著論文〕

- Kitajima H, Komatsu K, Matsuura T, Ozawa R, Saruta J, Taleghani SR, Cheng J, Ogawa T：Impact of nano-scale trabecula size on osteoblastic behavior and function in a meso-nano hybrid rough biomimetic zirconia model. Journal of Prosthodontic Research, 67(2), 288-299, 2023.

総合歯学教育学講座

▶ 教養教育学分野

代表者：板宮朋基

1 教員・大学院生・他

教	授：板宮朋基
准 教	授：渡辺清子, 川上正人, 李正姫
講	師：中野亜希人
助	教：栗本勇輝

2 2023年度の活動内容

教育：本学独自の講義オンデマンド配信・ライブ配信システム(オンライン講義用LMS)を改良した。科目担当責任者として、1年生の「歯学のための物理・数学」(2ステージ)と「数理・データサイエンス・AI」(2ステージ)を担当した。2年生の「口腔解剖学」(2ステージ)において、VR/AR/空間再現技術の解剖学教育への応用についての講義を行った。2年生の「全身解剖実習」(3ステージ)にて、VR解剖実習支援コンテンツを用いた解説を担当した。2年生の「口腔解剖実習」(4ステージ)において、空間再現ディスプレイおよび裸眼立体視タブレット・VRゴーグルを活用した解剖学教育を行った。大学院「医学統計演習Basic」「医学統計演習Advanced」を担当した。(板宮)

歯学部教育では、1年生科目である「基礎科学A(生物・化学)」の講義を担当した。また、1年生科目である「PBL演習」および2年生科目である「病因・病態と生体の回復促進(感染と免疫)」の実習に参加した。(渡辺)

科目担当責任者として、1年生の「スポーツ」を担当した。授業はST1およびST3は、対面で実技種目を実施した。ST4は、講義形式で実施した。(川上)

科目担当責任者として、第1学年の「歯学のための日本語」・「異文化コミュニケーション」・「韓国語入門」・「医療心理学」を担当した。また、短期大学部歯科衛生学科第2学年の「医療コミュニケーション」、東京歯科衛生専門学校(TDH)第2学年の「心理学」の講義を担当した。正規授業以外に、次年度新入生を対象に入学前日本語教育を日本語の非常勤講師を通して週3回実施した。(李)

科目担当責任者として1年生科目の「基礎科学B(数学・物理)」(1ステージ)と「情報リテラシー」(4ステージ)を担当した。科目担当者として「歯学のための数学・物理」(2ステージ)を担当した。板宮教授と協力し、来校型OC時にVR/AR医歯学コンテンツの体験型イベントを多数実施した。教学IR室を兼担し、教学部と連携の上OCや入試資料請求のフォームを保守・運用した。(中野) 科目担当責任者として、第1学年の「歯学のための化学」、科目担当者として第1学年の「基礎科学A(生物・化学)」・「PBL演習」・「振り返り学修」、第2学年の「生理学II」など年間53コマを担当した。学修支援室の運営に携わり、1年生を中心とした補講や学修指導を行った。(栗本)

研究：空間再現ディスプレイ向け医歯学教育アプリの新バージョンを複数開発し、解剖学教育や口腔外科教育において実践した。大学院生と共著の査読付き論文2本が出版され大学院生2名の学位取得に貢献すると共に、特別講演3回、シンポジウム講演2回と学会一般発表を9回行った。令和4年度文部科学省公募事業「医学部等教育・働き方改革支援事業」に採択され(交付額9,381千円)、窪田光慶准教授、中野講師と密接に連携して申請内容を実施した。(板宮)

植物由来成分(生薬・ポリフェノール類)の歯周炎予防薬および治療薬としての応用を研究テーマとして、歯周炎における破骨細胞分化誘導抑制作用に関する研究を行った。また、大学院生の研究指導において、ヒト骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β 1の作用について研究・指導を行い論文が出版された。(渡辺)

高齢者の足趾把持力を測定し、土踏まずの形成と転倒予防の関係性について講演会を開催した。(川上)

根管治療をテーマにした空間再現ディスプレイ用の医歯学教育アプリを開発した。板宮教授と本学大学院生共著の上、その研究成果をまとめた論文(査読付き)が採択された。空間再現ディスプレイでのブラッシング指導や実習支援システムをテーマにしたアプリを開発し、VR学会や日本デジタル歯科学会、日本口腔科学会(関東地方部会)に一般発表を行った。(中野)

入学前教育の実施と効果、およびコロナ禍における学修成績の変化などの教育に関する研究を行った。(栗本)

社会活動：中野講師と開発したVR/AR防災教育アプリ合計60セットが横須賀市消防局に採用され、2024年2月から運用が開始された。(板宮)

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/015 Tomiyama K, Ishizawa M, Watanabe K, Kawata A, Hamada N, Mukai Y : Antibacterial effects of surface pre-reacted glass-ionomer (S-PRG) filler eluate on polymicrobial biofilms. *American Journal of Dentistry*, 36(2), 91-94, 2023.

K23/OP/002 Kubo D, Itamiya T, Kawanishi N, Hoshi N, Kimoto K : The Use of a 3D Image Comparison Program for Dental Identification. *Applied Sciences*, 13, 7517, 2023. doi: 10.3390/app13137517

K23/OP/016 Tsukuda T, Mutoh N, Nakano A, Itamiya T, Tani-Ishii N : Study of Root Canal Length Estimations by 3D Spatial Reproduction with Stereoscopic Vision. *Applied Sciences*, 13, 8651, 2023. doi: 10.3390/app13158651

K23/OP/017 Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Role of MAPKs in TGF- β 1-induced maturation and mineralization in human osteoblast-like cells. *Journal of Oral Biosciences*, 66, 61-67, 2024.

K23/OP/018 Lee S, Haraga H, Satoh T, Mutoh N, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effect of periodontitis induced by *Fusobacterium nucleatum* on the microbiota of the gut and surrounding organs. *Odontology*, 112, 177-184, 2024.

【解説】

K23/Ex/002 板宮朋基：唾液腺解剖教育における高精細裸眼立体視ディスプレイの活用. *日本唾液ケア学会誌*, 2, 15-16, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

●板宮朋基：高精細裸眼立体視ディスプレイの歯科医学教育への応用～驚きのリアリティと教育効果～. *日本デジタル歯科学会第14回学術大会*, 横須賀, 2023.4.22.

- 板宮朋基：クロスリアリティー (XR)技術の歯科医学教育への応用と効果. 日本口腔科学会第16回教育研修会, 大阪, 2023.5.12.
- 板宮朋基：VR/ARから空間再現へ～高精細裸眼立体視ディスプレイが切り拓く3D可視化の新たなステージ. 第3回日本臨床歯科CAD/CAM学会サマーフェスティバル, 大阪, 2023.7.16.
- 板宮朋基：XRの防災教育への活用～災害リスクを『わがこと化』するために～. 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラムXR社会活用セミナー「XRの災害体験への活用」, オンライン, 2024.2.29.

[シンポジウム講演]

- Itamiya T : A SPATIAL REALITY DISPLAY for Naked Eye Stereoscopic Visualization: An Innovative Approach For Dental Education. DIGITODONTICS WEBINAR SERIES 2023, Online, 2023.7.18.
- 板宮朋基：剖出過程の立体撮影とVRゴーグル・裸眼立体視ディスプレイによる閲覧システムの開発. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.3.23.

[一般発表・国際学会]

- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effects of multi-walled carbon nanotubes on mineralization of human cementoblasts. 22nd Scientific Congress of the Asian Pacific Endodontic Confederation, Taipei, Taiwan, 2023.8.25-27.

[一般発表・国内学会]

- 久保大二郎, 板宮朋基, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦：画像比較プログラムにより算出された片側歯列断面画像の一致度を利用した歯科身元確認における同定法の検討. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 有輪政尊, 板宮朋基, 小泉創, 山口徹太郎：3D-CG立体表示歯科模型を用いた拡張現実における裸眼立体視システムの精確性の評価. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 富田凜太郎, 板宮朋基, 中野亜希人, 星憲幸, 服部慎太郎, 木本克彦：裸眼立体視環境における歯牙モデルのリアルタイム切削・変形の実現. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 中野亜希人, 板宮朋基, 藤崎みのり, 鈴木美南子, 井上允, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦：裸眼立体視と三次元位置計測を用いたブラッシング指導支援システムの開発. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 王珽萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之：象牙質接着材のセメント芽細胞に対する細胞障害性に関する研究. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 板宮朋基：「まるで本物?!」目の前にリアルな立体モデルが現れる～高精細裸眼立体視ディスプレイの歯科医学への応用. 大阪歯科万博2023, 大阪, 2023.8.4-6.
- 板宮朋基, 中野亜希人, 高才東, 小松紀子, 沢井奈津子, 安部貴大：二眼カメラ立体映像を大型裸眼立体視ディスプレイで直ちに鑑賞できるシステムの開発. 第28回日本バーチャルリアリティ学会大会, 八王子, 2023.9.12-14.

- 中野亜希人, 板宮朋基, 藤崎みのり, 鈴木美南子, 井上允, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 裸眼立体視とモーションセンサーを併用したブラッシング指導支援システムの開発. 第28回日本バーチャルリアリティ学会大会, 八王子, 2023.9.12-14.
- 中野亜希人, 板宮朋基, 高才東, 小松紀子, 沢井奈津子, 安部貴大: 裸眼立体視ディスプレイと二眼カメラを活用した基本手技実習支援システムの開発. 第57回日本口腔科学会関東地方部会, Web開催, 2023.9.16.
- 王琿萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: カーボンナノチューブのヒトセメント芽細胞様細胞に対する石灰化誘導能について. 神奈川歯科大学学会第172回例会, オンライン開催, 2023.10.12.
- 王琿萱, 渡邊清子, 室町幸一郎, 浜田信城, 石井信之: カーボンナノチューブのセメント芽細胞に対する石灰化誘導能に関する研究. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 富山潔, 渡邊清子, 浜田信城, 斎藤正寛, 向井義晴: 柿タンニンによる持続的抗菌効果と口腔内細菌層の健全化. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 富山潔, 渡邊清子, 浜田信城, 斎藤正寛, 向井義晴: 柿タンニンが多菌種バイオフィルムの健全化に与える影響. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 板宮朋基, 中野亜希人: 実写立体映像を大型裸眼立体視ディスプレイで直ちに閲覧できるシステムの開発. 第33回日本シミュレーション外科学会, 東京, 2023.12.2.

〔講演会・セミナー等〕

- 板宮朋基: 見て・触れて・バーチャルで知る—医学のあゆみ. 第31回日本医学会総会2023博覧会, 東京, 2023.4.20-23. / 高精細裸眼立体視ディスプレイの医歯学教育への応用〜Unityを用いたアプリ開発とその効果〜. Unity産業DXカンファレンス, 東京, 2023.7.10. / 歯科医療におけるVR/AR技術〜裸眼3D立体視テクノロジーとは〜. 日本デジタル空間経済連盟勉強会, 東京, 2023.12.14.
- 川上正人: 足指の筋力と健康〜一生歩ける足のために〜. 横浜市西金沢地域ケアプラザ, 横浜, 2023.6.26. / 自宅でできる足腰健康法〜足裏マッサージ初級編〜. 横浜市西金沢地域ケアプラザ, 横浜, 2023.9.25.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 田中共子(代表), 李正姫(分担), 迫こゆり(分担), 奥西有理(分担), 高浜愛(分担), 趙師哲(分担), 中野祥子(分担), 畠中香織(分担): グローバル人材の異文化間ソーシャルスキルフロンティア留学の適応支援へ向けて. 基盤研究(C), 21K02963, 2021〜2025年度.
- 板宮朋基(代表), 木本克彦(分担), 中野亜希人(分担): 裸眼立体視と触覚再現を両立させた歯科補綴学遠隔実習システムの開発. 基盤研究(C), 22K10065, 2022〜2024年度.

〔広報活動〕

- 板宮朋基: テレビ番組においてAR/VR防災アプリが紹介された. (NHK千葉放送局, ニュース, 2023.6.24. / チバテレビ, ニュース, 2023.6.26. / NHK岡山放送局, ニュース, 2023.7.2. / NHK岡山放送局, ニュース, 2023.7.9. / NHK, 「明日をまもるナビ」, 2023.7.23. / NHK札幌放送局, ニュース, 2023.9.6. / NHK, 首都圏ニュース, 2023.11.21. / BSフジ, 「知りた

い!SDGs], 2023.12.14. / NHK新潟放送局, ニュース, 2024.3.21.)

●板宮朋基：雑誌においてAR/VR歯科医学教育アプリが紹介された。(日経クロステック, 2023.9.20. / LION Dent.File Vol.54, 2023.11.20.)

▶ 歯学教育学分野

代表者：菅谷彰

1 教員・大学院生・他

教 授：菅谷彰, 花岡孝治
准 教 授：窪田光慶, 吉田彩佳

2 2023年度の活動内容

教育：ユニットとして1年「歯科美学」、3年「薬理学」を担当した。オンライン講義用LMSおよびハイブリッド講義の維持運営を行った。(吉田)

責任者として、1年「PBL演習」、4年「総合歯科学の歯科矯正学」、「歯科矯正学の実習」、5年「臨床実習I歯科矯正学」、6年「臨床実習II歯科矯正学」を担当した。歯科矯正学の卒業試験問題の作成を行った。(窪田)

総合試験委員会委員として、総合試験の準備・実施を行った。(花岡)

4年生総合歯科学の一部講義を担当した。(菅谷)

研究：光化学・生物学をベースとし、光増感剤および青色光を用い、微生物に対する新たな抗菌光線力学療法の研究を行った。(吉田)

臨床：本講座は教育を中心に活動する部署であるが、3名の臨床歯科医が在籍しており、矯正科、保存科、歯周病科において各々専門的な診療を週に数日行っている。

社会活動：入試広報活動の一環として、東京を中心に高校訪問を行い、日本の歯科事情、歯学部現状などを説明し、歯科、歯学部への啓発活動を行った。また歯学部におけるオープンキャンパスの企画、実施に参画し、歯科、歯学部への啓発活動を行った。

その他：ICT運営委員会として、オンライン講義用LMSの運営を行った。(吉田)

OSCE実施委員会委員長としてOSCEの準備、運営を行った。また共用試験公的化に向けて評価者養成WSを神奈川歯科大学で開催した。FD・SD委員会委員長として年間15回の講演会、ワークショップの計画と実施を行った。大阪大学「授業づくりワークショップ」にファシリテーターとして参加した。日本歯科医学教育学会の国際交流委員会委員として、韓国KIDEEとの調印式を行った。医学部等教育・働き方改革支援事業の補助金を獲得し、OSCE関係の機材の購入を行い、効果的な実習の実践を行った。(窪田)

講座内での業務内容の確認と調整を行った。(菅谷)

3 研究業績

【著書】

K23/B&C/002 高橋俊介, 高橋聡子, 吉野文彦, 吉田彩佳：18章. 局所麻酔薬. pp.134-141. 鈴木邦明監修：現代歯科薬理学. 第7版, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【原著論文】

- K23/OP/019 Imaizumi U, Inaba K, Kurahashi A, Kuroda H, Sanuki T, Yoshida A, Yoshino F, Hamada N : Effectiveness of curcumin-based antimicrobial photodynamic therapy against *Staphylococcus aureus*. *Journal of Oral Science*, 65(4), 270-274, 2023.
- K23/OP/020 Tsukimoto S, Kitaura A, Kuroda H, Imaizumi U, Yoshino F, Yoshida A, Nakao S, Ohta N, Nakajima Y, Sanuki T : Anti-inflammatory potential of remimazolam: A laboratory and clinical investigation. *Immunity, Inflammation and Disease*, 12, e1218, 2024. doi: 10.1002/iid3.1218
- K23/OP/021 窪田光慶, 花岡孝治, 山口徹太郎, 菅谷彰 : アクチバトールの新しい可動式説明模型の考案とその教育効果の研究. *神奈川歯学*, 58(1), 36-47, 2023.

4 | その他の業績・活動

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 吉野文彦(代表), 吉田彩佳(分担), 居作和人(分担) : 青色光を応用した光線力学療法による新規口腔癌治療法の検討. 基盤研究(C), 20K10127, 2020~2023年度.
- 吉田彩佳(代表), 吉野文彦(分担), 高橋聡子(分担) : 医薬品色素を応用したaPDT-薬剤耐性を考慮した新規カンジダ症治療の基礎的解析-. 基盤研究(C), 21K10241, 2021~2023年度.
- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 今泉うの(分担), 高橋俊介(分担), 東雅啓(分担) : 加齢に伴う歯周病の進行に対する歯肉マッサージの効果の解析. 基盤研究(C), 23K09176, 2023~2026年度.

解剖学講座

▶ 解剖学分野

代表者：天野カオリ

1 | 教員・大学院生・他

教	授：天野カオリ
講	師：志賀華絵
助	教：小口岳史

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部人体の構造と機能I講義全身解剖学担当・人体の構造と機能II講義全身解剖学担当・人体の構造と機能I骨学実習担当・人体の構造と機能III全身解剖実習担当・人体の構造と機能IV口腔解剖実習担当・4年総合歯科学講義(全身解剖学)担当・CBT作問委員・6年総合歯科学II講義(科学的探究力の習得)担当。2023年度は全学年登校の講義環境に戻り、解剖学分野では引き続き講義内容の統一化を目指し学生の解剖学知識向上に繋がるような講義様式を目標軸とし学生教育を改善した。またコロナ下での感染防止対策による短縮型人体解剖実習による学生の知識不足を補う目的で着手した教育補助教材の開発(総合歯学教育学講座・板宮朋基教授と2名の歯学部学生と共に課題名「高精細VR立体撮影による系統解剖における剖出手順教材の開発と教育効果測定」教育研究を2022年9月より始動、神奈川歯科大学学生限定で使用できる解剖動画実習教材を作成予定である)について制作を継続し、2024年3月20日に日本解剖学会総会で本課題のシンポジウム講演を行った。(天野)

歯学部1年基礎生物学：講義一部担当・形態学概論：講義一部担当、2年人体の構造と機能I：組織学実習一部担当・人体の構造と機能II：講義一部担当・骨学実習担当・人体の構造と機能III：組織学実習一部担当・全身解剖学実習：一部担当、短期大学部看護学科1年人体の構造と機能IおよびII：講義一部担当。(小口)

研究：卵巣摘出ラット(OVX)を使用した唾液腺構造研究ならびに、マウスにおけるCXCL-14の海馬・小脳への局在について研究を継続している。データ一部は令和5年度歯科基礎医学会にて報告。(天野)

社会活動：令和5年度スーパーサイエンスハイスクール事業。

神奈川県立横須賀高等学校 第1学年「Principia I」12名について研究指導(ポスター作製・横須賀高校での展示発表)協力した。2023.6.15～2024.3.8(全23回)。(志賀・天野)

3 | 研究業績

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 天野カオリ：神奈川県歯科大学における解剖教育補助ツール活用の効果と意義について。第129回日本解剖学会総会・全国学術集会，那覇，2024.3.23.

〔一般発表・国内学会〕

- 東兼司，中村友宣，清水峻介，志賀華絵，浅野明子，野田守：イオン徐放性歯科用セメントの *Streptococcus mutans* に対する抑制効果。日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回)，松江+後日オンデマンド配信，2023.6.22-23.
- 天野カオリ，稲葉啓太郎，志賀華絵，浜田信城：OVXラットにおけるHSP70発現とエストロゲン値の相関関係について。第65回歯科基礎医学会学術大会，東京，2023.9.16-18.
- 尾之上さくら，佐々木康，河田亮，小口岳史，飯村彰，三留聖士，野口翔，中田真綾，東一善：単層に増殖したCaco-2細胞の透過性に対する食品添加物の影響。第129回日本解剖学会総会・全国学術集会，那覇，2024.3.21-23.

【業務・活動報告】

〔その他〕

- 天野カオリ：2023年12月1日付 解剖学講座・教授就任.
- 志賀華絵：2023年4月1日付 解剖学講座・講師赴任.

病理・組織形態学講座

▶ 分子口腔組織発生学分野

代表者：槻木恵一

1 | 教員・大学院生・他

教 授：槻木恵一(業績は環境病理学分野に集約)
准 教 授：河田亮
客 員 教 授：前田健康
特 任 教 授：東一善
特 任 講 師：脇田一慶，前田信吾
特任講師(無給)：杉山朋久，加藤智弘，宮城直美

2 | 2023年度の活動内容

教育：1年生の形態学概論，2年生の組織学・口腔組織学，発生と発育，人体の構造実習II，歯と歯周組織の常態，一般病理学，歯科病理学，3年生の歯科病理学，4年生の総合歯科学I，5年生の臨床実習，6年生の総合歯科学II，湘南短期大学歯科衛生学科1年生の組織発生学などを担当。歯科医，歯科衛生士として身につけなければならないもっとも基本的な歯の構造やその発生，ならびに臨床的事項について理解し，応用できるような教育を行っている。

研究：顎運動や唾液分泌における神経支配について研究を行っている。特に，それらを支配す

る神経回路網の形成に関し、形態学的な解析を進めている。さらに2021年度からは新しく「COVID-19の味覚障害発生機序の解明：ACE2-BDNF連関からのアプローチ」というテーマで科研費を申請して交付されたので、培養味蕾細胞やACE2KOマウスなどの遺伝子改変動物を材料として研究を進めている。

社会活動：医療系専門学校の学生などを対象に神奈川歯科大学資料館における解剖見学実習を担当している。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K23/OP/001 Tamiya J, Sakaguchi W, Nakagawa K, Yamamoto T, Saruta J, Kubota N, Kawata A, Hasegawa I, Hamada N, Tsukinoki K : Detection of SARS-CoV-2 and Its Related Factors on the Mucosal Epithelium of the Tongue. Acta Histochemica et Cytochemica, 56(2), 29-37, 2023.
- K23/OP/015 Tomiyama K, Ishizawa M, Watanabe K, Kawata A, Hamada N, Mukai Y : Antibacterial effects of surface pre-reacted glass-ionomer (S-PRG) filler eluate on polymicrobial biofilms. American Journal of Dentistry, 36(2), 91-94, 2023.
- K23/OP/022 Nakajima C, Fujita-Otani M, Mikuni-Takagaki Y, Nakamura K, Hidaka K, Kawata A, Kawamata R, Kimoto S : Progress of LPS-induced apical lesion in rat immature mandibular molars. Pediatric Dental Journal, 33, 14-24, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 尾之上さくら, 佐々木康, 河田亮, 小口岳史, 飯村彰, 三留聖士, 野口翔, 中田真綾, 東一善 : 単層に増殖したCaco-2 細胞の透過性に対する食品添加物の影響. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.3.21-23.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 河田亮(代表), 猿田樹理(分担), 杉本昌弘(分担) : COVID-19の味覚障害発生機序の解明 : ACE2-BDNF連関からのアプローチ. 基盤研究(C), 21K09847, 2021~2023年度.

〔賞〕

- 河田亮 : 令和5年度宿題報告 : COVID-19の味覚障害発生機序の解明. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会. 2023.11.25.

1 | 教員・大学院生・他

教 授：槻木恵一
 講 師：坂口和歌子
 大 学 院 生：細見祐太(1年)
 研 究 生：朴宰範
 客 員 教 授：津浦幸夫，西條英人，神部芳則
 特 任 教 授：三辺正人
 特 任 講 師：浅井澄人，近藤裕介，矢毛石眞由美，中川裕介，長崎真子，天野理江，
 田宮潤，中嶋仰
 特任講師(無給)：小野澤直子，安田政実，佐藤光栄，高木亮，久山佳代

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部では全ての学年で授業を担当した。本年度研究生修了は1名で，朴宰範が博士号を授与された。

研究：掌蹠嚢胞研究班，IgA研究班，免疫研究班の3つのチームを編成し，各テーマで研究活動を行い，多数の論文を作成した。

臨床：槻木教授が横浜クリニックの病理診断を担当した。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/003 槻木恵一：シンポジウム.S-1. 唾液ラクトフェリンの新たな可能性. pp.33-38. 日本ラクトフェリン学会第9・10回学術集会実行委員会編集：ラクトフェリン 2021・2023ーラクトフェリンと脳機能・ラクトフェリンの可能性を信じてー. アイ・ケイコーポレーション，東京，2023.

【原著論文】

K23/OP/001 Tamiya J, Sakaguchi W, Nakagawa K, Yamamoto T, Saruta J, Kubota N, Kawata A, Hasegawa I, Hamada N, Tsukinoki K : Detection of SARS-CoV-2 and Its Related Factors on the Mucosal Epithelium of the Tongue. *Acta Histochemica et Cytochemica*, 56(2), 29-37, 2023.

K23/OP/023 Ishii S, Sakaguchi W, Yamamura M, Nagumo T, Koeda S, Akiyama H, Kinuta M, Nishikubo S, Tsukinoki K : Association between salivary proteases and protease inhibitors linked with viral infections and oral inflammatory diseases. *Journal of Stomatology, Oral and Maxillofacial Surgery*, 124, 101572, 2023. doi: 10.1016/j.jormas.2023.101572

K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K : Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. *Medicina*, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789

K23/OP/024 Katoh I, Tsukinoki K, Hata RI, Kurata SI : Δ Np63 silencing, DNA methylation shifts, and

epithelial-mesenchymal transition resulted from TAp63 genome editing in squamous cell carcinoma. *Neoplasia*, 45, 100938, 2023. doi: 10.1016/j.neo.2023.100938

【総説】

- K23/R/001 Shimizu T, Jinbu Y, Tsukinoki K : Involvement of IL-17 and dental disease in palmoplantar pustulosis. *神奈川歯学*, 58(1), 48-52, 2023.
- K23/R/002 梶木恵一：唾液腺産生物質は口腔以外の臓器に影響を与えることができるか？. *日本唾液腺学会誌*, 63, 48-56, 2023.
- K23/R/003 三辺正人, 山本裕子, 河野寛二, 中澤正絵, 山本龍生：歯周治療による咀嚼機能回復は血糖コントロール改善に寄与するか？—特に食習慣・食栄養バランス改善の点からの考察—. *日本歯科保存学雑誌*, 67(1), 10-19, 2024.

【解説】

- K23/Ex/003 梶木恵一(監修)：唾液を知る，唾液を活かす. *デンタルハイジーン*, 43(10), 1068-1087, 2023.
- K23/Ex/004 清水智子, 梶木恵一, 神部芳則：掌蹠膿疱症. *デンタルハイジーン*, 43(11), 1184-1185, 2023.

【その他】

- K23/O/001 梶木恵一：日本における近代歯科医学としての初めての教科書. *歯界展望*, 141(6), 1256, 2023.
- K23/O/002 梶木恵一：舌乳頭の役割について知りたいです. *歯科衛生士*, 47(11), 70, 2023.
- K23/O/003 梶木恵一：唾液腺が年を取る仕組みについて教えてください. *歯科衛生士*, 47(11), 71, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- Tsukinoki K : Importance of saliva glands and preventive medicine. University of Medicine and Pharmacy at Ho Chi Minh City (UMP), Vietnam, 2024.3.1.
- Sakaguchi W : Expression of citrullinated α 1-antitrypsin (A1AT) from saliva using the DBA mouse model of rheumatoid arthritis. Topics appearing for the first time in Vietnam-Salivary Gland- Latest research from Japan, University of Medicine and Pharmacy at Ho Chi Minh City (UMP), Vietnam, 2024.3.1.

〔シンポジウム講演〕

- 梶木恵一：マイクロバイオームから考える乾癬関連疾患. 第38回日本乾癬学会学術大会, 東京, 2023.8.26.
- 梶木恵一：掌蹠膿疱症性骨関節炎と歯科—医科歯科連携を目指して—. 第32回リウマチ学会近畿支部学術集会, 奈良, 2023.8.27.

〔教育講演〕

- 梶木恵一：腸-唾液腺相関と全身の健康. ジャパンオーラルヘルス学会第25回学術大会, 東京, 2023.12.9.

[学術講演]

- 槻木恵一：口腔がん検診と腫瘍学について。葛飾区学校歯科医会学術講演会，東京，2024.1.22.

[市民公開講演]

- 槻木恵一：もう「ツバ」とは呼ばせない!脅威の唾液健康パワーを高めて健康長寿。2023年度日臨技首都圏支部・関甲信支部医学検査学会(第59回)，横浜，2023.11.25.

[一般発表・国際学会]

- Yamamoto Y, Takahashi T, Morozumi T, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Saita M, Tsukinoki K : Effect of α - and β -starch in Rice on cecal Short-Chain Fatty Acid Concentration and Salivary Immunoglobulin A Levels in Rats. 16th International Scientific Conference on Probiotics, Prebiotics, Gut Microbiota and Health, Bratislava, Slovakia, 2023.6.20-22.

[一般発表・国内学会]

- 山本裕子，高橋徹，両角俊哉，猿田樹理，坂口和歌子，東雅啓，清水智子，斉田牧子，槻木恵一：米の α でんぷんと β でんぷんの含有比率の違いがラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響。第77回日本栄養・食糧学会大会，札幌，2023.5.12-14.
- 山本裕子，猿田樹理，坂口和歌子，東雅啓，清水智子，両角俊哉，田村宗明，高橋徹，根岸紘生，土橋英恵，市川愛弓，下仲敦，横尾岳大，唐舒宜，牧野聖也，狩野宏，北條研一，槻木恵一：ヨーグルト摂取が口腔内常在菌に交叉する唾液中IgAレベルに与える影響。第66回春季日本歯周病学会学術大会，高松，2023.5.26-27.
- 槻木恵一：唾液ケアによる健康増進の意義と新たな口腔健康戦略による健康長寿の実現について。第18回ファンクショナルフード学会研修会，東京，2023.8.25.
- 槻木恵一：セルフケア・プロケアが引き出す唾液機能向上による感染予防をめざせ。第9回日本国際歯科大会2023，横浜，2023.9.29-10.1.
- 清水智子，鎌田要平，佐藤五月，山本裕子，槻木恵一，小牧基浩：ヒト歯肉上皮培養細胞におけるSARS-CoV-2感染促進因子のサイトカインによる影響についての研究。第66回秋季日本歯周病学会学術大会，長崎，2023.10.13-14.
- 山本裕子，槻木恵一：フラクトオリゴ糖摂取によるヒト唾液中IgA分泌速度の変化。日本食品免疫学会第19回学術大会，東京，2023.11.14-15.
- 山本裕子，高橋徹，両角俊哉，猿田樹理，坂口和歌子，清水智子，東雅啓，窪田展久，河田亮，槻木恵一：米粉摂取がラット腸内細菌叢と唾液中IgAレベルに与える影響。第2回日本唾液ケア研究会学術集会，横須賀，2023.11.26.
- 堰啓介，曾我俊博，山本裕子，槻木恵一：フラクトオリゴ糖摂取によるヒト唾液中IgA分泌速度の変化。第2回日本唾液ケア研究会学術集会，横須賀，2023.11.26.
- 横尾岳大，唐舒宜，中村真梨枝，牧野聖也，狩野宏，北條研一，山本裕子，槻木恵一：ヨーグルトの摂取が風邪症候群への罹患リスクとヒトコロナウイルスに交叉する唾液中IgA量に与える影響。第2回日本唾液ケア研究会学術集会，横須賀，2023.11.26.

[講演会・セミナー等]

- 槻木恵一：一人ひとりの健口および健幸社会への実現の道。ヨシダ，東京，2023.4.15-16. /

口の健康が命を守るー口腔における感染予防のメカニズムと歯科ー. EPメディアイト, 東京, 2023.5.17. /「全身の健康を口から考える」セミナー. ifia 座長, 東京, 2023.5.18. /こんなにすごい!体内マスクで健康長寿～魔法のカクテル唾液の脅威のパワーが命を守る～. 三重県保健医協会, 三重, 2023.7.30. /唾液は魔法のカクテル. 日本ホロス臨床統合医療機構, オンライン, 2023.9.3. /唾液をかたろうー歯科医療における唾液の再考ー. 会津若松歯学研究会, 福島, 2023.9.16. /知られざる唾液のちからー口腔機能の維持向上は唾液ケアからー. 日本医療福祉生活協同組合, オンライン, 2023.10.21. /唾液の真実 唾液の機能性的意義の再考と健康効果向上法について. 神奈川歯科大学同窓会東京支部, 東京, 2023.10.28. /口カラカラは、万病のもと!ー口腔機能を高めるには歯ブラシと唾液のケアからー. 多摩市市民講座, 東京, 2023.11.12. /腸-唾液腺相関と全身の健康. 唾液腺が腸と関連する臓器間ネットワークから歯科医療の未来を考える. 宮崎県歯科医師会資質向上研修会, 宮崎, 2023.12.2. /スゴイぞ唾液ー口の健康から全身の健康を目指せー. 宮崎県歯科医師会, 宮崎, 2023.12.3. /天野敦雄×槻木恵一×井上和「唾液を語る」. 1D, オンライン, 2023. /こんなにスゴイ!唾液ーお口カラカラは早死にの元、唾液の鍛え方教えます!. 日本歯科先端技術研究所市民公開講座, 東京, 2024.3.3. /「もうツバとは呼ばせない」唾液の持つ免疫機能向上法の紹介と歯科の意義について. 神奈川歯科大学同窓会青森支部, 青森, 2024.3.9.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 猿田樹理(代表), 槻木恵一(分担), 杉本昌弘(分担), 山本利春(分担), 坂口和歌子(分担): BDNFを介した唾液腺ー脳ネットワークによる精神障害の病態発症メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K09935, 2022～2024年度.
- 山本裕子(代表), 槻木恵一(分担), 両角俊哉(分担), 高橋徹(分担): 糖尿病が唾液腺に与える影響の解明:IgAに着目した糖尿病患者の感染症予防対策. 基盤研究(C), 22K10355, 2022～2024年度.
- 坂口和歌子(代表): 口腔と腸管内細菌叢同定の変化による関節リウマチメカニズム解明. 若手研究, 22K17029, 2022～2024年度.

〔賞〕

- 坂口和歌子: 令和5年度甲種奨学者: 神奈川歯科大学同窓会. 2024.2.24.

〔報道・記事〕

- 槻木恵一: 煙草の害. 高歯会報, 第790号, pp.33, 2023.7.
- 槻木恵一: 歯・唾液・舌からの心身リセット「最先端のお口ケア」. からだにいいこと, 第19巻第5号(通巻第205号), pp.51-54, 2023.8.16.
- 槻木恵一: 唾液を介した健康維持の重要性を周知. 食品化学新聞, 第2996号, pp.2, 2023.10.19.
- 槻木恵一: 唾液力アップで健康増進 知っておきたい唾液パワー. けあふる, pp.2-4, 2023.10.25.
- 槻木恵一: 病気や老化を防ぐ唾液のすごい健康パワーとは?. Health mates, pp.4-6, 2023.11.1.
- 槻木恵一: 健康の新常識!? 唾液の質と量で病気が防げるって本当!?. 美ST, 第16巻第3号, pp.86-87, 2024.1.17.

[テレビ出演]

- 槻木恵一：カレーうどんの不思議. チコちゃんに叱られる, NHK, 2023.5.26.
- 槻木恵一：夏休み感染症リスク増 体内バリア強化を. ゴゴスマ, CBC, 2023.8.18.
- 槻木恵一：インフル「唾液」で感染対策. THE TIME, TBS, 2023.10.12.
- 槻木恵一：インフル「唾液」で感染対策. THE TIME, TBS, 2023.11.8.
- 槻木恵一：健求者～こだわりの元気食～. テレビ朝日, 2023.11.29.

生体機能学講座

▶ 口腔生理学分野

代表者：高橋聡子

1 | 教員・大学院生・他

准 教 授：高橋聡子
講 師：水野潤造

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部歯学科では1年生「生理学I」、2年生「生理学II」、3年生「薬理学」「唾液腺学」、4年生「総合歯科学」「医療コミュニケーション」、5年生「臨床実習」、6年生「総合歯科学II」内の生理学・口腔生理学および薬理学関連のユニットを担当した。生理学は基礎医学の根幹をなしていることから、人の生命活動が分子から個体レベルに亘って、精巧なメカニズムによって営まれていることを理解させることを目標に教育した。とくに4年次以降は、臨床実習にむけて必要となる生理学・口腔生理学の要点について教育した。短期大学部看護学科では生化学および臨床栄養学の講義を担当した。生化学では主に栄養素を中心とした生化学的知識の習得を目標に教育した。臨床栄養学では栄養素の作用や過不足による病態を理解させ、看護師として疾患を栄養状態から眺められ、チーム医療に携われることを目標に教育した。東京歯科衛生専門学校では解剖学と口腔解剖学の講義を担当した。解剖学では歯科衛生士として必要な人体の構造の全体像を理解させることを目標に教育した。口腔解剖学では歯科衛生士にとっての専門領域である口腔付近と歯の詳細な解剖学を学び、臨床へつながる基礎知識を獲得させることを目標に教育した。また、大学院歯学研究科では大学院共通講義内学術発表、論文作成法、演習等を担当した。

研究：レーザードップラー法による口腔、全身の循環機能評価に加え、多数の他分野の研究者と協力し、歯周病モデル動物の循環機能評価や形態学的解析により、歯周病を含めた生活習慣病の進行と全身と口腔循環機能の変化との関連性について積極的に研究を行った。(高橋)
従来より行ってきた口腔ケアによる高齢者の認知機能向上に関わる画像解析に加え、悪い噛み合わせによる不定愁訴の神経科学的解明、さらに記憶形成に関与する海馬CA1ニューロンの膜特性およびシナプス入力 of 解析をテーマとして研究を進めた。(水野)

社会活動：神奈川歯科大学学会評議員、日本微小循環学会評議員、日本薬理学会評議員として学会活動に積極的に関わった。また、日本抗加齢医学会評議員抗加齢専門医として健康増進活動に携わった。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/002 高橋俊介, 高橋聡子, 吉野文彦, 吉田彩佳: 18章. 局所麻酔薬. pp.134-141. 鈴木邦明監修: 現代歯科薬理学. 第7版, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【原著論文】

K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K: Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. *Medicina*, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789

4 | その他の業績・活動

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担): 循環器疾患を有する患者の歯周病治療戦略—抗酸化物質クルクミンの効果の基礎的解析. 基盤研究(C), 18K09610, 2018~2023年度.
- 吉田彩佳(代表), 吉野文彦(分担), 高橋聡子(分担): 医薬品色素を応用したaPDT—薬剤耐性を考慮した新規カンジダ症治療の基礎的解析—. 基盤研究(C), 21K10241, 2021~2023年度.
- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 今泉うの(分担), 高橋俊介(分担), 東雅啓(分担): 加齢に伴う歯周病の進行に対する歯肉マッサージの効果の解析. 基盤研究(C), 23K09176, 2023~2026年度.

▶ 歯科薬理学分野

代表者: 高橋俊介

1 | 教員・大学院生・他

教授: 高橋俊介
准教授: 吉野文彦
特任講師: 北濱誉, 徳富文彬, 萩原鉄也, 秦光潤, 宮本千央
特任講師(無給): 大森陽一, 田賀龍生, 前谷崇志

2 | 2023年度の活動内容

教育: 3年生「薬理学」, 4年生「総合歯科学I」, 5年生「臨床実習」, 6年生「総合歯科学II」内の薬理学関連の科目を担当した。6年生では、「科学的探究力／臨床問題解決能力の修得」を担当し、担当教員のこれまでの研究内容を通じて、学生に将来の科学的探究力を訴求した。また、大学院教育では、大学院共通講義内学術発表、演習や多分野最新研究を担当した。これらの期間を通じて、口腔生理学など他分野と協力し、薬理学の基本的な概念をわかりやすくまとめたスライドと配布資料を用いて教授した。これらの資料を統合・整理し、実際の歯科臨床で応用でき

るように問題解決型の学修を行った。4年次以降は、より臨床的な場面を想定し、多様な他科目との関連問題の演習と解説を実施した。

社会活動：神奈川歯科大学学会理事，学会評議員として，学会活動に積極的に関わった。歯科基礎医学会代議員，日本薬理学会評議員，日本抗加齢医学会評議員抗加齢専門医および評議員として健康増進活動に携わった。Nature Publishing Group発刊のScientific ReportsのEditorial Board Memberとして科学研究検討作業を行った。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/002 高橋俊介, 高橋聡子, 吉野文彦, 吉田彩佳 : 18章. 局所麻酔薬. pp.134-141. 鈴木邦明監修 : 現代歯科薬理学. 第7版, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【原著論文】

K23/OP/019 Imaizumi U, Inaba K, Kurahashi A, Kuroda H, Sanuki T, Yoshida A, Yoshino F, Hamada N : Effectiveness of curcumin-based antimicrobial photodynamic therapy against *Staphylococcus aureus*. Journal of Oral Science, 65(4), 270-274, 2023.

K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K : Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. Medicina, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789

K23/OP/020 Tsukimoto S, Kitaura A, Kuroda H, Imaizumi U, Yoshino F, Yoshida A, Nakao S, Ohta N, Nakajima Y, Sanuki T : Anti-inflammatory potential of remimazolam: A laboratory and clinical investigation. Immunity, Inflammation and Disease, 12, e1218, 2024. doi: 10.1002/iid3.1218

K23/OP/025 吉野文彦 : 光感受性物質を利用した口腔癌治療への光線力学療法への応用. 神奈川歯学, 58(1), 61-64, 2023.

4 | その他の業績・活動

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担) : 循環器疾患を有する患者の歯周病治療戦略—抗酸化物質クルクミンの効果の基礎的解析. 基盤研究(C), 18K09610, 2018~2024年度.
- 吉野文彦(代表), 吉田彩佳(分担), 居作和人(分担) : 青色光を応用した光線力学療法による新規口腔癌治療法の検討. 基盤研究(C), 20K10127, 2020~2023年度.
- 吉田彩佳(代表), 吉野文彦(分担), 高橋聡子(分担) : 医薬品色素を応用したaPDT—薬剤耐性を考慮した新規カンジダ症治療の基礎的解析— . 基盤研究(C), 21K10241, 2021~2023年度.
- 東雅啓(代表), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担) : 歯科的アプローチによる健康長寿社会のための未病の予測・管理システムの構築. 基盤研究(C), 22K10320, 2022~2024年度.

●遠山歳三(代表), 稲葉啓太郎(分担), 築山光一(分担), 浜田信城(分担), 吉野文彦(分担) : 難治性カンジダ症に対する赤外自由電子レーザーを用いた新規治療法の開発. 基盤研究(C), 22K10350, 2022~2025年度.

●高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 今泉うの(分担), 高橋俊介(分担), 東雅啓(分担) : 加齢に伴う歯周病の進行に対する歯肉マッサージの効果の解析. 基盤研究(C), 23K09176, 2023~2026年度.

[ホームページ]

●吉野文彦, 吉田彩佳 : <http://www.labs.kdu.ac.jp/pmd/>

分子生物学講座

▶ 口腔細菌学分野

代表者：浜田信城

1 | 教員・大学院生・他

教授：浜田信城
講師：稲葉啓太郎
助教：倉橋絢子
特任准教授：遠山歳三
特任講師：藤岡隼, 古谷田泰徳

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部教育では，2年生科目である「微生物学」を担当した。また，1年生「PBL演習」，4年生「総合歯科学I」，5年生「臨床実習」，6年生「総合歯科学II」で講義を担当した。短期大学部教育では，看護学科1年生科目である「微生物と人間生活」，歯科衛生士学科1年生科目である「微生物学〈含，免疫学〉」の講義を担当した。大学院では，「研究基盤学」と「多分野最新研究学」の講義を担当した。

研究：口腔環境の健全のため，義歯等に酸化亜鉛を特殊加工した材料を添加し，その有効性について検討した。さらに，石けんの天然成分である脂肪酸塩の口腔バイオフィルムに対する効果について継続的に検討した。また，これらの研究とともに，歯周病に利用可能な生薬や漢方薬などの天然物質の検討を行い，口腔細菌に対する殺菌効果とともに実験的歯周炎モデルを用いた歯周病の改善効果について結果が得られた。

社会活動：公的事業への委員として参画した。また，スタディーグループでのオンライン動画配信を行った。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/004 浜田信城：2.C. 細菌の遺伝. pp.40-46 / 6.B.4. グラム陰性桿菌. pp.311-317 / 6.B.5. 口腔スピロヘータ. 317-318 / 6.B.6. マイコプラズマ. pp.318 / 6.B.7. 真菌・原虫・ウイルス. pp.318. / 浜田信城, 眞島いづみ：6.B.3. グラム陰性球菌. pp.309-310. 石原和幸 [ほか] 編集・執筆：口腔微生物学—感染と免疫—. 第8版, 学建書院, 東京, 2024.

【原著論文】

- K23/OP/001 Tamiya J, Sakaguchi W, Nakagawa K, Yamamoto T, Saruta J, Kubota N, Kawata A, Hasegawa I, Hamada N, Tsukinoki K : Detection of SARS-CoV-2 and Its Related Factors on the Mucosal Epithelium of the Tongue. *Acta Histochemica et Cytochemica*, 56(2), 29-37, 2023.
- K23/OP/015 Tomiyama K, Ishizawa M, Watanabe K, Kawata A, Hamada N, Mukai Y : Antibacterial effects of surface pre-reacted glass-ionomer (S-PRG) filler eluate on polymicrobial biofilms. *American Journal of Dentistry*, 36(2), 91-94, 2023.
- K23/OP/019 Imaizumi U, Inaba K, Kurahashi A, Kuroda H, Sanuki T, Yoshida A, Yoshino F, Hamada N : Effectiveness of curcumin-based antimicrobial photodynamic therapy against *Staphylococcus aureus*. *Journal of Oral Science*, 65(4), 270-274, 2023.
- K23/OP/026 Koura Y, Tomiyama K, Kunimatsu Y, Hamada N, Mukai Y : Microbial shift of oral biofilm associated with remineralization of root dentin lesions. *American Journal of Dentistry*, 37(1), 47-52, 2024.
- K23/OP/027 Kariu T, Hamada N, Lakshmyya K : Luteolin inhibits *Porphyromonas gingivalis* growth and alleviates alveolar bone destruction in experimental murine periodontitis. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 88(1), 37-43, 2024.
- K23/OP/017 Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Role of MAPKs in TGF- β 1-induced maturation and mineralization in human osteoblast-like cells. *Journal of Oral Biosciences*, 66, 61-67, 2024.
- K23/OP/018 Lee S, Haraga H, Satoh T, Mutoh N, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effect of periodontitis induced by *Fusobacterium nucleatum* on the microbiota of the gut and surrounding organs. *Odontology*, 112, 177-184, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effects of multi-walled carbon nanotubes on mineralization of human cementoblasts. 22nd Scientific Congress of the Asian Pacific Endodontic Confederation, Taipei, Taiwan, 2023.8.25-27.
- Toyama T, Zen H, Fujioka J, Watanabe K, Yoshida A, Inaba K, Sasayama K, Yoshino F, Hamada N : Bactericidal effect of the infrared free electron laser. 14th International Symposium of Advanced Energy Science, Kyoto, Japan, 2023.8.30-9.1.

〔一般発表・国内学会〕

- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴 : 多菌種バイオフィルム存在下での再石灰化に伴う歯根象牙質上の細菌叢変化. 第4回象牙質歯髓治療学会学術大会, 徳島, 2023.5.13.
- 王珽萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之 : 象牙質接着材のセメント芽細胞に対する細胞障害性に関する研究. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.

- 天野カオリ, 稲葉啓太郎, 志賀華絵, 浜田信城: OVXラットにおけるHSP70発現とエストロゲン値の相関関係について. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.9.16-18.
- 王琿萱, 渡邊清子, 室町幸一郎, 浜田信城, 石井信之: カーボンナノチューブのセメント芽細胞に対する石灰化誘導能に関する研究. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴: 根面齲蝕の再石灰化に伴うバイオフィルム細菌叢の変化. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 富山潔, 渡邊清子, 浜田信城, 齋藤正寛, 向井義晴: 柿タンニンによる持続的抗菌効果と口腔内細菌叢の健全化. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴: 根面齲蝕の再石灰化に伴う歯面バイオフィルム細菌叢の変化. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 富山潔, 渡邊清子, 浜田信城, 齋藤正寛, 向井義晴: 柿タンニンが多菌種バイオフィルムの健全化に与える影響. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 佐藤武則(代表), 浜田信城(分担), 半田慶介(分担): ニコチアナミンを用いた新規歯周治療の提唱. 基盤研究(C), 22K10301, 2022~2024年度.
- 遠山歳三(代表), 稲葉啓太郎(分担), 築山光一(分担), 浜田信城(分担), 吉野文彦(分担): 難治性カンジダ症に対する赤外自由電子レーザーを用いた新規治療法の開発. 基盤研究(C), 22K10350, 2022~2025年度.

〔賞〕

- 遠山歳三: 神奈川歯科大学学会檜垣賞(基礎部門): Investigation of bactericidal effect of a mid-infrared free electron laser on *Escherichia coli*. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会. 2023.11.25.
- 鈴木二郎, 稲葉啓太郎: 神奈川歯科大学学会堀研究奨励賞: 新規ペーストタイプMTA系根管用シーラーの物理的特性および抗菌効果. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会. 2023.11.25.

▶ 口腔生化学分野

代表者: 半田慶介

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 半田慶介
講 師: 居作和人, 佐藤武則

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部1年生生化学I(モジュール責任者), 2年生生化学II(モジュール責任者), 3年生唾液腺学, 6年生臨床実習IIにて講義を担当した。歯学部教学部長を務めた。(半田)

歯学部1年生「生化学I」, 「PBL演習」, 「栄養学・食育」(モジュール責任者), 2年生「歯の形態」, 4年生の「総合歯科学」, 「医療コミュニケーション」, 6年生「総合歯科学II」のユニット担当者として講義と実習を担当した。(居作)

歯学部1年生「PBL演習」, 「生化学I」, 「振り返り学修」の講義と演習, 2年生「生化学II」の講義と演習, 5年生「臨床座学」と6年生総合歯科学IIの生化学講義を担当した。また歯学部2年生のクラス担任を務めた。(佐藤)

研究：歯槽骨の水平的な骨欠損に対する前骨芽細胞を用いた再生療法開発のため, モデル動物を用いた移植実験や足場材の開発を進めた。また根尖性歯周炎モデルを用いて天然成分による歯槽骨再生研究や微小重力環境下における骨芽細胞の分化に関する研究を実施した。またCGFを用いた骨再生に関する論文を執筆した。(半田)

副作用のない癌の治療法の開発を目的として研究を行い, 身体に存在するケモカインCXCL14が癌幹細胞の分化を促進して腫瘍の増殖を抑制する機構を細胞培養法や動物実験モデルを用いて, 生化学的検索及び組織学的検索を行った。(居作)

慢性歯周炎の予防法や治療方法の確立を目的に天然由来成分やIL-17特異抗体を用いた動物実験モデルにより歯槽骨の形態学的解析や病理組織学的解析を進め, 抗炎症作用や抗菌活性について*in vitro*で評価した。また抜歯後における歯槽骨の早期回復を目的として新規骨補填材を用いた動物実験を行ったほか, 矯正学的な歯の移動時の造骨評価も行った。これらの研究成果に加え, 学内の他講座との連携を深めた研究活動を進め, 積極的に学会発表や論文報告を行った。(佐藤)

社会活動：日本再生歯科医学会理事として活動し, 国内外に歯科における再生療法の普及に尽力した。また横須賀高校, 横浜雙葉高校をはじめとした中高の連携講義を担当し, 神奈川歯科大学の広報およびリクルート活動を行った。(半田)

本学のオープンキャンパスや入試業務に参加し, 本学の広報およびリクルート活動に貢献した。内部質保証委員会の委員として自己点検・評価報告書の確認作業を行い大学の業務に尽力した。(居作)

本学の動物実験倫理委員会の安全主任として学内に向けて随時動物実験に関する情報提供を行うとともに申請された動物実験計画書の審査や施設講習会の運営に携わった。また日本再生歯科医学会の評議員として活動し学会の普及に尽力したほか, 本学と提携している中高校生対象の大学体験プログラム実習を担当し, 本学の広報活動に参加した。(佐藤)

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/028 Yahata Y, Handa K, Ohkura N, Okamoto M, Ohshima J, Itoh S, Kawashima N, Tanaka T, Sato N, Noiri Y, Hayashi M, Okiji T, Saito M : Autologous concentrated growth factor mediated accelerated bone healing in root-end microsurgery: A multicenter randomized clinical trial. *Regenerative Therapy*, 24, 377-384, 2023.

K23/OP/018 Lee S, Haraga H, Satoh T, Mutoh N, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effect of periodontitis induced by *Fusobacterium nucleatum* on the microbiota of the gut and surrounding organs. *Odontology*, 112, 177-184, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

- Sato T, Handa K : Interleukin-17 receptor antagonist reduces inflammatory response in experimental periodontitis. FDI World Dental Congress 2023, Sydney, Australia, 2023.9.24-27.

〔一般発表・国内学会〕

- 二瓶智太郎, 片山裕太, 黒田哲郎, 中村圭佑, 和田悠希, 緑野智康, 青木香, 押川亮宏, 下山和夫, 大橋桂, 半田慶介 : 超高透光性ジルコニアの光透過性に関する研究. 第81回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2023.4.15-16.
- 佐藤武則, 半田慶介 : 抗IL-17抗体が実験的歯周炎に与える影響. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 二瓶智太郎, 片山裕太, 緑野智康, 三宅香, 大橋桂, 半田慶介 : シランカップリング層の接着耐水性に関する研究—長鎖アルキル基を有するシランカップリング剤の効果—. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 居作和人, 畑隆一郎, 半田慶介 : ヒト血清中ケモカインCXCL14/BRAKのELISA測定法の検討. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.9.16-18.
- 大橋桂, 佐藤武則 : バイオカップリング剤の開発と骨再生促進材の創製. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 小池亮太, 佐藤武則, 大橋桂, 二瓶智太郎, 半田慶介, 山口徹太郎 : 改質骨補填材による骨回復後の矯正学的な歯の移動について. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 半田慶介(代表), 齋藤正寛(分担), 二瓶智太郎(分担) : 模擬微小重力環境下における前骨芽細胞の未分化性維持のメカニズム解明. 基盤研究(C), 21K09944, 2021~2023年度.
- 佐藤武則(代表), 浜田信城(分担), 半田慶介(分担) : ニコチアナミンを用いた新規歯周治療の提唱. 基盤研究(C), 22K10301, 2022~2024年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 佐藤武則(代表) : 還元型クルクミンを用いた歯槽骨再生効果の基礎的検討. 神奈川歯科大学大学院プロジェクト研究, No.13, 2023年度.

社会歯科学講座

▶ 口腔衛生学分野

代表者：山本龍生

1 | 教員・大学院生・他

教	授：山本龍生
准 教	授：入江浩一郎
講	師：川村和章，宋文群
助	教：持田悠貴
大 学 院 生	：上田晴香(4年)，ALTANBAGANA NANDIN UCHRAL(2年)
名 誉 教 授	：平田幸夫
客 員 教 授	：赤澤俊一，瀧口徹，深井穂博，古澤利武，渡辺孝夫
特 任 教 授	：木本一成
特任講師(無給)	：安藤雄一，金樹太郎，木村多恵子，増井峰夫，吉田ウジャール

2 | 2023年度の活動内容

教育：コース責任者として社会系を担当し，科目担当責任者として第2学年の「衛生学」，第3学年の「予防歯科学」と「社会歯科学」，第4学年の「医療安全」を担当した。また，第2学年の「振り返り学修II」，第3学年の「振り返り学修III」，第4学年の「総合歯科学I」，第5学年の「臨床実習I」，第6学年の「総合歯科学II」を分担した。大学院の授業科目として1年次の「研究基盤学」と「医学統計演習」，2年次の「多分野最新研究学」と「社会歯科学実習」，4年次の「研究論文演習」と「歯科保健政策特論」を担当し，分担科目として3年次の「口腔科学演習」を担当した。その他，歯学部及び大学院の教育関連の各種委員会に参画した。また，学外においては，歯科医師試験委員，歯科技工士国家試験委員，神奈川県，横浜市，藤沢市，茅ヶ崎市，小田原保健福祉事務所および厚木保健福祉事務所の歯科保健関係の委員として協力した。

研究：社会に内在する歯科的な課題を解決し，一生自分の歯で食べられる社会を実現するために，政策に直結する研究を目指している。2023年度は，科学研究費助成事業の研究代表者として3課題，研究分担者として3課題を担当した。その他，学内における研究関係の各種委員会に参画するとともに，国内の学会における理事等の活動，そして国内外の学術雑誌の査読を行った。

社会活動：本分野の特徴といえる社会貢献のうち，公的な貢献として，神奈川県下の歯科医師会や自治体が行う地域保健の推進事業や委員会への参画，神奈川県の団体が主催する講演会等に積極的な協力を行った。また，各種団体の発行する広報誌への寄稿等を通じて研究成果の公表や歯科保健に関する情報の普及に努めた。

その他：法人の委員会に参画し，管理運営に協力した。九州大学，大阪大学，岡山大学の歯学部で一部授業を担当した。

3 | 研究業績

【著書】

- K23/B&C/005 荒川浩久, 川村和章, 宋文群, 荒川勇喜, 戸田真司: 医療スタッフのための衛生学エッセンス 2024/2025. 第7版, 学建書院, 東京, 2024.
- K23/B&C/006 山本龍生: 9.E. 公的扶助. pp.213-214 / 9.F. 公的医療保障. pp.214-215. 尾崎哲則, 鳥山佳則, 平田創一郎, 藤井一維, 山本龍生編集: スタンダード社会歯科学. 第8版, 学建書院, 東京, 2023.
- K23/B&C/007 山本龍生: II編.CHAPTER 2.I. 歯科医療の法的意義. pp.21-25. 日本歯科医療管理学会編: 新版 歯科医療管理—安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために. 第3刷, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- K23/B&C/008 木本一成: 第8章.6.⑨. 地域におけるフッ化物応用. pp.283-286. 杉原直樹 [ほか] 監修・執筆: 口腔衛生学2024. 一世出版, 東京, 2024.

【原著論文】

- K23/OP/029 Nakazawa N, Kusama T, Takeuchi K, Kiuchi S, Yamamoto T, Kondo K, Osaka K, Aida J: Co-Payments and Inequality in Gingival Bleeding and Dental Visits. *International Dental Journal*, 73, 628-635, 2023.
- K23/OP/030 Kida S, Aoyama N, Fujii T, Taniguchi K, Yata T, Iwane T, Yamamoto T, Tamaki K, Minabe M, Komaki M: Influence of Meal Sequence and Number of Teeth Present on Nutrient Intake Status: A Cross-Sectional Study. *Nutrients*, 15, 2602, 2023. doi: 10.3390/nu15112602
- K23/OP/013 Irie K, Mochida Y, Altanbagana NU, Fuchida S, Yamamoto T: Relationship between risk of oral frailty and awareness of oral frailty among community-dwelling adults: a cross-sectional study. *Scientific Reports*, 14, 433, 2024. doi: 10.1038/s41598-023-50818-6
- K23/OP/014 入江浩一郎, 持田悠貴, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 淵田慎也, 東哲司, 岩井浩明, 米永崇利, 笹井保之, 友藤孝明, 山本龍生: 現在歯数28歯以上と28歯未満の成人集団における歯の喪失に関連する要因の違い—5年間のコホート研究—. *口腔衛生学会雑誌*, 73, 279-286, 2023.
- K23/OP/031 小松知子, 横山滉介, 宋文群, 萩原大, 野口毅, 高満幸宜, 渡辺匡, 戸田真司, 李昌一, 井野智: 障害者支援施設での摂食嚥下リハビリテーションのオンライン指導の検討. *障害者歯科*, 44, 213-222, 2023.
- K23/OP/032 山本龍生, 遠又靖丈, 田中直人, 西澤昭人, 玉置勝司: 高齢者への義歯治療とオーラルフレイル改善プログラム・栄養指導が口腔機能と栄養状態に与える効果. *老年歯科医学*, 38(2), 48-55, 2023.

【総説】

- K23/R/004 Irie K, Azuma T, Tomofuji T, Yamamoto T: Exploring the Role of IL-17A in Oral Dysbiosis-Associated Periodontitis and Its Correlation with Systemic Inflammatory Disease. *Dentistry Journal*, 11, 194, 2023. doi: 10.3390/dj11080194
- K23/R/003 三辺正人, 山本裕子, 河野寛二, 中澤正絵, 山本龍生: 歯周治療による咀嚼機能回復は血糖コントロール改善に寄与するか?—特に食習慣・栄養バランス改善の点からの考察—. *日本歯科保存学雑誌*, 67(1), 10-19, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 山本龍生：企業等で実施してきた唾液検査による歯周病リスク判定等と、臨床で使用される PISA. 第72回日本口腔衛生学会学術大会, 大阪, 2023.5.19-21.
- 山本龍生：神奈川歯科大学歯学部における歯科医療管理学教育の現状と課題. 第64回日本歯科医療管理学会総会・学術大会, 岐阜, 2023.7.14-16.
- 山本龍生：国民皆歯科健診における歯周病検診の意義と、唾液を検体とした歯周病リスク判定を活用した集団歯科健診の実際. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.

〔ワークショップ講演／コーディネーター〕

- 木本一成：歯科大学・歯学部における「スポーツ歯学」への取り組みー2023年度カリキュラムでの卒前教育の現状ー. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会, 福岡, 2023.11.17.

〔一般発表・国際学会〕

- Irie K, Mochida Y, Altanbagana NU, Fuchida S, Azuma T, Iwai K, Sasai Y, Tomofuji T, Yamamoto T : Factors Associated with Tooth loss in Patients with 28 or More and Less Teeth. 15th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Hong Kong, 2023.11.8-11.

〔一般発表・国内学会〕

- 入江浩一郎, 東哲司, 岩井浩明, 米永崇利, 笹井保之, 山本龍生, 友藤孝明：健診データを用いた歯周状態と内臓脂肪面積, 皮下脂肪面積との関連. 第72回日本口腔衛生学会学術大会, 大阪, 2023.5.19-21.
- 持田悠貴, 山本龍生, 入江浩一郎, 瀧田慎也, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 相田潤, 竹内研時, 藤田美枝子, 近藤克則：オーラルフレイルの地域差と地域差に関連する要因：横断研究. 第72回日本口腔衛生学会学術大会, 大阪, 2023.5.19-21.
- アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 宋文群, 持田悠貴, 入江浩一郎, 山本龍生：神奈川県令和2年度県民歯科保健実態調査結果を用いた自己申告の3歳児う蝕に関連する要因. 第72回日本口腔衛生学会学術大会, 大阪, 2023.5.19-21.
- 恒石美登里, 山本龍生, 入江浩一郎, 瀧田慎也, 持田悠貴, 古田美智子, 山本秀樹, 小玉剛, 佐藤保：某職域における口腔疾患に起因する仕事への支障の実態と関連する要因：横断研究. 第72回日本口腔衛生学会学術大会, 大阪, 2023.5.19-21.
- 入江浩一郎, 瀧田慎也, 東哲司, 友藤孝明, 山本龍生：特定の腸内細菌が口腔領域の免疫に与える影響について. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 玉置勝司, 田中直人, 西澤昭人, 山本龍生, 遠又靖丈：高齢者の機能歯増加処置および栄養指導 がフレイル改善に及ぼす可能性の検証. 日本老年歯科医学会第34回学術大会, 横浜, 2023.6.16-18.
- 上田晴香, 青山典夫, 瀧田慎也, 持田悠貴, 三辺正人, 山本龍生：日本版の歯周炎症表面積 (PISA)計算式の開発と従来版との比較. 神奈川歯科大学学会第172回例会, オンライン開催,

2023.10.12.

- 平田貴久, 山本龍生, 両角俊哉, 杉原俊太郎, 奥口文宣, 三辺正人, 横山宏樹, 小牧基浩: 1型および2型糖尿病患者と非糖尿病の者における歯周病指標の比較. 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023.10.13-14.
- 山本龍生, 持田悠貴, 淵田慎也, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 入江浩一郎: 神奈川県成人におけるオーラルフレイルの認知度と認知度に関連する要因. 関東甲信越歯科医療管理学会第29回学術大会, 横浜, 2023.11.12.
- 木本一成, 中村陽介, 坂東陽月: 東京2020オリンピック競技大会におけるハンドボール競技運営に参画して—Athlete DentistとしてのMedical Supports—. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会, 福岡, 2023.11.18-19.
- 木本一成, 松本勝, 中島一憲, 水橋史, 鈴木浩司, 権田知也, 安井利一: 我が国の歯科大学・歯学部における「スポーツ歯学」への取り組み—2023年度カリキュラムでの卒前教育の現状—. 日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会, 福岡, 2023.11.18-19.
- 入江浩一郎, 持田悠貴, 淵田慎也, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 山本龍生: 神奈川県成人におけるオーラルフレイルの認知度と認知度に関連する要因の検討. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 持田悠貴, 淵田慎也, アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 入江浩一郎, 山本龍生: 某職域における集団及び個別の歯科健診への参加と歯科への受診回数と医療費との関係. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 小根田洋史, 山本龍生: 唾液乳酸脱水素酵素活性の日内変動および熱安定性. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.
- 伊藤奏, 田淵貴大, 山本龍生, 近藤克則, 相田潤: 高齢者における新型タバコと口腔の健康との関連について. 第34回日本疫学会学術総会, 大津, 2024.1.31-2.2.
- アルタンバガナ ナンデン ウチラル, 宋文群, 持田悠貴, 入江浩一郎, 山本龍生: 神奈川県における自己申告の3歳児う蝕に関連する要因と地域差. 神奈川歯科大学学会第173回例会, オンライン開催, 2024.2.8.

〔講演会・セミナー等〕

- 山本龍生: 歯と健康長寿のお話. 横須賀北ライオンズクラブ・横須賀ライオンズクラブ合同例会, 横須賀, 2023.5.17. / オーラルフレイルとは～全身の健康と歯及び口腔の健康づくりの関係について～. 令和5年度オーラルフレイル健口推進員養成研修, 横浜, 2023.9.28. / 国民皆歯科健診とかかりつけの歯科. 鎌倉市歯科医師会第2回学術講演会, 鎌倉, 2024.2.3. / 母子・学校歯科保健を効果的・効率的に進めるために～口腔衛生学・予防歯科学のアップデート～. 公衆衛生講演会, 平塚, 2024.2.7. / 口腔の健康について学びませんか? 歯周病とむし歯の予防から考える健康長寿へのヒント. 神奈川歯科大学短期大学部アカデミックサポート委員会ブラッシュアップ講座, オンライン, 2024.2.29.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 山本龍生(代表), 近藤克則(分担), 相田潤(分担): オーラルフレイルのゼロ次予防の定着に向けたエビデンスの構築. 基盤研究(B), 21H03153, 2021～2024年度.

- 東哲司(代表), 入江浩一郎(分担), 友藤孝明(分担) : 終末糖化産物に着目した食習慣からアプローチする歯周病リスクの検証. 基盤研究(C), 21K10267, 2021~2023年度.
- 伊藤奏(代表), 相田潤(分担), 山本龍生(分担) : 日本でしか実証できない加熱式タバコと口腔の健康の大規模コホート研究. 基盤研究(C), 22K10285, 2022~2024年度.
- 入江浩一郎(代表), 友藤孝明(分担), 東哲司(分担), 山下真幸(分担) : 口腔常在菌叢のdysbiosisに着目した口腔粘膜疾患の病態の解明. 基盤研究(C), 22K10316, 2022~2024年度.
- 持田悠貴(代表) : 職域での歯科健診を含む歯科保健対策による医療費抑制効果の10年間の検証. 若手研究, 22K17276, 2022~2024年度.
- 相田潤(代表), 山本龍生(分担), 近藤克則(分担), 笛木賢治(分担), 石丸美穂(分担), 木野志保(分担), 小坂健(分担), 財津崇(分担), 松山祐輔(分担) : 複数大型コホートとNDBや病院データを活用した、口腔の状態と全身の健康の因果推論. 基盤研究(B), 23H03117, 2023~2026年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 山本龍生 : 歯科口腔保健の推進に関する研究. 静岡県歯科医師会奨学寄付金, 2023年度.
- 山本龍生 : 歯科疾患予防に関する教育と研究. 株式会社ピー・エム・ジェー奨学寄附金, 2023年度.

〔報道・記事〕

- 山本龍生 : 研究を始めた経緯. KDU Research Support Center News Letter, 4月号, 2024.
- 入江浩一郎, 山本龍生 : 歯と口の健康は「オーラルフレイル」を知ることから. タ刊フジ, 2024.2.8.
- 入江浩一郎, 山本龍生 : 歯と口の健康は「オーラルフレイル」を知ることから. 医師向け医療ニュースはケアネット, 2024.2.26.

〔その他〕

- Yamamoto T : The Importance of Saving Your Natural Teeth (Part 1 of 3). The Mariners's Digest, Vol.71, October 2023.
- Yamamoto T : Follow These Easy Tips to Prevent Cavities! (Part 2 of 3). The Mariners's Digest, Vol.72, January 2024.
- 山本龍生 : 第3期 令和6(2024)年度~令和17(2035)年度 健康横浜21~横浜市健康増進計画・歯科口腔保健推進計画・食育推進計画~. 横浜市, 2024年3月.
- 山本龍生 : 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画(第2次)~健口かながわ推進計画~(令和6年度から令和17年度まで). 神奈川県, 2024年3月.
- 木本一成 : 松本勝先生に捧げる. スポーツ歯学, 27(1-2), 60, 2024.

1 | 教員・大学院生・他

教 授：李昌一
 特 任 教 授：庄司洋史
 特 任 助 教：横山史織

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部1年生：「災害歯科学」講義，実習を担当した。さらに，学修支援室の運営を「災害歯科学」と並行して行い，1年生の利用希望者に対し，初年時教育として歯学部学生としてのモチベーションの維持と勉強の仕方を個別指導した。4年生には主としてCBT対策勉強に対する勉強の仕方の個別指導と特別補講を行った。6年生には学修支援室で国家試験勉強の自学自習ができる環境を提供し，随時国家試験受験までの学修支援室の利用方法を指導，相談などにも対応した。

研究：これまで電子スピン共鳴(ESR)法による生物医学アプリケーションとして薬剤・飲食品の抗酸化能評価と新規抗酸化薬剤・飲食品の開発，疾患予防診断システムの開発，歯科材料・歯科臨床法の開発に携わっている。これらESR技術により病的エイジングを防ぎ，とくに「歯の健康」を維持することで未病を実現し，健康寿命を全うする抗加齢(アンチエイジング)歯科医学を確立してきた。また，このような研究成果を新しい学問である災害歯科医学に展開させ，災害関連死を防ぎ，古来日本の伝統食の再評価による地産地消を目指した産学連携と，国民のQOLの向上と健康増進に役立つ研究を進めている。今年以下テーマに関する臨床研究，基礎研究，産学連携に取り組み，並行して次世代の教育・研究者を発掘・育成し，学会で発表した。その内容はDown症候群患者の歯周病の病態メカニズムの解明および歯周病における抗菌・抗酸化併用療法の研究，電子スピン共鳴法による口腔および全身機能が唾液中の活性酸素消去能に及ぼす影響の研究，Down症候群の口腔機能と全身機能の評価と機能低下予防に関する研究，摂食嚥下機能，摂食嚥下障害に関する研究などである。

社会活動：災害歯科学分野における教育・研究活動の社会的意義が周知されるために，DRIJ医療部会での活動を続けている。

その他：日本歯科医学会評議員，日本歯科薬物療法学会常務理事，日本酸化ストレス学会関東支部会支部長，日本酸化ストレス学会理事，日本NO学会理事，Disaster Recovery Institute：DRI Japan理事，日本抗加齢医学会評議員，日本抗加齢歯科医学研究会世話人，監事，歯科基礎医学会評議員，日本薬理学会評議員，日本障害者歯科学会代議員，日本ダウン症学会評議員，高血圧関連疾患モデル学会評議員，日本結合組織学会評議員として学会活動をしている。また，「ツナガリウォーク2023」に参加(主催：一般社団法人 ヨコハマプロジェクト/共催：神奈川県)し，地域の障害児・者との交流を深めた。「第2回神奈川小児在宅歯科医療フォーラム～神奈川県における小児在宅医療の連携協働を目指して～」を主催(共催：公益社団法人神奈川県歯科医師会/社団法人横浜市歯科医師会，後援：神奈川県)し，医療的ケア児の歯科診療についての啓発活動を行った。「第5回ダウン症候群口腔ケア・フォーラム in 神奈川」を主催(共催：一般社団法人ヨコハマプロジェクト/一般社団法人IKKA，後援：公益財団法人日本ダウン症協会/公益財団法人日本ダウン症学会)し，最新の情報を患者家族，多職種で共有した。

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/031 小松知子, 横山滉介, 宋文群, 萩原大, 野口毅, 高満幸宜, 渡辺匡, 戸田真司, 李昌一, 井野智: 障害者支援施設での摂食嚥下リハビリテーションのオンライン指導の検討. 障害者歯科, 44, 213-222, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 李昌一: 歯周病予防・治療におけるESR 唾液検査の臨床展開 (小シンポジウム1「今注目されている疾患と酸化ストレスの最前線～気候変動や高齢化により注目されている疾患や治療法と酸化ストレスの関与～」). 第36回日本酸化ストレス学会関東支部会, 川崎, 2023.12.3.

〔一般発表・国内学会〕

- 近藤達郎, 三嶋博之, 北原鉄朗, 尾上洋介, 小林健史, 小松知子, 李昌一: 在宅リハビリテーション支援システム「パタカラプラス」の確立における検討. 第126回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023.4.14-16.
- 岩口真路, 石田瞭, 小松知子, 横山史織, 横山滉介, 青木涼平, 宋文群, 戸田真司, 平山暁, 小澤俊彦, 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)法を用いたオキシトシンの酸化ストレスへの基礎的検討. 第76回日本酸化ストレス学会, 神戸, 2023.5.24-25.
- 小松知子, 野口毅, 李昌一: Down症候群患者の唾液プロテオーム解析による歯周病メカニズムの検討. 第2回ダウン症基礎研究会熊本大会, 熊本, 2023.7.22-23.
- 小松知子, 横山滉介, 横山史織, 青木涼平, 野口毅, 李昌一: 超高齢社会のオーラルケアに効果的な洗口剤の開発のための基礎的検討—電子スピン共鳴(ESR)法を用いた抗酸化素材の唾液中における抗酸化能評価—. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 野口毅, 萩原大, 鎌田有一朗, 渡辺匡, 高満幸宜, 宋文群, 戸田真司, 李昌一, 小松知子: 若年Down症候群患者の唾液プロテオミクスによる歯周病発症メカニズムの検討. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 杉山郁子, 高瀬幸子, 高野知子, 山田千恵, 望月美穂, 植松里奈, 麻生綾子, 杉田武士, 小松知子, 池田正一: 当科での歯科衛生士による麻酔予約管理システムの取り組み. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 角田晃, 松下幸生, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 第7回臨床自律神経機能Forum, 川崎, 2023.11.18.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 松下幸生, 角田晃, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 野口毅, 横山滉介, 鎌田有一朗, 赤坂徹, 宮本晴美, 西山和彦, 川邊裕美, 小松知子, 李昌一, 井

野智：オンラインを用いた施設入所者に対する摂食嚥下リハビリテーションの効果. 令和5年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2024.2.18.

〔講演会・セミナー等〕

- 李昌一：超高齢者社会の健康長寿延伸を目指した医科・歯科・栄養連携による魚肉タンパクの応用. お魚たんぱく健康研究会5月のWEBセミナー, Zoom, 2023.5.16. / 科学的根拠に基づく抗菌・抗酸化歯周病予防/治療研究の最前線. 特定非営利活動法人科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会第27回講演会, 東京, 2023.12.7. / 酸化ストレスと口腔環境～人生100年時代のための口腔のアンチエイジング～. 第27回抗加齢歯科医学研究会, 東京, 2024.1.21. / 電子スピン共鳴(ESR)技術を基盤とした新しい創薬と歯科医療維新. NPO法人京都コモンズ第27回会員セミナー, 京都, 2024.1.31.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 小松知子(代表), 李昌一(分担)：歯周病の活性酸素種による酸化ストレスの役割解明と抗酸化療法への基礎的検討. 基盤研究(C), 23K09426, 2023～2025年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 近藤達郎(代表), 三嶋博之(分担), 小松知子(分担), 李昌一(分担), 太田亨(分担), 小林健史(分担), 北原鉄朗(分担)：Down症候群の構音機能に関連した口腔機能の研究. 一般社団法人日本障害者歯科学会宿題委託研究, 22001, 2022.1.1～2023.12.31.

法医学講座

▶ 法医学分野

代表者：長谷川巖

1 | 教員・大学院生・他

教	授：長谷川巖
講	師：山本伊佐夫
助	教：中川貴美子

2 | 2023年度の活動内容

教育：4年生の法医学講義・実習を担当. 歯科医師の基礎的な学問として法医学知識を取得し, 将来歯科臨床以外の身元確認作業で社会的貢献ができることを目標としている.

研究：個人識別を目的とした, 死後CTを用いた死因究明や生前写真とのスーパーインポーズ法の確立, さらに災害被災者や親子鑑定, 或は犯罪捜査の異同識別などの識別精度を高めるためのDNA分析や象牙質中アスパラギン酸のラセミ化速度を応用した年齢推定. また, 舌癒着症と子ども虐待との関わりや被虐待児の早期発見に対する開業歯科医の役割を歯科医師の立場から研究している.

社会活動：法医解剖による死因究明実務. 歯科法医学の草分けとして, 教育・研究の他に鑑定実務や警察歯科医および警察鑑識の教育とトレーニングを通して社会や歯科医師会に貢献. 2004年1月より厚生労働省の推進する戦没者遺骨のDNA鑑定に対し鑑定機関として協力するとともに鑑定連絡会議等いくつかの関連専門者会議に出席. 歯による身元確認・年齢推定・

DNA鑑定を医学部法医学教室・裁判所・検察庁・警視庁他各府県警・各科捜研さらに厚生労働省・外務省などから囑託され鑑定を行っている。公判に出廷し、DNA鑑定や子ども虐待の鑑定人として証言。日本歯科医師会主催の全国警察歯科医会、身元確認作業の実施について全国7地区災害コーディネーター(身元確認・災害歯科保健医療)研修会、さらに神奈川県・東京都・静岡県・山口県・新潟県・三重県各歯科医師会の定期的な警察歯科医のトレーニング講習会および実習に参加協力。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/009 長谷川巖(編集協力)；井上大輔編著：必修ラスパ2024 看護師国試対策. エムスリーエデュケーション, 東京, 2023.

【原著論文】

K23/OP/001 Tamiya J, Sakaguchi W, Nakagawa K, Yamamoto T, Saruta J, Kubota N, Kawata A, Hasegawa I, Hamada N, Tsukinoki K : Detection of SARS-CoV-2 and Its Related Factors on the Mucosal Epithelium of the Tongue. *Acta Histochemica et Cytochemica*, 56(2), 29-37, 2023.

K23/OP/033 Saitoh H, Sakai-Tagawa Y, Nagasawa S, Torimitsu S, Kubota K, Hirata Y, Iwatsuki-Horimoto K, Motomura A, Ishii N, Okaba K, Horioka K, Abe H, Ikemura M, Rokutan H, Hinata M, Iwasaki A, Yasunaga Y, Nakajima M, Yamaguchi R, Tsuneya S, Kira K, Kobayashi S, Inokuchi G, Chiba F, Hoshioka Y, Mori A, Yamamoto I, Nakagawa K, Katano H, Iida S, Suzuki T, Akitomi S, Hasegawa I, Ushiku T, Yajima D, Iwase H, Makino Y, Kawaoka Y : High titers of infectious SARS-CoV-2 in corpses of patients with COVID-19. *International Journal of Infectious Diseases*, 129, 103-109, 2023.

K23/OP/034 Hirata Y, Makino Y, Iida S, Katano H, Nagasawa S, Rokutan H, Hinata M, Iwasaki A, Yasunaga Y, Abe H, Ikemura M, Motomura A, Kira K, Kobayashi S, Tsuneya S, Torimitsu S, Yamamoto I, Nakagawa K, Hasegawa I, Akitomi S, Yajima D, Ushiku T, Saitoh H, Suzuki T, Iwase H : COVID-19 Analysis in Tissue Samples Acquired by Minimally Invasive Autopsy in Out-of-Hospital Deaths with Postmortem Degeneration. *Japanese Journal of Infectious Diseases*, 76, 302-309, 2023.

K23/OP/035 Nagasawa S, Hirata Y, Miyamoto S, Ozono S, Iida S, Katano H, Tsuneya S, Kira K, Kobayashi S, Nakajima M, Abe H, Ikemura M, Yamamoto I, Nakagawa K, Kubota K, Akitomi S, Hasegawa I, Ushiku T, Suzuki T, Iwase H, Makino Y, Saitoh H : Changes in SARS-CoV-2 viral load and titers over time in SARS-CoV-2-infected human corpses. *PLOS ONE*, 19(3), e0287068, 2024. doi: 10.1371/journal.pone.0287068

【総説】

K23/R/005 Haseba T, Maruyama M, Akimoto T, Yamamoto I, Katsuyama M, Okuda T : Class III Alcohol Dehydrogenase Plays a Key Role in the Onset of Alcohol- Related/-Associated Liver Disease as an S-Nitrosoglutathione Reductase in Mice. *International Journal of Molecular Sciences*, 24, 12102, 2023. doi: 10.3390/ijms241512102

【解説】

K23/Ex/005 山本伊佐夫：日本催眠学会と歯科臨床. *睡眠と科学*, 37(1), 1-3, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 山本伊佐夫：歯科身元確認作業における感染症対策. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.9.18.

〔一般発表・国内学会〕

- 齊藤久子, 永澤明佳, 平田雄一郎, 榎野陽介, 鳥光優, 小林漸, 石井名実子, 山本伊佐夫, 中川貴美子, 宇都野創, 峰岸沙希, 長谷川巖, 矢島大介, 岩瀬博太郎, 櫻田宏一, 河岡義裕：遺体に残存する新型コロナウイルスの感染性評価. 日本法歯科医学会第17回学術大会, 東京, 2023.5.14.
- 鎌倉尚史, 藤田紗英子, 中川貴美子, 山本伊佐夫, 大平寛, 山田良広, 長谷川巖：マウスの生涯を通じた血中FGF23濃度の変動. 日本法歯科医学会第17回学術大会, 東京, 2023.5.14.
- 鎌倉尚史, 藤田紗英子, 中川貴美子, 山本伊佐夫, 大平寛, 山田良広, 長谷川巖：マウスを用いた血液検査による骨形成評価方法の検討. 第107次日本法医学会学術全国集会, 小田原, 2023.6.7-9.
- 中川貴美子, 山本伊佐夫, 大平寛, 藤田紗英子, 鎌倉尚史, 山田良広, 長谷川巖：生前歯科レントゲン登録が身元確認に役立った1症例. 第92回日本法医学会学術関東地方集会, 東京, 2023.10.14.
- 山本伊佐夫, 中川貴美子, 大平寛, 藤田紗英子, 鎌倉尚史, 山田良広, 長谷川巖：脳歯科治療により心が解放された1症例. 第38回日本催眠学会学術大会, 和歌山, 2023.11.11-12.
- 山田良広, 山本伊佐夫, 大平寛, 藤田紗英子, 鎌倉尚史, 中川貴美子, 長谷川巖：2022～2023年法医鑑定概要. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 齊藤久子, 中久木康一, 永澤明佳, 榎野陽介, 山本伊佐夫, 中川貴美子, 長谷川巖, 秋富慎司, 橋爪謙一郎：COVID-19遺体のご遺族へのエンバリング効果及び医学系研究者の関わりについて—ご遺族へのアンケート調査結果より—. 第29回日本災害医学会総会・学術大会, 京都, 2024.2.22-24.
- 中川貴美子, 山本伊佐夫：インターネットを用いた「舌癒着症」検索—2011年度の検索結果との比較—. 第33回日本舌癒着症学会, 横浜, 2024.3.3.

〔講演会・セミナー等〕

- 長谷川巖：弁護士会研修会(解剖実地研修会). 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.4.27. / 葉山町役場研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.7.27. / 死亡時画像診断(Ai)における画像診断③(経時的死後変化). 令和5年度日本医師会画像診断(Ai)研修会, Web配信, 2023.11.13-2024.2.5. / 警察講義—テーマ医療過誤—. 神奈川県警察, 相模原, 2023.11.16.
- 山本伊佐夫：静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2023.4.9. / 弁護士会研修会(解剖実地研修会). 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.4.27. / 電磁波入門講座. 日本厚生協会, 横浜, 2023.6.11. / 葉山町役場研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.7.27. / 函館歯科医師会身元確認研修会. 函館歯科医師会館, 函館, 2023.9.2. / 歯科身元研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.10.29. / 新潟県歯科医師会身元確認研修会. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2023.12.10. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀,

2023.12.13. / 山口県歯科医師会身元確認研修会. 山口県歯科医師会館, 山口, 2024.1.28.
/ 災害対策委員会(身元確認班、医療提供班)研修会. 長崎県歯科医師会館, 長崎, 2024.2.24.
/ 電磁波入門講座. 日本厚生協会, 横浜, 2024.3.2.

- 中川貴美子: 静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2023.4.9. / 弁護士会研修会(解剖実地研修会). 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.4.27. / 葉山町役場研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.7.27. / 函館歯科医師会身元確認研修会. 函館歯科医師会館, 函館, 2023.9.2. / 歯科身元研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.10.29. / 新潟県歯科医師会身元確認研修会. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2023.12.10. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.12.13.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 山本伊佐夫(代表), 徳野慎一(分担): 子ども虐待予防:舌喉頭矯正術による児の育児困難症状改善と母親の疲労改善の評価. 基盤研究(C), 19K02626, 2019~2023年度.
- 鎌倉尚史(代表), 中川貴美子(分担), 山本伊佐夫(分担), 大平寛(分担), 藤田紗英子(分担): 血液による年齢推定や骨折の診断を可能にするデータベースの構築. 挑戦的研究(萌芽), 21K19678, 2021~2023年度.

〔賞〕

- 長谷川巖: 感謝状: 伊勢原警察署. 2024.3.5. / 川崎警察署. 2024.3.8. / 三崎警察署. 2024.3.11. / 秦野警察署. 2024.3.14.

〔鑑定〕

- 歯科検査: 31件
- 2023.4: 川崎臨港警察署 / 2023.5: 幸警察署・戸部警察署 / 2023.6: 厚木警察署・多摩警察署 / 2023.7: 相模原警察署2・神奈川警察署・小田原警察署 / 2023.8: 泉警察署・旭警察署・平塚警察署・栄警察署・神奈川警察署・金沢警察署 / 2023.9: 三崎警察署・幸警察署 / 2023.10: 多摩警察署・鶴見警察署・相模原警察署・神奈川警察署 / 2023.11: 港北警察署・旭警察署・茅ヶ崎警察署 / 2024.1: 磯子警察署・栄警察署・港南警察署・瀬谷警察署・川崎警察署 / 2024.2: 緑警察署 / 2024.3: 座間警察署
- 法医学解剖: 司法解剖199件 / 警察署長権限解剖79件

▶ 歯科法医学分野

代表者: 山田良広

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 山田良広
准 教 授: 大平寛
助 教: 藤田紗英子
特 任 講 師: 鎌倉尚史
特任講師(無給): 宇都宮丈児, 丸茂忠英, 小島章, 横田敏郎, 西崎靖仁, 小林範彦, 塙有華, 菅野均, 山岸光男, 西村和真, 大石俊一, 飯田淳一, 羽鳥孝郎, 深瀬寛也, 池野正典

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部1年生PBL，4年生の法医学講義・実習，5・6年生の卒試・国試対策講義を担当。歯科医師の基礎的な学問として法医学知識を取得し，将来歯科臨床以外の身元確認作業で社会的貢献ができることを目標としている。

研究：個人識別を目的とした，死後CTを用いた死因究明や生前写真とのスーパーインポーズ法の確立，さらに災害被災者や親子鑑定，或は犯罪捜査の異同識別などの識別精度を高めるためのDNA分析や象牙質中アスパラギン酸のラセミ化速度を応用した年齢推定。また，舌癒着症と子ども虐待との関わりや被虐待児の早期発見に対する開業歯科医の役割を歯科医師の立場から研究している。

社会活動：法医学解剖による死因究明実務。歯科法医学の草分けとして，教育・研究の他に鑑定実務や警察歯科医および警察鑑識の教育とトレーニングを通して社会や歯科医師会に貢献。2004年1月より厚生労働省の推進する戦没者遺骨のDNA鑑定に対し鑑定機関として協力するとともに鑑定連絡会議等いくつかの関連専門者会議に出席。歯による身元確認・年齢推定・DNA鑑定を医学部法医学教室・裁判所・検察庁・警視庁他各府県警・各科捜研さらに厚生労働省・外務省などから囑託され鑑定を行っている。公判に出廷し，DNA鑑定や子ども虐待の鑑定人として証言。日本歯科医師会主催の全国警察歯科医会，身元確認作業の実施について全国7地区災害コーディネーター(身元確認・災害歯科保健医療)研修会，さらに神奈川県・東京都・静岡県・山口県・新潟県・三重県各歯科医師会の定期的な警察歯科医のトレーニング講習会および実習に参加協力。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/010 山田良広：第8章.1. 個人識別. pp.83-84 / 第8章.2. 個人識別の3大手法. pp.84-86 / 第8章.3. 個人識別の手順. pp.86-87 / 第8章.4. 特定個人の識別. pp.87 / 第8章.column. ラセミ化反応による年齢推定. pp.88 / 第14章.1. 法医学試料の特徴. pp.168-169 / 第14章.2. 常染色体多型. pp.169-175 / 第14章.3. 性染色体多型. pp.175-176 / 第14章.column. 戦没者遺骨の鑑定. pp.180. / 大平寛：第16章. 医事法学. pp.195-201 / 第17章. 歯科医療安全 歯科医療の質と安全の確保. pp.202-209. 高橋雅典監修：法歯科医学 基礎知識から臨床・災害時の対応まで. 第2版第2刷，永末書店，京都，2024.

【原著論文】

K23/OP/036 斉藤久子，中久木康一，石井名実子，飯田哲也，山田良広，岩瀬博太郎，清水恵子：遺体の歯科所見採取におけるスキャン画像の有用性の検討ー災害時身元確認における口腔内スキャナーの活用ー. Japanese Journal of Disaster Medicine, 28(3), 124-127, 2023.

【解説】

K23/Ex/006 山田良広：法医学分野における遺伝学的検査. 日本医師会雑誌, 152(特別号1), S184-S187, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

[シンポジウム講演]

- 山田良広：災害時における歯科法医学の役割 (シンポジウム1「叡智の結集:災害関連学会」). 第29回日本災害医学会総会・学術大会，京都，2024.2.22.

〔一般発表・国内学会〕

- 鎌倉尚史, 藤田紗英子, 中川貴美子, 山本伊佐夫, 大平寛, 山田良広, 長谷川巖: マウスの生涯を通じた血中FGF23濃度の変動. 日本法歯科医学会第17回学術大会, 東京, 2023.5.14.
- 鎌倉尚史, 藤田紗英子, 中川貴美子, 山本伊佐夫, 大平寛, 山田良広, 長谷川巖: マウスを用いた血液検査による骨形成評価方法の検討. 第107次日本法医学会学術全国集会, 小田原, 2023.6.7-9.
- 中川貴美子, 山本伊佐夫, 大平寛, 藤田紗英子, 鎌倉尚史, 山田良広, 長谷川巖: 生前歯科レントゲン登録が身元確認に役立った1症例. 第92回日本法医学会学術関東地方集会, 東京, 2023.10.14.
- 山本伊佐夫, 中川貴美子, 大平寛, 藤田紗英子, 鎌倉尚史, 山田良広, 長谷川巖: 脳歯科治療により心が解放された1症例. 第38回日本催眠学会学術大会, 和歌山, 2023.11.11-12.
- 山田良広, 山本伊佐夫, 大平寛, 藤田紗英子, 鎌倉尚史, 中川貴美子, 長谷川巖: 2022~2023年法医鑑定概要. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 池口麻美, 佐藤侑珠, 杉本悠, 藤田紗英子, 大平寛, 山田良広: 歯科医師から見る児童虐待. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

〔講演会・セミナー等〕

- 山田良広: 静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2023.4.9. / 函館歯科医師会身元確認研修会. 函館歯科医師会館, 函館, 2023.9.2. / 愛媛県警察歯科医会研修会. 愛媛県歯科医師会館, 松山, 2023.9.9. / 神奈川県警察検視専科(特別講義). 神奈川県警察本部, 相模原, 2023.9.24. / 令和5年度第1回身元確認に関する歯科医師研修会. 東京都歯科医師会館, 東京, 2023.10.15. / 歯科身元研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.10.29. / 町田市歯科医師会警察歯科研修会. 町田歯科医師会, 町田, 2023.12.2. / 新潟県歯科医師会身元確認研修会. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2023.12.10. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.12.13. / 山口県歯科医師会身元確認研修会. 山口県歯科医師会館, 山口, 2024.1.28. / 練馬区歯科医師会警察歯科研修会. 練馬区歯科医師会館, 東京, 2024.2.15. / 令和5年度第2回身元確認に関する歯科医師研修会. 東京都歯科医師会, 東京, 2024.3.1. / 葛飾区歯科医師会警察歯科研修会. 葛飾区歯科医師会館, 東京, 2024.3.13. / 令和5年度千葉県立木更津高校SSH講演会. 木更津高校体育館, 木更津, 2024.3.18. / 荏原歯科医師会警察歯科研修会. 荏原歯科医師会, 東京, 2024.3.29.
- 大平寛: 静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2023.4.9. / 葉山町役場研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.7.27. / 函館歯科医師会身元確認研修会. 函館歯科医師会館, 函館, 2023.9.2. / 歯科身元研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.10.29. / 新潟県歯科医師会身元確認研修会. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2023.12.10. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.12.13. / 中野区歯科医師会講演会. 中野区歯科医師会館, 東京, 2024.2.29.
- 藤田紗英子: 静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2023.4.9. / 葉山町役場研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.7.27. / 歯科身元研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.10.29. / 新潟県歯科医師会身元確認研修会. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2023.12.10. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.12.13.
- 鎌倉尚史: 歯科身元研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.10.29. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.12.13.

- 深瀬寛也：函館歯科医師会身元確認研修会. 函館歯科医師会館, 函館, 2023.9.2. / 歯科身元研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.10.29. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.12.13.
- 池野正典：歯科身元研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.10.29. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2023.12.13.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 鎌倉尚史(代表), 中川貴美子(分担), 山本伊佐夫(分担), 大平寛(分担), 藤田紗英子(分担)：血液による年齢推定や骨折の診断を可能にするデータベースの構築. 挑戦的研究(萌芽), 21K19678, 2021～2023年度.

〔厚生労働科学研究費補助金〕

- 橋谷田真樹(代表), 山田良広(分担)：戦没者遺骨の身元特定に係るDNA鑑定の精度向上に関する研究. 政策科学推進研究, 21AA2004, 2021～2023年度.

〔横須賀高校SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業〕

- 山田良広, 大平寛, 藤田紗英子：横須賀高校2年生指導(法医学に関する実習). 2023.4-2024.3.

〔体験実習プログラム参加〕

- 山田良広, 大平寛, 藤田紗英子：横須賀学院高校. 横須賀, 2024.2.13. / 相洋高校. 小田原, 2024.3.12. / 成田高校附属中学校. 成田, 2024.3.21.

〔鑑定〕

- DNA鑑定(厚生労働省)：戦没者遺骨16件／遺族5件
- DNA鑑定(警察署(鑑定書))：13件
- 2023.4：戸塚警察署2・高津警察署 / 2023.5：加賀町警察署 / 2023.6：戸塚警察署・平塚警察署・広島県海田警察署・那須塩原警察署 / 2023.7：藤沢北警察署2 / 2023.8：平塚警察署・佐伯警察署 / 2024.1：相模原南警察署
- DNA鑑定(警察署(意見書))：21件
- 2023.4：平塚警察署・麻生警察署 / 2023.7：緑警察署・藤沢警察署 / 2023.8：木更津警察署・海老名警察署 / 2023.9：神奈川警察署 / 2023.10：群馬県警・藤沢北警察署 / 2023.11：旭警察署・伊勢佐木警察署・大和警察署 / 2023.12：横須賀南警察署・神奈川警察署 / 2024.1：戸塚警察署・群馬県沼田警察署・緑警察署・横浜地検 / 2024.2：瀬谷警察署 / 2024.3：玉川警察署・相模原南警察署

医科学講座

▶ 画像診断学分野

代表者：池上匡

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：池上匡

2 | 2023年度の活動内容

教育：学生の講義は「臨床医科歯科概論」のなかで1回担当している。

研究：女性泌尿器疾患，特に原因不明の下腹部痛疾患を対象に，骨盤うっ滞症候群や尿道狭窄症候群の画像診断基準を考案すること，および骨盤臓器脱の起こる構造的特徴を計測データから検討している。

臨床：附属病院の医科画像診断および歯科の歯・顎以外の画像診断を担当している。また地域のクリニック・米海軍病院からの依頼によるCT・MRI検査を施行し，画像診断報告書を作成している。2023年度の総読影件数は3,451件と2022年度の6.3%減となった。地域医療機関からの依頼検査数は前年の1,499件から1,325件と11.6%減少した。これは海軍病院の検査が近隣の3テスラMRIを持つ画像診断施設に紹介され始めたためである。

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/037 Okui N, Ikegami T, Hashimoto T, Kouno Y, Nakano K, Okui MA : Predictive Factors for High Post-void Residual Volume in Older Females After OnabotulinumA Treatment for Severe Overactive Bladder Using a Machine Learning Model. Cureus, 15(7), e42668, 2023. doi: 10.7759/cureus.42668

K23/OP/038 Hagiwara H, Kinno Y, Ikegami T : Negative Pressure Pneumomediastinum: A Novel Concept of Spontaneous Pneumomediastinum Without Mediastinal Widening Following Weight Loss. International Journal of General Medicine, 16, 1227-1236, 2023.

【症例報告】

K23/CR/002 Okui N, Ikegami T, Erel CT : Neodymium Laser Treatment for Overactive Bladder and Vulvodinia in Mayer-Rokitansky-Küster-Hauser Syndrome Patient: A Case Report. Cureus, 16(1), e53068, 2024. doi: 10.7759/cureus.53068

K23/CR/003 Okui N, Ikegami T, Erel CT : Non-ablative Erbium (YAG) and Neodymium (YAG) Laser Treatment for Anal Incontinence and Vaginal Atrophy: A Case Study. Cureus, 16(3), e55542, 2024. doi: 10.7759/cureus.55542

【解説】

K23/Ex/007 池上匡：腎臓病の重症化予防に役立つ画像診断. そらまめ通信, 124, 7-8, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔講演会・セミナー等〕

- 池上匡：画像で診る女性泌尿器科疾患 頻尿・膀胱脱・原因不明の下腹部痛. 第2回横須賀市泌尿器科疾患講演会, 横須賀, 2024.2.19.

▶ 糖尿病・内分泌内科学分野

代表者：青木一孝

1 | 教員・大学院生・他

教 授：青木一孝

2 | 2023年度の活動内容

総括：糖尿病・内分泌内科学の教育，臨床，研究の全般的な向上と充実を図ることができた。
教育：総合医学(3年生対象)，臨床実習・臨床演習(5年生対象)，研究基盤学(大学院)を担当した。
研究：糖尿病・内分泌内科学領域における研究を行った。
臨床：一般内科，糖尿病，内分泌学会内分泌代謝疾患に対する診療を行った。外部医療機関からの紹介および院内歯科からの依頼に基づき，歯科用金属アレルギー診断のためのパッチテストを行った。企業検診，人間ドック，特定健康診査，特定保健指導，市民検診(肺がん検診，胃がんリスク検診，大腸がん検診，前立腺がん検診)を行った。職員や市民に対してインフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチン接種を行った。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/011 Aoki K : 12.1.1. An Overview of Diabetes Mellitus. pp.213 / 12.1.2. Hormones Associated with Regulation of Blood Glucose Levels. pp.213-214 / 12.1.3. Epidemiology. pp.214 / 12.1.4. Classification. pp.214-215 / 12.1.5. Symptoms. pp.215 / 12.1.6. Blood Tests. pp.215 / 12.1.7. Diagnosis. pp.215 / 12.1.8. Complications. pp.216-217 / 12.1.9. Treatment. pp.217-219 / 12.1.10. Hypoglycemia. pp.220 / 12.1.11. Metabolic Syndrome. pp.220. Toshimi Chiba, Hiroyuki Yamada, editors : Internal Medicine for Dental Treatments : Patients with Medical Diseases. Springer, Singapore, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔講演会・セミナー等〕

- 青木一孝：糖尿病の薬剤選択. Diabetes Online Seminar, オンライン, 2023.4.26. / 歯科医

のための糖尿病・内分泌内科学講座. 神奈川歯科大学附属病院病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2023.6.8.

【業務・活動報告】

〔院内レポート〕

- 青木一孝：肥満を伴った2型糖尿病治療. 2024.3.

▶ 高血圧症・腎臓内科学分野

代表者：橋本達夫

1 | 教員・大学院生・他

教 授：橋本達夫

2 | 2023年度の活動内容

総括：教育，臨床，研究ともに充実を図ることができた。

教育：総合医学(3年生, シラバス作成担当), 臨床実習(5年生)に加え, 臨床医科歯科概論(1年生), 高齢者の歯科治療(4年生)の「終末期医療」を担当した。

研究：奥井伸雄客員教授の研究に共同研究者として参画し, 成果を発表した。

臨床：腎臓学会腎臓専門医, 透析医学会透析専門医による診療を行った。新型コロナウイルス感染症に対して, 発熱外来を設置し, 青木医師と共に診療を行った。外部医療機関からの紹介および院内歯科からの依頼に基づき, 歯科用金属アレルギー診断のためのパッチテストを行った。企業検診, 人間ドック, 特定健康診査, 特定保健指導, 市民検診(肺がん検診, 胃がんリスク検診, 大腸がん検診, 前立腺がん検診)の受け入れを積極的に行った。大学の保健衛生向上のため, 学生および教職員の予防接種を積極的に行った。特定健診の腎臓専門医療機関として, 紹介患者が増えた。

社会活動：横須賀市救急医療センターにおいて内科救急診療に協力している。

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/037 Okui N, Ikegami T, Hashimoto T, Kouno Y, Nakano K, Okui MA : Predictive Factors for High Post-void Residual Volume in Older Females After OnabotulinumA Treatment for Severe Overactive Bladder Using a Machine Learning Model. Cureus, 15(7), e42668, 2023. doi: 10.7759/cureus.42668

K23/OP/039 Hayashi R, Yamazaki S, Mutoh N, Hashimoto T, Ohshima H, Tani-Ishii N : Influence of IgA nephropathy on the progression of pulpitis and apical periodontitis in HIGA mice. Journal of Oral Biosciences, 66, 98-104, 2024.

【解説】

K23/Ex/008 橋本達夫：さまざまな顔をもつACE2とは何ぞや?. 消化器病学サイエンス, 8(1), 51-55, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔座長〕

- 橋本達夫, 松元紀子：循環器疾患・国際栄養（一般演題30）. 第27回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都, 2024.1.26-28.

〔講演会・セミナー等〕

- 橋本達夫：高血圧治療補助アプリの登場－高血圧治療は医者いらずに？－. 神奈川歯科大学附属病院病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2024.1.11.

【業務・活動報告】

〔報道・記事〕

- 橋本達夫：未解明の大海原（テーマ投稿「もう一度見たいあの景色」）. 神奈川県保険医新聞, 3面, 2024年1月5・15日号(第2242号)新春特集号.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 橋本達夫(代表)：慢性腎臓病の画像診断法の開発. 一般財団法人守谷奨学財団令和4年度学術・研究助成, 2023年度.

〔その他〕

- 橋本達夫：一般社団法人日本腎臓学会サポーター.
- 橋本達夫：横浜腎代替療法講演会世話人.

▶ 総合内科学分野

代表者：栗橋健夫

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：栗橋健夫

特任教授：中島淳

特任准教授：米田正人, 結束貴臣

特任講師：赤石雄, 岡田興造

非常勤内科医師：望月弘美, 大久保秀則, 岩城慶大, 三澤昇, 葛西祐樹, 酒井英嗣, 緒方智樹, 桐ヶ谷英邦, 中橋秀文, 宮城島(林)佑穂, 堤優, 二瓶真一, 七浦未侑, 馬場康彦, 相澤広太郎

2 | 2023年度の活動内容

教育：①神奈川歯科大学5年生に対してグループ別にして内科診療の見学実習を行い、全員に内科カチェックシートを配布、解説講義を行った。②神奈川歯科大学附属横浜クリニック歯科研修医に対して、「歯科医師のための内科学」10回コースを1時間ずつ行った。③神奈川歯科大学附属横浜クリニック歯科研修医に対して、内科診療の見学実習を行い、解説講義をした。

臨床：2023年4月より「患者さんにわかりやすい内科診療」をモットーに、慢性疾患には病態生理を平易に説明して、かかりつけ患者さんを増やしていった。さらに、総合診療医として急

性期疾患のプライマリーケアと初期診断を行い、二次救急医療機関への迅速な搬送も心掛けた。地域特性を鑑みて、横浜川崎地区に気管支喘息患者および、いわゆる「かくれ喘息」の潜在患者の発掘が患者数アップと定着に有用と考え7年前よりFeNO(呼気一酸化窒素)測定器Niox Veroを地域の基幹病院に先駆けて導入し、気管支喘息かかりつけ患者を新規開拓し続けた。「総合内科医のわかりやすい内科説明」を徹底し、約80%の患者さんがかかりつけ患者で通院継続している状況は昨年同様であった。(喘息患者の呼吸器内科継続率は全国平均で50%前後)

専門外来は、引き続き横浜市立大学肝胆膵消化器病学教室からの消化器内科の一層の強化、神奈川歯科大学附属病院より認知症・高齢者総合内科の眞鍋雄太診療教授の物忘れ外来を継続し患者数も増加した。さらに、横浜市立大学医学部循環器内科講師 岡田興造先生に火曜日の外来を引き続き担当していただいた。2023年1月より、地域で先駆けてキャノンメディカル社製の320列マルチスライスCTを導入して横浜市職員のがん検診や一次救急医療体制の充実を図り、冠動脈造影CTを横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 心臓血管センターと同じ条件で撮影できるようにした。

社会活動：ロイヤル警備保障の産業医としての活動も継続、教育講演を8回実施した。

その他：神奈川歯科大学歯周病学教室、神奈川歯科大学附属横浜クリニック成人歯科と横浜市立大学循環器内科学教室と新たに歯周病と冠動脈疾患との関連を研究するため成人歯科 児玉利朗特任教授のチームが1か月に2回、横浜市民総合医療センター病院の循環器病棟に訪問して歯科検診を開始した。歯周病菌と唾液と冠動脈疾患との関連のエビデンスを世界に先駆けて構築することを目的にしたYOKOHAMA DENTAL HEART STUDYを開始した。また、今年度も近隣歯科診療所との歯科医科連携を図るため、神奈川歯科大学附属横浜クリニックで「歯科医師のための内科学講座」10回コースを歯科医師生涯学習セミナーで実施した。

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/040 Tanaka K, Ohkubo H, Yamamoto A, Takahashi K, Kasai Y, Ozaki A, Iwaki M, Kobayashi T, Yoshihara T, Misawa N, Fuyuki A, Kato S, Higurashi T, Hosono K, Yoneda M, Kurihashi T, Taguri M, Nakajima A, Gwee KA, Kessoku T : Natural History of Chronic Intestinal Pseudo-obstruction and Need for Palliative Care. *Journal of Neurogastroenterology and Motility*, 29(3), 378-387, 2023.

K23/OP/041 Jono T, Kasai Y, Kessoku T, Ogata T, Tanaka K, Yoshihara T, Misawa N, Kato S, Higurashi T, Hosono K, Yoneda M, Seita K, Kato T, Sakai E, Kurihashi T, Nakatogawa M, Oyamada S, Futagami S, Gwee KA, Nakajima A : The Prevalence and Characteristics of Symptomatic Uncomplicated Diverticular Disease Among Asian Patients With Unexplained Abdominal Symptoms. *Journal of Neurogastroenterology and Motility*, 30(1), 87-96, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔講演会・セミナー等〕

●栗橋健夫：歯科医師のための内科学その1 新型コロナウイルス感染症の現状とこれから～新興感染症と再興感染症。歯科医師生涯学習セミナー（第1回）、横浜、2023.4.27。／歯科医師のための内科学その2 高血圧診療のUp to Date～高尿酸血症との関係。歯科医師生涯学習セミナー（第2回）、横浜、2023.6.8。／心電図の読影その1その2。鶴見大学歯学部4年生救命救急歯科学授業、横浜、2023.6.20。／歯科医師のための内科学その3 歯科医院での救急対応～これだけは必要！。歯科医師生涯学習セミナー（第3回）、横浜、2023.7.13。／歯科医師のための内科学その4 循環器疾患～感染性心内膜炎と歯科治療。歯科医師生涯学習セミナー（第4回）、横浜、2023.8.24。／歯科医師のための内科学その5 消化器疾患～便秘は侮れない！。歯科医師生涯

学習セミナー(第5回), 横浜, 2023.9.28. / 健診やドックの結果をどう活用すればいいのか?. 神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜地域医療連携室市民公開講座, 横浜, 2023.10.7. / 歯科医師のための内科学その6 糖尿病のミニマムポイント. 歯科医師生涯学習セミナー(第6回), 横浜, 2023.10.19. / 歯科医師のための内科学その7 呼吸器疾患～喘息を見逃さない. 歯科医師生涯学習セミナー(第7回), 横浜, 2023.11.30. / 歯科医師のための内科学その8 神経疾患と膠原病～分子標的治療薬の活用. 歯科医師生涯学習セミナー(第8回), 横浜, 2023.12.21. / 歯科医師のための内科学その9 腎泌尿器疾患と甲状腺疾患～ヨード過剰摂取に注意!. 歯科医師生涯学習セミナー(第9回), 横浜, 2024.1.18. / 歯科医師のための内科学その10 精神疾患と周産期～知っておくと安心1. 歯科医師生涯学習セミナー(第10回), 横浜, 2024.2.22.

- 岡田興造：冠動脈疾患の早期発見・早期治療介入-冠動脈CTへの期待. 神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室市民公開講座, 横浜, 2023.5.20.
- 赤石雄：運動習慣の重要性・薬に頼らず健康になる秘訣ーサルコペニアから骨粗鬆症までー. 神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室市民公開講座, 横浜, 2023.6.3.
- 馬場康彦：脳神経内科をご存知ですか?ー誰もが一度は経験するような症状を診察しています. 神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室市民公開講座, 横浜, 2023.6.17.

▶ 眼科学分野

代表者：市邊義章

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：市邊義章

診療科准教授：池内梨絵

診療科助手：蒲生真里

客員教授：新家眞

特任教授：原直人

非常勤眼科医師：清水公也, 飯田嘉彦, 後関利明, 國見敬子, 河野雄亮, 飯島敬, 笠原正行, 富岡敏也, 大江阿子

視能訓練士：君島真純, 安藤友紀

非常勤視能訓練士：栗原彩花, 廣田杏涼, 戸塚和子, 徳世由梨奈

2 | 2023年度の活動内容

教育：神奈川歯科大学3年生講義「全身と口腔III」「感覚器疾患(眼)」(2023.11.27). 国際医療福祉大学3年生眼科講義(2023.6.2, 10.13, 11.17). 北里大学眼科クルズス「加齢黄斑変性」(2023.6.2). 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科視覚機能療法学臨床実習(2023.6.19-7.14, 7.18-8.10, 8.14-9.22 各1名). 国際医療福祉大学視覚機能療法学臨床実習(2023.9.25-11.4 1名).

研究：若年者の後天共同性内斜視とデジタルデバイスの使用の関連に関する多施設前向き研究(2022.1.17-2024.3.31 終了 研究倫理委員会承認 第820番). (安藤, 市邊)

神経眼科的疾患で羞明を来す疾患に対する治療についての研究(2023.7.28 研究倫理委員会

承認 第947号). (君島, 市邊, 原, 蒲生, 安藤, 栗原)

斜視患者における術前後の視機能に関する研究(2024.2.18 研究倫理委員会承認 第985号). (君島, 市邊, 後関, 國見, 蒲生, 安藤, 栗原, 廣田)

羞明を来す方々・疾患別の視覚機能と自律神経機能の研究(2023.9.29 倫理委員会承認 961番). (原, 市邊, 蒲生, 君島)

日本におけるレーベル遺伝性視神経症の患者データベース作成(2021.8.5-継続 研究倫理委員会承認 第781号). (市邊)

「眼球使用困難症候群」の病態解明・客観的診断方法の確立に向けた研究(2024.3.2-). (市邊)

臨床：一般眼科診療の他, 専門外来として北里大学からの非常勤医師を含め「眼底疾患外来」(市邊), 「斜視・弱視外来(手術)」(後関, 國見), 「神経眼科外来」(市邊, 原), 「眼瞼けいれん外来」(原), 「白内障外来(手術)」(飯田, 池内, 清水), 「緑内障外来」(大江), 「緑内障特殊外来」(新家)を行った。2023年度の手術件数は以下の通り

- ・白内障：267件(2022年度：223件, 2021年度：203件, 2020年度：175件)
- ・斜視, その他：90件(2022年度：58件, 2021年度：55件, 2020年度：65件)
- ・網膜レーザー：6件(2022年：11件, 2021年度：15件, 2020年度：13件)
- ・YAGレーザー：122眼(2022年度：135眼, 2021年度：157眼, 2020年度：123眼)
- ・虹彩レーザー：0件(2022年度：0件, 2021年度：0件, 2020年度：1件)
- ・隅角レーザー：4件(2022年度：0件, 2021年度：1件, 2020年度以前：0件)
- ・硝子体注射：14件(2022年度：2件, 2021年度：7件, 2020年度：9件)
- ・ボツリヌス治療：眼瞼：197件(2022年度：194件, 2021年度：175件, 2020年度：216件)
／斜視：0件(2022年度：0件, 2021年：1件, 2020年度：4件)

社会活動：2023年度小笠原(母島, 父島)眼科診療(春2023.4.21-5.4 秋10.25-11.5). (市邊, 蒲生)

第13回神奈川歯科大学横浜眼科診々連携の会 2023.7.29, 神奈川歯科大学附属横浜クリニック眼科市民公開講座「まぶしい(羞明), それは痛みです!?!～羞明で困っている方々への理解とその方法～」2023.9.9, 読売新聞医療ルネサンス「まぶしさと付き合う」2023.11.7-9. (原)

日本神経眼科学会評議委員・編集委員, 神奈川ロービジョンネットワーク副代表理事, 神奈川県眼科DMカンファレンス代表世話人, 日本視能訓練士協会誌査読委員, 神奈川県指定難病審査会委員, 小児慢性特定疾病指定医, 北里大学医学部非常勤教員, 国際医療福祉大学非常勤講師. (市邊)

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/042 君島真純, 後関利明, 蒲生真里, 市邊義章：Sagging eye syndromeのテレビ番組を観て来院した患者の臨床的特徴. 日本視能訓練士協会誌, 53, 35-39, 2023.

【解説】

K23/Ex/009 國見敬子, 後関利明：眼窩プリーの障害. 眼科グラフィック, 12(6), 699-705, 2023.

K23/Ex/010 君島真純：斜視検査を始める前に. 眼科ケア, 25(10), 906-909, 2023.

【その他】

K23/O/004 市邊義章：第23回聞きたい授業!. 神奈川歯科大学神奈川県同窓会報, 100号発行記念号, 63, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 蒲生真里, 原直人, 君島真純, 市邊義章: 片頭痛予防薬抗 CGRPが羞明に対し効果を示した1例. 第61回日本神経眼科学会総会, 東京, 2023.12.1-2.

〔講演会・セミナー等〕

- 市邊義章: 内科医に知っておいてほしい眼科疾患の診断と治療. 神奈川県内科医学会第47回臨床医学研修講座, オンライン配信, 2023.9.16.
- 君島真純: 視機能検査の実際. 情報機器作業検査研修会, 東京, 2023.8.16.

【業務・活動報告】

〔学会記〕

- 君島真純: 基礎教育プログラムIIIオンライン(視能障害)を受講して. JACO news, 142, 36, 2023.
- 蒲生真里: 専門教育プログラムII(視能検査学)を受講して. JACO news 142, 37, 2023.

〔問題集の解説〕

- 市邊義章: 解説書.117-E-5. pp.406-407. 医師国家試験問題解説書編集委員会編集: 国試117: 第117回医師国家試験問題解説書. エムスリーエデュケーション, 東京, 2023.

〔報道・記事〕

- 君島真純: 新編集委員のごあいさつ. 眼科ケア, 26(1), 4, 2024.

〔学会・会議・研究会・講習会参加〕

- 市邊義章: 第127回日本眼科学会総会. 2023.4.6-9. / 第79回日本弱視斜視学会総会・第48回日本小児眼科学会総会. 2023.6.16-17. / さがみ眼科研究会. 2023.7.6. / 第72回湘西眼科臨床フォーラム(Web). 2023.7.13. / 第35回近畿神経眼科セミナー (Web). 2023.7.16. / 羞明と頭痛 勉強会. 2023.8.26. / 第77回臨床眼科学会. 2023.10.6-9. / 第61回日本神経眼科学会総会 座長・共同演者. 2023.12.1-2. / 第5回SENJU Glaucoma Seminar. 2024.2.20. / 第20回神奈川県眼科DMカンファレンス(Web) 座長. 2024.3.2. / 第74回湘西眼科臨床フォーラム. 2024.3.7. / 第16回神奈川クロスオーバーシンポジウム(Web). 2024.3.16.
- 池内梨絵: 第127回日本眼科学会総会(Web). 2023.4.6-9. / 第77回日本臨床眼科学会(Web). 2023.10.6-9. / 第16回神奈川県クロスオーバーシンポジウム(Web). 2024.3.16.
- 蒲生真里: 第127回日本眼科学会総会. 2023.4.6-9, オンデマンド配信2023.4.27-5.26. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第14回森隆史先生特別講演(Web). 2023.4.17. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第15回Hess赤緑試験の見方(Web). 2023.5.8. / 第36回日本視能訓練士協会定時総会. 2023.6.4. / 第1回厚労科研羞明勉強会. 2023.6.10. / 第79回弱視斜視学会総会 第48回日本小児眼科学会総会. 2023.6.16-17. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第16回0~2歳の要注意な眼疾患(Web). 2023.6.19. / 第6回Contactセミナー 視能訓練士の給与とスキルアップを実現するには?(Web). 2023.6.30. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第17回3歳の眼疾患(Web). 2023.7.10. / 第1回痛覚変調性疼痛研究会. 2023.7.30. / 第2回厚労科研羞明勉強会. 2023.8.26. / 神奈川視能訓練士会勉強. 2023.9.1. / 第14回神奈川県みんなの会講習会. 2023.9.2. / 市民公開講座原直人先生. 2023.9.9. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第18回外斜視の治療戦略(Web). 2023.9.11. / 専門教育プログラムII(視能検査学)(Web). 2023.9.16-18. / 第77回

日本臨床眼科学会. 2023.10.6-9, オンデマンド配信2023.10.23-11.22. / 視能訓練士プログラム. 2023.10.6-9. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第19回内斜視の治療戦略(Web). 2023.10.16. / 第13回生涯教育セミナー・第6回認定視能訓練士セミナー. オンデマンド配信2023.10.23-11.22. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第20回小児の診察の工夫(Web). 2023.11.13. / 第64回日本視能矯正学会. 2023.11.18-19, オンデマンド配信2023.12.11-2024.1.10. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第21回成人斜視の問診(Web). 2023.12.11. / 第5回厚労科研羞明勉強会. 2023.12.23. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第22回メガネ処方と調節麻痺薬(Web). 2024.1.15. / 厚労科研羞明研究会大学院講義参加. 2024.1.29. / 第6回厚労科研羞明勉強会. 2024.2.17. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第23回甲状腺眼症(Web). 2024.2.19. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第24回小児白内障の屈折矯正(Web). 2024.3.11.

- 君島真純：第127回日本眼科学会総会. 2023.4.6-9. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第14回森隆史先生特別講演(Web). 2023.4.17. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第15回Hess赤緑試験の見方(Web). 2023.5.8. / 第5弾:乱視マスターシリーズ～手術プロセスごとに乱視を征する～(Web). 2023.6.5. / 第79回日本弱視斜視学会総会. 2023.6.16-17. / 第16回日本心療眼科研究会(Web). 2023.6.18. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第16回0～2歳の要注意な眼疾患(Web). 2023.6.19. / 第6回Contactセミナー 視能訓練士の給与とスキルアップを実現するには?(Web). 2023.6.30. / 第24回日本ロービジョン学会学術総会. 2023.6.30-7.2. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第17回3歳の眼疾患(Web). 2023.7.10. / 第35回近畿神経眼科セミナー (Web). 2023.7.16. / 第30回iseminar×教育webinar(Web). 2023.8.17. / 第4回厚労科研羞明研究会. 2023.8.24. / 第4回神奈川県視能訓練士の会. 2023.9.1. / みんなの会 大塚製薬(Web). 2023.9.2. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第18回外斜視の治療戦略(Web). 2023.9.11. / 眼球使用困難症勉強会. 2023.9.16. / 第20回小児眼科診療セミナー (Web). 2023.9.16. / 第77回日本臨床眼科学会. 2023.10.6-9, オンデマンド配信期間2023.10.23-11.22. / スポーツ視覚研究会(Web). 2023.10.14. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第19回内斜視の治療戦略(Web). 2023.10.16. / 第76回日本自律神経学会総会. 2023.10.28-10.29. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第20回小児の診察の工夫(Web). 2023.11.13. / 第64回日本視能矯正学会. 2023.11.18-19, オンデマンド配信2023.12.11-2024.1.10. / 第3回AI眼科学会. 2023.11.23. / 第61回日本神経眼科学会総会. 2023.12.1-2. / 視能訓練士協会生涯教育基礎III 視能矯正、視能障害(Web). 2023.12.10. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第21回成人斜視の問診(Web). 2023.12.11 / 医療×デジタル技術で社会に貢献する組み込みソフトウェアの挑戦(Web). 2023.12.21. / 第5回厚労科研羞明勉強会. 2023.12.23. / 日本老視学会第2回学術総会(Web). 2024.1.14. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第22回メガネ処方と調節麻痺薬 (Web). 2024.1.15. / 第6回厚労科研羞明勉強会. 2024.2.17. / 第21回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー (Web). 2024.2.24. / 視能訓練士が検査スキルを活かして企業で働く(Web). 2024.3.5. / 第6回日本両眼視矯正研究会(Web). 2024.3.16. / スタンレー電気株式会社瞳孔とストレス勉強会. 2024.3.23.

- 安藤友紀：視能訓練士協会新人教育プログラム技術日程(両眼視). 2023.4.9. / 近畿眼科検査オープンカンファ 2023(WEB). 2023.5.28. / 第5弾:乱視マスターシリーズ～手術プロセスごとに乱視を征する～(Web). 2023.6.5. / 第79回日本弱視斜視学会総会・第48回日本小児眼科学会総会. 2023.6.16-17. / 第16回日本心療眼科研究会(Web). 2023.6.18. / 第4回神奈川県視能訓練士の会. 2023.9.1. / 第34回日本緑内障学会. 東京, 2023.9.8-10. / 第77回日本臨床眼科学会. 2023.10.6-9, オンデマンド配信期間2023.10.23-11.22. / vol.82湘西眼科講習会(WEB). 2023.10.14. / 第64回日本視能矯正学会. 2023.11.18-19, オンデマンド配信2023.12.11-2024.1.10. / 第51回日本頭痛学会総会. 2023.12.1-2. / 第61回日本神経眼科学会総会. 2023.12.1-2. / 第6回視覚機能療法学専攻卒業後セミナー. 2024.2.10. / 第5回SENJU Glaucoma Seminar(Web). 2024.2.20. / 第4回アムジェン「片頭痛コントロール

カレッジ](WEB). 2024.2.22. / 第13回神奈川県視能訓練士の会講演会. 2024.3.9. / 第6回日本両眼視矯正研究会(Web). 2024.3.16.

●栗原彩花：第38回講演会「眼球運動異常の診方と検査の進め方」・第21回研修会「画像検査の基本と評価のポイント」(Web). 2023.6.5-30. / 第1回厚労科研・羞明と眼痛の研究打合せ. 2023.6.10. / 第79回日本弱視斜視学会総会・第48回日本小児眼科学会総会. 2023.6.16-17. / 第16回日本心療眼科研究会(Web). 2023.6.18. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第16回0～2歳の要注意な眼疾患(Web). 2023.6.19. / 第38回真鶴セミナー(神経眼科勉強会). 2023.8.26. / 第2回厚労科研・羞明と眼痛の研究打合せ. 2023.8.26. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第18回外斜視の治療戦略(Web). 2023.9.11. / 新人教育プログラム講義 第1講義～第11講義(Web). 2023.9.20-10.25. / 第77回日本臨床眼科学会. 2023.10.6-9, オンデマンド配信期間2023.10.23-11.22. / 第64回日本視能矯正学会. 2023.11.18-19, オンデマンド配信2023.12.11-2024.1.10. / 第61回日本神経眼科学会総会. 2023.12.1-2. / 第5回厚労科研・羞明と眼痛の研究打合せ. 2023.12.23. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第22回メガネ処方と調節麻痺薬(Web). 2024.1.15. / 新人教育プログラム実技「両眼視検査・眼位検査・眼球運動検査」. 2024.1.21. / 第6回視覚機能療法学専攻卒後セミナー. 2024.2.10. / 第6回厚労科研・羞明と眼痛の研究打合せ. 2024.2.17. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療勉強会 第23回甲状腺眼症(Web). 2024.2.19.

●廣田杏涼：「眼鏡処方 累進レンズ処方のポイント」オグラ眼鏡. 2023.4.17. / 第1回厚労科研・羞明と眼通に関する研究会議報告書. 2023.6.10. / 第13回神奈川県歯科横浜眼科診々連携の会. 2023.7.29. / 第38回真鶴セミナー(神経眼科勉強会). 2023.8.26. / 第4回厚労科研・羞明と眼痛の研究打合せ. 2023.8.26 / 第77回日本臨床眼科学会. 2023.10.6-9, オンデマンド配信期間2023.10.23-11.22. / 第61回日本神経眼科学会総会. 2023.12.1-2. / 第5回厚労科研・羞明と眼痛の研究打合せ. 2023.12.23. / 第6回厚労科研・羞明と眼痛の研究打合せ. 2024.2.17.

[その他]

- 君島真純：日本眼科医会アイフレイルサポート視能訓練士.
- 君島真純：日本視能訓練士協会認定視能訓練士(認定番号1005).
- 君島真純：眼科ケア編集委員. 2024.1.1-.
- 安藤友紀：視能訓練士協会新人教育プログラム修了.

▶ 薬剤学分野

代表者：(代行)山崎勇輝

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手：山崎勇輝, 光武珠映
薬剤師：望月香里

2 | 2023年度の活動内容

教育：臨床実習に必要な薬学的知識のための実習書を編集し、56回登院生の臨床実習を行った。
研究：歯科医療における外来経口抗菌薬長期投与と抗菌薬適正使用支援チームの抗菌薬使用日数への影響について調査し、抗菌薬適正使用を推進した。また地域フォーミュラリ導入に関する研究を行った。

臨床：病院内調剤所として調剤、製剤、管理等、薬剤関連一般業務を行った。病院では合併症のある患者の診療が増加しているため、薬剤併用に関する質問への回答や、外来患者や入院する患者の服用中の持参薬を調査し、診療上の注意点や配薬に寄与することができた。特に医療の安全と薬剤管理指導業務という医療報酬に対しても注力した。医薬品安全管理責任者としての医薬品関連インシデント対策や管理業務を行い、全病院職員を対象に、医薬品安全使用のための講習会を開催した。また、長期抗菌薬投与モニタリングを行い、抗菌薬適正使用にも注力した。また医薬品供給困難が続く現状に際して、臨床に影響を及ぼさない様、医薬品確保に取り組んだ。

社会活動：全国私立歯科大学附属病院薬剤部長会メーリングリストにて情報交換を行い、各歯科大学附属病院間の病院の業務検討と連携について、および歯科領域で使用する医薬品に関する共同調査について協議した。横須賀・三浦病院薬剤師業務連絡委員会委員として、地域薬剤師の教育研修会等を企画、運営した。

その他：横須賀市薬剤師会や神奈川県病院薬剤師会の各委員会へ委員として、また神奈川県薬物乱用防止指導員として協力した。

3 | 研究業績

【その他】

K23/O/005 岩尾一生, 斎藤義夫, 竹野敏彦, 田中秀弥, 千葉智子, 小松崎康文, 山崎勇輝：医薬品の供給問題について知りたい。歯科薬物療法, 42(1), 13-14, 2023.

K23/O/006 山崎勇輝, 岩尾一生, 斎藤義夫, 竹野敏彦, 田中秀弥, 小松崎康文：再発性単純疱疹のPIT(patient initiated therapy)療法について知りたい。歯科薬物療法, 42(2), 79-81, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 沢井奈津子, 山崎勇輝, 松本ひろみ, 黒田英孝：歯科外来患者を対象とした抗菌薬適正使用支援チーム(AST)介入の評価。第77回日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023.5.11-13.
- 山崎勇輝, 小林路子, 安田礼子, 鈴木貴之, 森山傑, 春田晃良, 荒木稔：地域連携を考慮に入れた薬剤選択～横須賀市薬剤師会 地域フォーミュラリの取り組み～。第2回日本フォーミュラリ学会学術総会, 東京, 2023.10.22.
- 白鳥千穂, 山崎勇輝, 野口美紀, 澤崎飛鳥：摂食嚥下障害に対する内服薬経口投与の問題点と今後の課題。第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 横浜, 2024.2.15-16.

〔講演会・セミナー等〕

- 山崎勇輝：嚥下の基本とくすりを飲むということ～超高齢化社会に向けて薬剤師がアプローチすべきこと～。第4回横須賀市薬剤師会学術研修会, 横須賀, 2023.7.14. / 飲み込む力とくすりの関係。薬と健康の週間, 横須賀, 2023.11.26. / 地域医療の効率化と医療費抑制～地域フォーミュラリの役割～。日本医師会生涯教育講座, Web, 2023.12.20. / 残薬解消! ネイ

ビーバッグの活用について. 第2回横須賀市歯科医師会在宅介護研修会, Web, 2024.1.17.

【業務・活動報告】

〔賞〕

- 山崎勇輝, 小林路子, 安田礼子, 鈴木貴之, 森山傑, 春田晃良, 荒木稔: 優秀ポスター発表賞: 地域連携を考慮に入れた薬剤選択～横須賀市薬剤師会 地域フォーミュラリの取り組み～. 第2回日本フォーミュラリ学会学術総会. 2023.10.22.

▶ 臨床検査学分野

代表者: (代行)岩宮万里子

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手: 岩宮万里子, 山田秀子, 市原準平

臨床検査技師: 西澤菜緒

非常勤臨床検査技師: 關屋彩

2 | 2023年度の活動内容

教育: 登院生(歯学部5年生)の臨床実習, 歯学部3年生[総合医学]の講義を担当. 検査の基礎知識や歯科・医科における各種検査の必要性, 検査項目の選択, 検査データの分析などを解説した.

臨床: 附属病院において, 各診療科患者の臨床検査を実施した. 主に, 血液検査, 尿検査, 心電図検査, 呼吸機能検査, PSG(終夜睡眠ポリグラフィ)検査, 味覚検査, 一部の超音波検査である. 新規に, 米海軍病院からの依頼によりPSG検査を開始した. また, 企業健診・人間ドックの検査を実施した. 日本臨床検査技師会の精度管理調査事業に参加し, 外部精度管理を実施. ICTとして, 病院内ラウンドを実施した. 定期的に横須賀地区感染防止対策合同カンファレンスに参加し, 意見交換を行った.

社会活動: 生化学検査に関して, 横須賀地区での生化学検査検討班の会合に参加し, 当院検査値の把握を行った. 神奈川県臨床検査技師会における社会貢献活動の一つとして心電図検診ボランティアに参加した.

歯科保存学講座

▶ 保存修復学分野

代表者：向井義晴

1 教員・大学院生・他

教授：向井義晴
准教授：富山潔
講師：椎谷亨，飯塚純子
助教：日高恒輝，國松雄一，小倉真奈
診療科助手：乙幡勇介，須藤昌也
大学院生：小浦裕菜(3年)，平岩昂樹(2年)，富澤恵(1年)
医員：駒田朋昭，城村綾香，千生倫
名誉教授：寺中敏夫
特任講師：青木(三宅)香，荻原崇，亀山祐佳，佐々木航，菅原剛志，武村幸彦，
長尾大輔，水野浩太，和田悠希
特任講師(無給)：海老原敬，田中隆博

2 2023年度の活動内容

教育：担当・分担した学部教育は，1年生の「臨床医科歯科概論」，2年生の「歯科理工学」「組織学・口腔組織学」，3年生の「保存修復学」「歯科病理学」，4年生の「総合歯科学I」，5年生の「臨床実習(臨床座学，スキルスラボを含む)」，6年生の「総合歯科学II」である。なお，臨床研修医に対しては，アドバンスコース講義・実習等を行い，臨床研修医の積極的な育成に寄与した。臨床実習においては，感染防止を徹底したうえで自験を主に数多くの症例を臨床実習生に担当させ，疾患の原因，治療術式の習熟とその基となる理論的背景の教育に力を注ぎ，歯科学学生の参加型臨床実習に大きく貢献した。また，法人傘下の東京歯科衛生専門学校(TDH)においても1年生に保存修復学講義を行い，3年生に対しては保存修復学に関する国家試験対策講義を行った。

研究：齲蝕の先進的な治療法と予防法の確立を本年度も主テーマに据え，学内では微生物，組織，クリニカル・バイオマテリアル，学外ではACTAならびに国内多数の企業協力のもと，医局を挙げて積極的に研究に取り組んだ。具体的研究課題は，1)根面齲蝕の再石灰化におけるバイオフィルム細菌叢の変化，2)柿タンニンによる持続的抗菌効果と口腔内細菌叢の健全化，3)S-PRGフィラー溶出液と超音波振動を用いた脱灰抑制能の検討，4)S-PRGフィラー含有矯正用レジンによる酸蝕症抑制効果，5)S-PRGフィラー含有水硬性仮封材による脱灰抑制効果，6)歯科治療に対する歯科衛生士の意識調査－臨床経験年数による比較と患者認識との相違－，7)臨床研修における窩洞形成に関する三次元計測装置による解析，8)オーラルクロマを使用した口臭測定等であった。実験結果を多くの学会にて発表したほか，国内外の専門雑誌に掲載を行った。

臨床：成人齲蝕の予防とMinimal Intervention Dentistry (MID)のコンセプトに則った治療の遂行を念頭に置きながら，学生が国家試験出題基準・コアカリキュラムの内容を網羅的に学修できるように保存・修復診療科に多くの人員を配し参加型実習に貢献した。

その他：7月23日(日)のオープンキャンパス体験実習をはじめ，多くの高校の高校生歯科体験実習ならびに神奈川県歯科医師会ご子弟向け体験実習において，“歯をタービンにて削りコンポジットレジンで充填する”模擬体験実習の指導を行い，今後の本学の歯科学学生獲得に向けて，その一翼を担った。

3 | 研究業績

【著書】

- K23/B&C/012 向井義晴：Column①. 象牙質知覚過敏症はなぜ起こる?. pp.9. 富士谷盛興編集：象牙質知覚過敏症 目からウロコのパーフェクト治療ガイド. 第4版, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- K23/B&C/013 向井義晴：CHAPTER 3. 象牙質知覚過敏症の原因と見極め. pp.30-35 / CHAPTER 6.6-2. Systema センシティブ. pp.54 / CHAPTER 6.6-4. メルサージュ ヒスケアジェル. pp.55 / CHAPTER 6.6-9. MSコート F. pp.57 / CHAPTER 6.6-16. G-ガード. pp.61 / CHAPTER 6.6-20. クリンプロ™ ホワイトバーニッシュ F. pp.63. 吉山昌宏編著：超速でわかる象牙質知覚過敏 Dr.とDHのための最新知識と製品情報. クインテッセンス出版, 東京, 2024.

【原著論文】

- K23/OP/015 Tomiyama K, Ishizawa M, Watanabe K, Kawata A, Hamada N, Mukai Y : Antibacterial effects of surface pre-reacted glass-ionomer (S-PRG) filler eluate on polymicrobial biofilms. American Journal of Dentistry, 36(2), 91-94, 2023.
- K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K : Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. Medicina, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789
- K23/OP/022 Nakajima C, Fujita-Otani M, Mikuni-Takagaki Y, Nakamura K, Hidaka K, Kawata A, Kawamata R, Kimoto S : Progress of LPS-induced apical lesion in rat immature mandibular molars. Pediatric Dental Journal, 33, 14-24, 2023.
- K23/OP/026 Koura Y, Tomiyama K, Kunimatsu Y, Hamada N, Mukai Y : Microbial shift of oral biofilm associated with remineralization of root dentin lesions. American Journal of Dentistry, 37(1), 47-52, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴：多菌種バイオフィーム存在下での再石灰化に伴う歯根象牙質上の細菌叢変化. 第4回象牙質歯髄治療学会学術大会, 徳島, 2023.5.13.
- 椎谷亨, 平岩昂樹, 向井義晴：S-PRGフィラー含有水硬性仮封材による象牙質脱灰抑制効果. 第4回象牙質歯髄治療学会学術大会, 徳島, 2023.5.13.
- 武村幸彦, 向井義晴, 尹榮浩, 八尾有紀, 川股亮太, 花岡孝治：バルクフィルレジンの重合収縮挙動. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 平岩昂樹, 椎谷亨, 向井義晴：S-PRGフィラー含有矯正用レジンによるエナメル質脱灰抑制能の検討—脱灰溶液攪拌による影響—. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 片岡あい子, 椎谷亨, 小倉真奈, 向井義晴：S-PRGフィラー溶出液と超音波振動を用いた歯根

象牙質脱灰抑制能の検討. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.

- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴: 根面齲蝕の再石灰化に伴うバイオフィルム細菌叢の変化. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 渡邊真由美, 武村幸彦, 莊司琴, 麻生綾子, 松本文恵, 花岡孝治, 向井義晴: 歯科治療に対する歯科衛生士の意識調査—臨床経験年数による比較と患者認識との相違—. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 富山潔, 渡辺清子, 浜田信城, 齋藤正寛, 向井義晴: 柿タンニンによる持続的抗菌効果と口腔内細菌叢の健全化. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 富山潔, 渡辺清子, 浜田信城, 齋藤正寛, 向井義晴: 柿タンニンが多菌種バイオフィルムの健全化に与える影響. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴: 根面齲蝕の再石灰化に伴う歯面バイオフィルム細菌叢の変化. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 片岡あい子, 椎谷亨, 小倉真奈, 向井義晴: S-PRGフィラー溶出液と超音波振動を併用した歯根象牙質脱灰抑制効果の検討. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 椎谷亨, 平岩昂樹, 向井義晴: S-PRGフィラー含有矯正用レジンによるエナメル質脱灰抑制能—脱灰溶液攪拌による影響. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 青池未来, 井上颯麻, 折谷理史, 小池紗笑, 畠井千雛, 若林周佑, 小浦裕菜, 二瓶智太郎, 向井義晴: 大人虫歯になりやすい口の中, なりにくい口の中の再現実験. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 向井義晴, 小倉真奈: Feinman3度のテトラサイクリン変色歯に対してホワイトニングを行った1症例. 日本歯科審美学会第34回学術大会, 鹿児島, 2023.12.9-10.
- 武村幸彦, Yoon Youngho, 國松雄一, Kwantae Noh, Wongun Chang, Hyundong Kim, 向井義晴: レオロジーからみたホームホワイトニング材の材料特性. 日本歯科審美学会第34回学術大会, 鹿児島, 2023.12.9-10.

〔講演会・セミナー等〕

- 向井義晴: ホワイトニングと再石灰化戦略. 2023年度神奈川歯科大学附属病院病診連携オープンセミナー 第19回, 横須賀, 2024.2.8.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 向井義晴(代表), 石澤将人(分担), 富山潔(分担): 象牙質シングルセクションと多菌種バイオフィルムモデルを使用した再石灰化療法の検討. 基盤研究(C), 20K09965, 2020~2023年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 向井義晴: Amsterdam Active Attachment modelを用いた歯周病モデル菌叢評価系構築及び菌叢制御機能の解析に関する研究. ライオン株式会社共同研究費, 2021017, 2023年度.

- 向井義晴：保存修復学分野研究助成のため。クラレノリタケデンタル株式会社奨学寄附金、2022001, 2023年度。

[賞]

- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴：優秀発表賞：多菌種バイオフィルム存在下での再石灰化に伴う歯根象牙質上の細菌叢変化. 第4回象牙質歯髓治療学会学術大会. 2023.5.13.
- 向井義晴：歯学部5年生ベストティーチャー賞. 神奈川歯科大学. 2023.4.11.

[ホームページ]

- 椎谷亨：「神奈川歯科大学歯科保存学講座保存修復学分野」のHPの作成, 定期的な更新。

[学会記]

- 椎谷亨：第158回日本歯科保存学会学術大会に参加して. KDU Research Support Center News Letter, VOL.24, 2023年8月号。

[その他]

- 向井義晴, 椎谷亨, 小浦裕菜, 富澤恵：藤嶺藤沢高等学校体験PG. 2023.7.15.
- 向井義晴, 椎谷亨, 駒田朋昭, 千生倫, 小浦裕菜, 富澤恵：横浜雙葉高等学校体験PG. 2023.7.18.
- 向井義晴, 富山潔, 小浦裕菜, 城村綾香：神奈川県歯科医師会ご子息・ご息女体験PG「夏休みの素敵な体験 歯の世界に触れてみよう」. 2023.8.17.
- 向井義晴, 椎谷亨, 小浦裕菜, 富澤恵：湘南学園高等学校体験PG. 2023.10.6.
- 向井義晴, 椎谷亨, 小浦裕菜, 富澤恵：横須賀学院高等学校体験PG. 2024.2.13.
- 向井義晴, 椎谷亨, 小浦裕菜, 富澤恵：相洋高等学校体験PG. 2024.3.12.

1 | 教員・大学院生・他

教	授：石井信之
准 教	授：武藤徳子
講	師・診療科准教授：鈴木二郎
講	師：室町幸一郎
助	教：藤巻龍治，村野浩気
診療科助	手：糸永和広，徐開元
大 学 院 生	：林玲緒奈(4年)，山崎詩織(4年)，糸永和広(4年)，王珽萱(3年)， 附田孝仁(3年)，石井孝幸(2年)，山根雅仁(2年)
医	員：都富友紀，秋葉千晶，石井孝幸，大北祐輝，市側真理
客 員 教 授	：中川寛一
特 任 講 師	：上田剛史，榎本光夫，小澤(下島)かおり，金子博嗣，小泉忠彦，齋藤大輔， 下出真道，原めぐみ，平嶺倫子，渡部弘隆
特任講師(無給)	：Sangmin Lee, Pil Seoung Kang
臨 床 専 攻 生	：宇都宮舞衣

2 | 2023年度の活動内容

常勤スタッフ13名，大学院生7名で教育，研究，臨床に取り組んだ。

教育：歯内療法学分野の教育方針として，医局スタッフ全員が教育的情熱を持つこと，さらに学生に誠実に対応することを掲げた。3年生歯内療法学講義および基礎実習においては歯内療法の意義を診療ステップごとの反復教育に加味し，毎回のオンライン試験により知識の定着を図り，4年生総合歯科学講義，実習では，共用試験の特徴を理解させた上での教育体系を作成し，5年生の臨床実習では，診療参加型臨床実習の特性を鑑み，コアカリキュラムに則り，水準I，II相当における自験を徹底させると同時に医療従事者としての自覚を養う教育を最重要課題として教育目標を達成した。6年生の講義では，国家試験出題基準に完全に準拠させ，臨床実地問題対策に重点を置いたカリキュラム構成に従って講義を実施した。

研究：①全身疾患(慢性関節リウマチ，IgA腎症)における歯髓組織の炎症進行に関する研究，②TGF- β によるヒト骨芽細胞様細胞の石灰化機序の解析，③ERによる三次元仮想空間を応用した根管長測定の開発と機能解析，AIを応用した歯内療法関連問題作成システムの有用性，④NiTiファイルの切削効率およびマイクロクラック防止に関する研究。研究面は大学内および，国内外の研究者および企業との共同研究を遂行した。

臨床：歯内療法の成功率を向上させることを目的とし，Ni-Tiファイル，また加熱垂直加圧根管充填法について基礎および臨床研究を重ね，歯髓生物学分野の治療方針を確立し治療を開始すると同時に国内臨床医への啓蒙活動を積極的に行った。マイクロスコープ診療についての教育を徹底的に行い，精度の高い歯科医療を国民に提供していくことを基本方針としてすべての治療方針を確立し浸透させた。診療に従事する総医局スタッフにおいて確実な診療報酬増収および患者総数増加に貢献すべく，診療指導，保険指導，それぞれにおけるフィードバックを行った。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K23/OP/016 Tsukuda T, Mutoh N, Nakano A, Itamiya T, Tani-Ishii N : Study of Root Canal Length Estimations by 3D Spatial Reproduction with Stereoscopic Vision. *Applied Sciences*, 13, 8651, 2023. doi: 10.3390/app13158651
- K23/OP/043 Muromachi K, Nakano R, Fujita-Yoshigaki J, Sugiya H, Tani-Ishii N : BMP-1-induced GBA1 nuclear accumulation provokes CCN2 mRNA expression via importin- β -mediated nucleocytoplasmic pathway. *Journal of Cell Communication and Signaling*, 17, 263-274, 2023.
- K23/OP/044 Yamazaki S, Hayashi R, Mutoh N, Ohshima H, Tani-Ishii N : Effects of Rheumatoid Arthritis on the Progression of Pulpitis and Apical Periodontitis in SKG Mice. *Journal of Endodontics*, 49(11), 1501-1507, 2023.
- K23/OP/045 Muromachi K, Hosomichi K, Park H, Yamaguchi T, Tani-Ishii N : Identification of Candidate Genes of Familial Multiple Idiopathic Cervical Root Resorption. *Journal of Endodontics*, 49(11), 1537-1547, 2023.
- K23/OP/046 Kang PS, Tsukuda T, Itonaga K, Yamane M, Mutoh N, Tani-Ishii N : Shaping Ability of Controlled Memory Wire Nickel-titanium Files by Minimally Invasive Endodontics. *Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology*, 3(1), 35-42, 2023.
- K23/OP/017 Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Role of MAPKs in TGF- β 1-induced maturation and mineralization in human osteoblast-like cells. *Journal of Oral Biosciences*, 66, 61-67, 2024.
- K23/OP/039 Hayashi R, Yamazaki S, Mutoh N, Hashimoto T, Ohshima H, Tani-Ishii N : Influence of IgA nephropathy on the progression of pulpitis and apical periodontitis in HIGA mice. *Journal of Oral Biosciences*, 66, 98-104, 2024.
- K23/OP/018 Lee S, Haraga H, Satoh T, Mutoh N, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effect of periodontitis induced by *Fusobacterium nucleatum* on the microbiota of the gut and surrounding organs. *Odontology*, 112, 177-184, 2024.

【総説】

- K23/R/006 石井信之：歯内療法領域の低侵襲治療. *日本歯内療法学会雑誌*, 44(2), 78-85, 2023.

【解説】

- K23/Ex/011 石井信之：Ni-Tiファイルの使用方法. *DENTAL DIAMOND*, 48(14), 30-33, 2023.

【その他】

- K23/O/007 村野浩気：低侵襲歯内療法「Ninja Access」って何?. *DENTAL DIAMOND*, 48(12), 126-127, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 石井信之：パラホルムアルデヒド製剤の医療訴訟と使用撤廃. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.23.

〔シンポジウム講演〕

- 室町幸一郎, 中野令, 吉垣純子, 杉谷博士, 石井信之：ヒト歯髄におけるBMP-1-GBA1経路の役割. 第14回日本CCNファミリー研究会, 岡山, 2023.9.2.

〔一般発表・国際学会〕

- Yamazaki S, Hayashi R, Itonaga K, Mutoh N, Tani-Ishii N : Histological analysis of pulpitis and periapical periodontitis in rheumatoid arthritis model mice. 22nd Scientific Congress of the Asian Pacific Endodontic Confederation, Taipei, Taiwan, 2023.8.25-27.
- Hayashi R, Yamazaki S, Itonaga K, Mutoh N, Tani-Ishii N : Histological study of pulpitis and periapical periodontitis in IgA nephropathy model mice. 22nd Scientific Congress of the Asian Pacific Endodontic Confederation, Taipei, Taiwan, 2023.8.25-27.
- Tsukuda T, Mutoh N, Nakano A, Itamiya T, Tani-Ishi N : New development of Root Canal Length Measurement by SR Technology. 22nd Scientific Congress of the Asian Pacific Endodontic Confederation, Taipei, Taiwan, 2023.8.25-27.
- Yamane M, Yamazaki S, Tsukuda T, Mutoh N, Tani-Ishi N : Analysis of lateral canal detection with electronic root canal length measurement device. 22nd Scientific Congress of the Asian Pacific Endodontic Confederation, Taipei, Taiwan, 2023.8.25-27.
- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effects of multi-walled carbon nanotubes on mineralization of human cementoblasts. 22nd Scientific Congress of the Asian Pacific Endodontic Confederation, Taipei, Taiwan, 2023.8.25-27.

〔一般発表・国内学会〕

- 室町幸一郎, 中野令, 吉垣純子, 杉谷博士, 石井信之：BMP-1はGCaseを介してMCM2の発現を調節しヒト歯髄培養細胞の増殖に関与する. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 藤巻龍治, 鈴木二郎, 石井信之：Ni-Tiファイルの周期疲労耐性に対するエンドモーター回転様式の影響. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 王珽萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之：象牙質接着材のセメント芽細胞に対する細胞障害性に関する研究. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- Itonaga K, Murano H, Muromachi K, Tani-Ishii N : Horizontal root fracture in the distal root of a mandibular molar: A clinical case report. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.

- 附田孝仁, 中野亜希人, 板宮朋基, 武藤徳子, 石井信之: 歯内治療における裸眼3D立体表示の有用性—根管長測定機能の評価—. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 山根雅仁, 山崎詩織, 附田孝仁, 武藤徳子, 石井信之: 側枝検出機能を有する根管長測定器の機能解析. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 武藤徳子, 林玲緒奈, 山崎詩織, 糸永和広, 石井信之: 自己免疫疾患における歯髄および根尖歯周組織疾患の病理組織学的研究. 第44回日本歯内療法学会学術大会, 東京, 2023.7.8-9.
- 附田孝仁, 武藤徳子, 石井信之: Extended realityによる三次元仮想空間を応用した根管長測定の開発と機能解析. 第44回日本歯内療法学会学術大会, 東京, 2023.7.8-9.
- 武藤徳子, 山口徹太郎, 小林優, 副田義樹, 附田孝仁, 石井信之, 櫻井孝: AI作問システムを活用した新しい教育環境の構築. 第42回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 完全WEB開催(ライブ配信+オンデマンド配信), 2023.7.15-31.
- 王珽萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: カーボンナノチューブのヒトセメント芽細胞様細胞に対する石灰化誘導能について. 神奈川歯科大学学会第172回例会, オンライン開催, 2023.10.12.
- 室町幸一郎, 細道一善, 朴熙泰, 石井信之, 山口徹太郎: 家族性Multiple idiopathic cervical root resorptionの遺伝学的病態理解. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 藤巻龍治, 鈴木二郎, 石井信之: Ni-Tiファイルの疲労破折に対する回転様式の有効性. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 山崎詩織, 林玲緒奈, 糸永和広, 武藤徳子, 石井信之: 自己免疫疾患における歯髄および根尖性歯周炎の病理組織学的研究—関節リウマチモデルマウスを用いた解析—. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 林玲緒奈, 山崎詩織, 糸永和広, 武藤徳子, 石井信之: 自己免疫疾患の歯髄炎および根尖性歯周炎の病理学的研究—IgA腎症モデルマウスを用いた解析—. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 附田孝仁, 武藤徳子, 山口徹太郎, 副田義樹, 石井信之: Artificial Intelligenceを応用した歯内療法関連問題作成システムの有用性. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 王珽萱, 渡邊清子, 室町幸一郎, 浜田信城, 石井信之: カーボンナノチューブのセメント芽細胞に対する石灰化誘導能に関する研究. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 藤巻龍治, 鈴木二郎, 石井信之: Ni-Tiファイルの周期疲労耐性に対する回転様式の有効性. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 山崎詩織, 林玲緒奈, 武藤徳子, 石井信之: SKGマウスにおける根尖性歯周炎の進行に対する関節リウマチの影響. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

- 林玲緒奈, 山崎詩織, 武藤徳子, 橋本達夫, 石井信之: IgA腎症モデルマウスにおける根尖性歯周炎の組織学的解析. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 附田孝仁, 武藤徳子, 中野亜希人, 板宮朋基, 石井信之: 根管長測定におけるXRテクノロジーの応用と精度解析. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 山根雅仁, 山崎詩織, 附田孝仁, 武藤徳子, 石井信之: 電氣的根管長測定器による側枝検出機能の解析. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

〔講演会・セミナー等〕

- 石井信之: 歯内療法における次世代医療機器の応用. エンドセミナー, 長崎, 2023.7.29. / 歯内療法難症例に対するマイクロスコプ診療の応用. 神奈川歯科大学神奈川支部同窓会講演, 横浜, 2023.10.21. / 歯内療法難症例に対する治療アプローチ. 神奈川歯科大学大阪支部同窓会講演, 大阪, 2024.1.27.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 室町幸一郎(代表), 石井信之(分担): 歯髄におけるGCCaseの核移行に着目した新規創傷治癒因子の同定. 基盤研究(C), 21K09882, 2021~2023年度.
- 武藤徳子(代表), 石井信之(分担), 大島勇人(分担): 歯髄治癒過程における神経伝達物質と自然免疫制御による象牙質再生機構の解明. 基盤研究(C), 21K09883, 2021~2023年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 武藤徳子(代表): 空間再現技術を応用した外科的歯内治療における術前シミュレーションの有用性について. 神奈川歯科大学大学院プロジェクト研究, No.9, 2023年度.

〔賞〕

- 鈴木二郎, 稲葉啓太郎: 堀研究奨励賞: 新規ペーストタイプMTA系根管用シーラーの物理的特性および抗菌効果. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会. 2023.11.25.
- 王珽萱: Yong Investigator Award: カーボンナノチューブのヒトセメント芽細胞様細胞に対する石灰化誘導能について. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会. 2023.11.25.
- 室町幸一郎: 第58回神奈川歯科大学学会学術大会優秀ポスター賞: BMP-1はヒト歯髄培養細胞においてimportin- β によるGBA1の核移行を介してCCN2発現を調節する. 神奈川歯科大学学会. 2023.11.25.
- 石井信之: 日本歯科医学会会長賞(研究部門). 日本歯科医学会. 2024.2.20.

1 | 教員・大学院生・他

教授：小牧基浩
 准教授：青山典生(2023年11月まで)
 講師：鎌田要平，杉原俊太郎
 助教：清水智子，平田貴久，佐藤五月
 診療科助手：藤井利哉，谷口健太郎，西村聡一郎，鈴木聡太，平井早紀，高梨裕也，中村里穂
 大学院生：喜田さゆり(4年)，藤井利哉(4年)，谷口健太郎(4年)，松井嵩昌(4年)，
 矢田朋美(3年)，張宇安(3年)
 医員：小島みの李，前川敦俊，李元旻，鈴木大樹，真島延行，横井悠，吉田圭佑
 特任教授：田村利之
 特任講師：大室博正，木次大介，伏見肇，茂木信道，加藤雄大，林千絵
 特任講師(無給)：篠木毅，杉山貴志，両角俊哉
 臨床専攻生：高瀬雅大，岩淵薫子，天下井一博，荒川泰秀，川端理仁，衣笠航，琢磨遼，
 吾妻晋太郎
 臨床見学生：伊藤聖，藤谷崇人

2 | 2023年度の活動内容

教育：3年生「歯周病学」，4年生「総合歯科学」にて講義および実習を行い，5年生「臨床実習I」，6年生「臨床実習II」に関しては，保存系を担当し，臨床実習および講義を行った。大学院教育としては，大学院講義を行うとともに，6名の大学院生の研究指導を行った。卒後初期研修において関係法規，医療安全，カルテ記載，歯周基本治療(プロービング，スケーリング，口腔内写真)の講義，実習を行った。またTDH東京歯科衛生専門学校における口腔外科学の講義を担当し，顎・口腔領域に生じる疾患の特徴，診断法，治療法について講義および試験問題の作成を行った。

研究：ペリオドンタルメディシンについての研究を進め，発表を行うとともに原著論文を公表した。「唾液中乳酸脱水素酵素活性による歯周病リスク判定試験紙の妥当性に関する研究」臨床研究を口腔衛生分野と共同して実施し，研究データ解析終了し論文投稿中。「歯周骨内欠損における塩基性線維芽細胞増殖因子と自家骨移植併用効果の検討」研究データ解析終了し論文投稿中。全身疾患と歯周病の関連分野で，歯周病をはじめとした口腔内の健康状態及びその変化と循環器疾患の重症度や臨床経過・予後との関連を横断的かつ縦断的に評価することで，循環器疾患二次予防における歯科口腔保健の臨床的意義を探索的に検討中。

臨床：歯周病診療科において，重度歯周炎患者の診療を中心にを行い，抗菌療法，歯周外科手術，歯周組織再生療法(GTR法，bFGF)，歯周形成外科手術などの高度な治療を数多く行った。外部から臨床専攻生を採用し，歯周病学会認定医取得に対する指導，治療計画，手術に関する知識，技術などの向上を図った。

社会活動：大学内外にて講演を開催し，歯周病を含む生活習慣病への意識改善の必要性を周知した。

3 | 研究業績

【著書】

- K23/B&C/014 西村英紀, 青山典生, 他19名: 糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン. 改訂第3版, 日本歯周病学会, 東京, 2023.
- K23/B&C/015 不島健持, 児玉利朗, 小林優, 田村利之: オーラルバイオメカニクスを考慮した歯周矯正治療. 東京臨床出版, 大阪, 2023.
- K23/B&C/016 小牧基浩, 鎌田要平: 第3章.8. 歯周病と非アルコール性脂肪性肝炎(NASH). pp.69-71. / 青山典生: 第5章.VII.1. 突発的な歯の動揺. pp.210 / 第5章.VII.2. 歯の挺出. pp.211 / 第5章.VII.3. 急激な腫脹や膿瘍形成の処置. pp.212 / 第5章.VII.4. 歯周治療に関連する肉芽組織の異常増殖の対策. pp.213. 沼部幸博 [ほか] 編集主幹: ザ・ペリオドントロジー. 第4版, 永末書店, 京都, 2023. *前年度未掲載分
- K23/B&C/017 水谷幸嗣, 川村梨恵, 澤辺正規, 小牧基浩, 青木章: I.③.3. 軟組織の蒸散とその効果. pp.34-39. / 青木章, 水谷幸嗣, 谷口陽一, 小牧基浩, 和泉雄一, 岩田隆紀: II.③.1. 新規の歯周ポケット治療法の開発とその術式. pp.176-185. 青木章 [ほか] 編著: 歯周治療・インプラント周囲治療のためのEr:YAGレーザーパーフェクトガイドーベーシックから最新アドバンスまで. ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2023.

【原著論文】

- K23/OP/047 Ikeda Y, Chigasaki O, Mizutani K, Sasaki Y, Aoyama N, Mikami R, Gokyu M, Umeda M, Izumi Y, Aoki A, Takeuchi Y: The Potential of a Saliva Test for Screening of Alveolar Bone Resorption. *Healthcare*, 11, 1822, 2023. doi: 10.3390/healthcare111131822
- K23/OP/048 Fujii T, Aoyama N, Kida S, Taniguchi K, Yata T, Minabe M, Komaki M: Associations between Periodontal Status and Liver Function in the Japanese Population: A Cross-Sectional Study. *Journal of Clinical Medicine*, 12, 4759, 2023. doi: 10.3390/jcm12144759
- K23/OP/049 Hamaya R, Yonetsu T, Aoyama N, Shiheido-Watanabe Y, Tashiro A, Niida T, Isobe M, Maejima Y, Iwata T, Sasano T: Contribution of periodontal health in cardiovascular secondary prevention: Analyses on hospitalized patients in cardiology units. *Journal of Clinical Periodontology*, 50, 708-716, 2023.
- K23/OP/050 Aoki A, Mizutani K, Mikami R, Ohsugi Y, Kobayashi H, Akizuki T, Taniguchi Y, Takeuchi Y, Katagiri S, Sasaki Y, Komaki M, Meinzer W, Izumi Y, Iwata T: Er:YAG laser-assisted comprehensive periodontal pocket therapy for residual periodontal pocket treatment: A randomized controlled clinical trial. *Journal of Periodontology*, 94, 1187-1199, 2023.
- K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K: Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. *Medicina*, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789
- K23/OP/030 Kida S, Aoyama N, Fujii T, Taniguchi K, Yata T, Iwane T, Yamamoto T, Tamaki K, Minabe M, Komaki M: Influence of Meal Sequence and Number of Teeth Present on Nutrient Intake Status: A Cross-Sectional Study. *Nutrients*, 15, 2602, 2023. doi: 10.3390/nu15112602

K23/OP/051 Mikami R, Mizutani K, Gohda T, Matsuyama Y, Gotoh H, Nakagawa K, Takemura S, Aoyama N, Matsuura T, Kido D, Takeda K, Saito N, Izumi Y, Iwata T : Malnutrition-inflammation- atherosclerosis (MIA) syndrome associates with periodontitis in end-stage renal disease patients undergoing hemodialysis: a cross-sectional study. Scientific Reports, 13, 11805, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-38959-0

【総説】

K23/R/001 Shimizu T, Jinbu Y, Tsukinoki K : Involvement of IL-17 and dental disease in palmoplantar pustulosis. 神奈川歯学, 58(1), 48-52, 2023.

K23/R/007 青山典生 : 歯周病が循環器疾患を導く経路の科学的探索. 日本歯科保存学雑誌, 66(1), 23-25, 2023.

【症例報告】

K23/CR/004 Kuroda H, Taniguchi K, Tsukimoto S, Imaizumi U, Komaki M, Sanuki T : Carbamazepine-Induced Systemic Lupus Erythematosus in a Patient With Idiopathic Trigeminal Neuralgia: A Case Report. Cureus, 15(10), e47009, 2023. doi: 10.7759/cureus.47009

【解説】

K23/Ex/012 青山典生 : 知っていますか?歯周病と全身のかかわり. 歯科衛生だより, 76, 1-3, 2023.

K23/Ex/004 清水智子, 槻木恵一, 神部芳則 : 掌蹠膿疱症. デンタルハイジーン, 43(11), 1184-1185, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 青山典生 : 心疾患と歯周病の関連. 第27回日本心不全学会学術集会, 横浜, 2023.10.6.

〔シンポジウム講演〕

- 青山典生 : 歯周病と循環器疾患の関連にもとづく医科歯科連携の推進へ. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.27.

〔一般発表・国際学会〕

- Yamamoto Y, Takahashi T, Morozumi T, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Saita M, Tsukinoki K : Effect of α - and β -starch in Rice on cecal Short-Chain Fatty Acid Concentration and Salivary Immunoglobulin A Levels in Rats. 16th International Scientific Conference on Probiotics, Prebiotics, Gut Microbiota and Health, Bratislava, Slovakia, 2023.6.20-22.

〔一般発表・国内学会〕

- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 齊田牧子, 槻木恵一 : 米の α でんぷんと β でんぷんの含有比率の違いがラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響. 第77回日本栄養・食糧学会大会, 札幌, 2023.5.12-14.
- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 田村宗明, 高橋徹, 根岸紘生, 土橋英恵, 市川愛弓, 下仲敦, 横尾岳大, 唐舒宜, 牧野聖也, 狩野宏, 北條研一, 槻木恵一 : ヨーグルト摂取が口腔内常在菌に交叉する唾液中IgAレベルに与える影響. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.

- 青山典生, 莊司琴, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 辻上博美, 両角俊哉, 井野智, 小牧基浩: ハブラシコンセイエ® の認定と病院職員の意識の向上. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 杉山貴志, 両角俊哉, 淵田慎也, 青山典生, 平田貴久, 小牧基浩: 歯周基本治療による糖尿病マーカーおよび唾液機能の変化. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 高瀬雅大, 青山典生, 杉原俊太郎, 田村利之, 小牧基浩: 広汎型侵襲性歯周炎に対して歯周組織再生療法ならびに歯冠長延長術により口腔機能回復を行った症例. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 谷口健太郎, 青山典生, 藤井利哉, 喜田さゆり, 矢田朋美, 竹田綾, 小牧基浩: 腸内細菌の多様性が低いと歯周病の状態が悪化している. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 清水智子, 鎌田要平, 佐藤五月, 山本裕子, 槻木恵一, 小牧基浩: ヒト歯肉上皮培養細胞におけるSARS-CoV-2感染促進因子のサイトカインによる影響についての研究. 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023.10.13-14.
- 平田貴久, 山本龍生, 両角俊哉, 杉原俊太郎, 奥口文宣, 三辺正人, 横山宏樹, 小牧基浩: 1型および2型糖尿病患者と非糖尿病の者における歯周病指標の比較. 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023.10.13-14.
- 矢田朋美, 青山典生, 藤井利哉, 喜田さゆり, 谷口健太郎, 岩根泰蔵, 小牧基浩: 味覚感受性の低下と口腔機能低下症との関連. 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023.10.13-14.
- 矢田朋美, 青山典生, 藤井利哉, 喜田さゆり, 谷口健太郎, 岩根泰蔵, 小牧基浩: 地域住民の味覚低下に関連する口腔機能関連因子の検討. 第10回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 東京, 2023.11.4-5.
- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 清水智子, 東雅啓, 窪田展久, 河田亮, 槻木恵一: 米粉摂取がラット腸内細菌叢と唾液中IgAレベルに与える影響. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.

〔講演会・セミナー等〕

- 小牧基浩: 創傷治癒の最適化のために知っておきたいバイオロジー. 神奈川歯科大学附属別府院病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2023.10.26.
- 青山典生: 糖尿病患者へ歯科からできること. 第10回Web型糖尿病セミナー 2023年度ヘルスエディケーションセンター 50周年記念特別講演会, 横浜, 2023.6.10.
- 喜田さゆり: 人生100年時代!知っておきたい歯周病・栄養・身体のエビデンス～全身の健康は歯科衛生士が守る～. 東京歯科衛生専門学校同窓会藤紫会2023年度講習会, 東京, 2023.11.19.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 平田貴久(代表): 2型糖尿病が生命・心血管疾患に及ぼす影響—歯周病実態比較調査による解析—. 若手研究, 19K19338, 2019～2023年度.
- 杉原俊太郎(代表): トモシンセシスX線撮影法を用いた硬組織病変に対する臨床診断の確立.

若手研究, 20K18547, 2020~2023年度.

[賞]

- 青山典生：第108回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2022年大会最優秀ポスター賞. 日本歯周病学会. 2023.10.13.
- 喜田さゆり：第108回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2022年大会優秀ポスター賞. 日本歯周病学会. 2023.10.13.
- 矢田朋美, 青山典生, 藤井利哉, 喜田さゆり, 谷口健太郎, 岩根泰蔵, 小牧基浩：神奈川県歯科大学学会第170回例会Young Investigator Award：味覚感受性と口腔機能との関連. 神奈川県歯科大学学会. 2023.11.25.
- 青山典生：優秀指導教員賞. 神奈川県歯科大学大学院歯学研究科. 2024.3.8.
- 喜田さゆり：学長賞. 神奈川県歯科大学大学院歯学研究科. 2024.3.8.

歯科補綴学講座

▶ クラウンブリッジ補綴学分野

代表者：木本克彦

1 | 教員・大学院生・他

教授：木本克彦
講師：齋田牧子, 川西範繁, 野村太郎(2024年2月から)
助教：本間優太, 井上允, 足立拓也
診療科助手：山口(白木)麗
大学院生：久保大二郎(4年), 角井早紀(4年), 富田凜太郎(3年), 崔頌媛(1年), 佐藤真妃(1年)
医員：河野虎己
研究生：毛内伸威
客員教授：小川勝久, 築瀬武史
特任准教授：丸尾勝一郎, 服部慎太郎
特任講師：山田重雄, 江田尚弘, 大野晃教, 衆原淳之, 尾崎隆海, 鎌田政宣, 熊坂知就, 小林弘明, 伊東佑輔, 若菜裕, 小田切憲, 小澤僚太郎, 榊原潤, 安斉昌照, 田中淳也
特任講師(無給)：菊田大士, 小池軍平, 堀口紀雄, 千栄寿
臨床専攻生：桂田祐慎

2 | 2023年度の活動内容

教育：3年生の歯冠補綴学(クラウン)の講義および実習, 5年生の臨床実習, 臨床座学, 6年生の卒業試験対策講義(Cr-Br・インプラント補綴学)を担当した。将来, 臨床医として必要な補綴歯科治療の基礎知識, 理論的な考え方と技術・態度を習得し, 患者の立場にたち, 適切な対応, 治療を行えるよう今年度はリモート授業を中心に指導を行った。また, 卒後臨床医および医員を対象に, 補綴歯科セミナーを開講し, 補綴歯科治療の知識と技術の向上に努めた。

研究：1)Digital Dentistry(口腔内スキャナーの臨床応用・裸眼立体視の歯科治療および補綴歯科教育への応用), 2)咀嚼健康医学(咀嚼と認知症・認知機能, 咬合咀嚼刺激の唾液解析), 3)臨床研究(軟質リライン材の効果, 認知症予防における咀嚼の効果)など多岐にわたっており, 内外外部研究機関との共同研究も積極的に行った。

臨床：附属病院のデジタル歯科診療科を担当し, 補綴歯科治療, 歯科インプラント治療を行った。またCAD/CAMシステムを応用し, セラミック材料を中心とした高度先進医療の推進に努めた。

社会活動：学会が主催する各種委員会やセミナーに参画し, 啓蒙活動に努めた。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/018 川西範繁, 木本克彦: PART 2.5.2. 義歯の定期メンテナンスに関する患者説明・指導. pp.100-103. 村田比呂司監著: 患者説明にも自信がつく 今はこうする・こう考える 義歯のケア. クインテッセンス出版, 東京, 2024.

【原著論文】

K23/OP/002 Kubo D, Itamiya T, Kawanishi N, Hoshi N, Kimoto K: The Use of a 3D Image Comparison Program for Dental Identification. *Applied Sciences*, 13, 7517, 2023. doi: 10.3390/app13137517

K23/OP/005 Ichigaya N, Kawanishi N, Adachi T, Sugimoto M, Kimoto K, Hoshi N: Effects of Denture Treatment on Salivary Metabolites: A Pilot Study. *International Journal of Molecular Sciences*, 24, 13959, 2023. doi: 10.3390/ijms241813959

K23/OP/007 Monai N, Kuwabara A, Kawanishi N, Ozawa R, Adachi T, Tsunoi S, Inoue M, Saita M, Hayakawa T, Hoshi N, Kimoto K: Effect of UV Photofunctionalization of HA/TiO₂ Coated Implants Prepared by Dual-Target Sputtering on Bone-Implant Integration. *Journal of Hard Tissue Biology*, 32(2), 99-104, 2023.

K23/OP/008 Kurogi T, Murata H, Yamaguchi E, Kawai Y, Suzuki A, Koide Y, Kimoto S, Kondo H, Nomura T, Tsuboi A, Hong G, Ito Y, Minakuchi S, Ohwada G, Sato Y, Suzuki T, Kimoto K, Hoshi N, Saita M, Yoneyama Y, Sato Y, Morokuma M, Okazaki J, Maeda T, Nakai K, Ichikawa T, Nagao K, Fujimoto K, Nishimura M, Nishi Y, Murakami M, Hosoi T, Hamada T: Effects of denture adhesives on denture retention and occlusal forces in complete denture wearers: A multicenter, randomized controlled trial. *Journal of Prosthodontic Research*, 67(4), 548-555, 2023.

K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K: Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. *Medicina*, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789

K23/OP/052 Nagata K, Kamata M, Okuhama Y, Wakamori K, Okubo M, Tsuruoka H, Atsumi M, Kawana H: Volume change after maxillary sinus floor elevation with apatite carbonate and octacalcium phosphate. *International Journal of Implant Dentistry*, 10, 7, 2024. doi: 10.1186/s40729-023-00518-7

K23/OP/011 Kimoto S, Kawai Y, Suzuki A, Koide Y, Kondo H, Nomura T, Tsuboi A, Ito Y, Hong G,

Minakuchi S, Ohwada G, Sato Y, Suzuki T, Kimoto K, Saita M, Hoshi N, Yoneyama Y, Sato Y, Morokuma M, Okazaki J, Maeda T, Nakai K, Ichikawa T, Nagao K, Fujimoto K, Kurogi T, Murata H, Okazaki H, Nishimura M, Nishi Y, Murakami M, Hosoi T, Hamada T : Effect of denture adhesives on masticatory performance: Multicenter randomized controlled trial. Journal of Prosthodontic Research, 68(1), 132-138, 2024.

K23/OP/053 角井早紀, 片山裕太, 大橋桂, 木本克彦, 二瓶智太郎 : ジルコニアに対するレジンセメントの接着性に関する研究－試作プライマーにおける酸性モノマーの適正濃度について－. 接着歯学, 41(4), 81-91, 2023.

【解説】

K23/Ex/013 眞鍋雄太, 木本克彦 : 歯科医療から認知症にどう取り組むべきか? 第3回 認知症専門医からの提言－医科歯科連携の必要性・必然性. 歯界展望, 142(3), 600-605, 2023.

K23/Ex/001 木本克彦, 永田紘大, 川西範繁, 星憲幸, 河奈裕正 : 3Dプリンターの歯科治療への応用と将来展望. 歯界展望, 142(4), 662-669, 2023.

K23/Ex/014 小林琢也, 白石成, 木本克彦, 佐々木啓一 : 歯科医療から認知症にどう取り組むべきか? 第4回 ここまではわかっている! 口腔機能と認知症の関係① 基礎研究からのアプローチ. 歯界展望, 142(4), 814-819, 2023.

K23/Ex/015 木本克彦 : 新しい補綴歯科専門医制度を知ろう III 認定基準と認定結果について. 補綴臨床, 56(5), 99-103, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 木本克彦 : 本学におけるCAD/CAM研究の歩みと歯科医療DX (大会長講演). 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22.
- 木本克彦 : 補綴歯科専門医・研修機関が日本歯科専門医機構に正式に認定されました!. 日本補綴歯科学会第2回専門医セミナー, WEB開催, 2023.6.7.
- 木本克彦 : デジタル時代のマテリアルを使いこなす. 第9回日本国際歯科大学2023, 横浜, 2023.10.1.

〔一般発表・国際学会〕

- Yamamoto Y, Takahashi T, Morozumi T, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Saita M, Tsukinoki K : Effect of α - and β -starch in Rice on cecal Short-Chain Fatty Acid Concentration and Salivary Immunoglobulin A Levels in Rats. 16th International Scientific Conference on Probiotics, Prebiotics, Gut Microbiota and Health, Bratislava, Slovakia, 2023.6.20-22.

〔一般発表・国内学会〕

- 本間優太, 清宮一秀, 中静利文, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦 : 歯科用CADにおけるクラウン内面データの作成方法の違いがCAD/CAM冠の適合精度に与える影響. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 久保大二郎, 板宮朋基, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦 : 画像比較プログラムにより算出された

片側歯列断面画像の一致度を利用した歯科身元確認における同定法の検討. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.

- 富田凜太郎, 板宮朋基, 中野亜希人, 星憲幸, 服部慎太郎, 木本克彦: 裸眼立体視環境における歯牙モデルのリアルタイム切削・変形の実現. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 中野亜希人, 板宮朋基, 藤崎みのり, 鈴木美南子, 井上允, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 裸眼立体視と三次元位置計測を用いたブラッシング指導支援システムの開発. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 斉田牧子, 槻木恵一: 米の α でんぷんと β でんぷんの含有比率の違いがラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響. 第77回日本栄養・食糧学会大会, 札幌, 2023.5.12-14.
- 川西範繁, 市ヶ谷成美, 足立拓也, 星憲幸, 木本克彦: 義歯治療による唾液代謝プロファイルへの影響. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 井上允, 眞鍋雄太, 本間優太, 富田凜太郎, 星憲幸, 木本克彦: 神経変性認知症患者における口腔環境と脳血流との関連性. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 星憲幸, 木本克彦: 口腔カンジダ症における唾液の関連性—唾液量と唾液代謝プロファイル—. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 角井早紀, 熊坂知就, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対する接着耐久性に関する研究(3報)—酸性プライマーの耐水効果について—. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 川西範繁, 星憲幸, 斉田牧子, 木本克彦: HAとTiO₂(酸化チタン)によるハイブリッドコーティングインプラントに対する紫外線照射の効果. 第53回日本口腔インプラント学会学術大会, 札幌, 2023. 9.15-17.
- 足立拓也, 川西範繁, 谷口紀江, 淵田慎也, 星憲幸: 口腔カンジダ症における唾液の関連性—唾液量と唾液代謝プロファイル—. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 本間優太, 清宮一秀, 中静利文, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: CADにおけるクラウン内面データの作成方法の違いがCAD/CAMクラウンの適合精度に与える影響. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 白木麗, 木本克彦, 片山裕太, 和田悠希, 大橋桂, 二瓶智太郎: 歯科用コーティング材塗布後の処理による接着性の変化. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 久保大二郎, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 全顎的治療により咬合干渉と咀嚼障害を改善した症例. 令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2024.1.7.
- 富田凜太郎, 板宮朋基, 中野亜希人, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: 裸眼立体視環境における支

台歯形成シミュレーションの開発. 令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2024.1.7.

〔講演会・セミナー等〕

- 木本克彦, 星憲幸, 川西範繁, 中静利文, 藤崎みのり: 誰でも導入可能なデジタル歯科治療の実践法 口腔内スキャナーを活用したデジタルワークフロー. 神奈川歯科大学同窓会学術講演, 横浜, 2024.2.18.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 木本克彦(代表), 西村正宏(分担), 河相安彦(分担), 木本統(分担), 佐藤佑介(分担), 星憲幸(分担), 村田比呂司(分担), 米山喜一(分担), 武部純(分担), 市川哲雄(分担): 下顎無歯顎に応用する軟質ライン材の臨床効果—多施設ランダム化比較試験—. 基盤研究(C), 20K10062, 2020~2023年度.
- 川西範繁(代表): 唾液バイオマーカーの新規開発による低侵襲かつ簡便な認知症評価指標の確立. 若手研究, 20K18814, 2020~2023年度.
- 板宮朋基(代表), 木本克彦(分担), 中野亜希人(分担): 裸眼立体視と触覚再現を両立させた歯科補綴学遠隔実習システムの開発. 基盤研究(C), 22K10065, 2022~2024年度.
- 木本克彦(代表), 眞鍋雄太(分担): 咀嚼は、神経変性認知症の先制的予防介入となり得るのか?—ランダム化比較試験—. 基盤研究(C), 23K09259, 2023~2025年度.

〔賞〕

- 川西範繁: 学術奨励賞. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会. 2023.4.22.
- 足立拓也: 大会長賞: 口腔カンジダ症患者における唾液の関連性—唾液量と唾液代謝プロファイル—. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会). 2023.9.24.

〔学会記〕

- 川西範繁: 支部学術大会報告 西関東支部学術大会. 日本補綴歯科学会誌Letter for Members, 15(2), 3, 2023.

1 教員・大学院生・他

教授：井野智
 准教授：濱野奈穂
 講師：清水統太，岩下英夫，福山卓志
 助教：富野(一色)ゆかり
 診療科助手：藺部悠司郎
 医員：片岡優加，村上詩織，久保敦史，富永順平，中丸亜美，西村紗稀子
 客員教授：宮本績輔
 特任教授：鈴木敏行
 特任講師：今井崇隆，高橋晃子，柴田武士，加々美太輔，大野浩正，満田茂樹
 臨床専攻生：和泉浄，大川公子，三宅忠隆，辻村有哉

2 2023年度の活動内容

教育：歯学部においては，3年生「全部床義歯学」「部分床義歯学」の講義および実習，4年生「部分床義歯学」の講義・実習と「総合歯科学I(全部床義歯・部分床義歯)」の講義・実習，5年生「臨床実習(全部床義歯・部分床義歯)」の講義および臨床実習，6年生「総合歯科学II(全部床義歯・部分床義歯)」の講義を担当した。近年の歯科医師国家試験の出題傾向を分析し，歯科医師として必要な有床義歯に関する知識を習得できるよう努めた。卒後研修歯科医に対しては，初期・中期・後期研修において，歯科補綴学に関する実習・講義の一部を担当した。

研究：既製シート圧接法と3Dプリント造形法によるスポーツマウスガードの臨床的比較のためのデータ収集，発表を行った。デジタル技術を応用した有床義歯補綴装置の設計学修支援システムを構築し，学会発表を行った。3Dプリンターで製作したデジタル義歯の臨床エビデンスの構築の研究を再開し始めた。

臨床：附属病院・義歯診療科，横浜クリニック・成人歯科・MI補綴療法部門において，主に歯冠修復から欠損補綴(無歯顎)まで，MI(ミニマルインターベンション)概念をベースに，患者さんへの非可逆的侵襲を極力避けた補綴治療を担当した。日本補綴歯科学会の認定医・専門医・指導医として，紹介患者の治療を積極的に行い，医員・研修歯科医の指導・教育にも努めた。また，新たに2名日本補綴歯科学会専門医を取得した。

社会活動：公益社団法人日本補綴歯科学会西関東支部の理事として，支部の組織運営を行った。また，公益社団法人日本補綴歯科学会学術大会，日本補綴歯科学会西関東支部学術大会において，発表者の審査や座長を行った。日本接着歯学会学術大会の運営をサポートした。

3 研究業績

【著書】

K23/B&C/019 井野智：16. 義歯の重合・研磨. pp.185-194. 藍稔 [ほか] 編集・執筆：スタンダードパーシャルデンチャー補綴学. 第4版, 学建書院, 東京, 2024.

【原著論文】

K23/OP/031 小松知子，横山滉介，宋文群，萩原大，野口毅，高満幸宜，渡辺匡，戸田真司，李昌一，井野智：障害者支援施設での摂食嚥下リハビリテーションのオンライン指導の検討。障害者歯科, 44, 213-222, 2023.

【症例報告】

K23/CR/005 福山卓志：歯列骨格統合モデルを活用して多数歯先天性欠如による審美障害を改善した一症例。日本補綴歯科学会誌, 15, 523-526, 2023.

K23/CR/006 一色ゆかり：臼歯部欠損による咬合高径低下に対して部分床義歯新製により咀嚼機能改善を図った症例。日本補綴歯科学会誌, 16, 159-162, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 菌部悠司郎, 福山卓志, 清宮一秀, 中静利文, 一色ゆかり, 井上允, 清水統太, 久保敦史, 中丸亜美, 片岡優加, 富永順平, 村上詩織, 岩下英夫, 濱野奈穂, 宮本績輔：シート圧接法と3Dプリント造形法によるスポーツマウスガードの装着感に関する調査。日本補綴歯科学会第132回学術大会－設立90周年記念大会－, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 荘司琴, 青山典生, 渡邊真由美, 藤崎みのり, 井野智, 辻上博美：ハブラシコンセイエ® の認定と歯科大学附属病院職員の口腔清掃用品に対する意識の向上。日本歯科衛生学会第18回学術大会, ハイブリッド開催(静岡+オンデマンド配信), 2023.9.16-18. *オンデマンド配信, 2023.10.4-31.
- 菌部悠司郎, 井野智：2種類のスポーツマウスガードの装着感や運動時噛みしめ自覚に関するアンケート調査。日本スポーツ歯科医学会第34回総会・学術大会, 福岡, 2023.11.18-19.
- 武村幸彦, 渡邊真由美, 花岡孝治, 辻上博美, 松木千紗, 森本佳成, 讃岐拓郎, 石井信之, 井野智, 向井義晴：歯科治療のストレス評価 歯科衛生士の臨床経験年数による比較と患者認識との相違。神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 岩下英夫, 清宮一秀, 濱野奈穂, 清水統太, 福山卓志, 富野ゆかり, 菌部悠司郎, 加々美太輔, 宮本績輔, 和泉浄, 大川公子, 辻村有哉, 三宅忠隆, 井野智：有床義歯補綴装置の設計学修支援システムに関する報告。令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2024.1.7.
- 菌部悠司郎, 福山卓志, 清宮一秀, 中静利文, 富野ゆかり, 井上允, 清水統太, 久保敦史, 中丸亜美, 片岡優加, 富永順平, 村上詩織, 岩下英夫, 濱野奈穂, 井野智：SMG選択における「運動時噛みしめ調査」の有効性。令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2024.1.7.

〔講演会・セミナー等〕

- 井野智：明日から使える咬合調整の実際(1)歯周組織と顎関節を守れ。神奈川歯科大学附属病院病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2023.4.27. / 明日から使える咬合調整の実際－顎関節と歯周組織を守れ－。福島県支部同窓会, 郡山, 2023.6.24. / 明日から使える咬合調整の実際(2)スプリント療法からスポーツマウスガードまで。神奈川歯科大学附属病院病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2023.8.10. / 明日から使える咬合調整の実際－顎関節と歯周組織を守れ－。広島県支部同窓会, 広島, 2023.11.25.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 一色ゆかり：VR技術を用いたデジタル義歯辺縁形態設計システムの開発と臨床効果。若手研究, 21K17052, 2021～2025年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

●岩下英夫：仮想空間における有床義歯補綴装置の設計学修支援システムの開発。神奈川歯科大学大学院プロジェクト研究, No.11, 2023年度。

●菌部悠司郎：スポーツマウスガード製作のための咬合採得法と姿勢の関連性。神奈川歯科大学大学院プロジェクト研究, No.15, 2023年度。

口腔外科学講座

▶ 口腔外科学分野

代表者：小林優

1 | 教員・大学院生・他

教 授：小林優, 安部貴大
准 教 授：鈴木健司
講 師：田中香衣, 小松紀子
助 教：高才東, 金森慶亮
診 療 科 助 手：石田孝文, 小關理恵子
大 学 院 生：原田隆史(4年), 黒田実可子(2年)
医 員：島田陽, 森岡宗人, 今崎友里恵, 萩原拓実, 松田創真
特 任 教 授：岩淵博史, 笹倉裕一
特 任 准 教 授：土肥雅彦, 小澤重幸
特 任 講 師：長田一成
特任講師(無給)：大澤孝行, 大塚亨, 湯川善弘, 小林晋一郎, 本間義郎
非 常 勤 医 師：矢吹雄一郎
臨 床 専 攻 生：野村太郎, 朴特彦, 田中紗耶

2 | 2023年度の活動内容

教育：学生教育については例年同様に担当教員にて各講義・実習を遂行した。大学院教育については最終学年を迎えた原田隆史先生が無事に学位審査を修了した。臨床研修医も専属希望者4名を迎え、1年間の研修教育を完遂できた。

研究：今年度も科学研究費が2課題新規採択された(安部, 小松)。また, 小松講師は日本口腔外科学会若手研究助成, 高才助教は学内研究助成にも採択された。特に小松講師, 高才助教については基礎研究に注力し, 多数の学会で研究成果を発信するとともに, 優秀演題として表彰された。

臨床：外来, 病棟で教室一丸となって診療業務を全うした。

社会活動：病診連携オープンセミナーでの講演(小林, 安部, 鈴木), 日本口腔外科学会での講演(安部), ベトナム医療支援事業参加(安部)など, 地域や海外, 学会等での社会活動に貢献した。

その他：2023年度をもって小林教授が定年を迎えられた。長年にわたり教室運営にご尽力されたことに対し, 深く感謝の意を表したい。

3 研究業績

【著書】

- K23/B&C/015 不島健持, 児玉利朗, 小林優, 田村利之: オーラルバイオメカニクスを考慮した歯周矯正治療. 東京臨床出版, 大阪, 2023.
- K23/B&C/020 安部貴大, 他: 口腔癌診療ガイドライン. 2023年版, 金原出版, 東京, 2023.
- K23/B&C/021 安部貴大, 他: 顎関節症初期治療診療ガイドライン. 2023改訂版, 日本顎関節学会, 2023. https://www.kokuhoken.or.jp/exterior/jstmj/file/guideline_TMJ_2023.pdf
- K23/B&C/022 小林優, 鈴木健司: 第2章.2.2). 顎・顔面・口腔の診察 (6)舌, (7)顎骨, (8)顎関節, (9)筋. pp.22-23. 日本有病者歯科医療学会編: 有病者歯科学. 第3版, 永末書店, 京都, 2024.
- K23/B&C/023 安部貴大: 口内炎(舌炎、アフタなど). 今日の臨床サポート. エルゼビア・ジャパン, 2024. <https://clinicalsup.jp/jpoc/contentpage.aspx?diseaseid=1851>

【原著論文】

- K23/OP/054 Yamaguchi A, Tsukimoto S, Kuroda H, Imaizumi U, Katagiri N, Katayama T, Kishimoto N, Kido K, Abe T, Sanuki T: Survey on the Awareness of the Use of Oropharyngeal Throat Packs in Dental Anesthesia: An International Online Survey. *Cureus*, 16(1), e52320, 2024. doi: 10.7759/cureus.52320
- K23/OP/055 Koseki R, Suzuki K, Ozawa S, Ikoma T, Kanamori K, Fushima K, Kobayashi M: Evaluation of accuracy of maxillary repositioning surgery using an observer-independent method. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 36, 315-322, 2024.
- K23/OP/056 古川博雄, 牧野日和, 新崎章, 川名剛之, 黒瀬基尋, 柳澤拓明, 速水佳世, 刑部理恵, 新美照幸, 吉田磨弥, 井村英人, 鈴木聡, Tran Le Duy, 山内楓子, バーバリッチ優子, 岐部俊郎, 高橋直樹, 安部貴大, 夏目長奈, 夏目長門: エチオピア連邦民主共和国における学術研究と実践—口唇口蓋裂についてのいわゆる「まびき」の解消を目指して—. *The Journal of JAICOH*, 1(1), 24-32, 2023.
- K23/OP/057 原田隆史, 安部貴大, 古村浩子, 西田朋世, 田中香衣, 白石晃平, 浅輪幸世, 星和人, 古村眞: マウス歯髄幹細胞を用いた骨再生技術開発のための基礎的研究. *神奈川歯学*, 58(2), 90-98, 2023.

【症例報告】

- K23/CR/001 Itai S, Yoshimura Sawai N, Kozai Y, Ikoma T, Kosai A, Yakeishi M, Kubota N, Abe T: Asymptomatic intraosseous leiomyoma in mandible: A case report and review of literature. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 35, 539-544, 2023.

【解説】

- K23/Ex/016 田中香衣, 神部芳則: 臨床家のための疼痛コントロールCheckPoint 9 各論:口腔外科手術のための疼痛コントロール. *歯界展望*, 141(6), 1150-1163, 2023.

4 その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 小松紀子, 黒田実可子, 高才東, 星和人, 浜窪隆雄, 岡本晃充, 安部貴大: トキシン結合型セツ

キシマブと光線力学療法の併用は頭頸部扁平上皮癌細胞株に対して抗腫瘍効果を高めるか。第77回日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023.5.11-13.

- 泉雅浩, 香西雄介, 鈴木健司, 窪田展久, 谷口紀江, 大道紳太郎, 櫻井孝: 大口蓋管の拡大を認めた口蓋部粘表皮癌の1例. 日本歯科放射線学会第63回学術大会・第19回定例総会, ハイブリッド開催(福岡+Web), 2023.5.26-28.
- 小松紀子, 黒田実可子, 高才東, 星和人, 岡本晃充, 浜窪隆雄, 安部貴大: トキシン結合型セツキシマブと光線力学療法の併用による低侵襲新規治療法の可能性について. 第1回日本低侵襲口腔がん治療学会総会・学術集会, 東京, 2023.6.3.
- 小關理恵子, 鈴木健司, 金森慶亮, 田中香衣, 山口徹太郎, 不島健持, 小林優: 新たな上顎骨の三次元的移動分析法の確立. 第33回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023.6.8-9.
- 小松紀子, 黒田実可子, 高才東, 星和人, 浜窪隆雄, 岡本晃充, 安部貴大: トキシン結合型セツキシマブと光線力学療法の併用による抗腫瘍効果の検討. 第47回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会, 大阪, 2023.6.15-16.
- 高才東, 小松紀子, 原田隆文, 黒田実可子, 安部貴大: 開口障害を呈したSAPHO症候群と思われる1例. 第36回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2023.7.8-9.
- 板宮朋基, 中野亜希人, 高才東, 小松紀子, 沢井奈津子, 安部貴大: 二眼カメラ立体映像を大型裸眼立体視ディスプレイで直ちに鑑賞できるシステムの開発. 第28回日本バーチャルリアリティ学会大会, 八王子, 2023.9.12-14.
- 中野亜希人, 板宮朋基, 高才東, 小松紀子, 沢井奈津子, 安部貴大: 裸眼立体視ディスプレイと二眼カメラを活用した基本手技実習支援システムの開発. 第57回日本口腔科学会関東地方分会, Web開催, 2023.9.16.
- 小關理恵子, 石田孝文, 鈴木健司: NSAIDs単剤投与が奏効したびまん性硬化性下顎骨骨髓炎の1例. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 石田孝文, 沢井奈津子, 窪田展久, 岩淵博史, 安部貴大: 義歯床用裏装材の上顎洞内長期迷入により上顎洞炎を発症した1例. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 小松紀子, 黒田実可子, 高才東, 星和人, 岡本晃充, 浜窪隆雄, 安部貴大: トキシン結合型セツキシマブと光線力学療法の併用はセツキシマブを超えるか. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023.11.10-12.
- 石田孝文, 田中香衣, 金森慶亮, 小關理恵子, 鈴木健司, 安部貴大, 小林優: 口底に生じた孤立性線維性腫瘍の1例. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023.11.10-12.
- 小關理恵子, 鈴木健司, 金森慶亮, 石田孝文, 田中香衣, 小林優: Le Fort I型骨切り術における術後安定性の三次元的評価. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023.11.10-12.
- 島田陽, 田中香衣, 森岡宗人, 小關理恵子, 金森慶亮, 石田孝文, 鈴木健司, 窪田展久, 森本佳成, 小林優: 高齢者に生じた巨大な舌下型類表皮嚢胞の1例. 第216回日本口腔外科学会関東支

部学術集会, ハイブリッド開催(東京+Web), 2023.12.9.

- 黒田実可子, 小松紀子, 高才東, 浜窪隆雄, 安部貴大: トキシン結合型セツキシマブと光線力学療法による頭頸部扁平上皮癌治療の探索的検討. 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 札幌+オンデマンド配信, 2024.1.25-26.

〔講演会・セミナー等〕

- 安部貴大: 顎関節症状を有する患者さんの紹介へのタイミング. 神奈川歯科大学附属病院病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2023.6.22. / 症例から考える: 若手口腔外科医の顎関節疾患への向き合い方. 第68回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会ミニレクチャー, 大阪, 2023.11.10-12.
- 鈴木健司: 口腔粘膜疾患～診断と対応の勘どころ～. 令和5年度横須賀市歯科健康診査受託医療機関研修会, 横須賀, 2023.10.13. / これって口腔外科に送るべき? 粘膜疾患の診断・治療と勘所: 口腔カンジダ症編. 神奈川歯科大学附属病院病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2023.12.14. / お口を見てみよう. これって口腔がん?. 令和5年度横須賀市健康教育事業「歯と口の健康づくり講座」, 横須賀, 2024.3.12.
- 田中香衣: 多職種で取り組む骨粗鬆症治療地域連携Seminar「顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー 2023について」. 帝人ヘルスケア・セミナー・基調講演, ハイブリッド開催(横須賀+Web), 2023.12.14.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 小松紀子(代表): 蛍光標識抗Robo1抗体イムノトキシンの光化学内在化法による頭頸部癌新規治療開発. 若手研究, 19K19154, 2019～2023年度.
- 安部貴大(代表), 阿部雅修(分担), 小松紀子(分担), 太期健二(分担), 岡本晃充(分担), 浜窪隆雄(分担): PCI法を用いた蛍光標識抗体薬物複合体デリバリーによる次世代口腔癌治療法の開発. 基盤研究(C), 20K10091, 2020～2023年度.
- 田中香衣(代表), 阿部成宏(分担), 古村眞(分担), 安部貴大(分担), 小澤重幸(分担): 口腔組織幹細胞の免疫制御ネットワークにおける骨髄由来抑制細胞との相互作用の解明. 基盤研究(C), 21K10105, 2021～2023年度.
- 沢井奈津子(代表), 安部貴大(分担), 小澤重幸(分担), 岩淵博史(分担): 頭頸部がんグルコース飢餓時のオートファジーによるエネルギー補填メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K10135, 2022～2024年度.
- 安部貴大(代表), 伊藤由美(分担), 高才東(分担), 阿部雅修(分担), 沢井奈津子(分担), 小松紀子(分担), 岡本晃充(分担): 口腔癌を標的とした光線力学療法に基づく抗体薬物複合体オーファンドラッグの開発研究. 基盤研究(C), 23K09344, 2023～2025年度.
- 小松紀子(代表): 抗EGFR抗体イムノトキシンの光化学内在化法による頭頸部癌新規治療法の開発. 若手研究, 23K16172, 2023～2026年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 小松紀子(代表): 口腔潜在的悪性疾患(Oral potentially malignant disorders: OPMDs)に関する実態調査. 日本口腔外科学会研究助成, 2022年8月～2024年3月.
- 高才東(代表): 光線力学療法を応用した唾液腺がんに対する新規治療開発. 神奈川歯科大学

プロジェクト研究, No.7, 2023年度.

[賞]

- 小松紀子, 黒田実可子, 高才東, 星和人, 浜窪隆雄, 岡本晃充, 安部貴大: 学会賞優秀ポスター賞: トキシン結合型セツキシマブと光線力学療法の併用は頭頸部扁平上皮癌細胞株に対して抗腫瘍効果を高めるか. 第77回日本口腔科学会学術集会. 2023.5.13.
- 黒田実可子, 小松紀子, 高才東, 浜窪隆雄, 安部貴大: 優秀ポスター賞: トキシン結合型セツキシマブと光線力学療法による頭頸部扁平上皮癌治療の探索的検討. 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会. 2024.1.26.

[社会活動]

- 安部貴大: 特定非営利活動法人日本口唇口蓋裂協会によるベトナム社会主義共和国医療支援参加, ベトナム, 2024.3.23-31.

[報道・記事]

- 鈴木健司: 顎変形症手術支援シミュレーションシステムおよび手術ガイド装置の開発. KDU Research Support Center News Letter, VOL.21, 2023年4月号.

▶ 高度先進口腔外科学分野

代表者: 西久保周一

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授: 西久保周一
診療科准教授: 小枝聡子
診療科講師: 南雲達人
助 教: 石井滋
大学院生: 秋山真吾(1年)
医 員: 秋山広希, 山村真紀子, 羅田幹久, 中村真希子
特任教授: 外木守雄
臨床教授: 代田達夫
非常勤歯科医師: 近藤忠稚, 大野康亮

2 | 2023年度の活動内容

教育: 横浜研修センター研修医に対し口腔外科講義および臨床研修を指導した。臨床実習学生および短大生に安全な臨床のための指導を行った。医局員への他科研修など医局構成員の実力向上に努めた。

研究: 臨床研究として、睡眠時無呼吸症候群および顎変形症患者に関する研究、抗菌薬術前投与に関する研究、抜歯後感染におけるCT画像考察、日本人のための外科矯正手術に関する研究を行った。

臨床: 外来新患者は、2020年度2,234例、2021年度2,523例、2022年度2,124例に対し、2023年度2,316例であり、増加傾向にあった。全身麻酔2020年度442例であり、2021年度は576例、2022年度は313例であり、2023年度は230例であった。COVID-19は5類に移行したものの、風邪症状による全身麻酔キャンセルがたびたびみられ全国的な感染症流行の影響を受けた。また教授退官後の新体制であり、顎変形症患者を初診から受ける形になったため術

前矯正が終了しておらず手術件数が減少した。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K23/OP/058 Ishii S, Ohno K, Saito H, Nakamura A, Nishikubo S : Lingual mobilisation; serial horizontal incision and vertical extension suture for severe ankyloglossia: a technical note. *British Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 61, 634-637, 2023.
- K23/OP/023 Ishii S, Sakaguchi W, Yamamura M, Nagumo T, Koeda S, Akiyama H, Kinuta M, Nishikubo S, Tsukinoki K : Association between salivary proteases and protease inhibitors linked with viral infections and oral inflammatory diseases. *Journal of Stomatology, Oral and Maxillofacial Surgery*, 124, 101572, 2023. doi: 10.1016/j.jormas.2023.101572
- K23/OP/059 Yamamura M, Ishii S, Akiyama S, Akiyama H, Nagumo T, Koeda S, Kinuta M, Nakamura M, Nishikubo S : Radiological findings associated with postoperative wound infection after extraction of impacted mandibular third molar: A retrospective study. *Journal of Stomatology, Oral and Maxillofacial Surgery*, 125, 101761, 2024. doi: 10.1016/j.jormas.2024.101761

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 外木守雄, 西久保周一 : 顎矯正手術の継承—いかにして伝えるか— (シンポジウム 1). 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023.11.10.

〔一般発表・国内学会〕

- 秋山広希, 中村篤, 石井滋, 近藤忠雅, 山村真紀子, 羅田幹久, 南雲達人, 小枝聡子, 西久保周一 : 頬部に生じた孤立性線維腫の1例. 第61回日本口腔科学会北日本地方部会・第49回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 新潟+オンデマンド配信, 2023.5.20-21. *オンデマンド配信, 2023.5.29-6.24.
- 小枝聡子, 中村篤, 山村真紀子, 石井滋, 南雲達人, 西久保周一 : Modified High-level Le Fort I 型骨切り術における骨性治癒の観察. 第33回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023.6.8-9.
- 小枝聡子, 山村真紀子, 秋山広希, 秋山真吾, 中村真希子, 羅田幹久, 南雲達人, 西久保周一 : 小児の慢性非細菌性下顎骨髄炎の一例. 第35回口腔外科の会, 横浜, 2023.9.6
- 小枝聡子, 石井滋, 南雲達人, 西久保周一 : 当科における抗菌薬適正使用の取り組み. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 西久保周一 : ラウンド・テーブル・ディスカッション7 呼吸生理を加味した顎矯正手術の設計. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 小枝聡子, 秋山真吾, 中村真希子, 羅田幹久, 秋山広希, 山村真紀子, 石井滋, 南雲達人, 西久保周一 : 上顎骨後方移動における骨性治癒の観察. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023.11.10-12.

- 南雲達人, 山村真紀子, 石井滋, 秋山広希, 羅田幹久, 中村真希子, 秋山真吾, 小枝聡子, 西久保周一: 食事療法を行ったorofacial granulomatosisの一例. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023.11.10-12.

[講演会・セミナー等]

- 西久保周一: 呼吸生理を加味した顎矯正手術. 臨床矯正歯科医会神奈川県支部, Zoom, 2023.6.20. /顎変形症と睡眠時無呼吸症. 口腔外科の会, 横浜, 2023.9.5. /歯科における閉塞性睡眠時無呼吸症の取り組み. 横浜市歯科医師会, 横浜, 2023.11.18. /顎矯正手術における吸収性骨接合材を考える, 上顎骨形成術における骨接合. 1st SuperFixorb/MX & EX Web seminar, Web, 2024.2.28.
- 小枝聡子: Case discussion. IBRA Basic-intermediate/Fellow course, Orthognathic surgery(2nd), 2023.12.16

歯科矯正学講座

▶ 歯科矯正学分野

代表者: 山口徹太郎

1 | 教員・大学院生・他

教授: 山口徹太郎
 准教授: 川合暢彦(2023年9月まで)
 講師: 小野崎純, 小泉創, 高橋正皓
 助教: 佐藤允俊, 尾崎博弥, 萩原俊一, 窪田めぐみ, 畠中玲奈
 診療科助教: 尾関佑美
 診療科助手: 池中僚亮, 塚田恵造, 朴熙泰, 有輪政尊
 大学院生: 奥脇都子(4年), 金ウンギョン(4年), 松田久(4年), 竹田磨言子(4年), 坪井晶裕(3年), 鯨井桂子(3年), 山口周(3年), 高橋宏治(3年), 久保田令絵(3年), 齋藤藍(3年), 林敦(3年), 上田聖士郎(2年), 江頭綾乃(2年), 小池亮太(2年), 中丸正貴(2年), 二階堂修(2年), 能見紘輔(2年), 松本留実(2年), 山口茉奈美(2年), 熱田修一(1年), 李揆然(1年), 石山貴之(1年), 今井正隆(1年), 申東山(1年), 中村文美(1年), 山田健人(1年)
 特任講師: 岩田敏男, 三宅真次郎, 大塚剛郎, 二宮卓也, 薄井崇, 平野航, 奥村由香, 彦坂有希, 疋田悠, 渡辺みゆき
 非常勤歯科医師: 秋本進, 大場純, 小山未来
 臨床専攻生: 佐藤慎也

2 | 2023年度の活動内容

教育: 4年時に歯科矯正学の総論と診断学・治療学についての講義と診断に必要な資料の分析, 総合診断演習, 線屈曲の基本, 舌側弧線装置の製作およびマルチブラケット装置による歯の移動の基礎実習を行った。5年臨床実習では様々な症例の臨床見学に加え, 種々の症例に対する診断演習とタイポドントを使用した歯の移動の実習も行った。6年臨床実習では様々な症例の臨床見学に加え, 学生自身が相互に印象採得を行い, 研究用模型の作製, 模型分析実習を行っ

た。さらに、卒後研修医に対して選択科目として矯正歯科外来見学，補助，歯科矯正治療の指導も行った。横浜クリニックでは学部5年生の当院実習を担当し，講義および実習を行った。また，学部4年生の歯科矯正学を担当し，講義にて矯正学の総論と診断学・治療学についての講義と診断に必要な資料の分析，演習，線屈曲の基本，舌側弧線装置の製作およびマルチブラケット装置による歯の移動の基礎実習を行った。

研究：デジタルテクノロジーによる口腔内装置として口腔内を3Dスキャンし，3Dプリンターによる口腔内装置を作製する研究を行っている。また，高機能CTによる信頼性の高い画像情報で，すべての診療を強化する的確な診断分析を行うための基礎的な研究を行っている。さらに，患者様の唾液サンプルより，DNAを採取し，顎顔面形態に関する網羅的ゲノム解析を行っている。

臨床：附属病院の矯正歯科を担当し，地域における矯正治療を担当するとともに様々な難症例に対しても口腔外科，保存科，補綴科と連携し包括的治療を行っている。横浜クリニックの矯正歯科を担当し，地域からの紹介患者の受け入れを行った。顎変形症，多数歯欠損など難症例が多いため，診断カンファレンスを通し他科と連携した治療計画の立案を行い，歯科矯正治療を実践した。

社会活動：地域の歯科医院への広報により，附属病院および横浜クリニックの診療体制の周知に努めた。

その他：附属病院および横浜クリニックの矯正歯科の活動内容を紹介するとともに，不正咬合の予防，治療の重要性の啓蒙に努めた。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/024 西井康，須田直人，山口徹太郎，任剛一，高井基普：Chapter 4. 補綴と矯正の趨勢. pp.145-176. 高井基普編：補綴と矯正. 医歯薬出版，東京，2023.

K23/B&C/025 山口徹太郎，小泉創，朴熙泰：I編.3章.③. 不正咬合の原因. pp.44-51 / I編.3章.④. 不正咬合の予防. pp.51-53. / 山口徹太郎，池中僚亮：I編.7章.②. 上顎前突. pp.112-113. / 佐藤和朗，山口徹太郎：I編.7章.⑤. 過蓋咬合. pp.118-119. / 山口徹太郎，畠中玲奈：I編.7章.⑥. 開咬. pp.120-121. 全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科矯正学. 第2版，医歯薬出版，東京，2024.

【原著論文】

K23/OP/060 Ishii T, Koizumi S, Yamaguchi T : Factors Associated with the Proximity of the Incisive Canal to the Maxillary Central Incisor. Applied Sciences, 13, 6899, 2023. doi: 10.3390/app13126899

K23/OP/061 Okuwaki S, Hosomichi K, Tajima A, Yamaguchi T : An Observational Study on Changes in the Oral and Gut Microbiota through Professional Mechanical Tooth Cleaning, including Tooth-Brushing Instructions in Patients with Multi-Bracket Appliances. Applied Sciences, 13, 10843, 2023. doi: 10.3390/app131910843

K23/OP/062 Yoshida H, Takahashi M, Yamaguchi T, Takizawa H, Takakaze M, Maki K : Comparison of Maxillofacial Morphology Between Modified Furlow's and Modified two-Flap Palatoplasty in Orofacial Clefts During the Primary Dentition Period. Cleft Palate-Craniofacial Journal, 60(10), 1313-1320, 2023.

K23/OP/063 Hikosaka Y, Koizumi S, Kim YI, Adel M, Nadim M, Hikita Y, Yamaguchi T : Comparison of Mandibular Volume and Linear Measurements in Patients with Mandibular Asymmetry. Diagnostics, 13, 1331, 2023. doi: 10.3390/diagnostics13071331

- K23/OP/064 Kim E, Kuroda Y, Soeda Y, Koizumi S, Yamaguchi T : Validation of Machine Learning Models for Craniofacial Growth Prediction. *Diagnostics*, 13, 3369, 2023. doi: 10.3390/diagnostics13213369
- K23/OP/045 Muromachi K, Hosomichi K, Park H, Yamaguchi T, Tani-Ishii N : Identification of Candidate Genes of Familial Multiple Idiopathic Cervical Root Resorption. *Journal of Endodontics*, 49(11), 1537-1547, 2023.
- K23/OP/065 Mitsuda C, Takahashi M, Kim YI, Takeda M, Hatanaka R, Sambe T, Yamaguchi T : Comparison of the maxillary sinus size of adult Korean individuals with different skeletal patterns using cone-beam computed tomography. *神奈川歯学*, 58(2), 99-104, 2023.
- K23/OP/021 窪田光慶, 花岡孝治, 山口徹太郎, 菅谷彰 : アクチバトールの新しい可動式説明模型の考案とその教育効果の研究. *神奈川歯学*, 58(1), 36-47, 2023.

【症例報告】

- K23/CR/007 Takahashi M, Ariwa M, Yamaguchi T : Characteristics of Craniofacial Morphology and Occlusion in Shwachman–Diamond Syndrome: A Case Report of a Japanese Sibling Pair. *Cureus*, 16(2), e53467, 2024. doi: 10.7759/cureus.53467
- K23/CR/008 薄井崇, 小泉創, 山口徹太郎 : 上下顎前歯部唇側傾斜を伴う重度骨格性II級上顎前突症に対して歯科矯正用アンカースクリューを使用して非外科的矯正治療を行った症例. *神奈川歯学*, 58(2), 105-113, 2023.
- K23/CR/009 小野崎純, 大塚未紗, 杉田武士, 有坂博史, 不島健持 : MFTによって被蓋改善を行った反対咬合症例. *神奈川歯学*, 58(2), 114-119, 2023.

【その他】

- K23/O/008 山口徹太郎 : 英文誌掲載論文紹介「全エクソームシーケンシングを用いた癒合歯の包括的な遺伝的要因の探索(Comprehensive genetic exploration of fused teeth by whole exome sequencing. Park H, Hosomichi K, Kim Y-I, Hikita Y, Tajima A, Yamaguchi T. *Applied Sciences* 12:11899, 2022)」。東京矯正歯科学会雑誌, 33(1), 69, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 山口徹太郎 : 矯正歯科治療におけるガイドラインの有用性と利用法について再考する. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1.
- 山口徹太郎 : 矯正歯科臨床におけるデジタルテクノロジー活用の未来. 令和5年度日本臨床矯正歯科医会中四国支部会・講演会, 岡山, 2024.1.31.

〔一般発表・国際学会〕

- Park H, Hosomichi K, Kim Y-I, Tajima A, Yamaguchi T : Exploring genetic factors for dens evaginatus formation by whole exome sequencing. 56th Annual Scientific Congress of the Korean Association of Orthodontists (KAO 2023), Jeju, Korea, 2023.10.25-27.
- Park H, Simura M, Koizumi S, Seimiya K, Yamaguchi T : Fabrication of orthodontic devices by metal 3D printer and effectiveness in clinical application. 56th Annual

Scientific Congress of the Korean Association of Orthodontists (KAO 2023), Jeju, Korea, 2023.10.25-27.

[一般発表・国内学会]

- 二階堂修, 朴熙泰, 小泉創, 山口徹太郎: インダイレクトボンディング法におけるブラケットポジションに影響を与える因子についての研究. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 高橋正皓, 篠原庸祐, 吉田寛, 榎宏太郎: 顎骨内で大きく方向を変えて萌出した上顎左側中切歯を伴う両側唇顎裂の1例. 第47回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2023.5.25-26.
- 小泉創, 疋田悠, 畠中玲奈, 山口徹太郎: 下顎骨非対称を伴う顎変形症患者における下顎頭の非対称性の評価. 第33回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023.6.8-9.
- 朴熙泰, 細道一善, 田嶋敦, 山口徹太郎: 全エクソームシーケンシングによる中心結節形成の遺伝因子の探索. 第82回東京矯正歯科学会学術大会, 東京, 2023.7.13.
- 室町幸一郎, 細道一善, 朴熙泰, 石井信之, 山口徹太郎: 家族性Multiple idiopathic cervical root resorptionの遺伝学的病態理解. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 朴熙泰, 細道一善, 疋田悠, 田嶋敦, 山口徹太郎: 癒合歯形成における遺伝因子の探索 (Exploring genetic factors of fused teeth formation). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 朴熙泰, 志村昌俊, 小泉創, 清宮一秀, 山口徹太郎: 金属積層造形による上顎前方牽引装置の作製および下顎前突症を治療した1症例(Fabrication of maxillary protractive appliance by 3D metal printer and treatment of mandibular protrusion). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 朴熙泰, 志村昌俊, 小泉創, 清宮一秀, 山口徹太郎: 金属積層造形による上顎大臼歯遠心移動装置の作製をおよび上顎大臼歯の遠心移動を行った2症例(Two cases of fabrication of appliances by metal 3D printing and distalize movement of a maxillary molar). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 畠中玲奈, 志村昌俊, 朴熙泰, 小泉創, 清宮一秀, 山口徹太郎: 3Dプリンターを用いた矯正装置にて治療を行った前歯部開咬症例(A case of anterior open bite treated with orthodontic device using 3D printer). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 小泉創, 志村昌俊, 朴熙泰, 清宮一秀, 山口徹太郎: CAD/CAM矯正歯科装置による埋伏上顎中切歯の開窓牽引をおこなった1症例(A case of an impacted maxillary central incisor with fenestration-traction using CAD/CAM orthodontic appliance). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 小泉創, 志村昌俊, 朴熙泰, 清宮一秀, 山口徹太郎: CAD/CAMメタルリテーナーで保定をおこなった1症例(A case study where retention was achieved using a CAD/CAM metal retainer). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 小泉創, 志村昌俊, 朴熙泰, 清宮一秀, 山口徹太郎: レジン3Dプリンターを用いたプレートタイプリテーナー作製のワークフロー (Workflow for fabricating plate type retainers using a resin 3D printer). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.

- 有輪政尊, 志村昌俊, 朴熙泰, 小泉創, 清宮一秀, 山口徹太郎: CAD/CAMリンガルアーチにより完全水平埋伏下顎右側第一小臼歯の開窓牽引を行った1例(A case of fenestration-traction for horizontally impacted mandibular right first premolar using CAD/CAM lingual arch). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 二階堂修, 小泉創, 朴熙泰, 山口徹太郎: インダイレクトボンディングシステムによるブラケットポジションに影響を与える因子についての研究(Factors Affecting Bracket Positioning with Indirect Bonding Systems). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 能見紘輔, 小泉創, 朴熙泰, 清宮一秀, 志村昌俊, 山口徹太郎: レジン3Dプリンターにより製造したプレートタイプリテーナーの適合精度について(Accuracy of Plate-Type Retainers Manufactured by 3D Printer). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 小池亮太, 佐藤武則, 大橋桂, 二瓶智太郎, 半田慶介, 山口徹太郎: 改質骨補填材による骨回復後の矯正学的な歯の移動について. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

〔講演会・セミナー等〕

- 山口徹太郎: 特別講義. 東京医科歯科大学大学院, 東京, 2023.9.23.
- 志村昌俊, 小泉創: CAD/CAM矯正歯科技工と臨床応用における課題. 第82回日本矯正歯科学会学術大会ラウンド・テーブル・ディスカッション(RTD)モデレーター, 新潟, 2023.11.2.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 木村亮介(代表), 佐藤丈寛(分担), 山口徹太郎(分担): 顔面形態関連遺伝子多型の探索および人類学的応用. 基盤研究(B), 21H02573, 2021~2023年度.
- 山口徹太郎(代表), 高橋正皓(分担): 日本人に多い癒合歯の原因遺伝子を全エクソンシーケンスで網羅的に探索する. 基盤研究(C), 21K10173, 2021~2023年度.
- 疋田悠(代表): コーンビームCT画像から取得した3次元的顎顔面形態と関連する網羅的ヒトゲノム解析. 若手研究, 21K17170, 2021~2023年度.

〔賞〕

- Park H, Simura M, Koizumi S, Seimiya K, Yamaguchi T: Excellent Posterboard Presentation Award: Fabrication of orthodontic devices by metal 3D printer and effectiveness in clinical application. Korean Association of Orthodontists. 2023.10.28.
- 朴熙泰: 優秀論文賞(檜垣賞): Comprehensive Genetic Exploration of Fused Teeth by Whole Exome Sequencing. 神奈川歯科大学学会. 2023.11.25.
- 有輪政尊: 研究努力賞: 神奈川歯科大学学会. 2023.11.25.
- 小泉創: 宿題報告賞: 3Dプリンターを応用したCAD/CAM矯正装置の治療効果に関する研究. 神奈川歯科大学学会. 2023.11.25.

歯科インプラント学講座

▶ 顎・口腔インプラント学分野

代表者：河奈裕正

1 | 教員・大学院生・他

教授：河奈裕正
講師：永田紘大
助教：北條彩和子
診療科助手：小島康佑，奥濱裕里恵，若森可奈，曾根崇晴，小瀬貴之，吉野剛史，大久保学
大学院生：権玳賢(2年)，坂田侑季(2年)
医員：鶴岡隼人，齋藤球瑠海，文元陵植，藤森芙紗，山田明佳，林仕雨
客員教授：小川隆広，岩崎良太郎，渥美美穂子，上野大輔
特任准教授：淵上慧
特任講師(無給)：金井亨
非常勤講師：栗林伸之，杉山雅一，水口賢一
非常勤歯科医師：中村慧，河合邦彰，大井手良光，西村允貴，志村公治郎，鳥羽山剛，杉山秀太，金子紀子，井上溪太郎，工藤值英子
臨床専攻生：山野悟志，木村哲朗，奥田文俊，渡部晴貴，三邊梓，小出俊，関口寛人，中平賢吾，高永信，江俣壮一，高柳雅文

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部1年生と3年生への講義，5年生への臨床実習を通じ，歯科インプラント学に対する知識と実践とを各学年に満遍なく提供した。大学院生には主として動物実験法の詳細を伝授した。研修医に対してはインプラント治療が口腔外科学，歯科補綴学，歯周病学，歯科矯正学を含む包括的治療の1つであることの理解を促すため，定期的なセミナーとインプラント埋入実習を行った。(横須賀)

5年生に対し手術や外来を間近で見学できるような臨床実習を行った。大学院生には既存実験の継続と動物実験法の基本を伝授した。研修医に対しては症例カンファレンスへの参加による実践的治療計画を学ぶ場を設け，さらに，臨床専攻生も含めて講義，実習を行った。(横浜)

研究：歯科模型新規材料に関する熱溶解積層型3Dプリンターの精度検証，産業廃棄物軽減のためのPLAフィラメント模型の再利用に関する精度検証，新規生体材料を使用した上顎洞底挙上術後の体積減少率の評価，インプラント周囲炎の原因に関わる分子生物学的探査，ハプティック技術を応用した歯科用，医科用ロボットの継続開発を行った。(横須賀)

インプラント周囲炎に対するエアアブレーションでの新規パウダーおよび表面性状の変化の検討，上顎洞底挙上術におけるハプティック技術の応用，抗菌薬の適正使用，チタンアレルギーおよびジルコニアアレルギー調査を行った。(横浜)

臨床：大学附属病院や附属クリニックのインプラント部門として，インプラントを応用した包括的治療，他院で行ったトラブル症例のリカバリー，インプラント周囲炎に対する治療，骨造成術などを行い，患者の再建学的歯科医療，健康増進に携わった。(横須賀，横浜共通)

社会活動：病診連携や病病連携を図り，地域医療に貢献した。また，市民講座を開催してインプラント治療の適応症と安全性について情報提供を行った。(横須賀)

病診連携や病病連携を図り，地域医療に貢献した。また，市民講座を開催してインプラント治療の適応症と安全性について情報提供を行った。さらに，歯科医師を対象にしたオープンセミ

ナーを11回開催し、地域医療における役割をアピールした。(横浜)

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/026 河奈裕正, 堀江信行: XIII. 広範囲顎骨欠損症例. pp.122-128. 日本顎顔面インプラント学会診療マニュアル作成委員会編: インプラントの専門医を取得するための研修マニュアル. クインテッセンス出版, 東京, 2023.

【原著論文】

K23/OP/066 Yasui T, Nagamine H, Tanaka K, Kimura M, Karube T, Kawana H, Onizawa K: Treatment outcomes and time to healing of medication-related osteonecrosis of the jaw based on image findings. *Dentomaxillofacial Radiology*, 52, 20220352, 2023. doi: 10.1259/dmfr.20220352

K23/OP/067 Wakamori K, Nagata K, Nakashizu T, Tsuruoka H, Atsumi M, Kawana H: Comparative Verification of the Accuracy of Implant Models Made of PLA, Resin, and Silicone. *Materials*, 16, 3307, 2023. doi: 10.3390/ma16093307

K23/OP/068 Nakamura K, Kawai K, Oide Y, Hojo S, Kodama T: Association of initial implant fixation with implant diameter, length, and drilling protocol. *神奈川歯学*, 58(1), 7-17, 2023.

K23/OP/052 Nagata K, Kamata M, Okuhama Y, Wakamori K, Okubo M, Tsuruoka H, Atsumi M, Kawana H: Volume change after maxillary sinus floor elevation with apatite carbonate and octacalcium phosphate. *International Journal of Implant Dentistry*, 10, 7, 2024. doi: 10.1186/s40729-023-00518-7

K23/OP/069 小島康佑, 北條彩和子, 中村慧, 曾根崇晴, 小瀬貴之, 大井手良光, 西村允貴, 吉野剛史, 児玉利朗: ビーグル犬における β -TCPブロックの頬側骨欠損部への適用に関する研究. *神奈川歯学*, 58(1), 18-35, 2023.

【解説】

K23/Ex/001 木本克彦, 永田紘大, 川西範繁, 星憲幸, 河奈裕正: 3Dプリンターの歯科治療への応用と将来展望. *歯界展望*, 142(4), 662-669, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 河奈裕正: 歯周治療の基本技術研修 インプラント適用、非適用、正しいメンテナンス方法 歯科衛生士のための歯科インプラント学. 2023年度神奈川県歯科衛生士会第2回研修会, Web開催, 2023.10.15.

〔シンポジウム講演〕

- 河奈裕正: 経験豊富なインプラントジストの匠の技 安全で手際の良いサイナスリフト同時インプラント埋入術を目指して. 第9回日本国際歯科大会2023, 横浜, 2023.9.30.
- 河奈裕正: 上顎洞底挙上同時インプラント埋入術や外側性骨造成術による上顎臼歯部の3次元的拡大 (シンポジウム6 上顎臼歯部への解決法—骨量の不足する上顎臼歯部における3次

元的サイトの拡大)。日本口腔インプラント学会第43回関東・甲信越支部学術大会, 東京, 2024.2.25.

[一般発表・国内学会]

- 永田紘大, 木本克彦, 河奈裕正: Poly-Lactic Acid(PLA)フィラメントを再利用した歯科模型の適合精度. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 野崎貴裕, 筋生田整治, 河奈裕正: 骨質変化検出機構を備えた歯科インプラント用ドリルの開発. 生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会2023(LIFE2023), 新潟, 2023.9.19-21.
- 河奈裕正: 各施設における脱タバコ社会実現に向けた取り組み. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023.11.10-12.
- 永田紘大, 大久保学, 渥美美穂子, 河奈裕正: 従来法とマウスピース法におけるナビゲーションガイドの精度に関わる臨床的検討. 第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(東京+WEB配信), 2023.12.2-3.
- 臼田慎, 杉山健太郎, 倉田慎吾, 長嶺宏樹, 二宮真希, 安居孝純, 筋生田整治, 鬼澤勝弘, 河奈裕正, 木津英樹: フリーソフトウェアを用いた歯科インプラント手術のサージカルガイド作製と検証. 第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(東京+WEB配信), 2023.12.2-3.
- 永田香織, 小高利絵, 村岡渡, 河奈裕正, 筋生田整治, 中川種昭: 歯科インプラント体が下顎骨体内に迷入した1例. 第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(東京+WEB配信), 2023.12.2-3.

[講演会・セミナー等]

- 河奈裕正: 人工材料の発達に応じたサイナスリフト法の変遷. 横浜口腔インプラント研究会, Web開催, 2023.4.13. / 「切る、貼る、縫う」の基本. 東京医科歯科大学歯科同窓会C.D.E.第60期 PartII, 東京, 2023.4.16. / 口腔外科基本手技実習～基本が織り成す早くて確実な手術を目指して～. 令和5年度日本インプラント臨床研究会公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会, 東京, 2023.5.20. / 開業医院での手術に役立つ外科基本手技～確実で手際の良い手術を目指して～. 横浜市金沢区歯科医師会学術研修会, 横浜, 2023.5.31. / 口腔外科で経験したデンタルインプラントの手術併発症とその対応. 令和5年度鶴見大学歯学部附属病院インプラントセンター第3回研修会, Web開催, 2023.6.22. / 新しい骨補填材を用いた骨造成法の新機軸・コラーゲン使用人工骨「ボナーク®」の上顎洞底挙上術における評価. Straumann FORUM 2023, 東京, 2023.7.30. / インプラント手術に臨む前に会得すべき外科の考え方と基本手技～確実で手際の良い手術を目指して～. 東京形成歯科研究会公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会, 東京, 2023.7.30. / インプラントの手術併発症とその対応～神経損傷と出血を中心に～. 神奈川歯科大学病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2023.9.14. / 歯科インプラントとは～持病があってもできるのか～. 神奈川歯科大学横浜研修センター・横浜クリニック市民公開講座, 横浜, 2023.9.16. / インプラントの外科手術の基本. オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.10.26. / 歯科インプラントとは 利点と欠点 持病があってもできるのか. 横須賀市歯と口の健康づくり講座, 横須賀, 2023.11.14. / インプラント治療における併発症と対処法. 新潟再生歯学研究會講習会公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会, 三条, 2023.11.19. / ランチョンセミナー インプラント治療におけるリスクヘッジ 民間保証会社との新たなコラボレーションについて. 第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2023.12.2. / ランチョンセミナー コラーゲン使用人工骨「ボナーク®」の上顎洞底挙上術における評価. 第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2023.12.3. / 硬組織マネジメント(骨造成、GBR、サイナスエレベーション、サイナスリフト). オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.12.7. / 抜歯

やインプラント手術における併発症の予防と対応. 令和5年度東信地区歯科医師会学術講演会, Web開催, 2024.1-3.(配信) / ランチョンセミナー ナビゲーションシステム「X-Guide」の概要と臨床での有用性. 第43回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会, 東京, 2024.2.24.

●永田紘大: インプラント治療における審査診断・治療計画. オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.9.22.

●小川隆広: リサーチとは: アイデアからパブリケーションまで. 神奈川歯科大学学会第2回談話会, Web開催, 2023.8.1.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

●河奈裕正(代表), 筋生田整治(分担), 野崎貴裕(分担): 骨質変化検出機構を備えた歯科インプラント用ドリルの開発. 基盤研究(C), 23K09226, 2023~2026年度.

小児歯科学講座

▶ 小児歯科学分野

代表者: 木本茂成

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 木本茂成
講 師: 井上吉登, 浅里仁, 横山三菜
助 教: 大谷茉衣子, 中村州臣, 永塚(小川)綾野, 井澤基樹
診 療 科 助 手: 黒田梨乃, 坂見嵯由里, 加藤ともみ, 中島知佳子
医 員: 菅原舞美, 長田奈々子
特 任 講 師: 大西武, 大森弘子, 小松太一, 小森令賀, 重根充, 杉村和昭, 竹越史子, 時安喜彦, 檜山雄彦, 祝部竜造, 本間秋彦, 松澤光洋, 松原聡, 室井剛史, 保田将史, 山田直美, 坪川茉莉, 中村朋美
臨 床 専 攻 生: 仲野あや, 和田裕子, 李友理, 菊地暁美

2 | 2023年度の活動内容

教育: 1年生第1ステージの「臨床医科歯科概論」において小児歯科学の講義を担当した。1年生および2年生の第1ステージにおける「コミュニケーション入門」のユニット責任者として講義を担当した。また4年生第3ステージの「小児歯科学」において科目担当責任者として講義・実習を担当した。さらに4年生第4, 第5ステージの「総合歯科学I」における講義, 5年生「臨床実習」において小児歯科学実習と「臨床座学」における講義, 6年生「総合歯科学II」において小児歯科学の講義を担当した。5年生においては臨床実習終了時の臨床能力試験のうち, 臨床実地試験(CPX)の指導系課題の評価を担当した。

研究: 新規材料に対するヒト歯髓由来細胞の生物学的応答に関する生化学的研究において, 組織学的検索を実施した。歯髓が感染し炎症が歯根部まで達しているラットの歯根未完成歯に対して, 正常に近い状態に歯根を完成させる新しい治療方法の開発を目指し, 根尖部での炎症鎮静化と硬組織の誘導および歯根形成の過程を検討した。口腔機能発達に関する研究において, 小児の口腔機能(舌圧, 口唇閉鎖力, 咬合力)と全身機能(握力, 膝伸展筋力)を測定し, 関連性

を検討している。

臨床：口腔機能発達の問題を早期に発見し、歯科疾患への予防的アプローチを重視した定期管理を行っている。特に口腔周囲の筋機能の不調和に対し、MFTを積極的に導入している。また歯科的不適応を示す患児に対しては抑制下での治療を避け、心理的アプローチにより行動変容をはかるように努めている。その他、障害児の外科的処置や齲蝕治療、ならびに不協力児に対して全身麻酔下における集中的歯科治療を実施している。

社会活動：地域保健活動の一環として横須賀北部保健所ならびに横浜市磯子区、港南区の福祉保健センターにおいて乳幼児経過歯科健診を担当し歯科指導を行っている。また令和5年度横須賀市北部保健所幼児歯科健康診査(1歳6か月児、3歳児)、令和5年度横浜市港南区経過歯科健康診査を担当し、横浜市の妊婦歯科健診実施医療機関研修の講師として妊婦の口腔ケアに関する指導を行っている。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/027 浅里仁, 木本茂成：スペースリゲナー . pp.235 / 生歯困難. pp.237 / 生歯熱. pp.237 / 精神障害. pp.238 / 精神年齢. pp.238 / 精神発達遅滞. pp.238 / 成長発育. pp.239 / 生理的体重減少. pp.241 / 生理的年齢. pp.241 / 赤色舌炎. pp.241. / 井上吉登, 木本茂成：先行乳歯. pp.252 / 全身麻酔下集中治療法. pp.253 / 先天性外胚葉異形成症. pp.254 / 先天性心疾患. pp.254 / 早期喪失. pp.257 / 早期萌出. pp.257 / 早産児. pp.259 / 双生児. pp.260 / ターミナルプレン. pp.265. 全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学辞典. 第2版, 永末書店, 京都, 2024.

【原著論文】

K23/OP/070 Ogawa A, Sasaki Y, Naruse M : An investigation into nutritional methods at the fifth day after birth of infants in association with cleft type and laterality. *Congenital Anomalies*, 63, 74-78, 2023.

K23/OP/022 Nakajima C, Fujita-Otani M, Mikuni-Takagaki Y, Nakamura K, Hidaka K, Kawata A, Kawamata R, Kimoto S : Progress of LPS-induced apical lesion in rat immature mandibular molars. *Pediatric Dental Journal*, 33, 14-24, 2023.

K23/OP/071 Asari J, Fujita-Ohtani M, Nakamura K, Nakamura T, Inoue Y, Kimoto S : Evaluation agreement between peer assessors, supervisors, and parents in assessing communication and interpersonal skills of students of pediatric dentistry. *Pediatric Dental Journal*, 33, 133-138, 2023.

【解説】

K23/Ex/017 木本茂成：臨床家のための疼痛コントロールCheckPoint 8 各論:小児歯科治療のための疼痛コントロール. *歯界展望*, 141(5), 906-917, 2023.

【その他】

K23/O/009 木本茂成, 他：歯・口腔の健康づくりプラン推進のための説明資料. 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会 歯科口腔保健の推進に関する専門委員会, 2023.10. (厚生労働省「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の全部改正について(令和5年10月5日付け医政発1005第2号)」別添2). <https://www.mhlw.go.jp/content/001154214.pdf>

K23/O/010 木本茂成：領域別研究協議会 幼稚園・認定こども園・保育所部会 口腔から全身の健康づくりを目指して「いただきます 人生100年 歯と共に」~つなぐ, 子どもたちの未来へ~ アドバイザーのまとめ(第87回全国学校歯科保健大会事後抄録). *日本学校歯科医会誌*, 135, 92-93,

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 木本茂成：小児期からのオーラルフレイル対策－健康な身体作りのための口腔機能発達支援－ (シンポジウム「子ども時代からの口コモ・フレイル対策」). 第36回日本臨床整形外科学会, 千葉, 2023.7.17.
- 木本茂成：口腔機能の発達と成長発育 早期の気づきの重要性 (領域別協議会幼稚園・認定こども園・保育所部会). 第87回全国学校歯科保健研究大会, ハイブリッド開催(大阪+オンライン), 2023.10.19.

〔一般発表・国内学会〕

- 井上吉登, 小松太一, 大森弘子, 檜山雄彦, 横山三菜, 木本茂成：給排水機能付き音波歯ブラシの流量変化による歯面洗浄効果. 第61回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023.5.18-19.
- 永塚綾野, 浅里仁, 長田奈々子, 黒田梨乃, 加藤ともみ, 坂見嵯由里, 大谷茉衣子, 中村州臣, 中島知佳子, 井上吉登, 木本茂成：小児の口腔機能発達と身体機能の関連性. 第61回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023.5.18-19.
- 坪川茉莉, 浅里仁, 木本茂成：口腔機能発達不全症の管理を通して前歯部開咬の改善を図った1例. 第61回日本小児歯科学会大会, 長崎, 2023.5.18-19.
- 木本茂成, 朝田芳信, 内川喜盛, 井上雄温, 公益社団法人日本小児歯科学会社会保険委員会：令和4年度社会保険診療報酬改定に関するアンケート調査. 日本小児歯科学会第38回関東地方会大会・総会, 川口, 2023.10.1.
- 中村州臣, 中村朋美, 木本茂成：埋伏した上顎小白歯を長期牽引した1例. 日本小児歯科学会第38回関東地方会大会・総会, 川口, 2023.10.1.
- 中島知佳子, 大谷茉衣子, 永塚綾野, 中村州臣, 浅里仁, 井上吉登, 木本茂成：当科の研究内容と30年後の小児歯科. 日本小児歯科学会第38回関東地方会大会・総会, 川口, 2023.10.1.
- 中村州臣, 中村朋美, 木本茂成：上顎埋伏小白歯を長期牽引により萌出誘導を行った1例. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 永塚綾野, 浅里仁, 長田奈々子, 黒田梨乃, 加藤ともみ, 坂見嵯由里, 中島知佳子, 菅原舞美, 大谷茉衣子, 中村州臣, 井上吉登, 木本茂成：小児の口腔機能発達と身体機能の関連性. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 中島知佳子, 大谷茉衣子, 中村州臣, 永塚綾野, 井上吉登, 浅里仁, 木本茂成：当科の研究から30年後の小児歯科を予想する. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

〔講演会・セミナー等〕

- 木本茂成：舌足らずの対応法 小帯切除とMFTの要点(小帯切除のタイミングとMFTのポイント). 1Dオンラインセミナー, オンライン開催, 2023.4.3. / 小児歯科臨床の現状と最新トピックス. 第50回横浜市産婦人科医会・小児科医会研究会講演会, 横浜, 2023.6.2. / お口の発達から考える 乳幼児の食事・心身の発育. 2023 年度フレール館保育オンラインセミ

ナー，オンライン開催，2023.8.3. / 小児歯科臨床のコツ～泣かせない子どもの浸潤麻酔～.
神奈川歯科大学病診連携オープンセミナー，横須賀，2023.9.28. / お口の発達から考える
乳幼児の食事・心身の発育. 西海内海保育会講習会，オンライン開催，2023.11.6. / 口腔機能
発達不全症の病態と影響について. 神奈川県歯科医師会第22回学術大会，横浜，2024.2.23.
/ 乳幼児の健診“みるべき”ポイント 0歳～就学児における月齢別チェック項目総まとめ. 1D
オンラインセミナー，オンライン開催，2024.3.29.

- 浅里仁：妊娠中の口腔内の特徴と口腔ケア. 横浜市妊婦歯科健診実施医療機関研修会，横浜，2023.12.21.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 大谷茉衣子(代表)：歯根未完成歯における歯根誘導を目的とした低出力超音波パルス照射治療の開発. 若手研究，21K17193，2021～2024年度.
- 石崎晶子(代表)，石川健太郎(分担)，内海明美(分担)，高橋摩理(分担)，弘中祥司(分担)，山口知子(分担)，木本茂成(分担)，佐藤秀夫(分担)：低出生体重児に対する口腔周囲筋の筋輝度を指標とした口腔機能発達支援方法の確立. 基盤研究(C)，22K10346，2022～2024年度.
- 井澤基樹(代表)：成長期における骨吸収抑制薬の作用機序の解明. 若手研究，22K17261，2022～2024年度.
- 中村州臣(代表)：外傷歯根吸収に対する増悪因子の解析と低出力超音波パルスによる新規治療法の確立. 若手研究，23K16193，2023～2025年度.

〔賞〕

- 大谷茉衣子：2022年度教職員評価表彰. 神奈川歯科大学. 2023.5.1.
- 浅里仁：令和4年度歯学部5年生ベストティーチャー賞. 神奈川歯科大学. 2023.5.11.
- 中島知佳子：第58回神奈川歯科大学学会学術大会優秀ポスター賞：当科の研究から30年後の小児歯科を予想する. 神奈川歯科大学学会. 2023.11.25.

〔その他〕

- 木本茂成：公益社団法人日本小児歯科学会常務理事・表彰選考委員会委員長.
- 木本茂成：公益社団法人日本小児歯科学会研究倫理審査委員会委員.
- 木本茂成：公益財団法人大学基準協会 2023年度歯学教育評価第4分科会委員.
- 木本茂成：一般社団法人日本歯科専門医機構業務執行理事(財務担当).
- 木本茂成：一般社団法人日本歯科医学教育学会 評議員.
- 木本茂成：一般社団法人日本歯科医学会連合将来構想推進委員会委員.
- 木本茂成：日本歯科医学会評議員.
- 木本茂成：日本歯科医学会 専門・認定分科会資格審査委員会委員長.
- 井上吉登：公益社団法人日本小児歯科学会関東地方会モニター委員会委員.

- 井上吉登：令和5年度横浜市港南区経過歯科健康診査.
- 浅里仁：公益社団法人日本小児歯科学会評議員.
- 浅里仁：令和5年度横浜市中区経過歯科健康診査.
- 横山三菜：公益社団法人日本小児歯科学会 男女共同参画委員会小児歯科医連携協力ネットワーク委員.
- 大谷茉衣子：令和5年度横浜市港南区経過歯科健康診査.
- 大谷茉衣子：令和5年度横須賀市北部保健所幼児歯科健康診査(1歳6か月, 3歳児).
- 中村州臣：令和5年度横浜市港南区経過歯科健康診査.
- 永塚綾野：公益社団法人日本小児歯科学会 男女共同参画委員会小児歯科医連携協力ネットワーク委員.
- 永塚綾野：令和5年度横浜市港南区経過歯科健康診査.

画像診断学講座

▶ 画像診断学分野

代表者：櫻井孝

1 | 教員・大学院生・他

教 授：櫻井孝
 准教授・診療科教授：泉雅浩
 講 師：谷口紀江
 診療科助手：藤井学, 上原雄人, 迫田貴熙
 大学院生：北見遼二(4年), 佐藤イテヒョン(3年), 大道紳太郎(2年), 迫田貴熙(2年)
 名誉教授：鹿島勇
 特任教授：若尾博美
 特任講師(無給)：皆謙介, 小菅栄子, 小山敦, 嶋本道晴, 對馬壽夫, 西村光輔, 沼山助直, 古屋延明, 三宅正泰, 三宅忠隆, 吉田元, 印南永

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯科医療入門(1年), 歯科放射線の基礎(2年), 歯と歯周組織の検査(3年), 口腔・顎顔面領域の疾患I(3年), 医療コミュニケーション(4年), 口腔・顎顔面領域の疾患II(4年), 口腔・顎顔面領域の疾患III(4年), 総合歯科学(4年), 臨床実習I・II(5, 6年), 歯科放射線学(歯科衛生学科2年)等の教育を担当した。近年の歯科医師国家試験の出題傾向を分析し, さらに診療参加型臨床実習に配慮して, 臨床実習における教育内容を強化した。思考力および問題解決能力を涵養するため, 全学年に一貫した教育カリキュラムを実践した。

研究：MRI装置による磁性アタッチメント義歯におよぼす影響について, 咀嚼不全がヒト海馬へ及ぼす影響についてMRI分析, CTによるエックス線高吸収体の実長計測に関する検討, 歯

科用チタン製インプラントとジルコニア製上部構造体のCTアーチファクトに関するファントム研究などをテーマとする研究を行った。

臨床：院内他科からの依頼に基づき、画像検査ならびに検査報告書の作成を行った。また、外部医療機関から依頼された歯科用CBCT検査、セファロ検査などを行い、病診連携を重視した地域医療活動を行った。

社会活動：日本私立歯科大学協会、歯科医師臨床研修マッチング協議会、厚生労働省医道審議会歯科医師分科会共用試験部会、医療放射線防護連絡協議会や日本歯科医療振興財団の理事等を通じて社会活動に従事した。また、高大接続事業の一環として、高校生への体験学習プログラムの提供などを通じ地域の青少年教育に貢献した。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/028 櫻井孝, 泉雅浩：第4章.4. 顔面頭蓋部撮影. pp.148-156. / 後藤多津子, 泉雅浩：第4章.8.3). MRIによる検査. pp.179-180 / 第4章.8.4). MRIの適応. pp.180 / 第4章.8.5). 症例. pp.180-182 / 第4章.8.6). その他のMRI. pp.182-184 / 第4章.8.7). MRIの展望. pp.184. 岡野友宏 [ほか] 編集：歯科放射線学. 第7版, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【原著論文】

K23/OP/012 Kitami R, Izumi M, Taniguchi M, Kozai Y, Sakurai T : Phantom study for CT artifacts of dental titanium implants and zirconia upper structures: the effects of occlusal plane angle setting and SEMAR algorithm. Oral Radiology, 40, 251-258, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 谷口紀江：アフターコロナ禍における歯科放射線学基礎、臨床実習について。全国公・私立歯科大学歯科放射線教育研究会，長野，2023.8.4-5.
- 足立拓也，川西範繁，谷口紀江，淵田慎也，星憲幸：口腔カンジダ症における唾液の関連性－唾液量と唾液代謝プロファイル－。4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会)，宇都宮，2023.9.22-24.
- 大道紳太郎，香西雄介，迫田貴熙，佐藤イテヒョン，谷口紀江，泉雅浩，櫻井孝：磁性アタッチメント義歯の磁石に対してMRIの静磁場が及ぼす影響－設置位置及び時間との関係－。日本歯科放射線学会第237回関東地方会，横浜，2024.2.3.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

谷口紀江(代表)：咀嚼不全がヒト海馬へ及ぼす影響についてMRI分析。若手研究，18K15648，2018～2023年度。

麻酔科学講座

▶ 歯科麻酔学分野

代表者：讃岐拓郎

1 教員・大学院生・他

教授：讃岐拓郎
講師・診療科准教授：今泉うの
講師：黒田英孝，月本翔太
助教：片桐法香
大学院生：大中茉莉(2年)
医員：山口敦己，片山朋美
客員教授：別部智司
特任講師：水谷文子，香川恵太
特任講師(無給)：城戸幹太，糀谷淳，松田佳子，大塚喜彦，孫弘樹，田中富貴子，油井仁，
杉岡伸悟，鮎瀬卓郎
臨床専攻生：西村孔

2 2023年度の活動内容

教育：学部教育では，1年生の「歯科医師入門」，「臨床基礎概論」，4年生の「歯科麻酔学」，「総合歯科学」，5年生の「臨床実習I」，6年生の「臨床実習II」を担当した。臨床実習では，全身麻酔の見学やバイタルサイン測定の自験を行った。短大ではバイタルサイン，救急蘇生の講義・実習を担当した。

研究：多施設大規模調査や薬剤の抗酸化作用の検討などを行った。

臨床：主に口腔外科，インプラント科にて全身麻酔および精神鎮静法等の診療業務を行った。口腔領域の痛みやしびれを訴えている患者さんを対象にした「口腔顔面痛みしびれ外来」にて慢性疼痛等の治療を行った。また，病院内において容体が急変した患者さんの初期対応，医科病院への転送判断等を行った。

社会活動：附属病院において歯科麻酔セミナーとして医療安全，救急蘇生法等の講習会を行った。またインプラント関連の講習会の一環として医療安全，救急蘇生法に関する講演を行った。

3 研究業績

【著書】

K23/B&C/029 讃岐拓郎：III編.5章. 緊急時の対応. pp.288-299. 全国歯科衛生士教育協議会監修：口腔外科学・歯科麻酔学. 第2版, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【原著論文】

K23/OP/072 Sanuki T, Kuroda H, Imaizumi U, Tsukimoto S, Katagiri N, Mizutani A, Ohnaka M, Kurata S, Kishimoto N, Kido K : The Impact of COVID-19 on Dental Anesthesiologists: An Online Survey of Board-Certified Dental Anesthesiology Specialists of the Japanese Dental Society of Anesthesiology. Anesthesia Progress, 70, 168-172, 2023.

K23/OP/073 Sanuki T, Miyawaki T, Iijima T : A survey on the safety of anesthesia management provided

by dental anesthesiologists in Japan: a 5-year survey by the Japanese Dental Society of Anesthesiology. *Clinical Oral Investigations*, 27, 5475-5483, 2023.

- K23/OP/074 Kuroda H, Katagiri N, Kagawa K, Imaizumi U, Ishikawa N, Shibukawa Y, Morimoto Y, Sanuki T : Comparison of Lidocaine and Mepivacaine for Variation in Regional Tissue Oxygenation in Stellate Ganglion Block: A Randomized, Double-Blind, Crossover Trial. *Cureus*, 15(10), e47938, 2023. doi: 10.7759/cureus.47938
- K23/OP/019 Imaizumi U, Inaba K, Kurahashi A, Kuroda H, Sanuki T, Yoshida A, Yoshino F, Hamada N : Effectiveness of curcumin-based antimicrobial photodynamic therapy against *Staphylococcus aureus*. *Journal of Oral Science*, 65(4), 270-274, 2023.
- K23/OP/054 Yamaguchi A, Tsukimoto S, Kuroda H, Imaizumi U, Katagiri N, Katayama T, Kishimoto N, Kido K, Abe T, Sanuki T : Survey on the Awareness of the Use of Oropharyngeal Throat Packs in Dental Anesthesia: An International Online Survey. *Cureus*, 16(1), e52320, 2024. doi: 10.7759/cureus.52320
- K23/OP/075 Imaizumi U, Kuroda H, Tsukimoto S, Katagiri N, Sanuki T : Analysis of Sedation Accident Records Available in the Japan Council for Quality Health Care Public Database. *Cureus*, 16(2), e54793, 2024. doi: 10.7759/cureus.54793
- K23/OP/020 Tsukimoto S, Kitaura A, Kuroda H, Imaizumi U, Yoshino F, Yoshida A, Nakao S, Ohta N, Nakajima Y, Sanuki T : Anti-inflammatory potential of remimazolam: A laboratory and clinical investigation. *Immunity, Inflammation and Disease*, 12, e1218, 2024. doi: 10.1002/iid3.1218
- K23/OP/076 讃岐拓郎, 宮脇卓也, 飯島毅彦 : わが国における歯科麻酔科医による麻酔管理の安全性 : 日本歯科麻酔学会による5年間の調査. *日本歯科麻酔学会雑誌*, 52(1), 46-53, 2024.

【総説】

- K23/R/008 Kishimoto N, Sanuki T, Liu Y, Tran SD, Seo K : Simulation training for medical emergencies of dental patients: A review of the dental literature. *Japanese Dental Science Review*, 59, 104-113, 2023.
- K23/R/009 別部智司, 今泉うの : 口腔顔面痛の漢方治療. *痛みと漢方*, 32, 16-25, 2023.

【症例報告】

- K23/CR/010 Kitaura A, Iwamoto T, Hamasaki S, Tsukimoto S, Nakajima Y : Successful Nafamostat Mesilate Administration for Andexanet Alfa-Induced Heparin Resistance. *Cureus*, 15(8), e44003, 2023. doi: 10.7759/cureus.44003
- K23/CR/004 Kuroda H, Taniguchi K, Tsukimoto S, Imaizumi U, Komaki M, Sanuki T : Carbamazepine-Induced Systemic Lupus Erythematosus in a Patient With Idiopathic Trigeminal Neuralgia: A Case Report. *Cureus*, 15(10), e47009, 2023. doi: 10.7759/cureus.47009
- K23/CR/011 Kitaura A, Sakamoto H, Toho K, Tsukimoto S, Yuasa H, Nakajima Y : Unexpected abnormal positive pressure due to misconnection of excess gas tube. *JA Clinical Reports*, 9, 83, 2023. doi: 10.1186/s40981-023-00677-x
- K23/CR/012 今泉うの, 別部智司 : 口腔内のしびれと痛み漢方薬が奏功した1症例. *痛みと漢方*, 32, 60-64, 2023.

K23/CR/013 金子大, 黒田英孝, 伊村美希, 今泉うの, 城戸幹太, 讃岐拓郎: アミトリプチリン塩酸塩内服によって女性化乳房をきたした1例. 日本歯科麻酔学会雑誌, 51(2), 39-41, 2023.

【その他】

K23/O/011 Sanuki T, Kishimoto N, Kuroda H, Kido K: Hypotension Without Skin Symptoms at Local Anesthesia in Dental Treatment: Anaphylaxis? Or Vasovagal Reaction?. Anesthesia Progress, 70, 91-92, 2023.

K23/O/012 Sanuki T, Kishimoto N, Tsukimoto S, Kido K: The Use of Pharyngeal Throat Packs in Dental Anesthesia. Anesthesia Progress, 70, 196-197, 2023.

K23/O/013 Sakamoto H, Kitaura A, Tsukimoto S, Yoshino Y, Mino T, Yuasa H, Nakajima Y: Stroke volume variation remains accurate in the presence of proximal stenosis. JA Clinical Reports, 10, 13, 2024. doi: 10.1186/s40981-024-00693-5

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

●Kimura M, Nomura S, Ouchi T, Kurashima R, Kuroda H, Shibukawa Y: Intracellular cAMP-induced Ca²⁺ Influx via Activation of Protein Kinase A in Odontoblasts. FAOPS 2023, Daegu, Korea, 2023.11.1-4.

〔一般発表・国内学会〕

●沢井奈津子, 山崎勇輝, 松本ひろみ, 黒田英孝: 歯科外来患者を対象とした抗菌薬適正使用支援チーム(AST)介入の評価. 第77回日本口腔科学会学術集会, 岡山, 2023.5.11-13.

●岩崎亮, 黄地健仁, 木村麻記, 西山明宏, 黒田英孝, 澁川義幸, 片倉朗: 三叉神経節ニューロン-血管内皮細胞の機械刺激誘発性CGRP-CALCRL axis活性化によるcAMP依存性軸索反射. 第315回東京歯科大学学会・例会, 東京, 2023.6.3.

●今泉うの, 別部智司: 口腔内の痛みに漢方薬が奏効した1症例. 第35回日本疼痛漢方研究会学術集会, ハイブリッド開催(東京+オンライン), 2023.7.22.

●黒田英孝, 片山朋美, 山口敦己, 片桐法香, 月本翔太, 今泉うの, 讃岐拓郎: カルバマゼピンによって全身性エリテマトーデス様症状を呈した1例. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.

●月本翔太, 黒田英孝, 片山朋美, 山口敦己, 片桐法香, 今泉うの, 讃岐拓郎: レミゾラムによるCRP減少メカニズムの解明: ESRを用いた抗酸化作用の検討. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.

●月本翔太, 山本莉菜, 讃岐拓郎: レミゾラム麻酔のesCCOシステムによる循環動態解析. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.

●讃岐拓郎, 黒田英孝, 今泉うの, 月本翔太, 片桐法香, 水谷文子, 大中茉莉, 倉田眞治, 岸本直隆, 城戸幹太: 新型コロナウイルス感染症パンデミックが歯科麻酔科医に与えた影響: 日本歯科麻酔学会歯科麻酔専門医を対象としたオンライン・サーベイ. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.

- 水谷文子, 城戸幹太, 片桐法香, 月本翔太, 黒田英孝, 今泉うの, 讃岐拓郎: 上下顎骨切り術におけるトラネキサム酸前投与の周期出血量減少効果. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.
- 片山朋美, 月本翔太, 香川恵太, 水谷文子, 山口敦己, 片桐法香, 黒田英孝, 今泉うの, 讃岐拓郎: POD/POCDの評価を行った超高齢患者にレミゾラム全身麻酔を行った一例. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.
- 片桐法香, 城戸幹太, 讃岐拓郎: 新しいラット遷延性術後痛モデルの開発. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.
- 黒田英孝, 澁川義幸, 讃岐拓郎: 星状神経節ブロックにおける局所組織酸化に対するリドカインとメピバカインの比較. 第14回三叉神経領域の感覚・運動統合機構研究会, 習志野, 2023.12.9-10.
- Kimura M, Ouchi T, Kurashima R, Kuroda H, Shibukawa Y: Intracellular cAMP level increase induced Ca²⁺ influx in odontoblasts and inhibited mineralization. 第101回日本生理学会大会, 北九州, 2024.3.28-30.

[講演会・セミナー等]

- 今泉うの: 歯に原因のない歯の痛みー非歯原性歯痛とはー. 神奈川歯科大学同窓会静岡県支部春季講演会, 静岡, 2023.6.17. / 鎮静の安全性を高めるー医療事故分析モデルを用いてー. 第51回日本歯科麻酔学会学術集会リフレッシャーコース1, 長崎, 2023.10.7. / 歯科診療所等における医療安全管理対策ー医療安全対策とはー. 2023年度神奈川歯科衛生士会第5回研修会, 横浜, 2023.12.17. / 口腔内のしびれに十全大補湯と加工ブシ末製剤が奏功した1症例. 第42回桜岳塾Webセミナー, Web, 2024.2.16. / 歯科領域に用いられる漢方薬の応用について. 第29回横浜歯科漢方研究会(総合討論), Web, 2024.3.24.

【業務・活動報告】

[科学研究費補助金]

- 武村幸彦(代表), 向井義晴(分担), 讃岐拓郎(分担), 城戸幹太(分担): 歯科治療におけるストレス評価. 基盤研究(C), 22K10351, 2022~2024年度.
- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 今泉うの(分担), 高橋俊介(分担), 東雅啓(分担): 加齢に伴う歯周病の進行に対する歯肉マッサージの効果の解析. 基盤研究(C), 23K09176, 2023~2026年度.
- 城戸幹太(代表), 杉野繁一(分担), 讃岐拓郎(分担), 渋谷真希子(分担), 新田幸絵(分担): 新しいラットモデルを用いた術後痛遷延化の分子遺伝メカニズムの解明と治療戦略の開発. 基盤研究(C), 23K09322, 2023~2025年度.
- 月本翔太(代表): レミゾラム投与から見えてきた全身免疫機能との関連を解明する. 若手研究, 23K15606, 2023~2025年度.
- 片桐法香(代表): 肥満による術後痛増強メカニズムの分子遺伝学的解明と新規治療戦略の開発. 若手研究, 23K16136, 2023~2026年度.

[原著論文]

- Kitaura A, Yamamoto R, Tsukimoto S, Hamasaki S, Nakajima Y: Nine-Second Cardiac Arrest in a Patient With Anti-mitochondrial Antibody-Positive Myopathy Under General Anesthesia. *Cureus*, 15(4), e37436, 2023. doi: 10.7759/cureus.37436

- Kitaura A, Sakamoto H, Hamasaki S, Tsukimoto S, Nakajima Y : Remimazolam-Based Anesthesia in Patients with Heart Failure Due to Mitral Regurgitation and Low Left Ventricular Function: A Case Series. *Medicina*, 59(12), 2136, 2023. doi: 10.3390/medicina59122136

▶ 高度先進麻酔科学分野

代表者：有坂博史

1 | 教員・大学院生・他

教 授：有坂博史
講 師：杉田武士
助 教：吉田優子
診療科助教：妹尾美幾
診療科助手：阿部陽子，山中美由紀
非常勤講師：豊里晃，望月亮，買原玲子，買原一郎，福間健史
非常勤歯科医師：松本安紀子，古屋宗孝

2 | 2023年度の活動内容

教育：5年生への臨床実習，6年生の卒業対策及び国家試験対策講義，臨床研修医，歯科衛生士への救急対応実習・講義を実施した。また，他科の麻酔科研修により全身管理に対する研修を行った。外部では117回歯科医師国家試験委員(幹事)を担当した。

研究：睡眠時無呼吸症候群に対する筋機能療法(MFT)の応用，睡眠時無呼吸症候群と上顎拡大装置の影響についての研究，イメージング法を用いた大脳皮質体性感覚野の研究，呼吸ニューロンと神経ペプチドに関する研究，全身麻酔と静脈内鎮静時の睡眠評価法に関する研究などを行った。

臨床：口腔外科，小児障害者歯科，インプラント科の全身麻酔および静脈内鎮静法の業務を行った。また，横浜クリニック内において容体急変時への初期対応を行った。神奈川歯科大学附属病院(横須賀)のいびきと睡眠時無呼吸外来(有坂担当)で，毎月定期的に130名前後の再来患者，4～5名の新患者および横須賀米軍基地の検査入院を含め8～10名の入院検査を行っている。

その他：日本歯科麻酔学会，日本障害者歯科学会，日本外傷歯学会に参加し，発表を行った。

3 | 研究業績

【症例報告】

K23/CR/009 小野崎純，大塚未紗，杉田武士，有坂博史，不島健持：MFTによって被蓋改善を行った反対咬合症例。神奈川歯学, 58(2), 114-119, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 楊苡詢，阿部陽子，吉田優子，石井滋，杉田武士，有坂博史：強直性脊椎炎患者に対してマジック・ベッドを使用してLeFortI型骨切り術および両側下顎枝矢状分割術を行った麻酔経験。第

39回関東臨床歯科麻酔懇話会学術集会, 東京, 2023.6.24.

- 杉田武士, 有坂博史, 久保田守: コロナフレイルの影響によって前歯部インプラントが脱落した症例. 第23回日本外傷歯学会・総会・学術大会, 高松, 2023.7.22-23.
- 杉山郁子, 高瀬幸子, 高野知子, 山田千恵, 望月美穂, 植松里奈, 麻生綾子, 杉田武士, 小松知子, 池田正一: 当科での歯科衛生士による麻酔予約管理システムの取り組み. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 梅澤伸夫, 杉本淳, 森原弘章, 杉田武士, 有坂博史: 慢性疼痛化した顎関節症の患者に対して治療を行った一症例. 第53回日本慢性疼痛学会, 足利, 2024.2.23-24.

全身管理歯科学講座

▶ 高齢者歯科学分野

代表者: 森本佳成

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 森本佳成
准 教 授: 林恵美
助 教: 美久月瑠宇, 田中洋平
特 任 助 教: 西崎仁美
非 常 勤 講 師: 磯崎哲男

2 | 2023年度の活動内容

教育: 当分野では歯学部1, 4, 5, 6年生に対し, 高齢者歯科学, 全身管理歯科学に関する講義を行った。昨年行った5年生臨床実習におけるローテーション実習は2023年度も引き続き行い, マネキン実習, 相互実習を基本とした口腔ケアシミュレーション実習を行った。断続的な新型コロナウイルス感染症の影響により, 高齢者施設での学外実習の中止再開などはあったが, 実施することができた。

研究: 高齢者歯科学分野を中心に臨床研究を行い, 関連学会や神奈川歯科大学学会総会で発表を行った。第58回神奈川歯科大学学会では助教1名が神奈川歯学論文賞を受賞した。

臨床: 在宅を中心としてきた訪問診療であるが, 老健施設・病院での定期的な訪問先ができたことにより, 多人数で訪問診療する機会が増え, 臨床教育としての質が向上した。認知症等の入院治療の対応も行った。また, 日本口腔科学会認定医を1名が取得した。

社会活動: 歯科医師会や近隣の病院, 施設などで認知症患者への対応などの講演会を昨年に引き続き行った。

その他: 年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響が断続的にあったため, 教育・臨床・研究活動がなお影響を受けた。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/030 森本佳成: III. 外来(診療所)救急時対応マニュアル. pp.12-18. 日本有病者歯科医療学会, 今井裕,

栗田浩編集：歯科医療安全管理マニュアル. 医歯薬出版, 東京, 2023.

K23/B&C/031 森本佳成：第5章.1.5). 血管収縮薬による過剰反応. pp.245-246 / 第5章.1.6). メトヘモグロビン血症. pp.247-248 / 第5章.2.2). 救急処置を要する症状. pp.257-260. 日本有病者歯科医療学会編：有病者歯科学. 第3版, 永末書店, 京都, 2024.

【原著論文】

K23/OP/074 Kuroda H, Katagiri N, Kagawa K, Imaizumi U, Ishikawa N, Shibukawa Y, Morimoto Y, Sanuki T : Comparison of Lidocaine and Mepivacaine for Variation in Regional Tissue Oxygenation in Stellate Ganglion Block: A Randomized, Double-Blind, Crossover Trial. *Cureus*, 15(10), e47938, 2023. doi: 10.7759/cureus.47938

K23/OP/077 Katagiri A, Tsubota K, Mikuzuki L, Nakamura S, Toyofuku A, Kato T, Bereiter DA, Iwata K : Tear secretion by Diquafosol suppresses the excitability of trigeminal brainstem nuclear complex neurons by reducing excessive P2Y₂ expression in the trigeminal ganglion in dry eye rats. *Neuroscience Research*, 191, 66-76, 2023.

K23/OP/078 Morimoto Y, Hayashi M, Tanaka Y, Mikuzuki L, Nishizaki H : Management for the patients with severe Parkinson's disease during dental treatments and tooth extractions: A retrospective observational study. *Journal of Dental Sciences*, 19, 261-267, 2024.

K23/OP/079 森本佳成, 林恵美, 塚脇香苗, 高野宏二, 久保弘子, 飯田恵理：インフレーションライン用の孔が気管チューブ先端で閉鎖されていなかった1例. *日本歯科麻酔学会雑誌*, 51(4), 110-113, 2023.

【解説】

K23/Ex/018 林恵美, 森本佳成：臨床家のための疼痛コントロールCheckPoint 10 各論:高齢者の歯科診療時の疼痛コントロール. *歯界展望*, 142(1), 142-154, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 美久月瑠宇, 豊福明：診断治療に苦慮した歯科インプラント部の慢性疼痛の1例. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 森本佳成, 林恵美：認知症高齢者における全身麻酔の検討—脳波および脳血流量の変化について. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.
- 森本佳成, 林恵美, 田中洋平, 美久月瑠宇, 西崎仁美, 小松知子：気管挿管および換気困難を呈した未診断の声門下狭窄症および肺低形成症を合併したシェーグレン・ラルソン症候群患者の麻酔経験. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 森本佳成, 林恵美, 田中洋平, 美久月瑠宇, 西崎仁美, 佐伯彩：認知症高齢者の全身麻酔における脳血流量の変化—健常者との比較—. 第33回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 新潟, 2024.3.8-10.

〔講演会・セミナー等〕

- 森本佳成：認知症と口腔のケア・食の支援. 横須賀保健所主催歯と口の健康づくり講座, 横

須賀, 2023.10.30.

●林恵美, 田中洋平: 歯科医が繋げる地域支援. 第31回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会, 横須賀, 2023.9.16. / 嚥下内視鏡(VE)について. 介護老人保健施設 ハートケア湘南・芦名 摂食嚥下勉強会, 横須賀, 2024.3.14.

●田中洋平: 在宅医療における歯科医の役割. 横須賀市歯科医師会在宅介護講演会, 横須賀, 2023.11.29.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

●森本佳成(代表): 重度認知症高齢者における静脈内鎮静法が脳細胞の活動および認知機能に及ぼす影響. 基盤研究(C), 20K10061, 2020~2024年度.

〔賞〕

●田中洋平: 神奈川歯学論文賞: Relationship between pharyngeal crossing of the nasogastric tube and the side of nasal insertion. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会. 2023.11.25.

●森本佳成: 優秀発表賞: 認知症高齢者の全身麻酔における脳血流量の変化—健常者との比較—. 第33回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会. 2024.3.10.

▶ 障害者歯科学分野

代表者: 小松知子

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 小松知子
講 師: 高野知子
助教・診療科講師: 赤坂徹
助 教: 野口毅
診 療 科 助 手: 鈴木杏奈, 松木綱大
大 学 院 生: 萩原大(3年)
客 員 教 授: 池田正一
特 任 准 教 授: 西山和彦
特 任 講 師: 松澤直子, 川邊裕美
特任講師(無給): 岩崎克夫, 井上裕之, 高満幸宜
非 常 勤 講 師: 宮崎敬子, グリーナンせつゑ, 勝畑妙江子, 川瀬清美, 佐藤美緒
非常勤歯科医師: 宮城敦, 新倉啓太
臨 床 専 攻 生: 鎌田有一朗, 野口萌, 三國文, 岡部愛子, 出井鮎美, 渡辺匡

2 | 2023年度の活動内容

教育: 歯学部1年生: 「臨床基礎概論」講義, 3年生: 「歯と歯周組織の検査」, 4年生: 「障害者の歯科治療」, 「総合歯科学」, 5年生: 「臨床実習I」(施設見学を含む), 「臨床演習I」, 6年生: 「臨床実習II」を担当した. 障害児・者の特性を理解して, 歯科医療における配慮・工夫などの対処法だけでなく, 障害者に関わる社会保障制度などを学び, 福祉, 行政, 療育などにおける多職

種連携の重要性への理解を促すための講義, 実習を行った。短期大学部歯科衛生学科2年生:「高齢者歯科学」, 「障害者歯科学」講義, 3年生:「介護技術実習」講義・実習を担当した。歯科医師臨床研修医に対しては臨床研修を行った。

研究: 以下のテーマに関する臨床研究, 基礎研究に取り組み, その成果を学会で発表した。Down症候群患者の歯周病の病態メカニズムの解明および歯周病における抗菌・抗酸化併用療法の研究, 電子スピン共鳴法による口腔および全身機能が唾液中の活性酸素消去能に及ぼす影響の研究, Down症候群の口腔機能と全身機能の評価と機能低下予防に関する研究, 小児在宅歯科医療連携に関する調査研究, 障害児・者の歯科医療・摂食嚥下機能療法におけるオンラインの活用に関する検討, 障害者の口腔ケアに関する研究, 歯科疾患の予防的研究, ケモカインCXCL14の腫瘍抑制についての研究, 摂食嚥下機能, 摂食嚥下障害に関する研究。

臨床: 神奈川県障害者歯科医療3次医療機関として, 積極的に障害者・高齢者の歯科診療を他科の協力の下に実施した。患者数は本院(障がい者歯科および摂食嚥下外来)で約25名/日, 横浜クリニック約30名/日であった。他医療機関などからの紹介を受け, 知的障害, 自閉スペクトラム症, 脳性麻痺, 内部疾患, 脳血管障害後遺症, 認知症, パーキンソン病, 精神疾患など, 様々な障害や疾患のある患者の歯科疾患および摂食嚥下障害に対応した。必要に応じて, 行動変容法, 全身麻酔, 静脈麻酔, 静脈内鎮静法, 亜酸化窒素吸入鎮静法などの行動調整を用いての外来診療を行った。また, 摂食嚥下障害のある患者を中心に訪問診療でも対応した。日本障害者歯科学会, 日本老年歯科医学会, および県歯科医師会障害者歯科の研修機関の指定を受け, 研修の歯科医師・歯科衛生士を多数受け入れ, 専門医, 認定医および一次医療担当医の育成に寄与した。

社会活動: 神奈川県と静岡県の歯科医師会設置の障害者歯科医療機関, 障害者の施設に歯科保健指導, 歯科診療, および摂食指導のために赴いた(伊豆医療福祉センター, 神奈川県立精神医療センター, 横浜市南部地域療育センター, 横浜市西部地域療育センター, 横須賀市療育相談センター, ライフゆう, 小さき花の園, 太陽の門, 捜真小学校, 訪問の家 朋診療所, キャマラードみどりの家 診療所)。

その他: 「ツナガリウォーク2023」に参加(主催:一般社団法人ヨコハマプロジェクト/共催:神奈川県)し, 地域の障害児・者との交流を深めた。「第2回神奈川小児在宅歯科医療フォーラム～神奈川県における小児在宅医療の連携協働を目指して～」を主催(共催:公益社団法人神奈川県歯科医師会/社団法人横浜市歯科医師会, 後援:神奈川県)し, 医療的ケア児の歯科診療についての啓発活動を行った。「第5回ダウン症候群口腔ケア・フォーラム in 神奈川」を主催(共催:一般社団法人ヨコハマプロジェクト/一般社団法人IKKA, 後援:公益財団法人日本ダウン症協会/公益財団法人日本ダウン症学会)し, 最新の情報を患者家族, 多職種で共有した。

3 | 研究業績

【著書】

- K23/B&C/032 小松知子: Part 3.④. Down症候群 疾患特性. pp.65-67. 小笠原正 [ほか] 編著: あなたの歯科医院に障害のある患者さんが来院したら? 歯科衛生士のための障害者歯科入門. 医歯薬出版, 東京, 2023.
- K23/B&C/033 小松知子: 3章. 医療的問題と治療, 健康管理. pp.25-32. 橋本創一監修: ことばを育てる. 福村出版, 東京, 2023.
- K23/B&C/034 小松知子: 医療的ケア児. pp.32. 全国歯科衛生士教育協議会監修: 歯科衛生学辞典. 第2版, 永末書店, 京都, 2024.

【原著論文】

- K23/OP/031 小松知子, 横山滉介, 宋文群, 萩原大, 野口毅, 高満幸宜, 渡辺匡, 戸田真司, 李昌一, 井野智: 障害者支援施設での摂食嚥下リハビリテーションのオンライン指導の検討. 障害者歯科, 44, 213-222, 2023.

【症例報告】

K23/CR/014 久保寺友子, 成瀬正啓, 池田正一: 長期口腔管理を行った先天性無痛無汗症の一例. 障害者歯科, 44, 19-27, 2023. *前年度未掲載分

K23/CR/015 高野知子, 新倉啓太, 杉山郁子, 鈴木杏奈, 高瀬幸子, 小松知子, 池田正一: 成人のFreeman-Sheldon症候群患者の歯科治療経験. 障害者歯科, 44, 248-254, 2023.

【解説】

K23/Ex/019 小松知子: 障害者(児)の適切な口腔管理・歯科医療のために必要な今後の対応について～日本障害者歯科学会の立場から～. 社会歯科学会雑誌, 16(1), 37-39, 2023.

【その他】

K23/O/014 小松知子: 小児在宅歯科医療における多職種連携ネットワークの構築ーオンライン食育診療の導入ー. 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団2020年度(前期)一般公募「在宅医療研究への助成」完了報告書, 2024.3.15.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 小松知子: 障害者(児)の適切な口腔管理・歯科医療のために必要な今後の対応について～日本障害者歯科学会の立場から～. 第8回社会歯科学会総会, さいたま, 2023.6.25.
- 小松知子: 『Down症候群の歯科診療における診断と処置方法ガイドライン2022』の活用について Down症候群の患者・家族の視点から捉えた有用性. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 小松知子: 小児在宅歯科 次のステージを切り拓くために 小児在宅歯科を地域で広げるためのシステム構築への展望. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 池田正一: 日本障害者歯科学会の歩みーどのようにして始まったのかー. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.

〔一般発表・国内学会〕

- 近藤達郎, 三嶋博之, 北原鉄朗, 尾上洋介, 小林健史, 小松知子, 李昌一: 在宅リハビリテーション支援システム「パタカラプラス」の確立における検討. 第126回日本小児科学会学術集会, 東京, 2023.4.14-16.
- 岩口真路, 石田瞭, 小松知子, 横山史織, 横山滉介, 青木涼平, 宋文群, 戸田真司, 平山暁, 小澤俊彦, 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)法を用いたオキシトシンの酸化ストレスへの基礎的検討. 第76回日本酸化ストレス学会, 神戸, 2023.5.24-25.
- 小松知子, 野口毅, 李昌一: Down症候群患者の唾液プロテオーム解析による歯周病メカニズムの検討. 第2回ダウン症基礎研究会熊本大会, 熊本, 2023.7.22-23.
- 野口毅, 萩原大, 横山滉介, 松澤直子, 鎌田有一朗, 赤坂徹, 小松知子: 当科におけるオンラインを活用した摂食嚥下リハビリテーションの取り組み. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2023.9.2-3.

- 小松知子, 横山滉介, 横山史織, 青木涼平, 野口毅, 李昌一: 超高齢社会のオーラルケアに効果的な洗口剤の開発のための基礎的検討—電子スピン共鳴(ESR)法を用いた抗酸化素材の唾液中における抗酸化能評価—. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 小松知子, 久保田智彦, 朝比奈義明, 天野郁子, 井東竜彦, 江面陽子, 勝連義之, 菊池和子, 門田綾, 河瀬総一郎, 今渡隆成, 西連寺央康, 高野知子, 高満幸宜, 立浪康晴, 中神正博, 平塚正雄, 緒方克也: 地域医療委員会報告 口腔保健センターにおける障害児・者歯科診療に関する実態調査. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 高野知子, 鈴木杏奈, 新倉啓太, 松木綱大, 野口萌, グリーナンせつゑ, 宮崎敬子, 佐藤美緒, 小松知子, 池田正一: 当科における新規来院患者の実態調査—患者の初診時受診態度と治療終了後の転帰先を中心に—. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 杉山郁子, 高瀬幸子, 高野知子, 山田千恵, 望月美穂, 植松里奈, 麻生綾子, 杉田武士, 小松知子, 池田正一: 当科での歯科衛生士による麻酔予約管理システムの取り組み. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 千原晃, 長田豊, 鎌田有一郎, 氏家博, 渡辺徹, 百衣啓至, 勝畑尚幸, 児玉真理, 宮城敦, 小松知子: 口腔保健センター障害者歯科診療所開設後5年間の実態調査. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 赤坂徹, 小松知子, 買原一郎, 買原玲子, 西山和彦, 岡部愛子, 三国文: 口腔用保湿剤の保湿に対する有用性の実験的検討. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 横山滉介, 赤坂徹, 宮本晴美, 福富もか, 松澤直子, 川邊裕美, 出井鮎美, 小松知子: 頻回の口腔衛生指導によって不適応行動の改善が得られた統合失調症患者の一症例. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 野口毅, 萩原大, 鎌田有一郎, 渡辺匡, 高満幸宜, 宋文群, 戸田真司, 李昌一, 小松知子: 若年Down症候群患者の唾液プロテオミクスによる歯周病発症メカニズムの検討. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 小林文隆, 花岡新八, 下重八重子, 西村正美, 金子雅一, 林明彦, 土生健史, 大久保和久, 大崎住江, 大槻祐子, 岩崎楨, 野本麻里子, 久保寺友子, 池田正一: 地域障害者歯科診療所における摂食嚥下指導患者の実態について—第2報 食形態からの考察—. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 杉山郁子, 高瀬幸子, 高野知子, 山田千恵, 望月美穂, 植松里奈, 麻生綾子, 杉田武士, 小松知子, 池田正一: 当科での歯科衛生士による麻酔予約管理システムの取り組み. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 花岡新八, 岩崎楨, 大崎住江, 大槻祐子, 大久保和久, 林明彦, 下重八重子, 西村正美, 小林文隆, 西原英志, 酒井秀夫, 久保寺友子, 福田謙一, 池田正一: オープンシステムによる障害者全身麻酔下歯科治療処置の予後に関する後方視調査第3報. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 三澤寛晃, 渡辺伸也, 伊藤香織, 藤倉国尚, 蓮沼和也, 吉江健, 蓮池祥江, 村田紗希, 三浦雅明,

三輪全三, 池田正一: 舌接触補助床の併用が局所進行性舌癌根治術後の口腔機能障害に有効であった一例. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.

- 有輪理彦, 西山和彦, 阿部英子, 松本好史, 宮城敦: 薬物行動療法を用いた歯科治療に関する2次医療担当医の意識調査(第二報). 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 荻野友美恵, 宮城敦: 障害者歯科診療所における移乗介助—歯科衛生士の意識調査—. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 角田晃, 松下幸生, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 第7回臨床自律神経機能Forum, 川崎, 2023.11.18.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 松下幸生, 角田晃, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 森本佳成, 林恵美, 田中洋平, 美久月瑠宇, 西崎仁美, 小松知子: 気管挿管および換気困難を呈した未診断の声門下狭窄症および肺低形成症を合併したシェーグレン・ラルソン症候群患者の麻酔経験. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 鈴木信治, 池田正一, 池野良, 柿沼章子, 泉福英信, 中川裕見美子, 中沢よう子, 吉村幸浩: JICA草の根支援事業としての神奈川県歯科医師会のホーチミン市におけるHIV/AIDS患者の歯科診療体制構築事業について(第3報). 第37回日本エイズ学会学術集会・総会, ハイブリッド開催(京都+ライブ配信+事後オンデマンド配信), 2023.12.3-5.
- 高野知子, 鈴木杏奈, 新倉啓太, 松木綱大, 野口朋, 高瀬幸子, 杉山郁子, 山田千恵, 望月美穂, 植松里奈, 小池佑月, 宮城敦, 小松知子, 池田正一: 障がい者歯科における新規来院患者の実態調査. 令和5年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2024.2.18.
- 野口毅, 横山滉介, 鎌田有一朗, 赤坂徹, 宮本晴美, 西山和彦, 川邊裕美, 小松知子, 李昌一, 井野智: オンラインを用いた施設入所者に対する摂食嚥下リハビリテーションの効果. 令和5年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2024.2.18.
- 横山滉介, 赤坂 徹, 宮本晴美, 福富もか, 小松知子: 歯科衛生士による口腔衛生指導によって不適応行動の改善が得られた統合失調症患者の一症例. 令和5年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2024.2.18.
- 野田和孝, 渡辺賢礼, 久保田一見, 山畑智也, 船津敬弘, 池田正一, 弘中祥司: 日本におけるDown症候群の歯の萌出状況の調査—歯科疾患実態調査との比較. 令和5年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2024.2.18.
- 有輪理彦, 西山和彦, 阿部英子, 松本好史, 宮城敦: 薬物行動療法を用いた歯科治療に関する2次医療担当医の意識調査. 令和5年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2024.2.18.

[講演会・セミナー等]

- 小松知子: ライフステージにおける口腔ケア. 第5回ダウン症候群口腔ケア・フォーラム in 神奈川, オンライン, 2023.7.2. / 成人期の口腔の健康を守るために. 公益財団法人日本ダウン症協会全国相談員研修会, オンライン開催, 2023.7.23. / “食べる”をはぐくむ〜からだに合わせた食べ方支援〜. 令和5年度第3回ダウン症等の児の親子の会, 鎌倉保健福祉事務所,

鎌倉, 2023.10.18. / 第13回東北障害者歯科臨床研究会ならびに日本障害者歯科学会認定医・認定歯科衛生士研修会. 東北臨床研究会, オンライン開催, 2023.10.21-29. / 地域歯科診療所における障害児者への歯科治療の実践—特別な配慮と合理的配慮—. 障がい児者歯科保健支援体制強化事業 障がい児者歯科支援講習会, 青森県歯科医師会, Web開催(オンデマンド配信), 2023.11. / Down症候群のオーラルフレイル研究と臨床 何をどう食べるかを科学する—障害者・高齢者のフレイル予防研究の最前線—. 科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会第27回講演会, 東京, 2023.12.7. / 知的障害があるからこそ早めにつなごうたい歯科. 全知P連理解啓発事業, 全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会, オンライン開催, 2023.12.20. / 令和5年度健康寿命延伸のための口腔保健人材育成事業相談会. 神奈川県歯科医師会, 藤沢, 2024.1.12, 1.31. / 地域に貢献する障害者歯科診療の実践と展望. 令和5年度神奈川県地域医療研修会, 神奈川県歯科医師会, 横浜, 2024.2.18. / 令和5年度健康寿命延伸のための口腔保健人材育成事業相談会. 神奈川県歯科医師会, 横須賀, 2024.2.19, 2.26. / 令和5年度健康寿命延伸のための口腔保健人材育成事業相談会. 神奈川県歯科医師会, 厚木, 2024.2.29.

- 高野知子：健康講座「お口の健康法」. 神奈川県立精神医療センター, 横浜, 2024.2.20.
- 池田正一：ダウン症の歯科医療-1 総論. 中野区スマイル歯科診療所研修会, 東京, 2024.5.7. / ダウン症の歯科医療-2 口腔症状と歯科治療における工夫. 中野区スマイル歯科診療所研修会, 東京, 2024.6.4. / 血友病と口腔ケア. 神奈川ヘモフィリア友の会, 横浜, 2024.6.18. / 我が歯科医師人生に悔いはなし. 東京歯科大学神奈川支部同窓会, 横浜, 2024.7.9. / 障害者歯科総論-1. 中野区スマイル歯科診療所研修会, 東京, 2023.8.6. / 障害者歯科総論-2. 中野区スマイル歯科診療所研修会, 東京, 2023.10.1. / 障害者が身近なところで受けられる歯科医療を目指して. 令和5年度横浜市中心身障害児者歯科診療事業継続研修, 横浜, 2023.10.5. / 歯科臨床における院内感染予防—スタンダードプリコーションから歯科治療内容の向上を目指して—. 歯科医療従事者に対する感染対策講習会, 横浜, 2023.10.8. / 日本障害者歯科学会の歴史—心身障害児者歯科医療研究会から今日までの歩み—. 中野区スマイル歯科診療所研修会, 東京, 2023.12.10. / 先天異常の成因・特性 22q11.2欠失症候群の歯科診療時に配慮すべき事項. 中野区スマイル歯科診療所研修会, 東京, 2024.1.14. / 歯科診療における院内感染予防・スタンダードプリコーションから歯科医療の向上を目指して. 神奈川県歯科医師会 歯科医療の質向上・安全セミナー, 横浜, 2024.2.4. / 障害者歯科医療総論. 令和5～6年度神奈川県障害者歯科医療担当者研修会, 横浜, 2024.2.8. / 先天異常の成因・特性. 令和5年度横浜市歯科医師会障害児者歯科診療事業継続研修, 横浜, 2024.3.7. / 先天異常の成因・特性-2 OFCD症候群 Angelman症候群とPrader-Willi症候群の歯科治療時における配慮. 中野区スマイル歯科診療所研修会, 東京, 2024.3.10.
- 松澤直子：摂食嚥下機能の基礎知識～食べる機能と安全な食事支援～. 社会福祉法人育桜福祉会いぬくら職員研修会, 川崎, 2023.5.25. / 「摂食嚥下研修」～美味しい食事とお口の健康～. 社会福祉法人ル・プリくるみの森職員研修会, 横浜, 2023.6.6. / 子どもの食べる機能の発達と食事の配慮. 横浜市南部地域療育センター保護者勉強会, 横浜, 2023.6.9. / 子どもの口と歯の健康. 横浜市南部地域療育センター職員研修会, 横浜, 2023.6.9. / 歯と口の健康～口腔ケアの大切さ～. 横須賀市立養護学校 職員研修会, 横須賀, 2023.6.30. / 美味しく安全な食事支援～. 社会福祉法人ル・プリくるみ学園・ホルツハウゼ職員研修会, 横浜, 2023.7.3. / 「子どもたちが楽しくおいしく食事を続けるための摂食嚥下指導」. 横須賀市立養護学校夏季摂食実技公開研修会, 横須賀, 2023.7.27. / 子どもの食べる機能の発達と摂食嚥下指導. 令和5年度神奈川県給食指導等研修協議会講演会, 大和, 2023.7.28. / 「食べる機能の発達と摂食嚥下指導」～日々の気付きと発達の支援～. 神奈川県立三ツ境支援学校夏の公開研修会, 横浜, 2023.8.1. / 摂食指導としての給食で大切にしていきたいこと. 横須賀市療育相談センター職員研修会, 横須賀, 2023.8.4. / 食べる機能の発達と摂食嚥下指導. 横浜市立若葉台特別支援学校職員研修会, 横浜, 2023.8.23. / 摂食嚥下の基礎知識と安全で美味しい食事. NPO法人みどり福祉ホーム職員研修会, 横浜, 2023.9.5. / 摂食嚥下機能の基

礎知識～美味しく安全な食事支援～. 社会福祉法人育桜福祉会こぶし園, 川崎, 2023.9.15.
／食べる機能の発達と摂食指導. 神奈川県立金沢支援学校摂食指導実技研修, 横浜,
2023.11.6. / 障害児者の食べる機能の障害とハビリテーション. 神奈川県栄養士会研修会,
横浜, 2023.11.19. / 障がい児者の口と歯の健康. 社会福祉法人ル・プリくるみ学園・ホル
ツハウゼ職員研修会, 横浜, 2023.11.27. / 子どもの摂食嚥下とハビリテーション. 神奈川県
立座間支援学校職員研修会, 座間, 2024.1.23. / 食べる機能の発達と食事指導. 横浜市立特
別支援学校特別支援学校食育研究部研修会, 横浜, 2024.2.21.

- 宮城敦：障害者歯科診療にあたって1. 平塚歯科医師会障害者歯科研修, 平塚, 2023.5.20. /
障害者歯科診療にあたって2. 平塚歯科医師会障害者歯科研修, 平塚, 2023.8.19. / その食べ
させ方で大丈夫ですか?～高齢者の摂食嚥下機能を学びましょう～. 平塚歯科医師会主催介
護予防サービス口腔機能向上セミナー, 平塚, 2023.12.21. / ブクブクうがいの獲得法につ
いて. 平塚歯科医師会障害者歯科研修, 平塚, 2024.3.16.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 小松知子(代表), 李昌一(分担)：歯周病の活性酸素種による酸化ストレスの役割解明と抗酸化
療法への基礎的検討. 基盤研究(C), 23K09426, 2023～2025年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 近藤達郎(代表), 三嶋博之(分担), 小松知子(分担), 李昌一(分担), 太田亨(分担), 小林健史(分担),
北原鉄朗(分担)：Down症候群の構音機能に関連した口腔機能の研究. 一般社団法人日本障害
者歯科学会宿題委託研究, 22001, 2022.1.1～2023.12.31.
- 野口毅：Down症候群培養歯肉線維芽細胞の活性酸素種と唾液抗酸化ペプチドとのレドック
スバランスにおける検討. 神奈川歯科大学大学院プロジェクト研究, No.2, 2023年度.

〔座談会〕

- 池田正一, 向井美恵, 森崎市治郎, 緒方克也：今更ながら, 障害者歯科とは何「元理事長経験
者4人が語るあんなこと, こんなこと」—それぞれが目指した障害者歯科の姿—. 第40回日本
障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.11.

〔報道・記事〕

- 小松知子：教室・医院紹介 神奈川歯科大学附属病院障がい者歯科. 歯科薬物療法, 42(2),
90, 2023.
- 小松知子：日本障害者歯科学会学術用語解説集(1) Down症候群. 障害者歯科, 44(2), 193-
194, 2023.
- 小松知子：編集後記. 障害者歯科, 44(3), 329, 2023.
- 小松知子：〈委員会企画〉2. 地域医療委員会. 日本障害者歯科学会ニュース・レター, 第
24-1号, x-xi, 2024.2.29.

〔その他〕

- 小松知子：ツナガリウォーク2023への参加, 2023.4.23.(主催：一般社団法人 ヨコハマプロ
ジェクト/共催：神奈川県).
- 小松知子：第2回神奈川小児在宅歯科医療フォーラム～神奈川県における小児在宅医療の連
携協働を目指して～. 神奈川県歯科医師会館・Web併用, 2023.8.6.(共催：公益社団法人神
奈川歯科医師会/社団法人横浜市歯科医師会).

- 小松知子：第5回ダウン症候群口腔ケア・フォーラム in 神奈川. オンライン, 2023.7.2.(共催：一般社団法人ヨコハマプロジェクト/一般社団法人IKKA, 後援：公益財団法人日本ダウン症協会/公益財団法人日本ダウン症学会).

総合歯科学講座

▶ 高度先進成人歯科学分野

代表者：(代行)大石ゆかり

1 | 教員・大学院生・他

講師：大石ゆかり, 平嶺浩子
助教：田口長, 市田佳子
医員：岸祐矢, 山口大樹, 岩田理沙, 遠藤諒介, 林杏子
特任教授：廣川晃司
臨床教授：三橋晃, 原めぐみ
非常勤歯科医師：上田剛史, 内藤広太郎
臨床専攻生：鈴木彩香, 平井佑弥, 大原ありさ, 馬場陽子

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯科医師臨床研修は、単独型研修で一年を通じて横浜クリニック成人歯科をベースとして行った。研修マニュアルを作成、配布し、これに則って臨床研修、講義、実習を伴う実技演習などを実施した。また、年度末には生涯研修への位置付けとして症例発表会を開催した。歯学部歯学科では、5年生の臨床実習教育を実施、3年生歯内療法学基礎実習、2年生微生物学・免疫学講義・実習に教育のため参加した。短期大学部歯科衛生学科、日本体育大学医療専門学校口腔健康学科、新宿医療専門学校では臨床実習教育を実施した。大学院においては研究評価者として学生に対し年2回面談を行った。

研究：横浜クリニック内CBCT撮影患者の統計学的分析。

臨床：横浜クリニック成人歯科・総合歯科医療管理部門では一般的な歯科疾患に対する総合診断から治療、メンテナンスまで、一口腔単位での治療をした。歯内療法部門では他医療機関よりの紹介患者、他部門よりの依頼患者に対し、マイクロスコープ下で診査、診断し歯内療法を行った。放射線科では、横浜クリニック内他科より依頼のレントゲン撮影を行った。訪問歯科診療を希望する患者に対して、担当歯科医師として歯科訪問診療を行った。

社会活動：捜真女学校中学部・高等学部歯科検診を実施した。

3 | 研究業績

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 市田佳子, 廣川晃司, 大原ありさ, 馬場陽子, 内藤広太郎, 三橋晃：水酸化カルシウム製剤が根尖孔より下顎管へ溢出した一症例. 日本顕微鏡歯科学会第19回学術大会・総会, ハイブリッ

ド開催(郡山+オンデマンド配信), 2023.4.21-23. *オンデマンド配信, 2023.5.6-31.

- 内藤広太郎, 三橋晃, 辻本恭久: 日本顕微鏡歯科学会認定指導医・認定医におけるマイクロスコープに関する調査-2022年アンケート調査結果-. 日本顕微鏡歯科学会第19回学術大会・総会, ハイブリッド開催(郡山+オンデマンド配信), 2023.4.21-23. *オンデマンド配信, 2023.5.6-31.
- 岸祐矢: 侵襲性歯頸部外部吸収歯に対してマイクロスコープ下で外科的に処置し歯髄の温存を試みた症例. 日本顕微鏡歯科学会2023年第20回シーズズ(ウインター)セミナー, ハイブリッド開催(東京+WEB), 2023.12.3.

〔講演会・セミナー等〕

- 三橋晃: 難症例のハードルを下げる“いまどき”のエンドシステム. モリタ, 広島, 2023.9.10. / マイクロスコープ100%活用術. モリタマイクロスコープハンズオンセミナー, 東京, 2023.9.24. / ニューノーマル・ウィズMICROで新時代を駆け抜ける. 第9回日本国際歯科大会, 横浜, 2023.9.30. / もっとエンドがうまくなる～底力を底上げるための秘訣. 品川歯科医師会学術講演会, 東京, 2023.10.18. / 難症例に立ち向かう! エンド治療のルーティーン 初診から根充までde気をつけていること The エンド祭り! 歯を残すためにエンドの基本からアドバンスまで. スタディグループISI, 水戸, 2023.12.17. / 根管治療のトラブル★バスターズ. デンタライズ, ZOOM WEBセミナー, 2024.2.22. / UP DATEエンド～最適なエンド治療を目指して～新機能を搭載したTri Auto ZX2+とJIZAIで難症例をクリア. モリタ, 東京, 2024.3.3. / モリタ マイクロスコープハンズオンセミナー マイクロスコープ100%活用術. モリタ, 東京, 2024.3.10. / MICROSCOPEとCBCTを駆使して救える天然歯. 公益社団法人日本口腔インプラント学会指定研修施設東京形成歯科研究会主催認定講習会, 東京, 2024.3.24.
- 原めぐみ: 根管充填の新しい潮流 基本から難症例まで The エンド祭り! 歯を残すためにエンドの基本からアドバンスまで. スタディグループISI, 水戸, 2023.12.17.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 平嶺浩子(代表), 浜田信城(分担), 渡辺清子(分担), 児玉利明(分担), 小牧基浩(分担), 山海直(分担): 歯周炎発症カニクイザルを用いた病原細菌の特定と細菌伝播経路の解明. 基盤研究(C), 19K10455, 2019～2023年度.

〔賞〕

- 市田佳子: 日本顕微鏡歯科学会第19回学術大会大会長賞. 日本顕微鏡歯科学会. 2023.4.23.

〔Web出演〕

- 三橋晃: SCOPE(第25回) 【2周年記念】 三橋兄弟が答えますスペシャル第2弾 後編. ドクターブック, WEB配信, 2023.5.18. / SCOPE(第26回)兄が言うのでプロエルゴを買ってみた. ドクターブック, WEB配信, 2023.6.15. / SCOPE(第27回)Fun more PROergo!～フットペダルやツール and more～. ドクターブック, WEB配信, 2023.7.13. / SCOPE(第28回)根管治療のMUST BUY!～アキラ弟編～. ドクターブック, WEB配信, 2023.8.24. / SCOPE(第29回)根管治療のMUST BUY!～純兄さん編～. ドクターブック, WEB配信, 2023.9.21. / SCOPE(第30回)これアカンやつや～(石灰化根管・根管閉塞)についての対応. ドクターブック, WEB配信, 2023.10.19. / SCOPE(第31回)これアカンやつや～(石灰化根管・根管閉塞)についての対応 続編. ドクターブック, WEB配信, 2023.11.16. / SCOPE(第32回)これやらなきゃ始まらない!メタルコア除去のトリセツ. ドクターブック, WEB配信, 2023.12.14. / マイクロエンドのすべらない話. ホワイトクロス, WEB配信, 2024.1.12. / SCOPE(第33回)新春対談 ゲスト: マイクロエンドの日本のパイオニア 中川寛一先生. ドク

ターブック, WEB配信, 2024.1.18. / SCOPE(第34回)それじゃ次は!レジンコア除去のトリセツ. ドクターブック, WEB配信, 2024.2.15 / SCOPE(第35回)テフロンテープはこう使う!. ドクターブック, WEB配信, 2024.3.21.

歯科診療支援学講座

▶ 病理診断学分野

代表者：窪田展久

1 | 教員・大学院生・他

准教授・診療科教授：窪田展久

2 | 2023年度の活動内容

教育：歯学部においては、2年生：L2409歯科病理学, L2410唾液腺学, 3年生：L3401歯科病理学, L3402唾液腺学, 4年生：L4402口腔外科学, K4102総合歯科学の講義ないし実習を担当した。5年生(K5101臨床実習)においては病理診断科としての実習を担当した。また、短期大学部看護学科において病理学の講義を行った。

研究：環境病理学分野と連携して種々の研究を行っている。また口腔外科学分野と症例報告を行った。

臨床：附属病院病理診断科として病理診断業務およびマネジメントを行った。

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/001 Tamiya J, Sakaguchi W, Nakagawa K, Yamamoto T, Saruta J, Kubota N, Kawata A, Hasegawa I, Hamada N, Tsukinoki K : Detection of SARS-CoV-2 and Its Related Factors on the Mucosal Epithelium of the Tongue. *Acta Histochemica et Cytochemica*, 56(2), 29-37, 2023.

K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K : Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. *Medicina*, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789

【症例報告】

K23/CR/001 Itai S, Yoshimura Sawai N, Kozai Y, Ikoma T, Kosai A, Yakeishi M, Kubota N, Abe T : Asymptomatic intraosseous leiomyoma in mandible: A case report and review of literature. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 35, 539-544, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 石田孝文, 沢井奈津子, 窪田展久, 岩淵博史, 安部貴大: 義歯床用裏装材の上顎洞内長期迷入により上顎洞炎を発症した1例. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 清水智子, 東雅啓, 窪田展久, 河田亮, 槻木恵一: 米粉摂取がラット腸内細菌叢と唾液中IgAレベルに与える影響. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.
- 細見祐太, 窪田展久, 槻木恵一: 神経線維腫症I型患者における口蓋腫瘍の1例. 第113回日本病理学会総会, 名古屋, 2024.3.28-30.

〔講演会・セミナー等〕

- 窪田展久: 病理診断依頼の実際～依頼先に口腔病理医がいるとは限らない～. 神奈川歯科大学附属病院病診連携オープンセミナー, 横須賀, 2024.3.14.

▶ クリニカル・バイオマテリアル学分野

代表者: 二瓶智太郎

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 二瓶智太郎
准 教 授: 大橋桂
助 教: 片山裕太
診 療 科 助 手: 中村圭佑
大 学 院 生: 黒田哲郎(4年)
医 員: 今澤宏太
研 究 生: 大前太美雄
特 任 講 師: 青木(三宅)香, 押川亮宏, 下山和夫, 関口卓郎, 原健一郎, 緑野智康, 亀山祐佳, 和田悠希, 江崎良真, 生駒祥恵
特任講師(無給): 田中のぶ子, 尾本直大, 山口真一郎, 森梨江, 芹田枝里, 山口紘章, 青木英太郎, 中島信哉, 澤直之

2 | 2023年度の活動内容

教育: 学部生に対する2023年度の講義・実習担当は, 2年生の生体材料講義・実習を中心に, 1年生の歯科医療入門, 4年生の総合歯科学I, 5年生の臨床実習I, 6年生の臨床実習IIと概ね全学年にわたり教育・指導を行った。また, 大学院歯学研究科では, 研究テーマに沿ったトピックスを中心に大学院生の指導を行い, 大学院共通科目講義を担当した。

研究: 材料学における臨床と基礎の懸け橋となるべく研究を行った。研究テーマである「界面の制御」をトピックスに, ①歯科疾患(う蝕および歯周疾患)の予防を目的として, ブラーク付着を抑制する表面改質剤の開発とその応用, ②接着耐久性の向上を目的として, 耐水性シラン

カップリング剤の開発とその評価, セラミックス表面処理の違いによる接着耐久性の評価, 耐水性に優れるコンポジットレジンの開発とその評価, ③早期の骨再生を目的として, バイオカップリング剤の開発とその評価, ④レーザーを用いたセラミック修復法を開発を目的として, 歯面改質法の検索, 低融点ガラスの開発とその評価, ⑤新規のセラミック材料およびハイブリッドセラミック材料の物性に関する研究, ⑥各種歯科材料の性能や劣化に関する研究などを進めた。刻々と進化する研究技術に注目し, 国内外の大学や研究機関と連携し研究を行ってきた。

臨床: 患者様や病院さらに臨床教育に貢献するため, CAD/CAMを使用した歯科治療をはじめ, 材料を追究し, 附属病院デジタル歯科診療科においてクオリティーの高い診療を行ってきた。特に2023年度から保険収載されたCAD/CAM用PEEKブロックは, 当分野が有する研究データから附属病院での臨床応用に還元できるよう積極的に周知に努めた。また, 臨床で使用する材料の長期予後のデータを蓄積し, 信頼性の高い歯科材料の推奨とともに, 研究においても材料開発を行ってきた。

社会活動: 国民への啓蒙のため情報発信を積極的に行った。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/035 二瓶智太郎: 基礎編. CAD/CAM用レジンブロックの評価. pp.28-37. 坪田有史編著: CAD/CAM冠・CAD/CAMインレー 失敗しない保険治療のために押さえておきたいポイント. ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2023.

【原著論文】

K23/OP/053 角井早紀, 片山裕太, 大橋桂, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対するレジンセメントの接着性に関する研究—試作プライマーにおける酸性モノマーの適正濃度について—. 接着歯学, 41(4), 81-91, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 二瓶智太郎: シランカップリング剤の改質効果について (シンポジウム2「Back to the basic! Part 2 各種材料に対するベストな接着とは?」). 第42回日本接着歯学会学術大会, 東京, 2023.10.1.

〔一般発表・国内学会〕

- 二瓶智太郎, 片山裕太, 黒田哲郎, 中村圭佑, 和田悠希, 緑野智康, 青木香, 押川亮宏, 下山和夫, 大橋桂, 半田慶介: 超高透光性ジルコニアに関する研究. 第81回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2023.4.15-16.
- 片山裕太, 大橋桂, 永田俊介, 谷本安浩, 二瓶智太郎: CAD/CAM用PEEKブロックの特性(その2)—摩耗性と吸水性について—. 第81回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2023.4.15-16.
- 和田悠希, 片山裕太, 大橋桂, 平山聡司, 二瓶智太郎: コーティング処理後のレジンセメントの象牙質接着性(第4報)—仮封後のCAD/CAMレジンブロックとの接着強さに関して—. 第81回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2023.4.15-16.
- 黒田哲郎, 片山裕太, 中村圭佑, 緑野智康, 大橋桂, 二瓶智太郎: シランカップリング層の接着耐水性に関する研究(その1)—長鎖アルキル基を有するシランカップリング剤の効果—. 第

81回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2023.4.15-16.

- 角井早紀, 熊坂知就, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対する接着耐久性に関する研究(3報)ー酸性プライマーの耐水効果についてー. 日本補綴歯科学会第132回学術大会ー設立90周年記念大会ー, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 二瓶智太郎, 片山裕太, 緑野智康, 三宅香, 大橋桂, 半田慶介: シランカップリング層の接着耐水性に関する研究ー長鎖アルキル基を有するシランカップリング剤の効果ー. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 和田悠希, 片山裕太, 大橋桂, 平山聡司, 二瓶智太郎: 仮封後のコーティング処理面に対するレジンセメントの接着性. 第42回日本接着歯学会学術大会, 東京, 2023.9.30-10.1.
- 高橋宏治, 小泉創, 大橋桂, 二瓶智太郎, 山口徹太郎: メタル3Dプリンターにより積層造形されたCo-Cr合金の接着強度に関する研究. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 片山裕太, 大橋桂, 今澤宏太, 中村圭佑, 二瓶智太郎: CAD/CAM用PEEK材の特性(その2)ー機械的性質についてー. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 白木麗, 木本克彦, 片山裕太, 和田悠希, 大橋桂, 二瓶智太郎: 歯科用コーティング材塗布後の処理による接着性の変化. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 小池亮太, 佐藤武則, 大橋桂, 二瓶智太郎, 半田慶介, 山口徹太郎: 改質骨補填材による骨回復後の矯正学的な歯の移動について. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 黒田哲郎, 片山裕太, 大橋桂, 二瓶智太郎: 長鎖アルキル基を導入したシランカップリング剤の接着耐久性. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 角井早紀, 片山裕太, 大橋桂, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対するレジンセメントの接着性に関する研究ー試作プライマーにおける酸性モノマーの適正濃度についてー. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 青池未来, 井上颯麻, 折谷理史, 小池紗笑, 畠井千雛, 若林周祐, 向井義晴, 小浦裕菜, 二瓶智太郎: 大人むし歯の再石灰化実験ーおばあちゃんはグミもなめるよねー. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 大橋桂, 佐藤武則: バイオカップリング剤の開発と骨再生促進材の創製. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.

[講演会・セミナー等]

- 二瓶智太郎: とりまく歯科材料のホントと謎. デンタルフォーラムHERZ会, 八戸, 2023.6.30. / CAD/CAMシステムが発展しても, 歯冠修復治療はやはり接着が肝心!. 神奈川県川崎市川崎区歯科医師会学術講演, 川崎, 2023.9.15. / 歯科用CAD/CAMシステムで製作された歯冠修復装置と接着システムのマッチング. 神奈川歯科大学同窓会静岡県支部学術講演, 静岡, 2023.10.28. / 最近の歯冠修復材料と接着システムのマッチングを探る!. 第76回栃木県歯科医学会特別講演, 宇都宮, 2023.11.3. / CAD/CAM時代と接着の今後探る!. 神総会, 横須賀, 2024.3.2.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 二瓶智太郎(代表), 大橋桂(分担): 耐水性を有するシランカップリング剤の創製と複合材料への応用. 基盤研究(C), 22K10044, 2022~2024年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 二瓶智太郎: 前歯CAD/CAM冠用ハイブリッドレジンブロックの特性評価. 株式会社松風, 2023年度.
- 二瓶智太郎: グラスファイバー強化型レジンブロックの特性. YAMAKIN株式会社, 2023年度.
- 二瓶智太郎: 象牙質レジンコーティングの効果. サンメディカル株式会社, 2023年度.
- 二瓶智太郎: アローマインジェクションの精度について. 株式会社ジーシー, 2023年度.
- 片山裕太(代表), 二瓶智太郎(分担), 大橋桂(分担): マテリアルサイクルを応用したポリカーボネート樹脂の創生. 神奈川歯科大学大学院プロジェクト研究, No.19, 2023年度.

〔賞〕

- 片山裕太: 第58回神奈川歯科大学学会学術大会優秀ポスター賞: CAD/CAM用PEEK材の特性(その2)-機械的性質について-. 神奈川歯科大学学会. 2022.11.25.

〔報道・記事〕

- 二瓶智太郎: 特別企画 実現したい!してほしい!歯科の未来技術~2040年への歯科イノベーションロードマップ~. nico, 6月号, 35-44, 2023.
- 二瓶智太郎: 巻頭言 やはり歯科治療は接着?! 基本を忘れずに!. 接着歯学, 41(2), 2023.
- 二瓶智太郎: 編集後記. 日本デジタル歯科学会誌, 13(3), 110, 2024.
- 二瓶智太郎: Walk This Way vol.9「分からなかったことが分かる。やっぱり研究は楽しい」. KDU Research Support Center News Letter, VOL.28, 2024年3月号.

〔学会記〕

- 片山裕太: 第42回日本接着歯学会学術大会と学会設立40周年記念式典の開催. 日本歯科評論, 83(12), 148, 2023.

▶ 歯科技工学分野

代表者: (代行)清宮一秀

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手: 清宮一秀, 澁谷勝男, 山谷勝彦, 中静利文, 古川辰之, 飯塚直人,
井上絵理香, 志村昌俊, 尾辻剛
歯科技工士: 佐藤笑華, 佐藤創

2 | 2023年度の活動内容

教育：3年生を対象に「齶蝕歯髄疾患Ⅲ(Cr)」及び「咬合回復Ⅲ(部分床義歯)」の実習を担当した。また、4年生を対象に「咬合回復Ⅲ(部分床義歯)」および「総合歯科学Ⅰ(全部床義歯・部分床義歯)」の実習も指導した。これらの実習では、3Dプリンターを用いて製作したデジタルフレームの教材を活用し、手配から準備までを行った。5年生の病院技工科臨床実習では、デジタル歯科技工の一連の流れを中心に、病院技工科実習を展開した。

臨床：附属病院からの補綴装置製作における依頼は、年間で歯科技工指示書12,098枚(前年度比1,496枚増)、総依頼ケース数34,335ケース(前年度比4,075ケース増)を受け、すべての受注及び入出庫の管理を行った。内部製作においては、インプラント上部構造、ジルコニア、金属床、矯正装置など、自費診療における複雑な補綴装置の製作を中心に、8,822ケース(前年度比2,190ケース増)を手掛けた。結果、総依頼ケースに対する内部製作の割合が25.69%(前年度比3.78%増)となった。

3 | 研究業績

【原著論文】

K23/OP/067 Wakamori K, Nagata K, Nakashizu T, Tsuruoka H, Atsumi M, Kawana H : Comparative Verification of the Accuracy of Implant Models Made of PLA, Resin, and Silicone. Materials, 16, 3307, 2023. doi: 10.3390/ma16093307

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

- Park H, Simura M, Koizumi S, Seimiya K, Yamaguchi T : Fabrication of orthodontic devices by metal 3D printer and effectiveness in clinical application. 56th Annual Scientific Congress of the Korean Association of Orthodontists (KAO 2023), Jeju, Korea, 2023.10.25-27.

〔一般発表・国内学会〕

- 本間優太, 清宮一秀, 中静利文, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦 : 歯科用CADにおけるクラウン内面データの作成方法の違いがCAD/CAM冠の適合精度に与える影響. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 志村昌俊, 清宮一秀, 中静利文, 小泉創, 山口徹太郎 : 歯科用3Dプリンターを用いた歯科矯正装置製作. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 横須賀, 2023.4.22-23.
- 朴熙泰, 志村昌俊, 小泉創, 清宮一秀, 山口徹太郎 : 金属積層造形による上顎前方牽引装置の作製および下顎前突症を治療した1症例(Fabrication of maxillary protractive appliance by 3D metal printer and treatment of mandibular protrusion). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 朴熙泰, 志村昌俊, 小泉創, 清宮一秀, 山口徹太郎 : 金属積層造形による上顎大臼歯遠心移動装置の作製をおよび上顎大臼歯の遠心移動を行った2症例(Two cases of fabrication of appliances by metal 3D printing and distalize movement of a maxillary molar). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 畠中玲奈, 志村昌俊, 朴熙泰, 小泉創, 清宮一秀, 山口徹太郎 : 3Dプリンターを用いた矯正装

置にて治療を行った前歯部開咬症例(A case of anterior open bite treated with orthodontic device using 3D printer). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.

- 小泉創, 志村昌俊, 朴熙泰, 清宮一秀, 山口徹太郎: CAD/CAM矯正歯科装置による埋伏上顎中切歯の開窓牽引をおこなった1症例(A case of an impacted maxillary central incisor with fenestration-traction using CAD/CAM orthodontic appliance). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 小泉創, 志村昌俊, 朴熙泰, 清宮一秀, 山口徹太郎: CAD/CAMメタルリテーナーで保定をおこなった1症例(A case study where retention was achieved using a CAD/CAM metal retainer). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 小泉創, 志村昌俊, 朴熙泰, 清宮一秀, 山口徹太郎: レジン3Dプリンターを用いたプレートタイプリテーナー作製のワークフロー (Workflow for fabricating plate type retainers using a resin 3D printer). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 有輪政尊, 志村昌俊, 朴熙泰, 小泉創, 清宮一秀, 山口徹太郎: CAD/CAMリンガルアーチにより完全水平埋伏下顎右側第一小臼歯の開窓牽引を行った1例(A case of fenestration-traction for horizontally impacted mandibular right first premolar using CAD/CAM lingual arch). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 能見紘輔, 小泉創, 朴熙泰, 清宮一秀, 志村昌俊, 山口徹太郎: レジン3Dプリンターにより製造したプレートタイプリテーナーの適合精度について(Accuracy of Plate-Type Retainers Manufactured by 3D Printer). 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023.11.1-3.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 飯塚直人, 古川辰之, 中静利文, 山谷勝彦: AIを使用した歯冠補綴装置の設計と歯科技工士のこれからの在りかた. 日本歯科技工学会第45回学術大会, 福岡, 2023.11.3-4.
- 本間優太, 清宮一秀, 中静利文, 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: CADにおけるクラウン内面データの作成方法の違いがCAD/CAMクラウンの適合精度に与える影響. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 山谷勝彦, 星憲幸, 木本克彦: AIを使用した歯冠補綴装置の設計と歯科技工士のこれからの在りかた. 令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2024.1.7.
- 藺部悠司郎, 福山卓志, 清宮一秀, 中静利文, 富野ゆかり, 井上允, 清水統太, 久保敦史, 中丸亜美, 片岡優加, 富永順平, 村上詩織, 岩下英夫, 濱野奈穂, 井野智: SMG選択における「運動時かみしめ自覚調査」の有効性. 令和5年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2024.1.7.

〔講演会・セミナー等〕

- 志村昌俊, 小泉創: CAD/CAM矯正歯科技工と臨床応用における課題. 第82回日本矯正歯科学会学術大会ラウンド・テーブル・ディスカッション(RTD)モデレーター, 新潟, 2023.11.2.

【業務・活動報告】

〔賞〕

- 井上絵理香: デジタル歯科学会歯科技工作品コンペティション優秀賞. 日本デジタル歯科学会第14回学術大会, 2023.4.23.

- Park H, Simura M, Koizumi S, Seimiya K, Yamaguchi T : Excellent Posterboard Presentation Award : Fabrication of orthodontic devices by metal 3D printer and effectiveness in clinical application. Korean Association of Orthodontists. 2023.10.28.

〔その他〕

- 清宮一秀：「日本デジタル歯科学会 デジタル歯科技工技術認定士」取得。

▶ 歯科メンテナンス学分野

代表者：(代行)辻上博美

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手：辻上博美，茂木智子，宮本晴美，澤田しのぶ，渡邊真由美，茂木みく，佐伯彩，河内恵美，莊司琴，東美咲，喜多早紀，小和田雅子，大野菜摘，木村(菅原)美咲，中島滯，村田彩，太田彩香，鈴木美南子，横山滉介，津ヶ谷りさ，藤崎みのり

歯科衛生士：森崎裕美，赤木奈々，田中里実，阿部桜子，松永唯奈，田中華香，福富もか，長谷川昌美，齊藤尚子，高橋琴音，草苺明，坂本菜月

非常勤歯科衛生士：松田啓子，佐々木小百合，新倉悠里，小笠原美保，加藤真奈未

2 | 2023年度の活動内容

教育：神奈川歯科大学短期大学部および横浜歯科医療専門学校の歯科衛生学科の学生に対し，歯科医師・歯科衛生士指導の下，診療補助・保健指導・予防処置の臨床実習を行い評価した。また，歯学部学生の臨床実習や臨床研修歯科医の研修においては，実習・研修が滞りなく実施されるように協力を行った。歯科衛生学科・歯学部の一部授業を受け持った。

研究：歯科衛生学科学生の就職に対する意識調査。

臨床：医療安全・感染対策を常に意識し，各専門性に応じた診療補助を行い，ブラッシング指導・口腔筋機能療法等の歯科保健指導およびフッ素塗布等の予防処置など口腔管理も積極的に行った。

社会活動：神奈川県歯科衛生士会や自治体が行う地域保険の推進事業に積極的に参加した。

その他：各分野の学会や講習会に出席し，知識技術の向上に努めた。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/036 宮本晴美：Part 3.④. Down症候群 診療上の注意点やポイント. pp.67-68. 小笠原正 [ほか] 編著：あなたの歯科医院に障害のある患者さんが来院したら？ 歯科衛生士のための障害者歯科入門. 医歯薬出版，東京，2023.

【原著論文】

K23/OP/031 小松知子，横山滉介，宋文群，萩原大，野口毅，高満幸宜，渡辺匡，戸田真司，李昌一，井野智：障害者支援施設での摂食嚥下リハビリテーションのオンライン指導の検討. 障害者歯科，44，213-222，2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 澤田しのぶ：歯科衛生士が行う医薬品安全管理の現状と問題点 (歯科衛生士シンポジウム「歯科衛生士が行う医療安全管理、院内感染対策、医薬品安全管理、医療機器安全管理」). 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.

〔一般発表・国内学会〕

- 青山典生, 荘司琴, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 辻上博美, 両角俊哉, 井野智, 小牧基浩：ハブラシコンセイエ® の認定と病院職員の意識の向上. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 野口毅, 萩原大, 横山滉介, 松澤直子, 鎌田有一郎, 赤坂徹, 小松知子：当科におけるオンラインを活用した摂食嚥下リハビリテーションの取り組み. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2023.9.2-3.
- 荘司琴, 青山典生, 渡邊真由美, 藤崎みのり, 井野智, 辻上博美：ハブラシコンセイエ® の認定と歯科大学附属病院職員の口腔清掃用品に対する意識の向上. 日本歯科衛生学会第18回学術大会, ハイブリッド開催(静岡+オンデマンド配信), 2023.9.16-18. *オンデマンド配信, 2023.10.4-31.
- 小松知子, 横山滉介, 横山史織, 青木涼平, 野口毅, 李昌一：超高齢社会のオーラルケアに効果的な洗口剤の開発のための基礎的検討－電子スピン共鳴(ESR)法を用いた抗酸化素材の唾液中における抗酸化能評価－. 4学会合同学術大会(第43回日本歯科薬物療法学会・第36回日本口腔診断学会・第33回日本口腔内科学会・第32回日本口腔感染症学会), 宇都宮, 2023.9.22-24.
- 武村幸彦, 月本翔太, 水谷文子, 岩本繁, 渡邊真由美, 森本佳成, 城戸幹太, 向井義晴, 讃岐拓郎：Visual Analog Scaieを用いた歯科治療への意識評価. 第51回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 長崎, 2023.10.6-8.
- 茂木智子, 松永唯奈, 中村朋美, 木本茂成：MFTと並行して歯科恐怖症に対する行動変容を実施した一例. 第21回日本口腔筋機能療法(MFT)学会学術大会, 東京, 2023.10.18-19.
- 横山滉介, 赤坂徹, 宮本晴美, 福富もか, 松澤直子, 川邊裕美, 出井鮎美, 小松知子：頻回の口腔衛生指導によって不適応行動の改善が得られた統合失調症患者の一症例. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 渡邊真由美, 武村幸彦, 荘司琴, 麻生綾子, 松本文恵, 花岡孝治, 向井義晴：歯科治療に対する歯科衛生士の意識調査－臨床経験年数による比較と患者認識との相違－. 日本歯科保存学会2023年度秋季学術大会(第159回), 浜松, 2023.11.11-12.
- 武村幸彦, 渡邊真由美, 花岡孝治, 辻上博美, 松木千紗, 森本佳成, 讃岐拓郎, 石川信之, 井野智, 向井義晴：歯科治療のストレス評価－歯科衛生士の臨床経験年数による比較と患者認識との相違－. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 横山滉介, 赤坂徹, 宮本晴美, 福富もか, 小松知子：歯科衛生士による口腔衛生指導によって不適応行動の改善が得られた統合失調症患者の一症例. 令和5年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2024.2.18.

- 野口毅, 横山滉介, 鎌田有一郎, 赤坂徹, 宮本晴美, 西山和彦, 川邊裕美, 小松知子, 李昌一, 井野智: オンラインを用いた施設入所者に対する摂食嚥下リハビリテーションの効果. 令和5年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2024.2.18.

〔講演会・セミナー等〕

- 辻上博美: 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立岩戸支援学校, 横須賀, 2023.7.7. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立鎌倉支援学校, 鎌倉, 2023.7.10. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立武山支援学校, 横須賀, 2023.9.14, 10.6, 10.19. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立金沢支援学校, 横浜, 2023.12.5, 2024.1.26.
- 横山滉介: しいの実学園歯科検診及びブラッシング指導. 社会福祉法人光友会藤沢市太陽の家, 藤沢, 2023.6.16, 7.11, 8.7, 8.24, 9.27, 12.6, 2024.1.11, 2.6, 2.28. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立金沢支援学校, 横浜, 2023.6.27, 7.3, 2024.1.26. / ダウン症と歯並び. 第5回ダウン症口腔ケア・フォーラムin神奈川, Zoom配信, 2023.7.2. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立ひなたやま支援学校, 横浜, 2023.7.5. / 藤の実学園摂食指導. 社会福祉法人光友会藤沢市太陽の家, 藤沢, 2023.8.24. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立三ツ境支援学校, 横浜, 2023.9.13. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立武山支援学校, 横須賀, 2023.10.6, 10.19. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立金沢支援学校氷取沢分教室, 横浜, 2023.12.5. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立岩戸支援学校, 横須賀, 2024.1.18.

【業務・活動報告】

〔その他〕

- 茂木みく: 「ドライマウス研究会 口腔機能指導員」取得.
- 菅原美咲: 「日本歯周病学会認定歯科衛生士」取得.
- 松永唯奈, 齊藤尚子: 「BLSプロバイダー」取得.
- 藤崎みのり: 「日本口腔インプラント学会 専門衛生士」取得.

▶ 高度先進歯科メンテナンス学分野 代表者: (代行)山川理代

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手: 鈴木英里菜, 高瀬幸子, 杉山郁子, 古谷田啓子, 井上京子, 上田里佳, 山川理代, 田丸麻衣子, 徳増奈央美, 大塚未紗, 小林香菜子, 畑中歩美, 八木若葉, 濱野美紗稀

歯科衛生士: 磯優菜, 植松里奈, 奥村冬花, 落合直花, 小池祐月, 児玉汐里, 小柳淳子, 坂田日菜子, 杉山和日奈, 高橋三奈, 堤良子, 保母恭子, 松本文恵, 望月美穂, 山田千恵, 若林絹香

非常勤歯科衛生士: 中西美貴

2 | 2023年度の活動内容

教育：神奈川県歯科大学短期大学部歯科衛生学科，新宿医療専門学校，東京歯科衛生専門学校，日本体育大学医療専門学校の学生に臨床実習の場を提供し，歯科医師や歯科衛生士の指導の下，診療補助を中心とした実習を行い各学校に評価を提出した。またPPEの使用や手指衛生の徹底など感染防止対策の重要性についても継続して指導を行った。歯学部学生の臨床実習，歯科医師臨床研修において安全かつ充実した実習，研修が行えるよう協力をした。

臨床：口腔衛生管理は昨年度の9,774件を上回り，今年度は11,217件のメンテナンス数となった。訪問歯科診療に4名の専任衛生士が従事し歯科医師と共に診療を行った。歯科・健脳クリニック日本橋の新人衛生士研修を受け入れた。また衛生士不足時に派遣を行った。

社会活動：捜真学院(小学校・中等部・高等学部)の歯科検診，歯科保健指導を歯科医師と共にを行った。

その他：Web・現地開催の学会，セミナーに各自参加し，知識と技術の向上に努めた。

3 | 研究業績

【症例報告】

K23/CR/009 小野崎純，大塚未紗，杉田武士，有坂博史，不島健持：MFTによって被蓋改善を行った反対咬合症例。神奈川歯学，58(2)，114-119，2023。

K23/CR/015 高野知子，新倉啓太，杉山郁子，鈴木杏奈，高瀬幸子，小松知子，池田正一：成人のFreeman-Sheldon症候群患者の歯科治療経験。障害者歯科，44，248-254，2023。

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 杉山郁子：神奈川県歯科大学附属横浜研修センター小児障害者歯科での歯科衛生士による麻酔予約管理の取り組み。日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第63回合同学術集会，東京，2023.9.2。
- 杉山郁子，高瀬幸子，高野知子，山田千恵，望月美穂，植松里奈，麻生綾子，杉田武士，小松知子，池田正一：当科での歯科衛生士による麻酔予約管理システムの取り組み。第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会，札幌，2023.11.10-12。

臨床先端医学系

▶ 認知症医科学分野

代表者：眞鍋雄太

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：眞鍋雄太

2 | 2023年度の活動内容

教育：研究テーマの一つに認知症と口腔機能の関連を掲げていることから、今年度も木本克彦教授の教室に所属する大学院生に対して研究指導を行った。また、前年度に引き続き認知症診療における歯科と医科の「共通言語」の創造を目的に、教育および啓発活動に従事。その一環として、日本補綴歯科学会と日本老年精神医学会の連携研究事業「医科歯科連携－認知機能と口腔機能の相関に関する探索的研究プロジェクト(Medical-Dental collaboration: Exploratory research project on the Correlation between Cognitive and Oral function working group: ECCO)」の研究および教育活動を今年度も継続した。次年度も継続して認知症研究に携わる歯科医師への啓発活動に努めたい。その他、今年度も本学歯学部3年生に対して脳神経内科学領域の講義を担当し、1年生に対する医科・歯科連携診療をテーマとした講義も継続して行った。新規の事業として、明海大学健康医療学部3年生を対象に、認知症性疾患および口腔機能との関連に関する講義を行った。

研究：前述したECCOプロジェクトの第二弾として、パイロット研究「咀嚼質問票の妥当性の検討」を本学主導で行い、現在、調査結果を解析中である。2020年度に完了した特定臨床研究「レビー小体型認知症に伴う認知機能および心理行動障害に対する経頭蓋微弱超音波振動装置の有用性の検討」(虎の門病院認定臨床研究審査会)に関しては、現在、Alzheimer Disease & Associated Disordersへ再投稿している。2021年に完了した大阪大学大学院医学系研究科精神医学池田学教授ならびに近畿大学医学部精神医学講座橋本衛教授、大日本住友製薬株式会社(現住友ファーマ株式会社)メディカルアフェアーズ部遠矢俊司氏との共同研究「レビー小体型認知症に関する患者・介護者・医師の治療ニーズに関する研究」に関しては、サブ解析の結果を「診療科によるDLBに伴うパーキンソニズムの自覚とその治療ニーズに対する主治医の認識」として、第42回日本認知症学会において報告した。これに関しては、現在論文化中である。

臨床：2023年4月30日、本学附属の歯科・健脳クリニック日本橋が日本橋三越本店新館5階に開院した。同院では、未病の段階から認知症性疾患のリスクを評価し、然るべき予防介入を医科－歯科連携して行うことをテーマとしている。従来の保険診療とは異なる、認知症に特化した健脳ドックを今後どのように展開してゆくのか、次年度の課題である。今年度の臨床活動を総括するならば、例年の通り当科のraison d'etreの実践、即ち、精緻で質の高い診断及びevidence based medicineに則った治療の提供を実践出来たものと自負している。2023年末に上市されたアルツハイマー病抗体治療薬lecanemabの適正診療も含め、2024年度も認知症診療の専門医としてより一層、良質な医療の提供に努めて行きたい。その他、出身医局(藤田医科大学救急総合内科)の客員教授として、今年度も藤田医科大学中部国際空港診療所でのプライマリ診療及び旅客医療への従事を継続した。

社会活動：2014年以来顧問医として参加している「レビー小体型認知症サポートネットワーク東京」の活動に、今年度も継続して従事。今年度下半期より対面での交流会も再開され、患者・家族への疾患啓発に努めた。COVID-19禍の一応の終息を受け、講演会の機会も増えた。これにより、医師・歯科医師のみならず、非医療者を対象とした啓発活動を積極的に行う事が出来た。非医療者を対象とした公的な啓発活動としては、横須賀市による令和5年度他職種連

携のための認知症セミナー，長野県北アルプス医療センターあずみ病院認知症疾患医療センター主催「認知症を学ぶ講演会-口から守るあなたの脳」等が挙げられる。その他，本年度も日本認知症学会専門医試験症例報告書審査委員として，専門医試験を受ける医師の症例報告評価を通じて，認知症専門医の育成に取り組んだ。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/037 眞鍋雄太：COLUMN 4. 認知症と口腔機能－歯科との連携－. pp.149-151. 池田学編著：症候学から見極める認知症. 新興医学出版社，東京，2024.

【原著論文】

K23/OP/080 Toya S, Manabe Y, Hashimoto M, Yamakage H, Ikeda M : Questionnaire survey of satisfaction with medication for five symptom domains of dementia with Lewy bodies among patients, their caregivers, and their attending physicians. *Psychogeriatrics*, 23, 752-762, 2023.

K23/OP/081 Ikeda M, Toya S, Manabe Y, Yamakage H, Hashimoto M : Differences in the treatment needs of patients with dementia with Lewy bodies and their caregivers and differences in their physicians' awareness of those treatment needs according to the clinical department visited by the patients: a subanalysis of an observational survey study. *Alzheimer's Research & Therapy*, 16, 59, 2024. doi: 10.1186/s13195-024-01419-6

【総説】

K23/R/010 眞鍋雄太：認知症専門医よりみた医科歯科連携の必要性. *Dementia Japan*, 37, 393-400, 2023.

【解説】

K23/Ex/013 眞鍋雄太，木本克彦：歯科医療から認知症にどう取り組むべきか？ 第3回 認知症専門医からの提言－医科歯科連携の必要性・必然性. *歯界展望*, 142(3), 600-605, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

●眞鍋雄太：介護者支援における貢献 (小阪憲司先生メモリアルシンポジウム). 第38回日本老年精神医学会秋季大会，東京，2023.10.14.

〔教育講演〕

●眞鍋雄太：教育講演 レビー小体病を識る-多彩な症状の背景とニーズの実際、介護を理解する. 第19回日本高齢者虐待防止学会上越大会，上越，2023.9.16.

〔一般発表・国内学会〕

●眞鍋雄太：診療科によるDLB患者に伴うパーキンソンニズムの自覚とその治療ニーズに対する主治医の認識. 第42回日本認知症学会学術集会，奈良，2023.11.24-26.

〔講演会・セミナー等〕

●眞鍋雄太：レビー小体型認知症の患者・介護者の治療ニーズから求められている今後の診療の在り方. *Eisai Dementia Live seminar*, WEB講演会，2023.4.19. / 座長：「各診療科での

便秘治療の実際]. 持田製薬株式会社慢性便秘症WEBセミナー—各診療科の垣根を超えた便秘症診療—, WEB講演会, 2023.5.10. / レビー小体病及びアルツハイマー型認知症治療. 興和株式会社東京第一支店社員研修会, 横浜, 2023.6.14. / 患者、介護者によるレビー小体型認知症の治療ニーズ. 住友ファーマ株式会社みんなで考えるレビー小体型認知症 in 青葉, WEB講演会, 2023.7.11. / DLB患者さんとその介護者の治療ニーズおよび主治医の考える治療ニーズのギャップについて. 住友ファーマ株式会社DLB WEBセミナー season 10, WEB講演会, 2023.8.4. / 座長：中野正剛「認知症診療におけるアリドネパッチの使い方」. Kowa WEB Conference, WEB講演会, 2023.9.25. / レビー病理関連疾患—神経病理学的背景による症状の多様性と治療ニーズ. エーザイ株式会社Parkinson's Disease WEB Seminar, WEB講演会, 2023.9.29. / 医科・歯科連携医療—Dental Practice, Beyond the Next Stage—. 明海大学医療保健学部3年生講義, 浦安, 2023.10.6. / 三越カルチャーサロン「認知症専門医による認知症予防のお話」. 神奈川歯科大学, 東京, 2023.10.31. / 三越カルチャーサロン「認知症専門医による認知症予防のお話」. 神奈川歯科大学, 東京, 2023.11.9. / 認知症性疾患における便秘—病態生理からみる認知症性疾患との関係—. EAファーマ株式会社下越地区神経疾患便秘セミナー, WEB講演会, 2022.11.14. / 認知症専門医による認知症講座—認知症性疾患における医科—歯科連携—. 横須賀市・横須賀市医師会共催令和5年度多職種連携のための認知症セミナー, 横須賀, 2023.11.22. / 認知症を学ぶ講演会～口から守るあなたの脳～「認知症性疾患を識る～医科・歯科連携診療の重要性～」. 北アルプス医療センターあづみ病院認知症疾患医療センター, 長野, 2023.12.2. / 認知症性疾患の診断と治療—専門医の立場から—. 興和株式会社アリドネパッチweb conference, WEB講演会, 2024.1.16. / 知って納得!認知症専門医による認知症のお話. 横浜新都市脳神経外科病院認知症初期集中支援チーム認知症セミナー, 横浜, 2024.1.21. / 認知症性疾患の診断と治療—専門医の立場から—. 興和株式会社アリドネパッチweb conference, WEB講演会, 2024.2.1. / 認知症診療における抑肝散加陳皮半夏—エビデンスから臨床・その可能性を探る—. クラシエ認知症セミナー, 東京, 2024.2.22. / 認知症性疾患の診断と治療—専門医の立場から—. 興和株式会社第6回横浜西部conference, WEB講演会, 2024.3.29.

【業務・活動報告】

〔報道・記事〕

- 眞鍋雄太：医療ルネサンス「認知症と歯科」初診患者 口内もチェック. 読売新聞朝刊, 2023年4月1日. 【取材】
- 眞鍋雄太：医療の現場から 第67回 正しく理解したい認知症 前編. 週刊高齢者住宅新聞, 2023年5月17日. 【取材】
- 眞鍋雄太：名医9人が本音告白「私がやっている健康法」. 週刊ポスト, 2023年5月26日号. 【取材】
- 眞鍋雄太：「ボケの壁を超える」. 週刊ポストGOLD, 2023年5月29日. 【取材】
- 眞鍋雄太：神奈川歯科大学附属「歯科・健脳クリニック日本橋」認知症予防に向け本格運用を開始. Dental magazine MORITA, 2023年6月1日. 【取材】
- 眞鍋雄太：医療の現場から 第67回 正しく理解したい認知症 後編. 週刊高齢者住宅新聞, 2023年6月7日. 【取材】
- 眞鍋雄太：名医が選んだ最強の名医63人. 週刊ポスト, 2023年6月16日号. 【取材】
- 眞鍋雄太：「夢の認知症薬」解禁されたけど…レカネマブの罫. 週刊文春, 2023年12月28日号. 【取材】

[デジタル記事]

- 眞鍋雄太：認知症診療と歯科診療で「健康な脳をつくる」、新クリニックが日本橋三越に開院。日本醫事新報社Web医事新報, 2023年4月28日。【取材】<https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=21868>
- 眞鍋雄太：認知症専門医が勧める認知機能低下の予防法「検索断ち」が前頭葉のエクササイズに。Newsポストセブン, 2023年5月19日。【取材】https://www.news-postseven.com/archives/20230519_1869242.html?DETAIL
- 眞鍋雄太：現役医師が診てもらいたい「心臓」と「脳」の名医 ロボット手術など新たな技術への対応力もポイント。Newsポストセブン, 2023年5月30日。【取材】https://www.news-postseven.com/archives/20230530_1873610.html?DETAIL

[WEBコンテンツ]

- 眞鍋雄太：Dr.Well-B VIEW「認知症の予防と治療 医科・歯科医師の観点から」。医師・歯科医師会員サイト「Dr.Well-B」, 2023.8月。

[その他]

- 眞鍋雄太：藤田医科大学医学部客員教授。
- 眞鍋雄太：日本認知症学会 専門医試験症例報告書審査委員。
- 眞鍋雄太：日本老年精神医学会専門医制度委員会試験実施部会(試験問題担当)委員。
- 眞鍋雄太：日本老年精神医学会医科歯科共同研究ワーキンググループ委員。
- 眞鍋雄太：日本補綴歯科学会研究企画推進委員会委員。
- 眞鍋雄太：レビー小体型認知症研究会 世話人。
- 眞鍋雄太：レビー小体型認知症研究会 小阪憲司先生追悼記念誌編集委員会委員長。
- 眞鍋雄太：レビー小体型認知症サポートネットワーク東京 顧問。
- 眞鍋雄太：認知症と口腔機能研究会誌 認知症と口腔機能(Dementia and Oral Function)編集委員。

▶ 口腔再建学分野

代表者：児玉利朗

1 | 教員・大学院生・他

特任教授：(児玉利朗)
診療科講師：植田真美子

2 | 2023年度の活動内容

教育：見学可能な臨床施設としての整備を実施した。4月24日から5月22日までの月曜日に歯学部1年生の見学実習が行われ、計15名の学生が羽田空港第1ターミナル歯科を見学した。また、横浜クリニック(オープンサテライトセミナー)にて講演した。

臨床：9月14日にOHANA保育園の歯科健診、11月1日にアンジュ保育園の歯科健診を行った。また、JALエンジニアリング社の歯科健診(企業健診欠席者)を行った。地域医療機関との連携を実施し、インバウンド対応も行った。

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/015 不島健持, 児玉利朗, 小林優, 田村利之：オーラルバイオメカニクスを考慮した歯周矯正治療。東京臨床出版, 大阪, 2023.

【原著論文】

K23/OP/068 Nakamura K, Kawai K, Oide Y, Hojo S, Kodama T : Association of initial implant fixation with implant diameter, length, and drilling protocol. 神奈川歯学, 58(1), 7-17, 2023.

K23/OP/069 小島康佑, 北條彩和子, 中村慧, 曾根崇晴, 小瀬貴之, 大井手良光, 西村允貴, 吉野剛史, 児玉利朗：ビーグル犬における β -TCPブロックの頬側骨欠損部への適用に関する研究。神奈川歯学, 58(1), 18-35, 2023.

【総説】

K23/R/011 蓮池聡, 今村健太郎, 高橋慶壮, 林丈一朗, 安田忠司, 目澤優, 田中真喜, 児玉利朗, 辰巳順一：インプラント周囲炎の診断・リスク因子・治療に関するエビデンスと今後の課題。日本歯周病学会誌, 65(3), 81-92, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

●香月麻紀子, 児玉利朗：咬合崩壊を伴う重度慢性歯周炎患者に対して歯周治療および咬合再建を行った9年経過症例。第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.

〔講演会・セミナー等〕

●児玉利朗：歯周組織とインプラント周囲組織との差異 歯周病の診査診断、治療計画。オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.4.13. / 歯周病の基本治療と咬合性外傷。オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.5.18. / 歯周病・インプラントにおけるティッシュマネージメント。ササキ株式会社デンタルアカデミー, 東京, 2023.6.11. / 歯周外科とプラスチックサージェリー。オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.7.27. / ブタ下顎骨による歯周外科を極めるハンズオン。学際企画, 東京, 2023.7.30, 8.27. / ブタ実習(CRP、FGG、ソケットブリザベーションアストラテックEV、2本埋入)。オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.8.6. / ベーシックインプラントロジー 1Day。StraumannGroup, 東京, 2023.10.1. / Taiwan Basic Course: Therapist Training Program。台湾, 2023.11.25-26. / GC Bio-Material Webセミナー コラーゲンを使用したソケットマネージメント。GCセミナー, オンライン, 2024.2.28. / インプラント周囲のプラスチックサージェリーとインプラント周囲炎への対応。オープンサテライトセミナー, 横浜, 2024.3.14.

その他

1 | 教員・大学院生・他

客員教授：奥井伸雄

特任教授：加藤伊陽子, 川股亮太, 倉田俊一, 高垣裕子, 玉置勝司, 畑隆一郎,
不島健持, 山本利春

特任講師：生駒丈晴, 市ヶ谷成美, 東雅啓

2 | 2023年度の活動内容

3 | 研究業績

【著書】

K23/B&C/015 不島健持, 児玉利朗, 小林優, 田村利之：オーラルバイオメカニクスを考慮した歯周矯正治療。東京臨床出版, 大阪, 2023.

【原著論文】

K23/OP/001 Tamiya J, Sakaguchi W, Nakagawa K, Yamamoto T, Saruta J, Kubota N, Kawata A, Hasegawa I, Hamada N, Tsukinoki K : Detection of SARS-CoV-2 and Its Related Factors on the Mucosal Epithelium of the Tongue. *Acta Histochemica et Cytochemica*, 56(2), 29-37, 2023.

K23/OP/037 Okui N, Ikegami T, Hashimoto T, Kouno Y, Nakano K, Okui MA : Predictive Factors for High Post-void Residual Volume in Older Females After OnabotulinumA Treatment for Severe Overactive Bladder Using a Machine Learning Model. *Cureus*, 15(7), e42668, 2023. doi: 10.7759/cureus.42668

K23/OP/005 Ichigaya N, Kawanishi N, Adachi T, Sugimoto M, Kimoto K, Hoshi N : Effects of Denture Treatment on Salivary Metabolites: A Pilot Study. *International Journal of Molecular Sciences*, 24, 13959, 2023. doi: 10.3390/ijms241813959

K23/OP/010 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K : Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. *Medicina*, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789

K23/OP/024 Katoh I, Tsukinoki K, Hata RI, Kurata SI : Δ Np63 silencing, DNA methylation shifts, and epithelial-mesenchymal transition resulted from TAp63 genome editing in squamous cell carcinoma. *Neoplasia*, 45, 100938, 2023. doi: 10.1016/j.neo.2023.100938

K23/OP/030 Kida S, Aoyama N, Fujii T, Taniguchi K, Yata T, Iwane T, Yamamoto T, Tamaki K, Minabe M, Komaki M : Influence of Meal Sequence and Number of Teeth Present on Nutrient Intake Status: A Cross-Sectional Study. *Nutrients*, 15, 2602, 2023. doi: 10.3390/nu15112602

- K23/OP/022 Nakajima C, Fujita-Otani M, Mikuni-Takagaki Y, Nakamura K, Hidaka K, Kawata A, Kawamata R, Kimoto S : Progress of LPS-induced apical lesion in rat immature mandibular molars. *Pediatric Dental Journal*, 33, 14-24, 2023.
- K23/OP/055 Koseki R, Suzuki K, Ozawa S, Ikoma T, Kanamori K, Fushima K, Kobayashi M : Evaluation of accuracy of maxillary repositioning surgery using an observer-independent method. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 36, 315-322, 2024.
- K23/OP/032 山本龍生, 遠又靖丈, 田中直人, 西澤昭人, 玉置勝司 : 高齢者への義歯治療とオーラルフレイル改善プログラム・栄養指導が口腔機能と栄養状態に与える効果. *老年歯科医学*, 38(2), 48-55, 2023.

【症例報告】

- K23/CR/001 Itai S, Yoshimura Sawai N, Kozai Y, Ikoma T, Kosai A, Yakeishi M, Kubota N, Abe T : Asymptomatic intraosseous leiomyoma in mandible: A case report and review of literature. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 35, 539-544, 2023.
- K23/CR/003 Okui N, Ikegami T, Erel CT : Non-ablative Erbium (YAG) and Neodymium (YAG) Laser Treatment for Anal Incontinence and Vaginal Atrophy: A Case Study. *Cureus*, 16(3), e55542, 2024. doi: 10.7759/cureus.55542
- K23/CR/009 小野崎純, 大塚未紗, 杉田武士, 有坂博史, 不島健持 : MFTによって被蓋改善を行った反対咬合症例. *神奈川歯学*, 58(2), 114-119, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 齊田牧子, 槻木恵一 : 米の α でんぷんと β でんぷんの含有比率の違いがラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響. 第77回日本栄養・食糧学会大会, 札幌, 2023.5.12-14.
- 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 星憲幸, 木本克彦 : 口腔カンジダ症における唾液の関連性—唾液量と唾液代謝プロファイル—. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 川西範繁, 市ヶ谷成美, 足立拓也, 星憲幸, 木本克彦 : 義歯治療による唾液代謝プロファイルへの影響. 日本補綴歯科学会第132回学術大会—設立90周年記念大会—, ハイブリッド開催(横浜+WEB配信), 2023.5.19-21.
- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 田村宗明, 高橋徹, 根岸紘生, 土橋英恵, 市川愛弓, 下仲敦, 横尾岳大, 唐舒宜, 牧野聖也, 狩野宏, 北條研一, 槻木恵一 : ヨーグルト摂取が口腔内常在菌に交叉する唾液中IgAレベルに与える影響. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 小關理恵子, 鈴木健司, 金森慶亮, 田中香衣, 山口徹太郎, 不島健持, 小林優 : 新たな上顎骨の三次元的移動分析法の確立. 第33回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023.6.8-9.
- 玉置勝司, 田中直人, 西澤昭人, 山本龍生, 遠又靖丈 : 高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性の検証. 日本老年歯科医学会第34回学術大会, 横浜,

2023.6.16-18.

- 武村幸彦, 向井義晴, 尹榮浩, 八尾有紀, 川股亮太, 花岡孝治: バルクフィルレジンの重合収縮挙動. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- Hata R, Kondo T, Ozawa S, Ikoma T, Suzuki K, Yang X: Expression of chemokine CXCL14 is a predictive biomarker for cetuximab-dependent tumor suppression. 第55回日本結合組織学会学術大会, 岡山, 2023.4.6.24-25.
- 赤坂徹, 畑隆一郎: 多機能生体分子であるCXCL14の脳組織でのタンパク質の検出と分子サイズの検討. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.9.16-18.
- 居作和人, 畑隆一郎, 半田慶介: ヒト血清中ケモカインCXCL14/BRAKのELISA測定法の検討. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.9.16-18.
- 畑隆一郎: 抗癌剤のセツキシマブ(アービタックス)はケモカインCXCL14の発現を介して腫瘍抑制作用を示す. 第65回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2023.9.16-18.
- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 清水智子, 東雅啓, 窪田展久, 河田亮, 槻木恵一: 米粉摂取がラット腸内細菌叢と唾液IgAレベルに与える影響. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 小澤重幸(代表), 畑隆一郎(分担), 安部貴大(分担), 讃岐拓郎(分担): 抗腫瘍性ケモカインCXCL14末端ドメインを応用した次世代の癌転移阻害剤の開発. 基盤研究(C), 21K10149, 2021~2023年度.
- 猿田樹理(代表), 槻木恵一(分担), 杉本昌弘(分担), 山本利春(分担), 坂口和歌子(分担): BDNFを介した唾液腺-脳ネットワークによる精神障害の病態発症メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K09935, 2022~2024年度.
- 東雅啓(代表), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担): 歯科的アプローチによる健康長寿社会のための未病の予測・管理システムの構築. 基盤研究(C), 22K10320, 2022~2024年度.
- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 今泉うの(分担), 高橋俊介(分担), 東雅啓(分担): 加齢に伴う歯周病の進行に対する歯肉マッサージの効果の解析. 基盤研究(C), 23K09176, 2023~2026年度.
- 畑隆一郎(代表), 小澤重幸(分担), 赤坂徹(分担): 活性持続型ビタミンCによる多段階癌抑制分子(CXCL14)発現活性化マウスの作成. 基盤研究(C), 23K09383, 2023~2025年度.

短期大学部

歯科衛生学科

代表者：角田晃

1 教員・大学院生・他

教授	：角田晃，戸田真司，劉彦君(2024年2月から)
准教授	：中向井政子，片岡あい子，山本裕子，山内雅人， 前畑洋次郎(2024年2月まで)
講師	：美馬寿恵(2023年8月まで)
助教	：関端麻美，吉本夢，小堀陽子，田島小百合
助手	：堀江茜，伊郷真由，麻生綾子，臼沢望(2023年11月から)
客員教授	：金子博嗣，畑良明，鍵和田優佳里
特任教授	：荒川浩久，井出桃，梅本俊夫，鈴木幸江，長谷徹，西村康，東一善，宮城敦
特任准教授	：伊ヶ崎理佳
特任講師	：河合良明，水谷成孝，松尾智子
特任助教	：長谷則子

2 2023年度の活動内容

教育：高い専門的知識と技術を備えた歯科衛生士の養成を目指して，教員が一丸となって講義と実習に臨んだ。臨床における体系の理解と基本的事項の習得を目標とした臨床実習Iでは，神奈川歯科大学附属病院ならびに附属横浜クリニックにて実習を行った。歯科衛生士の三大業務(歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療補助)の習得を目指して，①臨床実習IIIは附属病院先進歯科医療センターにて歯科衛生学科専任教員の指導のもと実習を行って知識と技術の向上に努め，②臨地実習Iでは鎌倉市・小田原市・真鶴町・湯河原町の小学校，箱根町の小学校・幼稚園・保育園にて集団歯科保健指導を行い，③臨地実習IIでは社会福祉施設・保健所に赴き，地域歯科保健事業の在り方を指導した。選択必修科目としての「海外事情」は，中華民国とフランス共和国に行き，歴史と風土に触れるほか，病院等の医療施設を見学する予定であったが，新型コロナウイルス感染症拡大の余波を受けたのか，科目開催に至る人数に達しなかったため，今年度は開催を見送り，来年度からの開催とした。学生には他の選択科目を履修してもらうことで対応した。歯科衛生士国家試験対策としては，最終学年に所定の教育科目時間の他にも徹底した指導・対策を行ったが，合格率91.8%(全国平均92.4%)であった。

研究：神奈川歯科大学教員との共同研究はもちろんのこと，学外の研究者とも積極的に研究を行い，幅広い視点と深い知識を持つべく研鑽を行った。

3 | 研究業績

【著書】

J23/B&C/001 荒川浩久, 川村和章, 宋文群, 荒川勇喜, 戸田真司: 医療スタッフのための衛生学エッセンス (K23/B&C/005) 2024/2025. 第7版, 学建書院, 東京, 2024.

J23/B&C/002 角田晃: マイクロモーター. pp.386. 全国歯科衛生士教育協議会監修: 歯科衛生学辞典. 第2版, 永末書店, 京都, 2024.

【原著論文】

J23/OP/001 Park J, Yamamoto Y, Hidaka K, Wada-Takahashi S, Takahashi SS, Morozumi T, Kubota N, Saita M, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Mikuni-Takagaki Y, Tsukinoki K: Effects of Diabetes and Voluntary Exercise on IgA Concentration and Polymeric Immunoglobulin Receptor Expression in the Submandibular Gland of Rats. *Medicina*, 59, 789, 2023. doi: 10.3390/medicina59040789

J23/OP/002 Liu YCG, Teng AY: Distinct cross talk of IL-17 & TGF- β with the immature CD11c⁺TRAF6^(-/-)-null myeloid dendritic cell-derived osteoclast precursor (mDDOCp) may engage signaling toward an alternative pathway of osteoclastogenesis for arthritic bone loss in vivo. *Immunity, Inflammation and Disease*, 12, e1173, 2024. doi: 10.1002/iid3.1173

J23/OP/003 小松知子, 横山滉介, 宋文群, 萩原大, 野口毅, 高満幸宜, 渡辺匡, 戸田真司, 李昌一, 井野智: 障害者支援施設での摂食嚥下リハビリテーションのオンライン指導の検討. *障害者歯科*, 44, 213-222, 2023.

【総説】

J23/R/001 三辺正人, 山本裕子, 河野寛二, 中澤正絵, 山本龍生: 歯周治療による咀嚼機能回復は血糖コントロール改善に寄与するか?—特に食習慣・食栄養バランス改善の点からの考察—. *日本歯科保存学雑誌*, 67(1), 10-19, 2024.

【解説】

J23/Ex/001 山本裕子, 両角俊哉: 歯科衛生士としての介入のあり方. *思春期学*, 41(2), 273-279, 2023.

J23/Ex/002 山本裕子, 関端麻美: 唾液を知る, 唾液を活かす 1滴目 さらっとおさらい!唾液の基本. *デンタルハイジーン*, 43(10), 1071-1076, 2023.

J23/Ex/003 山本裕子, 関端麻美: 唾液を知る, 唾液を活かす 2滴目 ネバリ強く活用!唾液を使った試験・検査. *デンタルハイジーン*, 43(10), 1077-1082, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

- Yamamoto Y, Takahashi T, Morozumi T, Saruta J, Sakaguchi W, To M, Shimizu T, Saita M, Tsukinoki K: Effect of α - and β -starch in Rice on cecal Short-Chain Fatty Acid Concentration and Salivary Immunoglobulin A Levels in Rats. The 16th International Scientific Conference on Probiotics, Prebiotics, Gut Microbiota and Health, Bratislava, Slovakia, 2023.6.20-22.

[一般発表・国内学会]

- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 斉田牧子, 槻木恵一: 米の α でんぷんと β でんぷんの含有比率の違いがラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響. 第77回日本栄養・食糧学会大会, 札幌, 2023.5.12-14.
- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 田村宗明, 高橋徹, 根岸紘生, 土橋英恵, 市川愛弓, 下仲敦, 横尾岳大, 唐舒宜, 牧野聖也, 狩野宏, 北條研一, 槻木恵一: ヨーグルト摂取が口腔内常在菌に交叉する唾液中IgAレベルに与える影響. 第66回春季日本歯周病学会学術大会, 高松, 2023.5.26-27.
- 片岡あい子, 椎谷亨, 小倉真奈, 向井義晴: S-PRGフィラー溶出液と超音波振動を用いた歯根象牙質脱灰抑制能の検討. 日本歯科保存学会2023年度春季学術大会(第158回), 松江+後日オンデマンド配信, 2023.6.22-23.
- 山本裕子, 関端麻美, 井出桃, 両角俊哉, 角田晃: 経口摂取した短鎖脂肪酸がラット唾液中IgAレベルに与える影響. 日本歯科衛生学会第18回学術大会, ハイブリッド開催(静岡+オンデマンド配信), 2023.9.16-18. *オンデマンド配信, 2023.10.4-31.
- 清水智子, 鎌田要平, 佐藤五月, 山本裕子, 槻木恵一, 小牧基浩: ヒト歯肉上皮培養細胞におけるSARS-CoV-2感染促進因子のサイトカインによる影響についての研究. 第66回秋季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2023.10.13-14.
- 野口毅, 萩原大, 鎌田有一朗, 渡辺匡, 高満幸宜, 宋文群, 戸田真司, 李昌一, 小松知子: 若年Down症候群患者の唾液プロテオミクスによる歯周病発症メカニズムの検討. 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 札幌, 2023.11.10-12.
- 山本裕子, 槻木恵一: フラクトオリゴ糖摂取によるヒト唾液中IgA分泌速度の変化. 日本食品免疫学会第19回学術大会, 東京, 2023.11.14-15.
- 片岡あい子, 椎谷亨, 小倉真奈, 向井義晴: S-PRGフィラー溶出液と超音波振動を併用した歯根象牙質脱灰抑制効果の検討. 神奈川歯科大学学会第58回学術大会, 横須賀, 2023.11.25.
- 山本裕子, 高橋徹, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 清水智子, 東雅啓, 窪田展久, 河田亮, 槻木恵一: 米粉摂取がラット腸内細菌叢と唾液中IgAレベルに与える影響. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.
- 堰啓介, 曾我俊博, 山本裕子, 槻木恵一: フラクトオリゴ糖摂取によるヒト唾液中IgA分泌速度の変化. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.
- 横尾岳大, 唐舒宜, 中村真梨枝, 牧野聖也, 狩野宏, 北條研一, 山本裕子, 槻木恵一: ヨーグルトの摂取が風邪症候群への罹患リスクとヒトコロナウイルスに交叉する唾液中IgA量に与える影響. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.
- 両角俊哉, 琢磨遼, 山本裕子, 松井嵩昌, 三辺正人, 小牧基浩: 非アルコール性脂肪肝炎由来肝細胞がんと歯周病細菌の関連. 第2回日本唾液ケア研究会学術集会, 横須賀, 2023.11.26.

[講演会・セミナー等]

- 中向井政子: 歯科衛生士による口腔咽頭吸引実習(神奈川県補助金事業). 神奈川県歯科衛生士会, 横須賀, 2024.3.17.

- 片岡あい子：歯科衛生学教育法①② 歯科衛生学1～3. 全校歯科衛生士教育協議会2023年度 歯科衛生士専任教員講習会I, 岐阜, 2023.7.2-3.
- 山本裕子：メイオリゴ® (フラクトオリゴ糖)による免疫力強化. 食品開発展2023, 東京, 2023.10.5.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 三辺正人(代表), 両角俊哉(分担), 中島淳(分担), 結束貴臣(分担), 宮内睦美(分担), 山本裕子(分担), 鎌田要平(分担)：歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎-肝がん発症予防法の確立. 基盤研究(C), 19K10454, 2019～2023年度.
- 両角俊哉(代表), 青木一孝(分担), 山本裕子(分担), 平田貴久(分担), 三辺正人(分担)：歯周病を介した糖尿病性網膜症の発症機序解明ー歯科からの新しい予防法の確立ー. 基盤研究(C), 21K10222, 2021～2023年度.
- 高橋徹(代表), 久保金弥(分担), 平野好幸(分担), 安川然太(分担), 山本裕子(分担), 安細敏弘(分担), 長岡花恵(分担), 徳永美希(分担), 小野塚実(分担)：唾液分泌は食後血糖上昇緩和の重要な因子となり得るか?. 基盤研究(C), 22K10321, 2022～2024年度.
- 山本裕子(代表), 槻木恵一(分担), 両角俊哉(分担), 高橋徹(分担)：糖尿病が唾液腺に与える影響の解明:IgAに着目した糖尿病患者の感染症予防対策. 基盤研究(C), 22K10355, 2022～2024年度.

1 | 教員・大学院生・他

教	授：石川徳子，棚橋泰之，眞田英子，村井みどり
准 教	授：吉越洋枝
講	師：飯塚雅子，博多祐子，森脇佳子，小浦さい子
助	教：石川智子，北村容子，横正奈緒美，石井一義，上西由美，久保貴巳子， 吉岡喜美代，永谷晃子，五百部恵子(2023年7月から)
助	手：三國光代，石井玲子，久世美帆
特 任 教	授：川口雅之
特 任 准 教	授：中村仁志

2 | 2023年度の活動内容

目標1～6を設定し実施した。

- 確かな専門性と豊かな人間性を兼ね備えた看護師の育成
 - 主体的に確かな知識，技術，科学的根拠を活用した看護実践能力の育成
 - 医療従事者として必要な倫理的態度やコミュニケーション能力を培う教育
 - 新旧カリキュラム同時進行への対応
- 看護師国家試験現役生100%合格の達成
- 入学定員の確保
- 初年次教育の充実
- 教員の確保と教育体制の充実
- 就職支援

教育：私立大学教員倫理綱領に基づき，また3つのポリシーに準じた看護師の育成，新旧カリキュラムの同時進行，国家試験全員合格に向け教員一同で尽力した。2023年度からの講義は全面的に対面での実施となった。臨地実習においては第5類変更後も引き続き影響を受けたが，嚴重な感染対策のもとカリキュラム運営を行った。2023年2月実施の第113回看護師国家試験の受験結果は，新卒者合格率は89.3%(全国平均87.8%内新卒者93.2%)であった。入学定員確保に向け，2023年5月から指定校を中心とした高校訪問，オープンキャンパス，体験プログラムへの参加等を実施した。短期大学士課程の学修がスムーズに導入されるようにリメディアル教育を推進した。取り組みの効果として中途退学者，現級留め置き者が減少した。

研究：教員各自がテーマをもって研究に取り組んでいる。研究成果は，所属学会や本学紀要等に公表している。

社会活動：高校への出前講義や来校する高校生に対するプログラムの開催，高校主催の職業説明会・進路相談など広報活動を積極的に行った。また，看護関連団体の役員や講師として社会貢献活動も継続的に取り組んだ。

3 | 研究業績

【解説】

J23/Ex/004 棚橋泰之：看護師は、看護記録になぜ悩む？. Expert Nurse, 40(1), 71-72, 2024.

J23/Ex/005 棚橋泰之：看護記録の基本と目的. Expert Nurse, 40(1), 73-77, 2024.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 吉田とも子, 豊泉博美, 二見智恵子, 塚田ひろみ, 弘末睦子, 岡本登美子, 久保貴巳子: アドバンス助産師の働く環境をスタッフの視点から探る～労働環境とアドバンス助産師認証制度の関連～. 第79回日本助産師学会, 東京, 2023.5.27.
- 村井美侑, 久保貴巳子: 産後の体重変動と生活習慣病の関係-医療従事者および教育・研究者と他職種との比較. 第43回日本看護科学学会学術集会, 下関, 2023.12.9-10.

〔講演会・セミナー等〕

- 棚橋泰之: 看護研究とは. 水府病院, 水戸, 2023.5.20. / POSの基礎と看護診断の活用. 東北公済病院, 仙台, 2022.5.27. / 看護研究方法論①. 水府病院, 水戸, 2023.6.17. / 看護研究方法論②. 水府病院, 水戸, 2023.7.15. / 看護を語る会. 唐津赤十字病院, 唐津, 2023.8.6. / 老年看護について考える. 水府病院, 水戸, 2023.8.19. / 看護部ラダー研修「理論と実践」. 旭川医科大学附属病院, 旭川, 2023.11.4. / 新人看護師研修会 NANDA-I看護診断 基礎編①. 東京ベイ市川・浦安医療センター, 市川, 2023.11.11. / 看護師研修会 NANDA-I看護診断 基礎編②. 東京ベイ市川・浦安医療センター, 市川, 2023.11.18. / 看護研究・事例検討発表会. 東北公済病院, 仙台, 2023.12.2. / 新人看護師研修会 NANDA-I看護診断 実践編①. 東京ベイ市川・浦安医療センター, 市川, 2024.2.3. / 看護師研修会 NANDA-I看護診断 実践編②. 東京ベイ市川・浦安医療センター, 市川, 2024.2.24. / 看護研究・事例検討発表会. 水府病院, 水戸, 2024.3.16.
- 飯塚雅子: 看護師体験プログラム「呼吸音を聴く」. 桐蔭学園, 横浜, 2023.7.13. / 医療現場における看護の仕事. 緑ヶ丘女子高等学校, 横須賀, 2023.7.26. / 口腔咽頭吸引の実施に関わる基本的知識及び実習. 神奈川県歯科衛生士会, 横須賀, 2024.3.17.
- 北村容子: 口腔咽頭吸引の実施に関わる基本的知識及び実習. 神奈川県歯科衛生士会, 横須賀, 2024.3.17.
- 横正奈緒美: 口腔咽頭吸引の実施に関わる基本的知識及び実習. 神奈川県歯科衛生士会, 横須賀, 2024.3.17.

【業務・活動報告】

〔問題集の解説〕

- 博多祐子: 別冊. 第112回看護師国家試験問題 解答・解説. エンパワメント. pp.108-109 / 障害者総合支援法. pp.109 / 入院形態. pp.113 / 境界性人格障害の看護. pp.117 / 災害後の精神的ケア. pp.129 / 攻撃性の高い精神疾患患者. pp.129 / 就労支援. pp.129 / セルフケアのアセスメント. pp.133 / 精神保健の三次予防. pp.134 / 統合失調症患者の看護. pp.138-139. メディカルフレンド社編集部編集: 2024年度版看護師国家試験問題 解答・解説. メディカルフレンド社, 東京, 2023.

〔報道・記事〕

- 村井みどり: 健康経営の第1歩「体重コントロール～リバウンドしても大丈夫!?!」. 横須賀商工会議所会報誌NEWS & REPORT, NO.555, 2024.3.10.

[その他]

- 棚橋泰之：日本私立看護系大学協議会理事, 2023年度～2024年度.
- 石川徳子：一般社団法人空と花代表理事.
- 石川徳子：天使大学同窓会関東支部役員監査.
- 中村仁志：国立病院機構久里浜医療センター医療観察法病棟外部評価会議委員.
- 中村仁志：神奈川県看護師等養成機関連絡協議会委員.
- 久保貴巳子：公益社団法人日本助産師会安全対策小委員会.
- 久保貴巳子：公益社団法人神奈川県助産師会.
- 飯塚雅子, 小浦さい子：神奈川県看護教育フォーラムの運営補助. 神奈川県看護師等養成機関連絡協議会, 2024.3.23.
- 棚橋泰之, 飯塚雅子, 中村仁志, 吉岡喜美代：神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 教員・教育担当者養成課程 看護コース 看護教育実習指導担当者, 2023.6～11月.

索引

あ

ALTANBAGANA NANDIN UCHRAL
..... K23/OP/013(6, 33)
..... K23/OP/014(7, 33)
青木一孝 K23/B&C/011(47)
青山典生 K23/B&C/014(68)
..... K23/B&C/016(68)
..... K23/OP/030(33, 68, 130)
..... K23/OP/047(68)
..... K23/OP/048(68)
..... K23/OP/049(68)
..... K23/OP/051(69)
..... K23/R/007(69)
..... K23/Ex/012(69)
秋山真吾 K23/OP/059(83)
秋山広希 K23/OP/023(20, 83)
..... K23/OP/059(83)
浅里仁 K23/B&C/027(93)
..... K23/OP/071(93)
足立拓也 K23/OP/005(6, 72, 130)
..... K23/OP/007(6, 72)
渥美美穂子 K23/OP/052(72, 90)
..... K23/OP/067(90, 119)
安部貴大 K23/B&C/020(79)
..... K23/B&C/021(79)
..... K23/B&C/023(79)
..... K23/OP/054(79, 99)
..... K23/OP/056(79)
..... K23/OP/057(79)
..... K23/CR/001(7, 79, 114, 131)
荒川浩久 K23/B&C/005(33, 135)
..... J23/B&C/001(135)
有坂博史 ... K23/CR/009(86, 102, 124, 131)
有輪政尊 K23/CR/007(86)

い

Lee, Sangmin ... K23/OP/018(12, 28, 30, 63)
池上匡 K23/OP/037(46, 48, 130)
..... K23/OP/038(46)
..... K23/CR/002(46)
..... K23/CR/003(46, 131)
..... K23/Ex/007(47)
池田正一 K23/CR/014(107)
..... K23/CR/015(107, 124)
池中僚亮 K23/B&C/025(85)
生駒丈晴 K23/OP/055(79, 131)
..... K23/CR/001(7, 79, 114, 131)
石井滋 K23/OP/023(20, 83)
..... K23/OP/058(83)
..... K23/OP/059(83)
石井信之 K23/OP/016(12, 63)
..... K23/OP/017(12, 28, 63)
..... K23/OP/018(12, 28, 30, 63)
..... K23/OP/039(48, 63)
..... K23/OP/043(63)
..... K23/OP/044(63)
..... K23/OP/045(63, 86)
..... K23/OP/046(63)
..... K23/R/006(63)
..... K23/Ex/011(63)
泉雅浩 K23/B&C/028(97)
..... K23/OP/012(6, 97)
板宮朋基 K23/OP/002(5, 12, 72)
..... K23/OP/016(12, 63)
..... K23/Ex/002(12)
市ヶ谷成美 K23/OP/005(6, 72, 130)
市邊義章 K23/OP/042(52)
..... K23/O/004(52)
一色ゆかり K23/CR/006(77)
糸永和広 K23/OP/046(63)
稲葉啓太郎 ... K23/OP/019(16, 26, 28, 99)
井野智 K23/B&C/019(76)
... K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)

..... J23/OP/003(135)
 井上允..... K23/OP/007(6, 72)
 井上吉登..... K23/B&C/027(93)
 K23/OP/071(93)
 今泉うの K23/OP/019(16, 26, 28, 99)
 K23/OP/020(16, 26, 99)
 K23/OP/054(79, 99)
 K23/OP/072(98)
 K23/OP/074(99, 104)
 K23/OP/075(99)
 K23/R/009(99)
 K23/CR/004(69, 99)
 K23/CR/012(99)
 K23/CR/013(100)
 入江浩一郎 K23/OP/013(6, 33)
 K23/OP/014(7, 33)
 K23/R/004(33)

う

薄井崇 K23/CR/008(86)

お

王琺萱 K23/OP/017(12, 28, 63)
 大井手良光 K23/OP/068(90, 129)
 K23/OP/069(90, 129)
 大久保学 K23/OP/052(72, 90)
 大谷茉莉子 ... K23/OP/022(19, 59, 93, 131)
 K23/OP/071(93)
 大塚未紗 ... K23/CR/009(86, 102, 124, 131)
 大中茉莉 K23/OP/072(98)
 大橋桂 K23/OP/053(73, 116)
 大平寛 K23/B&C/010(43)
 小川綾野 K23/OP/070(93)
 奥井伸雄 K23/OP/037(46, 48, 130)
 K23/CR/003(46, 131)
 奥濱裕里恵 K23/OP/052(72, 90)
 奥脇都子 K23/OP/061(85)
 小澤重幸 K23/OP/055(79, 131)
 小澤僚太郎 K23/OP/007(6, 72)
 小野崎純 K23/CR/009(86, 102, 124, 131)

か

Kang, Pil Seoung K23/OP/046(63)
 香川恵太 K23/OP/074(99, 104)
 片桐法香 K23/OP/054(79, 99)
 K23/OP/072(98)
 K23/OP/074(99, 104)
 K23/OP/075(99)
 片山朋美 K23/OP/054(79, 99)
 片山裕太 K23/OP/053(73, 116)
 加藤伊陽子 K23/OP/024(20, 130)
 金森慶亮 K23/OP/055(79, 131)
 鎌田政宣 K23/OP/052(72, 90)
 鎌田要平 K23/B&C/016(68)
 蒲生真里 K23/OP/042(52)
 河合邦彰 K23/OP/068(90, 129)
 河田亮 ... K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
 K23/OP/015(12, 19, 28, 59)
 K23/OP/022(19, 59, 93, 131)
 河奈裕正 K23/B&C/026(90)
 K23/OP/052(72, 90)
 K23/OP/066(90)
 K23/OP/067(90, 119)
 K23/Ex/001(7, 73, 90)
 川西範繁 K23/B&C/018(72)
 K23/OP/002(5, 12, 72)
 K23/OP/005(6, 72, 130)
 K23/OP/007(6, 72)
 K23/Ex/001(7, 73, 90)
 川股亮太 ... K23/OP/022(19, 59, 93, 131)
 川村和章 K23/B&C/005(33, 135)
 J23/B&C/001(135)

き

喜田さゆり K23/OP/030(33, 68, 130)
 K23/OP/048(68)
 北見遼二 K23/OP/012(6, 97)
 城戸幹太 K23/OP/054(79, 99)
 K23/OP/072(98)
 K23/CR/013(100)
 羅田幹久 K23/OP/023(20, 83)
 K23/OP/059(83)
 君島真純 K23/OP/042(52)

..... K23/Ex/010(52)
 金ウンギョン K23/OP/064(86)
 木本一成 K23/B&C/008(33)
 木本克彦 K23/B&C/018(72)
 K23/OP/002(5, 12, 72)
 K23/OP/005(6, 72, 130)
 K23/OP/007(6, 72)
 K23/OP/008(6, 72)
 K23/OP/011(6, 72)
 K23/OP/053(73, 116)
 K23/Ex/001(7, 73, 90)
 K23/Ex/013(73, 126)
 K23/Ex/014(73)
 K23/Ex/015(73)
 木本茂成 K23/B&C/027(93)
 K23/OP/022(19, 59, 93, 131)
 K23/OP/071(93)
 K23/Ex/017(93)
 K23/O/009(93)
 K23/O/010(93)

<

國松雄一 K23/OP/026(28, 59)
 國見敬子 K23/Ex/009(52)
 久保大二郎 K23/OP/002(5, 12, 72)
 窪田展久 ... K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
 ... K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
 K23/CR/001(7, 79, 114, 131)
 J23/OP/001(135)
 窪田光慶 K23/OP/021(16, 86)
 倉田俊一 K23/OP/024(20, 130)
 倉橋絢子 K23/OP/019(16, 26, 28, 99)
 栗橋健夫 K23/OP/040(50)
 K23/OP/041(50)
 黒田英孝 K23/OP/019(16, 26, 28, 99)
 K23/OP/020(16, 26, 99)
 K23/OP/054(79, 99)
 K23/OP/072(98)
 K23/OP/074(99, 104)
 K23/OP/075(99)
 K23/CR/004(69, 99)
 K23/CR/013(100)
 K23/O/011(100)
 栗原淳之 K23/OP/007(6, 72)

こ

小泉創 K23/B&C/025(85)
 K23/OP/060(85)
 K23/OP/063(85)
 K23/OP/064(86)
 K23/CR/008(86)
 高才東 K23/CR/001(7, 79, 114, 131)
 香西雄介 K23/OP/004(5)
 K23/OP/012(6, 97)
 K23/CR/001(7, 79, 114, 131)
 小浦裕菜 K23/OP/026(28, 59)
 小枝聡子 K23/OP/023(20, 83)
 K23/OP/059(83)
 小島康佑 K23/OP/069(90, 129)
 小瀬貴之 K23/OP/069(90, 129)
 後関利明 K23/OP/042(52)
 小關理恵子 K23/OP/055(79, 131)
 児玉利朗 ... K23/B&C/015(68, 79, 129, 130)
 K23/OP/068(90, 129)
 K23/OP/069(90, 129)
 K23/R/011(129)
 小林優 ... K23/B&C/015(68, 79, 129, 130)
 K23/B&C/022(79)
 K23/OP/055(79, 131)
 小牧基浩 K23/B&C/016(68)
 K23/B&C/017(68)
 K23/OP/030(33, 68, 130)
 K23/OP/048(68)
 K23/OP/050(68)
 K23/CR/004(69, 99)
 小松知子 K23/B&C/032(106)
 K23/B&C/033(106)
 K23/B&C/034(106)
 ... K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
 K23/CR/015(107, 124)
 K23/Ex/019(107)
 K23/O/014(107)
 J23/OP/003(135)

さ

齋田牧子 K23/OP/007(6, 72)
 K23/OP/008(6, 72)

… K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
 …………… K23/OP/011(6, 72)
 …………… J23/OP/001(135)
 坂口和歌子 … K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
 … K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
 …………… K23/OP/023(20, 83)
 …………… J23/OP/001(135)
 櫻井孝 …………… K23/B&C/028(97)
 …………… K23/OP/012(6, 97)
 佐藤武則 …… K23/OP/018(12, 28, 30, 63)
 讃岐拓郎 …………… K23/B&C/029(98)
 …………… K23/OP/019(16, 26, 28, 99)
 …………… K23/OP/020(16, 26, 99)
 …………… K23/OP/054(79, 99)
 …………… K23/OP/072(98)
 …………… K23/OP/073(98)
 …………… K23/OP/074(99, 104)
 …………… K23/OP/075(99)
 …………… K23/OP/076(99)
 …………… K23/R/008(99)
 …………… K23/CR/004(69, 99)
 …………… K23/CR/013(100)
 …………… K23/O/011(100)
 …………… K23/O/012(100)
 猿田樹理 … K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
 …………… K23/OP/003(5)
 …………… K23/OP/006(6)
 …………… K23/OP/009(6)
 … K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
 …………… J23/OP/001(135)
 沢井奈津子 … K23/CR/001(7, 79, 114, 131)

し

清水智子
 … K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
 …………… K23/R/001(21, 69)
 …………… K23/Ex/004(21, 69)
 …………… J23/OP/001(135)
 神部芳則 …………… K23/R/001(21, 69)

す

菅谷彰 …………… K23/OP/021(16, 86)

杉田武士 … K23/CR/009(86, 102, 124, 131)
 杉山郁子 …………… K23/CR/015(107, 124)
 鈴木杏奈 …………… K23/CR/015(107, 124)
 鈴木健司 …………… K23/B&C/022(79)
 …………… K23/OP/055(79, 131)

せ

関端麻美 …………… J23/Ex/002(135)
 …………… J23/Ex/003(135)

そ

宋文群 …………… K23/B&C/005(33, 135)
 … K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
 …………… J23/B&C/001(135)
 …………… J23/OP/003(135)
 曾根崇晴 …………… K23/OP/069(90, 129)

た

高垣裕子
 … K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
 …………… K23/OP/022(19, 59, 93, 131)
 …………… J23/OP/001(135)
 高瀬幸子 …………… K23/CR/015(107, 124)
 高野知子 …………… K23/CR/015(107, 124)
 高橋聡子 …………… K23/B&C/002(15, 25, 26)
 … K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
 …………… J23/OP/001(135)
 高橋俊介 …………… K23/B&C/002(15, 25, 26)
 … K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
 …………… J23/OP/001(135)
 高橋正皓 …………… K23/OP/065(86)
 …………… K23/CR/007(86)
 高満幸宜 … K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
 …………… J23/OP/003(135)
 竹田磨言子 …………… K23/OP/065(86)
 田中香衣 …………… K23/OP/057(79)
 …………… K23/Ex/016(79)
 田中洋平 …………… K23/OP/078(104)
 棚橋泰之 …………… J23/Ex/004(138)

..... J23/Ex/005(138)
..... J23/Ex/006(139)
谷口健太郎 K23/OP/030(33, 68, 130)
..... K23/OP/048(68)
..... K23/CR/004(69, 99)
谷口紀江 K23/OP/012(6, 97)
玉置勝司 K23/OP/030(33, 68, 130)
..... K23/OP/032(33, 131)
田宮潤 ... K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
田村利之 ... K23/B&C/015(68, 79, 129, 130)

つ

槻木恵一 K23/B&C/003(20)
... K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
... K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
..... K23/OP/023(20, 83)
..... K23/OP/024(20, 130)
..... K23/R/001(21, 69)
..... K23/R/002(21)
..... K23/Ex/003(21)
..... K23/Ex/004(21, 69)
..... K23/O/001(21)
..... K23/O/002(21)
..... K23/O/003(21)
..... J23/OP/001(135)
月本翔太 K23/OP/020(16, 26, 99)
..... K23/OP/054(79, 99)
..... K23/OP/072(98)
..... K23/OP/075(99)
..... K23/CR/004(69, 99)
..... K23/CR/010(99)
..... K23/CR/011(99)
..... K23/O/013(100)
附田孝仁 K23/OP/016(12, 63)
..... K23/OP/046(63)
角井早紀 K23/OP/007(6, 72)
..... K23/OP/053(73, 116)
角田晃 J23/B&C/002(135)
鶴岡隼人 K23/OP/052(72, 90)
..... K23/OP/067(90, 119)

と

東雅啓
... K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
..... J23/OP/001(135)
戸田真司 K23/B&C/005(33, 135)
... K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
..... J23/B&C/001(135)
..... J23/OP/003(135)
富山潔 K23/OP/015(12, 19, 28, 59)
..... K23/OP/026(28, 59)

な

中川貴美子 ... K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
..... K23/OP/033(40)
..... K23/OP/034(40)
..... K23/OP/035(40)
中静利文 K23/OP/067(90, 119)
中島知佳子 ... K23/OP/022(19, 59, 93, 131)
永田紘大 K23/OP/052(72, 90)
..... K23/OP/067(90, 119)
..... K23/Ex/001(7, 73, 90)
中野亜希人 K23/OP/016(12, 63)
中村州臣 ... K23/OP/022(19, 59, 93, 131)
..... K23/OP/071(93)
中村慧 K23/OP/068(90, 129)
..... K23/OP/069(90, 129)
中村朋美 K23/OP/071(93)
中村真希子 K23/OP/059(83)
南雲達人 K23/OP/023(20, 83)
..... K23/OP/059(83)

に

新倉啓太 K23/CR/015(107, 124)
西久保周一 K23/OP/023(20, 83)
..... K23/OP/058(83)
..... K23/OP/059(83)
西崎仁美 K23/OP/078(104)
西村允貴 K23/OP/069(90, 129)
二瓶智太郎 K23/B&C/035(116)
..... K23/OP/053(73, 116)

の

野口毅 … K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
…………… J23/OP/003(135)

は

萩原大 … K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
…………… J23/OP/003(135)

朴宰範

… K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
…………… J23/OP/001(135)

朴熙泰 …… K23/B&C/025(85)
…………… K23/OP/045(63, 86)

橋本達夫 …… K23/OP/037(46, 48, 130)
…………… K23/OP/039(48, 63)
…………… K23/Ex/008(48)

長谷川巖 …… K23/B&C/009(40)
… K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
…………… K23/OP/033(40)

…………… K23/OP/034(40)
…………… K23/OP/035(40)

畑隆一郎 …… K23/OP/024(20, 130)

畠中玲奈 …… K23/B&C/025(85)
…………… K23/OP/065(86)

花岡孝治 …… K23/OP/021(16, 86)

浜田信城 …… K23/B&C/004(27)
… K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)
…………… K23/OP/015(12, 19, 28, 59)

…………… K23/OP/017(12, 28, 63)
…………… K23/OP/018(12, 28, 30, 63)

…………… K23/OP/019(16, 26, 28, 99)
…………… K23/OP/026(28, 59)

…………… K23/OP/027(28)

林恵美 …… K23/OP/078(104)
…………… K23/OP/079(104)

…………… K23/Ex/018(104)

林玲緒奈 …… K23/OP/039(48, 63)
…………… K23/OP/044(63)

原田隆史 …… K23/OP/057(79)

半田慶介 …… K23/OP/028(30)

ひ

疋田悠 …… K23/OP/063(85)

彦坂有希 …… K23/OP/063(85)

日高恒輝

… K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
…………… K23/OP/022(19, 59, 93, 131)

…………… J23/OP/001(135)

ふ

福山卓志 …… K23/CR/005(77)

藤井利哉 …… K23/OP/030(33, 68, 130)
…………… K23/OP/048(68)

不島健持 …… K23/B&C/015(68, 79, 129, 130)
…………… K23/OP/055(79, 131)

…………… K23/CR/009(86, 102, 124, 131)

淵田慎也 …… K23/OP/013(6, 33)

…………… K23/OP/014(7, 33)

へ

別部智司 …… K23/R/009(99)

…………… K23/CR/012(99)

ほ

北條彩和子 …… K23/OP/068(90, 129)

…………… K23/OP/069(90, 129)

星憲幸 …… K23/B&C/001(5)

…………… K23/OP/002(5, 12, 72)

…………… K23/OP/005(6, 72, 130)

…………… K23/OP/007(6, 72)

…………… K23/OP/008(6, 72)

…………… K23/OP/011(6, 72)

…………… K23/Ex/001(7, 73, 90)

ま

眞鍋雄太 …… K23/B&C/037(126)

…………… K23/OP/080(126)

..... K23/OP/081(126)
..... K23/R/010(126)
..... K23/Ex/013(73, 126)

み

美久月瑠宇 K23/OP/077(104)
..... K23/OP/078(104)
水谷文子 K23/OP/072(98)
三辺正人 K23/R/003(21, 33, 135)
..... J23/R/001(135)
宮本晴美 K23/B&C/036(121)

む

向井義晴 K23/B&C/012(59)
..... K23/B&C/013(59)
..... K23/OP/015(12, 19, 28, 59)
..... K23/OP/026(28, 59)
武藤徳子 K23/OP/016(12, 63)
..... K23/OP/018(12, 28, 30, 63)
..... K23/OP/039(48, 63)
..... K23/OP/044(63)
..... K23/OP/046(63)
村野浩気 K23/O/007(63)
室町幸一郎 K23/OP/043(63)
..... K23/OP/045(63, 86)

も

毛内伸威 K23/OP/007(6, 72)
持田悠貴 K23/OP/013(6, 33)
..... K23/OP/014(7, 33)
森本佳成 K23/B&C/030(103)
..... K23/B&C/031(104)
..... K23/OP/074(99, 104)
..... K23/OP/078(104)
..... K23/OP/079(104)
..... K23/Ex/018(104)

や

矢田朋美 K23/OP/030(33, 68, 130)
..... K23/OP/048(68)
山口敦己 K23/OP/054(79, 99)
山口徹太郎 K23/B&C/024(85)
..... K23/B&C/025(85)
..... K23/OP/021(16, 86)
..... K23/OP/045(63, 86)
..... K23/OP/060(85)
..... K23/OP/061(85)
..... K23/OP/062(85)
..... K23/OP/063(85)
..... K23/OP/064(86)
..... K23/OP/065(86)
..... K23/CR/007(86)
..... K23/CR/008(86)
..... K23/O/008(86)
山崎詩織 K23/OP/039(48, 63)
..... K23/OP/044(63)
山崎勇輝 K23/O/005(56)
..... K23/O/006(56)
山田良広 K23/B&C/010(43)
..... K23/OP/036(43)
..... K23/Ex/006(43)
山根雅仁 K23/OP/046(63)
山村真紀子 K23/OP/023(20, 83)
..... K23/OP/059(83)
山本伊佐夫 K23/OP/033(40)
..... K23/OP/034(40)
..... K23/OP/035(40)
..... K23/R/005(40)
..... K23/Ex/005(40)
山本龍生 K23/B&C/006(33)
..... K23/B&C/007(33)
..... K23/OP/013(6, 33)
..... K23/OP/014(7, 33)
..... K23/OP/029(33)
..... K23/OP/030(33, 68, 130)
..... K23/OP/032(33, 131)
..... K23/R/003(21, 33, 135)
..... K23/R/004(33)
..... J23/R/001(135)
山本利春 K23/OP/001(5, 19, 20, 28, 40, 114, 130)

山本裕子

… K23/OP/010(6, 20, 25, 26, 59, 68, 72, 114, 130, 135)
…………… K23/R/003(21, 33, 135)
…………… J23/OP/001(135)
…………… J23/R/001(135)
…………… J23/Ex/001(135)
…………… J23/Ex/002(135)
…………… J23/Ex/003(135)

よ

横山滉介 … K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
…………… J23/OP/003(135)
吉田彩佳 …… K23/B&C/002(15, 25, 26)
…………… K23/OP/019(16, 26, 28, 99)
…………… K23/OP/020(16, 26, 99)
吉野剛史 …… K23/OP/069(90, 129)
吉野文彦 …… K23/B&C/002(15, 25, 26)
…………… K23/OP/019(16, 26, 28, 99)
…………… K23/OP/020(16, 26, 99)
…………… K23/OP/025(26)

り

李昌一 … K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
…………… J23/OP/003(135)
劉彦君 …… J23/OP/002(135)

わ

若森可奈 …… K23/OP/052(72, 90)
…………… K23/OP/067(90, 119)
渡辺清子 …… K23/OP/015(12, 19, 28, 59)
…………… K23/OP/017(12, 28, 63)
…………… K23/OP/018(12, 28, 30, 63)
渡辺匡 …… K23/OP/031(33, 38, 76, 106, 121, 135)
…………… J23/OP/003(135)

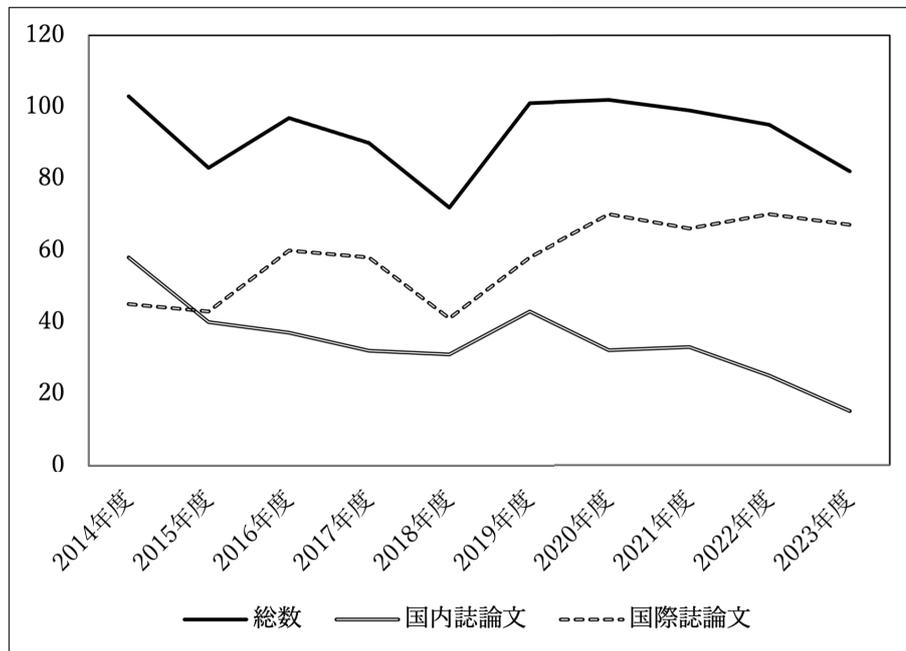
編集後記

2023年度の業績集をお届けします。図書館は、書籍の電子化や情報アクセスの高度化に伴い、単なる資料の保管場所を超えて、知のハブとして新たな役割を果たしています。そのため、従来の来館型図書館の概念では、もはや時代にそぐわなくなっているかもしれません。これからの図書館を、どのように知の総合機関として再構築していくのかを模索していきたいと思えます。そして、それに伴い、業績集の在り方にも変革が求められる時代が来ているのではないのでしょうか。

「業績」とは一体何を意味するのか、そしてその集積をどのように活かせるのか。個々の教室からの発信を超え、大学全体の知的財産として一体化させ、特定の分類に基づいて集約することができれば、大学の強みをさらに際立たせることができるでしょう。AI技術を活用すれば、この分類や強みの可視化が一層容易になると考えています。

ちなみに、2024年度の業績数は非常に充実しており、質的にも欧文論文の発表が着実に進んでいます。今後は、大学院や神奈川歯科大学学会とも連携し、この勢いをさらに加速させていくことが求められます。教職員の皆さまのご尽力に感謝するとともに、引き続き神奈川歯科大学を共に盛り上げていきましょう。

原著論文数



2024年9月

業績編纂委員会を代表して

槻木 恵一

<https://kdulib.net/>

業績集 2023.4 — 2024.3

2024年10月31日発行

発行 学校法人 神奈川歯科大学業績編纂委員会
〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82
電話 / 046-825-1500(代)

編集 槻木 恵一 (委員長)
浅里 仁
板宮 朋基
稲葉 啓太郎
大平 寛
窪田 展久
鈴木 健司
高橋 聡子
角田 晃
徳竹 峰子
向井 義晴
山本 龍生

制作 大和屋合同会社